

令和5年度 東京都教職員研修センター 「研修一覧」

この研修一覧は、研修の研修番号、研修名、申込方法、対象、日程を掲載しています。各研修のねらいや研修内容、研修のポイント等については、東京都教職員研修センターWebページに掲載する「個別の研修概要」の各研修ページを御確認ください。

○研修の申込及び確認等は、一部研修を除き、東京都教職員研修センターWebページの「研修受講申込受付システム」で行います。

○申込方法について

- ・「申込」…「研修受講申込受付システム」で申込を行う研修
- ・「指定」…「研修受講申込受付システム」で対象、日程を確認する研修
- ・「推薦」…推薦により申込等を行う研修

なお、「別途通知」により、申込方法等をお知らせする研修がありますので、通知を御確認の上、申込等を行ってください。

◆ 職層研修(教育経営課)

研修番号	研修名	対象	日程
1001	東京都立学校校長研修	小・中は都立のみ 高・特	4/11,4月下旬-,1月下旬- ＜新任＞:7月下旬-8月,8/3
1011	東京都立学校校長職候補者研修	小・中・高・特	6月中旬-7月中旬,①7/11②7/13,7月下旬-8月,①8/22②8/24,9月上旬-9月下旬,①9/19②9/21,①10/17②10/19
1012	東京都立学校副校長研修	小・中は都立のみ 高・特	4月下旬-,1月下旬- ＜新任＞:7月下旬-8月,8/8
1013	統括指導主事研修	小・中・高・特	5/9
1101	指導主事任用時研修	小・中・高・特	6月上旬,7月中旬,11/7
1111	教育管理職候補者A1年次研修(4A)	小・中・高・特	5/24,6月上旬,6/27,7月上旬,10/6,10月中旬
1112	教育管理職候補者A2年次研修(3A)	小・中・高・特	5/17,6月上旬,7/12,①10/11②10/13
1113	教育管理職候補者A3年次研修(2A)	小・中・高・特	6/5,6月中旬,①9/8②9/12③9/15,10/3
1114	教育管理職候補者A4年次研修(31A)	小・中・高・特	6/22,8月上旬,10/24
1121	教育管理職候補者B研修Ⅱ(4B)	小・中・高・特	6月上旬,①6/9②6/14③6/16,①9/8②9/12③9/15,10月下旬,11/10
1122	教育管理職候補者B研修Ⅰ(5B)	小・中・高・特	1月中旬,1月中旬,1月下旬,①2/8②2/13③2/15
1131	教育管理職候補者C研修(5C)	小・中・高・特	①1/11②1/12,1月中旬,1月中旬,1月下旬,1/23,2/2①2/8②2/13③2/15
1201	東京都立学校主幹教諭任用時研修	高・特 小・中は都立、島しょのみ	5月中旬-5月下旬,6/8
1202	東京都立学校主幹教諭スキルアップ研修	小・中・高・特	9月中旬-11月中旬,①10/16,②10/23,③10/30,④11/13,⑤11/20
1211	東京都立学校指導教諭任用時研修	小・中・高・特	4月中旬-5月上旬,5/18
1301	東京都立学校主任教諭任用時研修	小・中は都立、島しょのみ 高・特	7/26,8/2,8/4
1302	東京都立学校主任教諭任用前研修	小・中・高・特	12月上旬-1月上旬
1401	東京都立学校主任研修(教務)	小・中は都立及び島しょ新任のみ 高	4月下旬-6月下旬,5/25
1402	東京都立学校主任研修(生活指導)	小・中は都立のみ 高	4月下旬-6月下旬,6/15
1403	東京都立学校主任研修(進路指導)	小・中は都立のみ 高	4月下旬-6月下旬,6/6
1411	東京都立学校主任研修(教務)	特	4月下旬-6月下旬,5/16
1412	東京都立学校主任研修(生活指導)	特	4月下旬-6月下旬,6/20
1413	東京都立学校主任研修(進路指導)	特	4月下旬-6月下旬,6/29
1501	教育行政研修	小・中・高・特	7/7,8/1,8/21,7月-8月

1502	教育管理職候補者B養成講座			7月上旬,①6/30②7/4③7/6,7月下旬,①7/25②7/27③7/28
1601	人事考課評価者訓練講師養成研修			①4/20②4/21
1602	人事考課評価者訓練			①5/1②5/2③5/9④5/12,①5/19②5/23③5/30④6/1,①②6/7

◆ 年次研修(授業力向上課)

研修 番号	研修名	対象		日程	
2001	東京都若手教員育成研修 1年次(初任者)研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校)	都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校	350	4/3,4/4,5/8-5/29,5/30又は6/2,7/7又は7/11,8/9又は8/23,9/8又は9/19,10/10又は10/13,11/6-11/27,12/1又は12/5	
2002	東京都若手教員育成研修 2年次研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校)	都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校	350	7/10又は8/1,10/2又は10/11,1/18-2/8	
2003	東京都若手教員育成研修 3年次研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校)	都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校	350	5/29-6/19,1/15又は2/9	
2011	東京都若手教員育成研修 1年次(初任者)研修(都立特別支援学校)	都立特別支援学校	300	4/3,4/4,5/16-6/6,6/20又は6/23,7/18又は7/21,8/28又は8/29,9/22又は9/26,10/27又は11/7,11/27-12/18,12/19又は12/22	
2012	東京都若手教員育成研修 2年次研修(都立特別支援学校)	都立特別支援学校	300	7/5又は7/31,10/4又は10/16,1/18-2/8	
2013	東京都若手教員育成研修 3年次研修(都立特別支援学校)	都立特別支援学校	300	6/1-6/22,1/22又は1/30	
2021	東京都若手教員育成研修 1年次(初任者)研修(小・中学校特別支援学級等)	区市町村立学校の特別支援学級等	500	6/21-7/12,11/7-11/28,12/4-12/25	
2022	東京都若手教員育成研修 1年次(初任者)研修(島しょ都立高等学校、島しょ公立小・中学校)	島しょ都立高等学校、島しょ小・中学校	15	4/3,4/4,5/8-5/29,8/7,8/8,8/9,11/6-11/27,12/1	
2023	東京都若手教員育成研修 1年次(初任者)研修(島しょ都立特別支援学校、島しょ公立小・中学校(特別支援学級等))	島しょ都立特別支援学校、島しょ小・中学校(特別支援学級等)	5	4/3,4/4,5/16-6/6,8/7,8/8,8/28,11/27-12/18,12/22	
2131	東京都公立学校 新規採用養護教諭研修(都立学校・島しょ)	都立学校、島しょ都立、島しょ小・中学校	30	4/3,4/4,5/18,6/19,6/30-7/21,7月下旬～8月上旬(別途通知),9月～11月(別途通知),11/1-11/22,12/8	
2132	東京都公立学校 新規採用養護教諭研修(小・中学校)	東京都公立小・中学校	100	5/18,6/19,6/30-7/21,7月下旬～8月上旬(別途通知),9月～11月(別途通知),11/1-11/22,12/8	
2141	東京都公立学校 新規採用栄養教諭研修(都立学校・島しょ)	都立学校、島しょ都立、島しょ小・中学校	10	4/3,4/4,5/11,5/29-6/19,6月～7月(別途通知),7/20,8/7,9/14	
2142	東京都公立学校 新規採用栄養教諭研修(小・中学校)	東京都公立小・中学校	20	5/11,5/29-6/19,6月～7月(別途通知),7/20,8/7,9/14	
2151	東京都公立幼稚園 新規採用幼稚園教諭研修	公立幼稚園	20	4/20,5/19,6月(別途通知),7/13-7/27,10/5,11月(別途通知),12/7,1/11	
2161	東京都立学校 新規採用実習助手・寄宿舎指導員研修	都立高等学校・都立特別支援学校	20	4/3,4/4,6月(別途通知),7月(別途通知),9月(別途通知)	
2201	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ	教育法規と新たな教育課題	都立学校	高300 特300	7月配信予定
2211	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ	人権教育と新たな教育課題	都立学校	高300 特300	6月配信予定
2221	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ	サービスと新たな教育課題	都立学校	高300 特300	6月配信予定
2231	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ	授業研究A	都立学校	高300 特300	①オンデマンド:6月配信予定、同時双方向:6/15,6/20,6/22,6/27,6/29 ②7月配信予定 ③各会場による ④11/6,11/9,11/14,11/16,11/21
2251	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ	教育相談等に関する研修A	都立学校	40	9月配信予定
2261 2661	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ	授業研究B	小・中・高・特	40	①6/9 ②7月配信予定 ③別途通知 ④11/6,11/9,11/14,11/16,11/21
2262 2662	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ	教育相談等に関する研修B	小・中・高・特	20	オンデマンド:9月配信予定、同時双方向:10/31
2671	東京都公立幼稚園中堅教諭等資質向上研修Ⅰ	幼稚園運営	公立幼稚園等	20	9月配信予定
2672	東京都公立幼稚園中堅教諭等資質向上研修Ⅰ	保育内容	公立幼稚園等	20	①7/3 ②③9月～11月

2281 2681	東京都公立学校中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ	保健室経営	小・中・高・特の養護教諭	70	オンデマンド：7月配信予定、集合：7/28
2291 2691	東京都公立学校中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ	食に関する指導等	小・中・高・特の栄養教諭	10	オンデマンド：8月配信予定、集合：8/31
2301他	東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅱ	中堅教諭等資質向上研修Ⅱ	小・中・高・特	500	オンデマンド：7月配信予定、同時双方向：9/7,9/12,9/21,9/26,9/28,10/2,10/5,10/12,10/17,10/20
2401	東京都公立学校 期限付任用教員（教諭）任用時研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校)		都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校	50	4/3,4/4,5/8-5/29,5/30又は6/2,7/7又は7/11,8/9又は8/23,9/8又は9/19,10/10又は10/13,11/6-11/27,12/1又は12/5
2411	東京都公立学校 期限付任用教員（教諭）任用時研修(都立特別支援学校)		都立特別支援学校	20	4/3,4/4,5/16-6/6,6/20又は6/23,7/18又は7/21,8/28又は8/29,9/22又は9/26,10/27又は11/7,11/27-12/18,12/19又は12/22
2421	東京都公立学校 期限付任用教員（教諭）任用時研修(小・中学校特別支援学級等)		区市町村立学校の特別支援学級等	50	6/21-7/12,11/7-11/28,12/4-12/25
2431	東京都公立学校 期限付任用教員（教諭）任用時研修(島しょ都立高等学校、島しょ公立小・中学校)		島しょ都立高等学校、島しょ小・中学校	10	4/3,4/4,5/8-5/29,8/7,8/8,8/9,11/6-11/27,12/1
2432	東京都公立学校 期限付任用教員（教諭）任用時研修(島しょ都立特別支援学校、島しょ公立小・中学校(特別支援学級等))		島しょ都立特別支援学校、島しょ小・中学校(特別支援学級等)	5	4/3,4/4,5/16-6/6,8/7,8/8,8/28,11/27-12/18,12/22
2441	東京都公立学校 期限付任用教員（養護教諭）任用時研修(都立学校・島しょ)		都立学校、島しょ都立、島しょ小・中学校	5	4/3,4/4,5/18,6/19,6/30-7/21,7月下旬～8月上旬(別途通知),9月～11月(別途通知),11/1-11/22,12/8
2442	東京都公立学校 期限付任用教員（養護教諭）任用時研修(小・中学校)		東京都公立小・中学校	5	5/18,6/19,6/30-7/21,7月下旬～8月上旬(別途通知),9月～11月(別途通知),11/1-11/22,12/8

◆ リーダー養成研修(専門教育向上課／企画課／教育開発課／授業力向上課)

研修番号	研修名	対象	日程
3001	特別支援教育コーディネーターベシッ（幼・小・中・高） （特支コーディネーター基礎）	特別支援教育コーディネーターベシッー特別支援教育コーディネーター基礎ー	幼・小・中・高 100 7/28
3002	特別支援教育コーディネーターベシッ（幼・小・中・高） （校内支援体制整備ガイドライン）	特別支援教育コーディネーターベシッー校内支援体制整備ガイドラインー	幼・小・中・高 400 9/5
3003	特別支援教育コーディネーターベシッ（幼・小・中・高） （発達障害の医学的理解）	特別支援教育コーディネーターベシッー発達障害の医学的理解ー	幼・小・中・高 400 8/9
3004	特別支援教育コーディネーターアドバンス（小・中・高）（発達性ディスレクシア・言語発達障害）	特別支援教育コーディネーターアドバンスー発達性ディスレクシアー	小・中・高 400 8/8
3005	特別支援教育コーディネーターアドバンス（小・中・高）（センター的機能・指導技術の向上）	特別支援教育コーディネーターアドバンスーセンター的機能・関係機関との連携ー	小・中・高 100 7/13
3006	特別支援教育コーディネーターアドバンス（小・中・高） （コーディネーター実践）	特別支援教育コーディネーターアドバンスー特別支援教育コーディネーターの実践ー	小・中・高 100 8/10
3007	特別支援教育コーディネーター（特） （センター的機能・指導技術の向上）	特別支援教育コーディネーターーセンター的機能・指導技術の向上ー	特 100 9/8
3008	特別支援教育コーディネーター（特） （特支コーディネーター基礎）	特別支援教育コーディネーターー特別支援教育コーディネーターの基礎ー	特 100 9/22
3009	特別支援教育コーディネーター（特） （障害の医学的理解）	特別支援教育コーディネーターー障害の医学的理解ー	特 200 8月～9月配信予定
3011	特別支援教室・高等学校通級指導担当教員研修	特別支援教室・高等学校通級における指導法ー基礎から実践へー	小・中・高 150 ①7/14②8/23③9/13
3012	特別支援学級担当教員研修	特別支援学級における指導法ー基礎から実践へー	小・中 100 ①6/29②8/22③9/15
3101	派遣研修(研究所等)	独立行政法人教職員支援機構 教職員等中央研修(校長研修)	幼・小 中・高・特 別途通知 6/26-6/30,9/4-9/8,10/16-10/20,11/27-12/1,12/13
3101	派遣研修(研究所等)	独立行政法人教職員支援機構 教職員等中央研修(副校長・教頭等研修)	小・中・高・特 別途通知 7/3-7/7,8/21-8/25,10/2-10/6,11/13-11/17,12/11,1/29-2/2
3101	派遣研修(研究所等)	独立行政法人教職員支援機構 教職員等中央研修(中堅教員研修)	小・中・高・特 別途通知 6/5-6/9,7/24-7/28,9/11-9/15,10/23-10/27,12/4,1/22-1/26
3101	派遣研修(研究所等)	独立行政法人教職員支援機構 教職員等中央研修(リーダー教員育成研修)	小・中・高・特 別途通知 6/12-6/16,7/31-8/4,9/25-9/29,11/6-11/10,12/6
3102	派遣研修(研究所等)	独立行政法人教職員支援機構 指導者養成研修等	小・中・高・特 別途通知 6/12-6/14,8/1-8/31,8/1-8/31,12/6-12/8,8/1～8/31 5/24-5/26,7/12-7/14,9/11-9/13,11/8-11/10,6/21-6/23,11/20-11/22,10/10-10/12,10/4-10/6,7/5-7/7,10/16-10/19,2/5-2/7,9/20-9/22,6/20-6/23,8/22-8/25
3111	派遣研修(研究所等)	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 特別支援教育専門研修	小・中・高・特 別途通知 5/8-7/7,9/6-11/10,1/10-3/14

3112	派遣研修(研究所等)	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会・セミナー	別途通知	別途通知	別途通知
3201	派遣研修(大学院)	新教育大学大学院派遣研修	幼・小・中・高・特	1名程度	令和6年4月～令和8年3月
3202	派遣研修(大学院)	大学院設置基準第14条適用大学院派遣研修	幼・小・中・高・特	3名程度	令和6年4月～令和8年3月
3203	派遣研修(大学院)	教職大学院派遣研修	幼・小・中・高・特	30名程度	令和6年4月～令和7年3月
3204	派遣研修(東京都教員研究生)	東京都教員研究生	幼・小・中・高・特	15名程度	令和6年4月～令和7年3月
9001	東京教師道場	東京教師道場(1年次)	東京教師道場の部員又はリーダーとして決定した小・中・高・特の教員(令和5年度の受講者は既に決定済)		4/14,5-7月,夏季休業日2日間,9-3月
9002	東京教師道場	東京教師道場(2年次)			4-7月,夏季休業日2日間,9-3月

◆ 専門性向上研修〔教科等〕（専門教育向上課）

研修番号	研修名	研修タイトル	対象	定員	日程・回数(①②等)
4011	国語【Ⅰ】（小学校における授業づくり）	国語科授業づくり入門（小学校） －基本的な授業展開や指導法の理解－	小・特	100	7/21
4012	国語【Ⅰ】（中学校における授業づくり）	国語科授業づくり入門（中学校） －基本的な授業展開や指導法の理解－	中・特	100	7/6
4021 4022	国語【Ⅰ・Ⅱ】（一人1台の学習者用端末の活用）	一人1台の学習者用端末を活用した国語科の指導法	小・特	150	4021 9/27 4022 8/7
4031	国語【Ⅰ・Ⅱ】（一人1台の学習者用端末の活用）	一人1台の学習者用端末を活用した国語科の指導法	中・特	80	9/11
4041	国語【Ⅰ・Ⅱ】（一人1台の学習者用端末の活用）	一人1台の学習者用端末を活用した国語科の指導法	高・特	80	10/10
4051	国語（書写）・芸術（書道）【Ⅱ】	書写・書道の指導 －実技を通して学ぶ指導の基本－	小・中・高・特	50	①7/25②10月～12月
4061	高等学校進学対策研修・国語【Ⅱ】	発展的な内容に関する指導の充実 －進学対策を含めた「発展的な内容」を取り扱う授業づくり－	高・特	30	9/28
4071 4072	国語【Ⅱ・Ⅲ】（新科目対応）	「論理国語」・「文学国語」に対応した国語科の授業づくり －実践的な指導方法の工夫、学習評価について－	高・特	100	7/5
4111	社会【Ⅰ・Ⅱ】（一人1台の学習者用端末の活用）	一人1台の学習者用端末を活用した社会科の指導法	小・特	80	10/19
4121	社会【Ⅰ・Ⅱ】（一人1台の学習者用端末の活用）	一人1台の学習者用端末を活用した社会科の指導法	中・特	80	9/20
4131 4132	地理歴史【Ⅰ・Ⅱ】（一人1台の学習者用端末の活用）	一人1台の学習者用端末を活用した地理歴史科の指導法	高・特	80	8/22
4141	公民【Ⅰ・Ⅱ】（一人1台の学習者用端末の活用）	一人1台の学習者用端末を活用した公民科の指導法	高・特	70	8/28
4151	社会【Ⅱ】（授業づくりの工夫）	「深い学び」を生み出す社会科授業づくり －「見方・考え方」を鍛える指導の充実－	小・中・特	100	①9/7②10月
4161 4162	高等学校進学対策研修・地理歴史・公民【Ⅱ】	発展的な内容に関する指導の充実 －進学対策を含めた「発展的な内容」を取り扱う授業づくり－	高・特	60	4161 6/29 4162 7/11
4171	社会・地理歴史・公民【Ⅱ・Ⅲ】（法教育・消費者教育・租税教育及び公共施設）	専門家や関係諸機関と連携した社会科授業 －持続可能な社会の構築に向けた法教育・消費者教育・租税教育の充実、公共施設を生かした教材開発－	小・中・高・特	50	①7/14②10月～11月
4181	地理総合・歴史総合・公共【Ⅱ・Ⅲ】（新科目対応）	高等学校社会科系新科目の定着に向けて －持続可能な社会の構築に向けた授業づくり（地理総合を中心に）－	高・特	50	10/5
4211 4212	算数【Ⅰ・Ⅱ】（一人1台の学習者用端末の活用）	一人1台の学習者用端末を活用した算数科の指導法	小・特	150	4211 10/12 4212 10/3
4221	数学【Ⅰ】（学習指導案作成演習）	数学科指導スキルアップ講座（中学校） －数学科 授業づくりの基礎・基本－	中・特	50	①7月動画配信予定②8/18
4231	数学【Ⅰ・Ⅱ】（一人1台の学習者用端末の活用）	一人1台の学習者用端末を活用した数学科の指導法	中・特	80	10/31
4241	数学【Ⅰ・Ⅱ】（一人1台の学習者用端末の活用）	一人1台の学習者用端末を活用した数学科の指導法	高・特	80	10/6

4251 4252	数学【Ⅱ】 (東京理科大学で学ぶ数学の世界)	数学体験館ってどんなところ？ ー数学的に考える資質・能力を育成する指導の充実ー	中・高・特	50	4251 8/24 4252 8/25
4261 4262	高等学校進学対策研修・数学【Ⅱ】	発展的な内容に関する指導の充実 ー進学対策を含めた「発展的な内容」を取り扱う授業づくりー	高・特	30	4261 10/23 4262 10/26
4271 4272	算数【Ⅱ・Ⅲ】(習熟度別指導の実際)	数学的に考える資質・能力を育成する授業づくり ー児童の習熟度に応じた指導の充実を通してー	小・特	60	4271 9/19 4272 10/20
4281 4282	数学【Ⅱ・Ⅲ】(新科目対応)	生徒が数学の有用性や実用性を認識する指導の工夫 ー数学の授業づくり・理数科理数探究基礎(新科目)を学ぶー	高・特	230	①8月配信予定②9/28
4311	理科【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した理科の指導法	小・特	70	10/25
4321	理科【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した理科の指導法	中・特	80	9/29
4331	理科【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した理科の指導法	高・特	80	8/30
4341	理科【Ⅱ】(「粒子」に関する教材開発)	深い学びにつなげる理科及び理数探究基礎の教材開発 ー深い学びに導く「粒子」に関する教材開発ー	小・中・高・特	20	8/9
4351	高等学校進学対策研修・理科【Ⅱ】	発展的な内容に関する指導の充実 ー進学対策を含めた「発展的な内容」を取り扱う授業づくりー	高・特	30	7/10
4361	理科【Ⅱ・Ⅲ】(小学校授業構築)	問題解決の活動を通した理科授業づくり ー「主体的に学習に取り組む態度」を中心としてー	小・特	30	10/23
4371 4372	理科【Ⅱ・Ⅲ】(新科目対応)	Biology&Chemistry 神秘の世界を求めて ー探究的な実習と探究活動の充実を図る講座ー	高・特	60	4371 ①8/29 ②10月～11月 4372 ①7/31 ②10月～11月
4381 4382	理科【Ⅲ】(外部施設の活用)	外部機関を効果的に活用した授業づくり ー日本科学未来館・JAXAの活用ー	小・中・高・特	100	4381 11/30 4382 7/27
4411	生活・総合的な学習の時間【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した生活科・総合的な学習の時間の指導法	小・特	70	10/2
4421 4422	総合的な学習の時間【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した総合的な学習の時間の指導法	中・特	80	8/23
4431	総合的な探究の時間【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した総合的な探究の時間の指導法	高・特	70	8/8
4441 4442	生活・総合的な学習の時間【Ⅱ】(総合的な学習の時間の考え方と工夫)	協働的な学びを深める小学校生活科・総合的な学習の時間 ー探究的な学びと学習のプロセスの充実ー	小・特	250	8/30
4451 4452	総合的な学習の時間・総合的な探究の時間【Ⅱ】(探究的な学習の考え方と工夫)	生徒の主体性を引き出す「探究の時間」 ー教科学習とつなげる、生かす探究的な学習の充実ー	中・高・特	250	8/29
4511	音楽【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した音楽科の指導法	小・特	80	9/25
4521	音楽【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した音楽科の指導法	中・高・特	70	9/13
4531 4532	音楽【Ⅱ】(和楽器の音楽についての指導)	児童・生徒に多様な音楽体験を ー和楽器についての指導の充実ー	小・中・高・特	50	①8/21②9/22
4541 4542 4543 4544	音楽【Ⅲ】(楽器を用いた授業づくり)	音や音楽、音楽文化と豊かに関わる力を育む音楽科の指導 ー学びの連続性や系統性をねらった授業づくりー	小・中・高・特	80	①8月～9月②9/5
4611	図画工作【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した図画工作科の指導法	小・特	80	7/18
4621	美術【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した美術科の指導法	中・高・特	70	9/14
4631	図画工作・美術【Ⅱ】(美術館の活用)	造形的なよさや美しさに気付き、感じ取り、思考する児童・生徒の育成 ー表現と鑑賞を関わらせた図画工作・美術科の指導の工夫ー	小・中・高・特	50	11/9
4641	図画工作・美術【Ⅲ】(授業づくり)	造形的な見方・考え方を働かせた図画工作・美術科の学び ー創造性を育む授業づくりの工夫ー	小・中・高・特	50	10/27
4711 4712	体育【Ⅰ】(小学校指導の要点)	運動の楽しさと喜びを味わう ー実技を通して学ぶ体育の授業づくりー	小・特	80	4711 8/22 4712 6/20
4721	体育【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した体育科の指導法	小・特	80	10/17
4731	保健体育【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した保健体育科の指導法	中・特	80	10/16
4741	保健体育【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した保健体育科の指導法	高・特	80	9/15
4751	体育・保健体育【Ⅱ・Ⅲ】(コーディネーショントレーニングの基礎と実践)	コーディネーショントレーニングの基礎と実践 ー脳と体幹を刺激する指導法を学ぶー	小・中・高・特	40	10/17

4761 4762	保健体育【Ⅱ・Ⅲ】 (水泳・表現・球技実技の要点)	運動の楽しさと喜びを味わう ー実技を通して学ぶ保健体育の授業づくりー	中・高・特	80	4761 8/28 4762 8/23
4811	技術【Ⅰ】 (材料と加工及び生物育成の指導 の実際)	もっと知りたい!「技術による問題解決」 ー材料加工及び生物育成分野における学習活動の工夫ー	中・特	30	7/7
4821	技術【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習 者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した技術・家庭科(技術分野)の指導法	中・特	80	9/26
4911	家庭【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習 者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した家庭科の指導法	小・中・高・特	70	7/28
4921 4922	家庭【Ⅱ・Ⅲ】(消費生活)	消費生活の指導と工夫 ー持続可能な社会に向けた消費者の育成ー	小・中・高・特	80	8/28
5011 5012	小学校英語【Ⅰ】 (学習指導案の作成・演習)	小学校外国語活動・外国語科の授業づくり	小・特	250	①9/6②9/19
5021	英語【Ⅰ】(デジタル教科書の活 用)	小学校外国語科・中学校英語科の授業づくり ーデジタル教科書を使った英語科の指導ー	小・中・特	30	9/26
5031	英語【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習 者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した外国語科の指導法	小・特	80	7/20
5041	英語【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習 者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した外国語科の指導法	中・特	70	8/29
5051	英語【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習 者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した外国語科の指導法	高・特	70	10/26
5061 5062	高等学校進学対策研修・英語 【Ⅱ】	発展的な内容に関する指導の充実 ー進学対策を含めた「発展的な内容」を取り扱う授業づくり	高・特	30	5061 7/6 5062 7/10
5071	英語【Ⅱ・Ⅲ】(新科目対応)	高等学校新科目に対応した英語科の授業づくり ーディベート、ディスカッション等のポイントやALTとの協働的な指導の 工夫ー	高・特	50	9/11
5081 5082	英語【Ⅲ】(グローバル化に対応 した実用的な英語)	中学校・高等学校外国語科の授業づくり ーグローバル化に対応した実用的な英語力を身に付けさせる指導の工夫ー	中・高・特	250	9/14
5111 5112 5113	英語ONE DAY (Basic) A	英語ONE DAY【Basic】A ー英会話にチャレンジ 英語らしい発音やクラスルームイングリッシュを身 に付けようー	小・特	60	5111 7/24 5112 8/1 5113 8/9
5121 5122 5123	英語ONE DAY (Basic) B	英語ONE DAY【Basic】B ー英会話にチャレンジ 外国語活動教材で扱う語彙や表現を使って、アク ティビティや英会話を楽しもうー	小・特	60	5121 7/27 5122 8/3 5123 8/18
5131 5132 5133	英語ONE DAY (Basic) C	英語ONE DAY【Basic】C ー英会話にチャレンジ 教科書で扱う語彙や表現を使って、アクティビティ や英会話を楽しもうー	小・特	60	5131 7/26 5132 8/7 5133 8/21
5141	英語ONE DAY (Advanced) A	英語ONE DAY【Advanced】A ーティーチャートークの技術を高めようー	中・高・特	20	7/28
5142	英語ONE DAY (Advanced) B	英語ONE DAY【Advanced】B ーALTとのチームティーチャングや打合せに役立つ表現を学ぼうー	中・高・特	20	8/23
5143	英語ONE DAY (Advanced) C	英語ONE DAY【Advanced】C ー英語によるフリートークを楽しもうー	中・高・特	20	8/31
5151	英語コミュニケーション(日本の 伝統・文化紹介)	日本の伝統・文化を英語で紹介しよう	中・高・特	20	①10/6②10/13
5161	英語力UP講座 【英検準2級取得支援】	英語力UP講座 ー問題演習や講師との模擬面接を通してー	小・中・高・特	20	①8/2②8/8③8/16
5162	英語力UP講座 【英検準2級取得支援】	英語力UP講座 ー問題演習や講師との模擬面接を通してー	小・中・高・特	20	①8/24②9/4③9/11
5163	英語力UP講座 【英検2級取得支援】	英語力UP講座 ー問題演習や講師との模擬面接を通してー	小・中・高・特	20	①8/2②8/8③8/16
5164	英語力UP講座 【英検2級取得支援】	英語力UP講座 ー問題演習や講師との模擬面接を通してー	小・中・高・特	20	①8/24②9/4③9/11
5171 5172	英語力UP講座 【英検準1級取得・ TOEIC730点突破支援】	英語力UP講座 ー問題演習や講師との模擬面接を通してー	小・中・高・特	40	5171 ①8/4②8/10③8/17 5172 ①9/7②9/13③9/20
5173 5174	英語力UP講座 【英検準1級取得・ TOEIC730点突破支援】	英語力UP講座 ー問題演習や講師との模擬面接を通してー	小・中・高・特	40	5173 ①8/24②9/4③9/11 5174 ①9/19②9/26③10/2
5175 5176	英語力UP講座 【英検1級取得・ TOEIC860点突破支援】	英語力UP講座 ー問題演習や講師との模擬面接を通してー	小・中・高・特	40	5175 ①8/4②8/10③8/17 5176 ①9/7②9/13③9/20
5177 5178	英語力UP講座 【英検1級取得・ TOEIC860点突破支援】	英語力UP講座 ー問題演習や講師との模擬面接を通してー	小・中・高・特	40	5177 ①8/24②9/4③9/11 5178 ①9/19②9/26③10/2
5211 5212	道徳【Ⅰ】(道徳指導の理論と実 際)	小学校・中学校・道徳科の授業で大切なこと ー道徳科の基礎・基本ー	小・中・特	60	5211 9/21 5212 9/14
5221	道徳【Ⅰ・Ⅱ】(一人1台の学習 者用端末の活用)	一人1台の学習者用端末を活用した道徳科の指導法	小・特	80	10/5

5231	道徳【Ⅰ・Ⅱ】（一人1台の学習者用端末の活用）	一人1台の学習者用端末を活用した道徳科の指導法	中・特	70	7/27
5311 5312	特別活動【Ⅰ】（特別活動の基礎・基本）	特別活動の基礎・基本 －実践発表から学ぶ、三つの視点を踏まえた資質・能力の育み方－	小・中・高・特	200	5311 10/10 5312 10/19
5321	特別活動【Ⅰ・Ⅱ】（一人1台の学習者用端末の活用）	一人1台の学習者用端末を活用した特別活動の指導法	小・中・高・特	80	9/22
5511	農業【Ⅰ】（大学連携による安全な食の理解）	作物や食品について学ぼう！ －最新の農業と授業づくり－	高・特	30	8/23
5611	工業【Ⅰ】（機械加工技術の習得）	機械加工技術を習得しよう！ －各種大型機械と測定器の使い方－	高・特	10	8/24
5621	工業【Ⅱ】（大学連携による工業科の授業づくり）	実践的・体験的な学習活動から学ぶ工業教育 －分野別（情報、機械、建築、電気）の演習を通して－	高・特	50	8/25
5711	ビジネス・商業【Ⅰ】（大学連携による実践的なビジネス教育の理解）	実践的なビジネス教育の理解 －大学と連携したビジネス教育の工夫－	高・特	30	8/1
5811 5812	情報【Ⅰ・Ⅱ】（生徒が主体的に学ぶための授業改善）	高等学校情報科の指導のポイント －これからの情報科の授業づくり－	高・特	80	7/31

◆ 専門性向上研修〔教育課題〕（専門教育向上課）

研修番号	研修名	研修タイトル	対象	定員	日程・回数(①②等)
7101	専門学科における「情報Ⅰ」代替科目担当教員向け情報教育【Ⅰ・Ⅱ】	専門学科における「情報Ⅰ」代替科目担当教員向け情報教育	高・特	40	7/28
7111 7112	国際理解教育【Ⅰ】（外国人児童・生徒等教育）	児童・生徒が主体的に考える国際理解教育 －社会に貢献できる力の涵養と指導の工夫－	小・中・高・特	600	8/10
7211	日本の伝統・文化理解教育【Ⅱ】（能楽）	味わおう、受け継ごう、日本の伝統・文化 －「能楽ことはじめ」古典芸能を未来につなげよう－	小・中・高・特	400	8/18
7311	プログラミング教育【Ⅱ】（各教科での実践事例）	プログラミング教育－小学校実践編－	小・特	30	①8/22②9月～10月
7411	校務におけるデジタル機器活用【Ⅱ】（高） （Microsoft Teamsの基礎）	デジタル機器活用基礎講座 －高等学校Microsoft Teams活用編－	高	40	8/29
7412	校務におけるデジタル機器活用【Ⅱ】（特） （Microsoft Teamsの基礎）	デジタル機器活用基礎講座 －特別支援学校Microsoft Teams活用編－	特	40	8/30
7511	情報モラル教育【Ⅲ】（正しい知識と実践的指導力）	情報モラル教育 －児童・生徒が適切にデジタル機器を活用するために－	小・中・高・特	100	7/4
7521 7522	キャリア教育【Ⅲ】（キャリア・パスポート）	これからのキャリア教育 －子供の社会的・職業的自立を目指して－	小・中・高・特	600	7/14
7531	人権教育【Ⅰ】（東京都の人権課題）	人権課題を理解しよう！ －フィールドワークから学ぶ指導法の工夫－	小・中・高・特	40	10/26
7541 7542	安全教育【Ⅱ】（防災館体験）	体験・演習から学び、深め広げる安全教育	小・中・高・特	90	7541 7/25 7542 8/1
7551	生活指導【Ⅰ】（いじめ）	問題行動等に対応していこう －未然防止と課題解決－	小・中・高・特	400	8/9
7561 7562	生活指導【Ⅱ・Ⅲ】（不登校）	不登校・不登校傾向にある児童・生徒への支援 －児童・生徒へのメンタルヘルスケアと外部機関等との適切な連携の在り方について－	小・中・高・特	600	7/24
7571	生き物飼育【Ⅱ】	やってみよう生き物の飼育 －水辺の生き物編－	幼・小・特	30	8/22
7611 7612	健康教育・保健室経営【Ⅰ・Ⅱ】 （性教育・がん教育等喫緊の健康課題）	多様化する健康課題の解決策を学ぼう －健康相談におけるチーム支援を学ぶ－	小・中・高・特	250	8/22
7613	健康教育【Ⅱ・Ⅲ】 （ヘルスプロモーションの最新事情）	多様化する健康課題の解決策を学ぼう －健康相談におけるチーム支援を学ぶ－	小・中・高・特	200	8月
7711	国際バカロレア【Ⅱ】	国際バカロレア教育の手法について学ぼう －海外の大学進学に向けた指導法の工夫－	中・高・特	30	11/16
7712	読書活動【Ⅱ】	読む楽しさや喜びを育む指導方法を学ぼう －読書の楽しさを児童・生徒へ－	小・中・高・特	70	10/6
7713	島しょ・へき地等教育【Ⅱ】	島しょ・へき地等教育 －小規模校や地域の特性を生かした学習活動・指導法の工夫－	小・中・高・特	100	8/3
7811	日本語指導【Ⅰ】（ベーシック）	日本語指導が必要な児童・生徒のための授業づくり －ベーシック－	小・中・高・特	100	①6/26②8/7

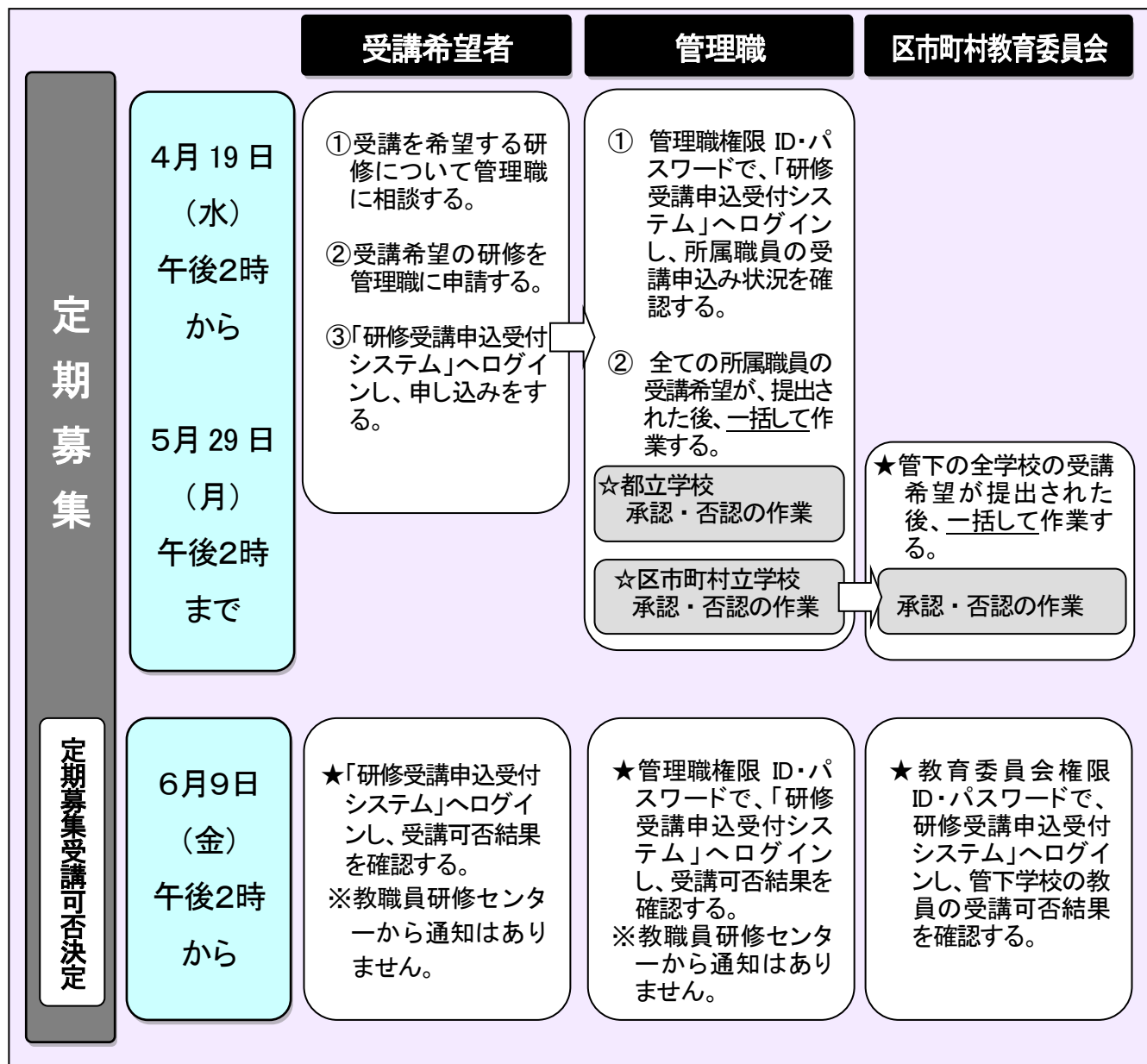
7812	日本語指導【Ⅱ】（アドバンス）	日本語指導が必要な児童・生徒のための授業づくり －アドバンス－	小・中・高・特	100	①7/14②8/29
7813	日本語指導【Ⅱ】（日本語の文法指導）	日本語指導が必要な児童・生徒のための授業づくり －「聞く」「話す」「読む」「書く」ための日本語指導について－	小・中・高・特	150	7/28
7814	日本語指導【Ⅱ・Ⅲ】（JSLカリキュラム）	JSLカリキュラムを学ぼう －教科と日本語指導を統合した授業実践－	小・中・高・特	30	①7/24②8/30③9月～11月
7911	特別支援教育【Ⅰ】（情報活用能力の育成）	情報活用能力の育成	小・中・高・特	400	8/31
7912	特別支援教育【Ⅰ】（特支教室及び通級向け）	困難を抱える幼児・児童・生徒への指導の充実 －特別支援教室との適切な連携について－	幼・小・中・高・特	400	9/28
7913	特別支援教育【Ⅰ】（MIM）	読めた！わかった！できた！ －読み書きアセスメントと多層指導モデルMIMの活用・演習－	小・中・高・特	400	8/17
7914	特別支援教育【Ⅰ】（手話の理解と聴覚障害児のコミュニケーション）	手話の効果的な活用法	幼・小・中・高・特	100	9/12
7915	特別支援教育【Ⅰ・Ⅱ】（一人1台の学習者用端末の活用）	一人1台の学習者用端末を活用した特別支援の指導法	特	80	9/8
7916	特別支援教育【Ⅱ・Ⅲ】（発達検査）	発達検査に基づく指導・支援を学ぼう！ －エビデンスに基づいた指導・支援の工夫－	幼・小・中・高・特	200	8月～9月配信予定
7917	特別支援教育【Ⅲ】（社会参加と自立）	社会参加と自立に向けたキャリア教育の在り方	小・中・高・特	400	9/7
7918	特別支援教育【Ⅲ】（就業の促進）	知的障害のある子供の就労を考えよう！ －進路指導の基礎・基本－	小・中・高・特	400	①8/29②8/30
8011	学校教育相談【Ⅱ】（事例検討）	校内支援会議の充実と関係機関との連携 －ヤングケアラーへの対応と生徒指導提要の理解－	小・中・高・特	50	7月～9月
8110 8111	現代教育課題【Ⅰ】（SDGs）	SDGsで子供が変わる －持続可能な社会を実現する授業づくり－	小・中・高・特	300	8/28
8112	現代教育課題【Ⅱ・Ⅲ】（教員の意識改革）	「未来の東京」に輝く学校の創造に向けた教員の意識改革	小・中・高・特	100	①7/25②7/31③8/7④8/23
8113 8114	現代教育課題【Ⅲ】（特異な才能を有する児童・生徒への対応）	特異な才能を有する児童・生徒に対する環境づくり －学校における指導や関わり方の工夫－	小・中・高・特	600	9/29
8115 8116 8117 8118	学校におけるICT機器の効果的な活用【Ⅱ】 ※校種及び第2回の日程指定	一人1台端末を効果的に活用しよう －授業・学校・家庭での日常的な活用に向けて－	小・中・高・特	160	①7月配信予定②7/24, 8/7, 8/24, 8/28
8119	学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進【Ⅱ・Ⅲ】	学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進	小・中・高・特	100	8/29
8120	小中高一貫教育理解推進【Ⅰ・Ⅱ】	12年後の生徒像から考える －教科等の指導上の工夫や特色ある教育課程の考え方－	小・中・高・特	30	6/26
8211	学級・ホームルーム経営【Ⅰ】	学級・ホームルーム経営のいろはを知ろう －児童・生徒への指導の基礎・基本－	小・中・高・特	100	6/22
8311	オリンピック・パラリンピック教育【Ⅱ】（レガシーの継承）	東京2020大会の輝きを未来へつなごう －「学校2020レガシー」で開く、共生社会への扉－	小・中・高・特	100	10/23
8312	スタートカリキュラム【Ⅱ】	幼児の育ちを小学校教育に生かそう －日常生活・各教科等のスタートカリキュラム－	幼・小・特	100	8/17
8321	食に関する指導【Ⅰ・Ⅱ】（食習慣を形成する指導）	食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣を形成する指導	小・中・高・特（栄養教諭・食育リーダー対象）	100	9/25
8411	管理職の学び場A【Ⅳ】（トリプルシンキングの実践）	トリプルシンキングの実践 －課題解決と新たな発想のために－	幼・小・中・高・特	100	8/8
8421	管理職の学び場B【Ⅳ】（戦略的思考法入門）	戦略的思考法を用いた学校経営の考え方	幼・小・中・高・特	100	8/1
8431 8432	管理職の学び場C【Ⅳ】（問題解決に資する思考法を活用した学校経営）	問題解決に資する思考法を活用した学校経営	幼・小・中・高・特	600	8/3
8511	就学前教育理解推進【Ⅰ・Ⅱ】（教諭等）	幼稚園の学びを小学校につなげる指導方法を学ぶ －幼児・児童の発達の特性に応じた指導の工夫－	幼・保・こども園	100	8/24
8512	就学前教育理解推進【Ⅲ・Ⅳ】（園長等）	学校教育のはじまりとしての幼稚園教育の発信 －幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続を図るために－	幼・保・こども園	100	8/18

令和5年度 東京都教職員研修センターにおける教員研修体系図

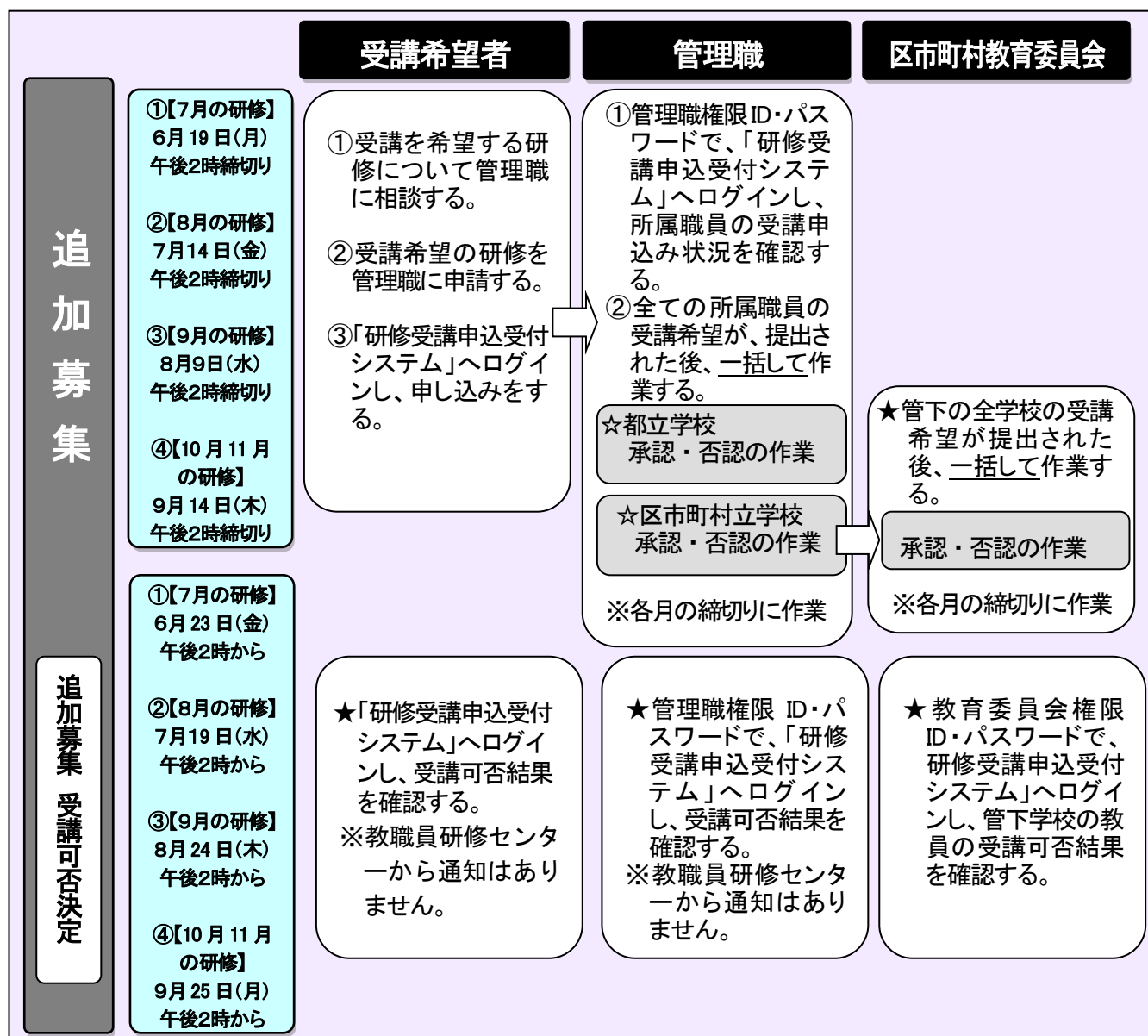


9 専門性向上研修の研修受講申込みから研修修了までの主な流れ

－「研修受講申込受付システム」から申請します－



★定期募集期間で定員に達した研修は、追加募集はしません。



研修の実施	実施前	★文書による開催通知等はありません。 ★必ず、研修受講前日の正午以降に、「研修受講申込受付システム」で、日程、会場、内容、持ち物、課題等に変更がないかを確認してください。
	当日	★受講の際に持参するもの(「名札(所属校で使用のもの)」「二次元コード」「筆記用具」その他、「研修受講申込受付システム」に記載されているもの)
	実施後	★「研修記録(受講者用)」等を活用して、所属長に受講状況を報告するとともに成果還元を行ってください。
	2月下旬	★研修受講結果は、「研修受講申込受付システム」から確認してください。

東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標（栄養教諭）
～教職生涯を通じて学び続ける、新たな教師の学びの実現～

本指標は、教員自らが資質の向上に努められるよう、職層や成長段階に応じて身に付けるべき力を示しています。なお、現在よりも下位の職層や成長段階で示されている力は、既に身に付いているものとして構成しています。

教 員							教育管理職等									
職層・成長段階		栄養教諭		主任栄養教諭		主幹教諭(栄養)		職層	教育管理職候補		教育管理職					
		基礎形成期・伸長期		充実期		5年目～			主幹教諭		副校長		校長			
		1年目～		3年目～					副校長		校長					
求められる役割や能力		○ 食に関する指導を推進するとともに、学校栄養職員としての知識や経験に基づき、同僚や教諭等、及び地区内の食育リーダー等への指導的役割を担う。		○ 主幹教諭を補佐しながら、校務分掌などにおける学校運営上の重要な職務を遂行する。		○ 管理職を補佐しながら、教員を指導・育成するとともに、積極的に学校経営に関与する。		求められる役割	○ 学校経営方針を受けて、他の教員に対してリーダーシップを発揮することで副校長を支え、管理職として必要な学校経営ができる力を身に付ける。		○ 学校経営方針の具現化に向けた方策を作成・提示し、リーダーシップを発揮して教育活動の改善の中心となり、校長と共に学校を経営する。		○ 学校内外の実態把握に基づいた学校経営方針を作成・提示し、広い視野でリーダーシップを発揮して学校改革を推進する。			
		○ 食に関する指導や学校給食の管理における栄養教諭としての基礎的な力を身に付けるとともに実践に生かすことができる。		○ 専門的な知識・技能を活用し、校務を処理するとともに同僚や教諭等に対して助言や支援を行い、地区内の栄養教諭及び食育リーダー等への指導的役割を担うことができる。		○ 教員に対して指導・助言し、保護者・地域・関係機関等と連携して担当する校務を処理することができる。			○ 教職員のコミュニケーションにより自校の課題を捉えて解決策を立案し、課題解決に向けて参画する。		○ 教職員の状況変化に敏感に捉え、組織的な課題解決に向けて、校長と共に働きやすい職場環境を推進する。		○ 教職員の状況等を的確に把握し、個々の能力が最大限に発揮できる人材配置と働きやすい職場環境を構築し、推進する。			
									○ 学校内外との良好なコミュニケーションを実践し、学校の教育力を高める方を提案する。		○ 学校内外とのコミュニケーションの中心的役割を担い、学校の教育力を高める。		○ 学校内外との良好なコミュニケーションを推進して、学校をとりまく関係者の相互作用により、学校の教育力を最大化する。			
公教育に携わる者として磨き続けるもの「使命感」「教育的愛情」「人権意識」「倫理観」など																
職層・成長段階		栄養教諭		主任栄養教諭		主幹教諭(栄養)		職層	教育管理職候補		教育管理職					
		基礎形成期・伸長期		充実期		5年目～			主幹教諭		副校長		校長			
		1年目～		3年目～												
教職に必要な素養	A 学校学習食の導 関管力 するに 力	① 学習指導要領の趣旨を踏まえるとともに教育課程に基づき教育活動の質の向上を図ることの意義を理解することができる。		① 同僚や教諭等と協働した授業研究や、指導上の課題を捉えた指導・助言をすることができる。		① 年間授業計画の実施状況を把握し、学年主任や教科主任に指導・助言をすることができる。		学校 マネ ジメ ン ト 能 力	E 学校 経営 力	① 学校経営方針に基づき、担当した分掌における課題について解決策を提案し、教職員を支援・指導して課題を解決することができる。		① 学校経営方針を踏まえ、全教職員を適材適所に配置して、組織的に学校の課題を解決することができる。		① 学校経営目標達成のため、学校経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。		
		② 学級担任等と連携し、栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導を行い、地区内の食育リーダー等からの相談に的確に応じることができる。		② 専門的な知識・技能を活用し、地区における食育推進の意義及び背景を理解した上で、地区内の状況を把握及び管理することができる。		② 教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図るとともに、学校全体の年間授業計画や授業改善推進プラン、評価計画等を作成することができる。				② 校務分掌を超えて学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を収集・整理・分析し、管理職に提示することができる。		② 学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を多面的な視点で収集・整理・分析し、教職員に課題等を提示し、解決することができる。		② 学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を多面的な視点で収集・整理・分析し、教職員に課題等を明確に提示し、解決することができる。		
		③ 学校給食の意義及び背景を理解し、専門的な知識・技能を活用しながら、学校給食の管理を行うことができる。		③ 地区内の栄養教諭への助言や支援及び食育リーダー等への支援を行うとともに、実態や課題を捉えて解決策を提案することができる。						③ コンプライアンスを徹底して、事故等の未然防止のための具体的方策を立案し、緊急時には適切に判断し対応することができる。		③ 様々な場合を想定した事故等の未然防止策を策定し、コンプライアンスの徹底した職場環境を構築することができる。		③ 様々な危機に対する未然防止策を策定し、コンプライアンスの徹底した職場環境を構築することができる。		
		① 食に関して特別の配慮を必要とする児童・生徒に対し、校内支援体制の充実及び関係機関との連携を図りながら、個別的な指導を行うことができる。		① 自校の多様な課題について、解決策を提案することができる。		① 児童・生徒の個性や能力を把握し、地域・社会と連携しながら、自己実現に向けた生活指導・進路指導の計画を立て、推進することができる。				① 保護者等から寄せられる意見や要望を副校長と共に的確に把握し、学校内外の関係者との連携を活性化するための方策を管理職に提案することができる。		① 保護者や地域、関係機関等の意見や要望を的確に把握し、地域・社会の教育資源の活用や関係諸機関との連携を積極的に進めて、校長の助言を受け、適切に対応することができる。		① 保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、連携・協働しつつ、適切に地域・社会の教育資源を活用した学校経営を行うことができる。		
	B 進路指導力・ 生活指導力	② 生活指導上の課題に直面した際、他の教員に相談しながら解決することができる。		② 児童・生徒がもつ個々の思いや悩み等を受け止め、学校生活への適応や人格の成長への援助を行うことができる。		② 児童・生徒の観察や、他の教員や関係機関等との連携からの情報収集に基づき、自校の多様な課題を捉え、管理職と連携して、個に応じた指導や集団指導の改善策を提案し、実行することができる。				F 外部折衝力	① 他教員と協力するとともに意思の疎通を図り、職務遂行上の課題や能力開発について相談に応じたり助言したりすることができる。		① 他教員と協力するとともに意思の疎通を図り、職務遂行上の課題や能力開発について相談に応じたり助言したりすることができる。		① 他教員と協力するとともに意思の疎通を図り、職務遂行上の課題や能力開発について相談に応じたり助言したりすることができる。	
		③ 食育の推進について、他の教員・保護者・地域・関係機関と連携協働して取り組むことができる。		① 関係機関に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどして、円滑な関係を築くことができる。		① 他教員と協力するとともに意思の疎通を図り、職務遂行上の課題や能力開発について相談に応じたり助言したりすることができる。					① 他教員と協力するとともに意思の疎通を図り、職務遂行上の課題や能力開発について相談に応じたり助言したりすることができる。		① 他教員と協力するとともに意思の疎通を図り、職務遂行上の課題や能力開発について相談に応じたり助言したりすることができる。		① 他教員と協力するとともに意思の疎通を図り、職務遂行上の課題や能力開発について相談に応じたり助言したりすることができる。	
	C 携・外折衝 と力の連 携	② 課題に応じて、他の教員・保護者・地域・関係機関と円滑なコミュニケーションを図り、連携協働を通じて解決に向けて取り組むことができる。		② 自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教員・保護者・地域・関係機関との連携協働を通じて、教育活動をより充実させることができる。		② 保護者・地域・関係機関からの要望等に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。				G 人材育成力	① 授業や学級経営等について他の教職員に指導・助言するとともに、人材育成上の情報を管理職に適切に提示することができる。		① 校長と共に授業観察等を積極的に行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の教職員に合った能力開発と人材育成を行うことができる。		① 多様な情報による人事考課制度を有効に活用し、教職員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補者等の人材発掘と人材育成を行うことができる。	
		① 学校及び教諭の意義、社会的役割・服務の厳正に努め、組織の一員として校務に積極的に参画することができる。		① 主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、担当する校務分掌の職務について、同僚や教諭等に指導・助言することができる。		① 学校教育を取り巻く環境の変化に合わせて常に学び続けるとともに、中・長期的な視点での教員の人材育成を推進することができる。					① 学校教育を取り巻く環境の変化に合わせて常に学び続けるとともに、中・長期的な視点での教員の人材育成を推進することができる。		① 学校教育を取り巻く環境の変化に合わせて常に学び続けるとともに、中・長期的な視点での教員の人材育成を推進することができる。		① 学校教育を取り巻く環境の変化に合わせて常に学び続けるとともに、中・長期的な視点での教員の人材育成を推進することができる。	
	D 組織貢献 運 営 力	② 食に関する指導の全体計画の策定など、担当する校務分掌についての企画・立案や改善策を提案することができる。		② 学校の課題を捉え、対応策等について管理職や主幹教諭に提案することができる。		② 学校組織マネジメントの意義を理解した上で、校務分掌全体の進行管理や分掌間の調整をするとともに、管理職と十分協議して、校長の指示の下、学校運営することができる。				H 高 い 見 て 識 の 者	② 学校の課題解決に向けて、教職員のニーズを踏まえた校内研修等について管理職に提案し、教職員を指導・育成することができる。		② 教育課題や教職員のニーズに対応した協働的な校内研修やOJT等を組織的に推進し、教職員が学びに向かう研修環境を整えることができる。		② 教育課題や教職員のニーズに対応した協働的な校内研修やOJT等を推進して教職員の自律的な成長を促し、人材育成を活性化することができる。	
		③ 児童・生徒の安全に関する知識、思考力、判断力や行動力、危険を予測し回避する能力、他者や社会の安全への貢献力の向上のための指導をすることができる。		③ 児童・生徒一人一人の可能性や活躍の場を引き出す集団づくりを行い、児童・生徒に自己有用感をもたせることができる。		③ 児童・生徒の観察や、他の教員や関係機関等との連携からの情報収集に基づき、自校の多様な課題を捉え、管理職と連携して、個に応じた指導や集団指導の改善策を提案し、実行することができる。					③ 児童・生徒の観察や、他の教員や関係機関等との連携からの情報収集に基づき、自校の多様な課題を捉え、管理職と連携して、個に応じた指導や集団指導の改善策を提案し、実行することができる。		③ 児童・生徒の観察や、他の教員や関係機関等との連携からの情報収集に基づき、自校の多様な課題を捉え、管理職と連携して、個に応じた指導や集団指導の改善策を提案し、実行することができる。		③ 児童・生徒の観察や、他の教員や関係機関等との連携からの情報収集に基づき、自校の多様な課題を捉え、管理職と連携して、個に応じた指導や集団指導の改善策を提案し、実行することができる。	
E 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		① 特別支援教育等に関して身に付けた知識に基づき、児童・生徒の実態を把握するとともに、他の教員・保護者と連携して個別指導計画等を作成し支援することができる。		① 多様な児童・生徒のニーズに対応するために必要となる知識や方法を身に付け、学習上・生活上の配慮や支援を工夫することができる。		① 主任教諭等への指導・助言や発信を通して、校内の特別な配慮等が必要な児童・生徒への支援・教育を組織的に推進することができる。		E 特別な配慮や支援への対応		① 特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を、提案することができる。		① 特別な配慮や支援への対応に関する体制整備等を推進し、関係機関と連携して充実を図ることができる。		① 特別な配慮や支援への対応について、学校全体で取り組むための組織編制を行い、組織全体で推進することができる。		
F デジタルや情報・教育データの利活用		① デジタル技術を適切に活用して、児童・生徒の食に関する指導や学校給食の管理を効果的・効率的に進めることができる。		① デジタル技術を適切に活用して児童・生徒の食に関する課題を把握し、適切な指導計画を作成して食に関する指導等を行うとともに、同僚や教諭等の指導の状況を把握し、指導・助言することができる。		① デジタル技術の効果的な活用等に向けた研修計画の策定や、情報活用能力の育成に向けた学校全体での体系的な指導を推進することができる。		F デジタルや教育データの利活用		① 副校長と共に、授業におけるデジタルの利活用や校務のデジタル化を推進するための具体的方策を提案することができる。		① 授業におけるデジタルの利活用や校務のデジタル化を推進するための具体的方策を策定し、教職員に示すことができる。		① 学校における教育のデジタル化に向けたロードマップを策定し、実現を図ることができる。		
		② 教育データを活用し、児童・生徒の食育や生活指導に生かしたりすることができる。		② 児童・生徒の学習改善を図ったり、食育や生活指導に生かしたりするための教育データの活用方法を提案することができる。		② 教育データを活用した業務の効率化を推進することができる。				② 校内のデジタル等の活用の推進を進行管理し、改善に向け、指導・助言を行うことができる。		② デジタル等を活用した校務の効率化の推進について進行管理し、評価及び改善案を提案することができる。		② デジタル等を効果的に活用した学校運営の組織編制を行い、点検・評価し、改善することができる。		
G 教育課題に関する対応		① 教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして課題に対する知見をもち、主体的に対応することができる。		① 教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や教諭等に対して指導・助言することができる。		① 教育課題について高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して指導・助言することができる。		G 教育課題に関する対応		① 教育課題についての高い専門性と優れた指導力を用いて、管理職に具体的かつ実現性の高い解決策を提案し、組織的な解決の中心的役割を果たすことができる。		① 学校が直面する教育課題を的確に把握して、校長を補佐して具体的かつ実現性の高い解決策を企画し、適切な進行管理の下で、組織的に解決することができる。		① 学校教育を取り巻く課題を敏感かつ的確に把握して、取り組むべき課題や優先順位、役割分担を提示し、適切な進行管理の下で、組織的に解決することができる。		

東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標
～教職生涯を通じて学び続ける、新たな教師の学びの実現～

本指標は、教員自らが資質の向上に努められるよう、職層や成長段階に応じて身に付けるべき力を示しています。なお、現在よりも下位の職層や成長段階で示されている力は、既に身に付いているものとして構成しています。

教 員							教育管理職等						
職層・成長段階		教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	職層	教育管理職候補		教育管理職			
		基礎形成期	伸長期	充実期	主幹教諭			主幹教諭	副校長	校長			
		1～3年目	4年目～	9年目～	11年目～								
求められる役割や能力	○ 学習指導、生活指導や学級経営において直面する課題に対して、適切に対応する。	○ 主任教諭を補佐しながら、分掌組織の一員として職務を遂行する。	○ 主幹教諭を補佐しながら、校務分掌などにおける学校運営上の重要な職務を遂行する。	○ 都公立学校教員全体の授業力の向上を図る。	○ 管理職を補佐しながら、教員を指導・育成するとともに、積極的に学校経営に関与する。	求められる役割	○ 学校経営方針を受けて、他の教員に対してリーダーシップを発揮することで副校長を支え、管理職として必要な学校経営ができる力を身に付ける。	○ 学校経営方針の具現化に向けた方策を作成・提示し、リーダーシップを発揮して教育活動の改善の中心となり、校長と共に学校を経営する。	○ 学校内外の実態把握に基づいた学校経営方針を作成・提示し、広い視野でリーダーシップを発揮して学校改革を推進する。				
	○ 学習指導、生活指導や学級経営における教員としての基礎的な力を身に付けるとともに実践に生かすことができる。	○ 自分の能力開発について謙虚に自己研さんに励み、知識や経験に基づく実践力を高めることができる。	○ 教育指導の専門性を活用し、校務を処理するとともに同僚や教諭等に対して助言や支援を行うことができる。	○ 高い専門性と優れた指導力を活用し、自校や他校の教員の人材育成を推進することができる。	○ 教員に対して指導・助言し、保護者・地域・関係機関等と連携して担当する校務を処理することができる。		○ 教職員のコミュニケーションにより自校の課題を捉えて解決策を立案し、課題解決に向けて参画する。	○ 教職員の状況変化を敏感に捉え、組織的な課題解決に向けて、校長と共に働きやすい職場環境を推進する。	○ 教職員の状況等を的確に把握し、個々の能力が最大限に発揮できる人材配置と働きやすい職場環境を構築し、推進する。	○ 学校内外との良好なコミュニケーションを推進して、学校をとりまく関係者の相互作用により、学校の教育力を最大化する。			
公教育に携わる者として磨き続けるもの「使命感」「教育的愛情」「人権意識」「倫理観」 など													
職層・成長段階		教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	職層	教育管理職候補		教育管理職			
		基礎形成期	伸長期	充実期	主幹教諭			主幹教諭	副校長	校長			
		1～3年目	4年目～	9年目～	11年目～								
教員が身に付けるべき力	A 学習指導力	① 学習指導要領の趣旨を踏まえとともに、教育課程に基づき教育活動の質の向上を図ることの意義を理解し、ねらいに迫るための指導計画と評価計画の作成及び学習指導をすることができる。	① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた、学習者中心の授業をすることができる。	① 模範となる自らの授業を積極的に公開するとともに、自校や他校の求めに応じて授業を観察し、指導・助言をすることができる。	① 年間授業計画の実施状況を把握し、学年主任や教科主任に指導・助言をすることができる。	学校マネジメント能力	H 学校経営力	① 学校経営方針に基づき、担当した分掌における課題について解決策を提案し、教職員を支援・指導して課題を解決することができる。	① 学校経営方針を踏まえ、全教職員を適材適所に配置して、組織的に学校の課題を解決することができる。	① 学校経営目標達成のため、学校経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。			
		② 児童・生徒の学習の状況や指導計画・評価計画を振り返り、授業改善を図ることができる。	② 同僚や教諭等と協働した授業研究や、指導上の課題を捉えた指導・助言をすることができる。	② 教科指導資料等の開発、模範となる教科指導のための教材開発を行うことができる。	② 教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図るとともに、学校全体の年間授業計画や授業改善推進プラン、評価計画等を作成することができる。			② 校務分掌を超えて学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を収集・整理・分析し、校長と共に教職員に課題等を提示し、解決することができる。	② 学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を多面的な視点で収集・整理・分析し、教職員に課題等を明確に提示し、解決することができる。				
		③ 児童・生徒の興味・関心を引き出し、個に応じた指導を行うことができる。	③ 教材の研究及び実践に努め、各教科等の専門的知識を身に付けるとともに、授業に生かすことができる。	③ 授業改善や授業評価について、実態や課題を捉え、解決策を提案することができる。	③ 児童・生徒の観察や、他の教員や関係機関等との連携による情報収集に基づき、自校の多様な課題を捉え、管理職と連携して、個に応じた指導や集団指導の改善策を提案し、実行することができる。			③ 様々な場合を想定した事故等の未然防止策を具体的に策定し、コンプライアンスの徹底した職場環境を構築することができる。	③ 様々な危機に対する未然防止策を策定し、コンプライアンスの徹底した職場環境を構築することができる。				
		④ 教材の研究及び実践に努め、各教科等の専門的知識を身に付けるとともに、授業に生かすことができる。	④ 教材の研究及び開発に努め実践に生かし、各教科等の専門的知識を深めることができる。	④ 自校の多様な課題について、解決策を提案することができる。	④ 児童・生徒の個性や能力を把握し、地域・社会と連携しながら、自己実現に向けた生活指導・進路指導の計画を立て、推進することができる。			④ 校長と共に授業観察等を積極的に行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の教職員に合った能力開発と人材育成を行うことができる。	④ 教育課題や教職員のニーズに対応した協働的な校内研修やOJT等を組織的に推進し、教職員が学びに向き合う研修環境を整えることができる。				
	B 進路指導力・生活指導力	① 児童・生徒の良さや可能性を伸ばしながら、キャリア教育の計画を立てることができる。	① 児童・生徒の個性や能力の伸長及び社会性の育成を通して自己実現を図る指導を行うことができる。	① 児童・生徒がもつ個々の思いや悩み等を受け止め、学校生活への適応や人格の成長への援助を行うことができる。	① 児童・生徒の観察や、他の教員や関係機関等との連携による情報収集に基づき、自校の多様な課題を捉え、管理職と連携して、個に応じた指導や集団指導の改善策を提案し、実行することができる。			I 外部折衝力	① 保護者等から寄せられる意見や要望を副校長と共に的確に把握し、学校内外の関係者との連携を活性化するための方策を管理職に提案することができる。	① 保護者や地域、関係機関等の意見や要望を的確に把握し、地域・社会の教育資源の活用や関係諸機関との連携を積極的に進めて、校長の助言を受け、適切に対応することができる。	① 保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、連携・協働しつつ、適切に地域・社会の教育資源を活用した学校経営を行うことができる。		
		② 生活指導上の課題に直面した際、他の教員に相談しながら解決することができる。	② 他学級等の生活指導上の課題について共に対応したり、効果的な指導方法について助言したりすることができる。	② 児童・生徒一人一人の可能性や活躍の場を引き出す集団づくりを行い、児童・生徒に自己有用感をもたせることができる。	② 学校の課題を捉え、対応策等について管理職や主幹教諭に提案することができる。				② 校長と共に授業観察等を積極的に行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の教職員に合った能力開発と人材育成を行うことができる。	② 教育課題や教職員のニーズに対応した協働的な校内研修やOJT等を組織的に推進し、教職員が学びに向き合う研修環境を整えることができる。			
	C 携・外部折衝力・連携	① 保護者会等の進め方を理解し、保護者と良好な人間関係を構築することができる。	① 学校からの情報発信や広報、関係機関からの情報収集を適切に行うことができる。	① 関係機関に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどとして、円滑な関係を築くことができる。	① 他の教員と協力するとともに意思の疎通を図り、職務遂行上の課題や能力開発について相談に応じたり助言したりすることができる。			J 人材育成力	① 授業や学級経営等について他の教職員に指導・助言するとともに、人材育成上の情報を管理職に適切に提示することができる。	① 校長と共に授業観察等を積極的に行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の教職員に合った能力開発と人材育成を行うことができる。	① 多様な情報による人事考課制度を有効に活用し、教職員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補者等の人材発掘と人材育成を行うことができる。		
		② 課題に応じて、他の教員・保護者・地域・関係機関と円滑なコミュニケーションを図り、連携協働を通じて解決に向けて取り組むことができる。	② 他校の教員・保護者・地域・関係機関と連携協働し、課題を解決することができる。	② 自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教員・保護者・地域・関係機関との連携協働を通じて、教育活動をより充実させることができる。	② 保護者・地域・関係機関からの要望等に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。				② 学校の課題解決に向けて、教職員のニーズを踏まえた校内研修等について管理職に提案し、教職員を指導・育成することができる。	② 教育課題や教職員のニーズに対応した協働的な校内研修やOJT等を組織的に推進し、教職員が学びに向き合う研修環境を整えることができる。			
	D 組織貢献力・学校運営能力	① 学校及び教職の意義、社会的役割・服務の厳正に努め、組織の一員として校務に積極的に参画することができる。	① 担当する分掌についての企画・立案や改善策を提案するなど、校務へ積極的に参画し、組織内で自らの役割を果たすことができる。	① 主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、担当する校務分掌の職務について、同僚や教諭等に指導・助言することができる。	① 学校教育を取り巻く環境の変化に合わせて常に学び続けるとともに、指導力の向上に関する教員の人材育成を推進することができる。			K 高といし教育識の者	① 東京都教育委員会及び所属する区市町村教育委員会の教育目標や教育施策を理解し、実践することができる。	① 地域・保護者等のニーズを把握し、教育課題や教育施策に関する見識を生かし、校長の学校経営方針を具現化することができる。	① 社会の変化を的確に捉え、教育に対する地域、保護者等都民の期待やニーズを把握し、中長期的視点と教育理念に基づいた学校経営を行い、期待に応えることができる。		
		② 担当する分掌の職務及び役割を理解し、適切に対応して校務を処理することができる。	② 他校の教員・保護者・地域・関係機関と連携協働し、課題を解決することができる。	② 自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教員・保護者・地域・関係機関との連携協働を通じて、教育活動をより充実させることができる。	② 学校の課題を捉え、対応策等について管理職や主幹教諭に提案することができる。				② 学校の課題解決に向けて、教職員のニーズを踏まえた校内研修等について管理職に提案し、教職員を指導・育成することができる。	② 教育課題や教職員のニーズに対応した協働的な校内研修やOJT等を組織的に推進し、教職員が学びに向き合う研修環境を整えることができる。			
	教職に必要な素養	E 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	① 特別支援教育等に関して身に付けた知識に基づき、児童・生徒の実態を把握するとともに、他の教員・保護者と連携して個別指導計画等を作成し支援することができる。	① 多様な児童・生徒のニーズに対応するために必要となる知識や方法を身に付け、学習上・生活上の配慮や支援を工夫することができる。	① 主任教諭等への指導・助言や発信を通して、校内の特別な配慮等が必要な児童・生徒への支援・教育を組織的に推進することができる。			E 特別な配慮や支援への対応	① 特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を、提案することができる。	① 特別な配慮や支援への対応に関する体制整備等を推進し、関係機関と連携して充実を図ることができる。	① 特別な配慮や支援への対応について、学校全体で取り組むための組織編制を行い、組織全体で推進することができる。		
		F デジタルや情報・教育データの利活用	① デジタル技術の活用や、情報活用能力の育成に向けた授業を実施することができる。	① デジタル技術の効果的な活用や、情報活用能力の育成に向けた授業を実施することができる。	① デジタル技術の活用や情報活用能力の育成に関する、適切な指導計画を作成し授業実践等を行うとともに、同僚や教諭等の指導の状況を把握し、指導・助言することができる。				F デジタルや教育データの利活用	① 副校長と共に、授業におけるデジタルの利活用や校務のデジタル化を推進するための具体的な方策を提案することができる。	① 授業におけるデジタルの利活用や校務のデジタル化を推進するための具体的な方策を策定し、教職員に示すことができる。	① 学校における教育のデジタル化に向けたロードマップを策定し、実現を図ることができる。	
② 教育データを活用し、児童・生徒の学習改善を図ったり、生活指導に生かしたりすることができる。		② 教育データを活用し、児童・生徒の学習改善や生活指導に生かすことについて、初任者等に指導・助言することができる。	② 児童・生徒の学習改善を図るために、教育データを活用した授業を提案することができる。	② 児童・生徒の学習改善を図るために、教育データを活用した業務の効率化を推進することができる。	② 校内のデジタル等の活用の推進を進行管理し、改善に向け、指導・助言を行うことができる。	② デジタル等を活用した校務の効率化の推進について進行管理し、評価及び改善案を提案することができる。	② デジタル等を効果的に活用した学校運営の組織編制を行い、点検・評価し、改善することができる。						
G 教育課題に関する対応	① 教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして課題に対する知見をもち、主体的に対応することができる。	① 教育課題についての理解を深め、主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として、課題解決のために貢献することができる。	① 教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や教諭等に対して指導・助言することができる。	① 教育課題について高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して指導・助言することができる。	G 教育課題に関する対応	① 教育課題についての高い専門性と優れた指導力を用いて、管理職に具体的なかつ実現性の高い解決策を提案し、組織的な解決の中心的役割を果たすことができる。	① 学校が直面する教育課題を的確に把握して、校長を補佐して具体的なかつ実現性の高い解決策を企画し、適切な進行管理の下で、組織的に解決することができる。	① 学校教育を取り巻く課題を敏感かつ的確に把握して、取り組むべき課題や優先順位、役割分担を提示し、適切な進行管理の下で、組織的に解決することができる。					

東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標（養護教諭）
～教職生涯を通じて学び続ける、新たな教師の学びの実現～

本指標は、教員自らが資質の向上に努められるよう、職層や成長段階に応じて身に付けるべき力を示しています。なお、現在よりも下位の職層や成長段階で示されている力は、既に身に付いているものとして構成しています。

教 員						教育管理職等											
職層・成長段階		養護教諭		主任養護教諭		主幹教諭(養護)		職層	教育管理職候補		教育管理職						
		基礎形成期		伸長期		充実期			主幹教諭		副校長		校長				
		1～3年目		4年目～		9年目～			11年目～								
求められる役割や能力		○養護教諭の職務において直面する諸課題に対して、適切に対応する。		○主任教諭を補佐しながら、分掌組織の一員として職務を遂行する。		○主幹教諭を補佐しながら、校務分掌などにおける学校運営上の重要な職務を遂行する。		○管理職を補佐しながら、教員を指導・育成するとともに、積極的に学校経営に関与する。		求められる役割		○学校経営方針を受けて、他の教員に対してリーダーシップを発揮することで副校長を支え、管理職として必要な学校経営ができる力を身に付ける。		○学校経営方針の具現化に向けた方策を作成・提示し、リーダーシップを発揮して教育活動の改善の中心となり、校長と共に学校を経営する。		○学校内外の実態把握に基づいた学校経営方針を作成・提示し、広い視野でリーダーシップを発揮して学校改革を推進する。	
		○保健管理や保健指導、保健室経営における養護教諭としての基礎的な力を身に付けるとともに実践に生かすことができる。		○自分の能力開発について謙虚に自己研さんに励み、知識や経験に基づく実践力を高めることができる。		○専門的な知識・技能を活用し、校務を処理するとともに同僚や教諭等に対して助言や支援を行うことができる。		○教員に対して指導・助言し、保護者・地域・関係機関等と連携して担当する校務を処理することができる。				○教職員のコミュニケーションにより自校の課題を捉えて解決策を立案し、課題解決に向けて参画する。		○教職員の状況変化を敏感に捉え、組織的な課題解決に向けて、校長と共に働きやすい職場環境を推進する。		○教職員の状況等を的確に把握し、個々の能力が最大限に発揮できる人材配置と働きやすい職場環境を構築し、推進する。	
公教育に携わる者として磨き続けるもの「使命感」「教育的愛情」「人権意識」「倫理観」など																	
職層・成長段階		養護教諭		主任養護教諭		主幹教諭(養護)		職層	教育管理職候補		教育管理職						
		基礎形成期		伸長期		充実期			主幹教諭		副校長		校長				
		1～3年目		4年目～		9年目～			11年目～								
教員が身に付けるべき力	A 学習指導力・保健管理に 関する能力	① 学習指導要領の趣旨を踏まえるとともに教育課程に基づき教育活動の質の向上を図ることの意義を理解し、各教科主任や学級担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育を適切に行うことができる。		① 同僚や教諭等と協働した授業研究や、指導上の課題を捉えた指導・助言をすることができる。		① 年間授業計画の実施状況を把握し、学年主任や教科主任に指導・助言をすることができる。		学校マネジメント能力	H 学校経営力	① 学校経営方針に基づき、担当した分掌における課題について解決策を提案し、教職員を支援・指導して課題を解決することができる。		① 学校経営方針を踏まえ、全教職員を適材適所に配置して、組織的に学校の課題を解決することができる。		① 学校経営目標達成のため、学校経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。			
		② 児童・生徒の健康状況を把握し、救急処置、健康診断、疾病予防などの保健管理を適切に行うことができる。		② 児童・生徒の健康状況を把握し、保健管理を適切に行い、実態や課題を捉えて解決策を提案することができる。		② 教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図るとともに、学校全体の年間授業計画や授業改善推進プラン、評価計画等を作成することができる。				② 校務分掌を越えて学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を収集・整理・分析し、管理職に提示することができる。		② 学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を収集・整理・分析し、校長と共に教職員に課題等を提示し、解決することができる。		② 学校経営に関わる様々なデータや内外環境に関する情報を多面的な視点で収集・整理・分析し、教職員に課題等を明確に提示し、解決することができる。			
	① 他の教員と連携し、健康相談や心身の健康観察、情報収集を行いながら、児童・生徒理解を深めることができる。		① 校内支援体制の充実を図り、個別の保健指導や健康相談を行いながら、児童・生徒と信頼関係を構築することができる。		① 児童・生徒がもつ個々の思いや悩み等を受け止め、学校生活への適応や人格の成長への援助を行うことができる。		① 児童・生徒の個性や能力を把握し、地域・社会と連携しながら、自己実現に向けた生活指導・進路指導の計画を立て、推進することができる。			③ コンプライアンスを徹底して、事故等の未然防止のための具体的方策を提案し、緊急時には適切に判断し対応することができる。		③ 様々な場合を想定した事故等の未然防止策を具体的に策定し、コンプライアンスの徹底した職場環境を構築することができる。		③ 様々な危機に対する未然防止策を策定し、コンプライアンスの徹底した職場環境を構築することができる。			
	② 生活指導上の課題に直面した際、管理職等に報告し、関係者と相談しながら解決することができる。		② 学年や学級の生活指導上の課題について共に対応したり、効果的な指導方法について助言したりすることができる。		② 自校の多様な課題について、解決策を提案することができる。		② 児童・生徒の観察や、他の教員や関係機関等との連携による情報収集に基づき、自校の多様な課題を捉え、管理職と連携して、個に応じた指導や集団指導の改善策を提案し、実行することができる。			④ 緊急時には適切に判断し、課題解決のための中心的役割を担うことができる。		④ 緊急時には適切に判断し、迅速な対応を行うことにより状況を打開することができる。					
	B 生活指導力・進路指導力	① 健康課題や発達の課題に応じた対応及び健康の保持増進について、他の教員・保護者・地域・関係機関と連携協働して取り組むことができる。		① 健康課題や発達の課題に応じた対応及び健康の保持増進について、他の教員・保護者・地域・関係機関と連携協働し、課題を解決することができる。		① 関係機関に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどして、円滑な関係を築くことができる。			① 他の教員と協力するとともに意思の疎通を図り、職務遂行上の課題や能力開発について相談に応じたり助言したりすることができる。		① 保護者等から寄せられる意見や要望を副校長と共に的確に把握し、学校内外の関係者との連携を活性化するための方策を管理職に提案することができる。		① 保護者や地域、関係機関等の意見や要望を的確に把握し、地域・社会の教育資源の活用や関係諸機関との連携を積極的に進めて、校長の助言を受け、適切に対応することができる。		① 保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、連携・協働しつつ、適切に地域・社会の教育資源を活用した学校経営を行うことができる。		
		② 課題に応じて、他の教員・保護者・地域・関係機関と円滑なコミュニケーションを図り、連携協働を通じて解決に向けて取り組むことができる。		② 情報発信や広報、関係機関からの情報収集を適切に行うことができる。		② 自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教員・保護者・地域・関係機関との連携協働を通して、教育活動をより充実させることができる。			② 保護者・地域・関係機関からの要望等に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。		① 授業や学級経営等について他の教職員に指導・助言するとともに、人材育成上の情報を管理職に適切に提示することができる。		① 校長と共に授業観察等を積極的に行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の教職員に合った能力開発と人材育成を行うことができる。		① 多様な情報による人事考課制度を有効に活用し、教職員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補者等の人材発掘と人材育成を行うことができる。		
	C 携外部との連携力	① 健康課題や発達の課題に応じた対応及び健康の保持増進について、他の教員・保護者・地域・関係機関と連携協働して取り組むことができる。		① 健康課題や発達の課題に応じた対応及び健康の保持増進について、他の教員・保護者・地域・関係機関と連携協働し、課題を解決することができる。		① 関係機関に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどして、円滑な関係を築くことができる。			① 他の教員と協力するとともに意思の疎通を図り、職務遂行上の課題や能力開発について相談に応じたり助言したりすることができる。		① 保護者等から寄せられる意見や要望を副校長と共に的確に把握し、学校内外の関係者との連携を活性化するための方策を管理職に提案することができる。		① 保護者や地域、関係機関等の意見や要望を的確に把握し、地域・社会の教育資源の活用や関係諸機関との連携を積極的に進めて、校長の助言を受け、適切に対応することができる。		① 保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、連携・協働しつつ、適切に地域・社会の教育資源を活用した学校経営を行うことができる。		
		② 課題に応じて、他の教員・保護者・地域・関係機関と円滑なコミュニケーションを図り、連携協働を通じて解決に向けて取り組むことができる。		② 情報発信や広報、関係機関からの情報収集を適切に行うことができる。		② 自身や学校の強み・弱みを理解し、他の教員・保護者・地域・関係機関との連携協働を通して、教育活動をより充実させることができる。			② 保護者・地域・関係機関からの要望等に対して、円滑かつ迅速な対応を図ることができる。		① 授業や学級経営等について他の教職員に指導・助言するとともに、人材育成上の情報を管理職に適切に提示することができる。		① 校長と共に授業観察等を積極的に行い、全教職員の適性や能力を把握し、個々の教職員に合った能力開発と人材育成を行うことができる。		① 多様な情報による人事考課制度を有効に活用し、教職員の能力開発を行うとともに、副校長や管理職候補者等の人材発掘と人材育成を行うことができる。		
	D 学校運営能力・組織貢献能力	① 学校及び教職の意義、社会的役割・服務の厳正に努め、組織の一員として、学校保健計画の策定などの校務に積極的に参画することができる。		① 学校保健計画の策定や担当する分掌についての企画・立案や改善策を提案するなど、校務へ積極的に参画し、組織内で自らの役割を果たすことができる。		① 主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、学校保健計画の策定など、担当する校務分掌の職務について、同僚や教諭等に指導・助言することができる。			① 学校教育を取り巻く環境の変化に合わせて常に学び続けるとともに、中・長期的な視点での教員の人材育成を推進することができる。		I 外部折衝力	① 保護者等から寄せられる意見や要望を副校長と共に的確に把握し、学校内外の関係者との連携を活性化するための方策を管理職に提案することができる。		① 保護者や地域、関係機関等の意見や要望を的確に把握し、地域・社会の教育資源の活用や関係諸機関との連携を積極的に進めて、校長の助言を受け、適切に対応することができる。		① 保護者や地域、関係機関等との信頼関係を築き、連携・協働しつつ、適切に地域・社会の教育資源を活用した学校経営を行うことができる。	
		② 保健室経営計画を作成し、適切な保健室経営及び保健組織活動を行うことができる。		② 学校の状況や児童・生徒の実態を踏まえて保健室経営計画を作成し、適切な保健室経営及び保健組織活動を行うことができる。		② 学校の健康課題を解決するために、保健室経営計画を作成し、適切な保健室経営及び保健組織活動を行うことができる。			② 学校組織マネジメントの意義を理解した上で、校務分掌全体の進行管理や分掌間の調整をすとともに、管理職と十分協議して、校長の指示の下、学校運営することができる。			② 学校の課題解決に向けて、教職員のニーズを踏まえた校内研修等について管理職に提案し、教職員が学びに向き合う研修環境を整えることができる。		② 教育課題や教職員のニーズに対応した協働的な校内研修やOJT等を組織的に推進し、教職員が学びに向き合う研修環境を整えることができる。		② 教育課題や教職員のニーズに対応した協働的な校内研修やOJT等を推進して教職員の自律的な成長を促し、人材育成を活性化することができる。	
E 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		① 特別支援教育等に関して身に付けた知識に基づき、児童・生徒の実態を把握するとともに、他の教員・保護者と連携して個別指導計画等を作成し支援することができる。		① 多様な児童・生徒のニーズに対応するために必要となる知識や方法を身に付け、学習上・生活上の配慮や支援を工夫することができる。		① 主任教諭等への指導・助言や発信を通して、校内の特別な配慮等が必要な児童・生徒への支援・教育を組織的に推進することができる。		J 人材育成力	① 特別な配慮や支援への対応に関する校内の特別な配慮等が必要な児童・生徒への支援・教育を組織的に推進することができる。		① 特別な配慮や支援への対応に関する体制整備等の具体的な方策を、提案することができる。		① 特別な配慮や支援への対応について、学校全体で取り組むための組織編制を行い、組織全体で推進することができる。				
F デジタルや情報・教育データの利活用		① デジタル技術を適切に活用して、児童・生徒の健康状態の把握・分析や保健管理を効果的・効率的に進めることができる。		① デジタル技術を適切に活用して、児童・生徒の健康課題の把握に役立てることができる。		① デジタル技術を適切に活用して児童・生徒の健康課題を把握し、適切な指導計画を作成して保健指導等を行うとともに、同僚や教諭等の指導の状況を把握し、指導・助言することができる。			K 教育者としての意識	① 東京都教育委員会及び所属する区市町村教育委員会の教育目標や教育施策を理解し、実践することができる。		① 地域・保護者等のニーズを把握し、教育課題や教育施策に関する見識を生かし、校長の学校経営方針を具現化することができる。		① 社会の変化を的確に捉え、教育に対する地域、保護者等都民の期待やニーズを把握し、中長期的視点と教育理念に基づいた学校経営を行い、期待に応えることができる。			
G 教育課題に関する対応		① 教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領の記述を確認するなどして課題に対する知見をもち、主体的に対応することができる。		① 教育課題についての理解を深め、主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として、課題解決のために貢献することができる。		① 教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や教諭等に対して指導・助言することができる。		F デジタルや教育データの利活用		① 副校長と共に、授業におけるデジタルの利活用や校務のデジタル化を推進するための具体的方策を提案することができる。		① 授業におけるデジタルの利活用や校務のデジタル化を推進するための具体的方策を策定し、教職員に示すことができる。		① 学校における教育のデジタル化に向けたロードマップを策定し、実現を図ることができる。			
		② 教育データや保健室の情報を活用し、児童・生徒の健康上の課題を見だし、保健教育に生かすことができる。		② 児童・生徒の健康上の課題を見だし、保健教育に生かすために、教育データや保健室の情報の活用について、初任者等に指導・助言することができる。		② 児童・生徒の学習改善を図ったり、保健教育や生活指導に生かしたりするための教育データの活用方法を提案することができる。			G 教育課題に関する対応	② 校内のデジタル等の活用の推進を進行管理し、改善に向け、指導・助言を行うことができる。		② デジタル等を活用した校務の効率化の推進について進行管理し、評価及び改善案を提案することができる。		② デジタル等を効果的に活用した学校運営の組織編制を行い、点検・評価し、改善することができる。			
		① 教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、主幹教諭を補佐するとともに、同僚や教諭等に対して指導・助言することができる。		① 教育課題についての高い専門性と優れた指導力を身に付け、学校組織における中心的な役割を担うとともに、管理職を補佐し、教員の対応力向上に関して指導・助言することができる。		① 教育課題について高い専門性と優れた指導力を用いて、管理職に具体的かつ実現性の高い解決策を提案し、組織的な解決の中心的役割を果たすことができる。				① 教育課題についての高い専門性と優れた指導力を用いて、管理職に具体的かつ実現性の高い解決策を提案し、組織的な解決の中心的役割を果たすことができる。		① 学校が直面する教育課題を的確に把握して、校長を補佐して具体的かつ実現性の高い解決策を企画し、適切な進行管理の下で、組織的に解決することができる。		① 学校教育を取り巻く課題を敏感かつ的確に把握して、取り組むべき課題や優先順位、役割分担を提示し、適切な進行管理の下で、組織的に解決することができる。			

職 層 研 修

1 受講対象者

職層研修の受講対象者は、研修ごとに指定されています。詳細については、各研修の開催通知を確認してください。

2 研修日程の確認又は申込みについて

研修日程の確認又は申込みについては、研修ごとに異なります。開催通知や各研修ページを確認してください。

3 開催通知

教育経営課から、受講対象者の所属長宛て又は区市町村教育委員会等宛てに通知します。

4 研修報告書の提出について

研修報告書を提出する指示がある研修については、提出期日までに研修報告書を提出してください。各研修報告書の様式は、開催通知や研修テキスト等で確認してください。

5 研修の修了判定について（修了判定を行う研修のみ）

教育経営課から、研修生の所属長宛て又は区市町村教育委員会等宛てに通知します。

6 研修受講に当たっての留意事項

事前課題等を提出する指示がある研修については、開催通知や研修テキスト等を確認して作成し、提出期日までに提出してください。

各研修の実施要綱に基づき、30分以上の遅刻・早退は、欠席扱いとします。

7 問合せ先

職層研修に関する問合せは、都立学校等は所属の管理職を通じて以下の各担当までお願いします。

なお、区市町村立学校は所管の教育委員会を通じて以下の各担当までお願いします。

研修	問合せ先	電話
教育管理職研修（東京都立学校長、東京都立学校副校長、東京都公立学校校長職候補者、統括指導主事）	教育経営課	03-5802-0291
教育管理職候補者研修（指導主事任用時、A、B、C）		03-5802-0283
東京都公立学校主幹教諭研修（任用時、スキルアップ）		03-5802-0294
東京都公立学校指導教諭研修（任用時）		03-5802-0291
東京都公立学校主任教諭研修（任用時、任用前）		
東京都公立学校主任研修（教務、生活指導、進路指導）		03-5802-0283
教育管理職候補者育成研修（教育行政研修、教育管理職候補者B養成講座）		
人事考課評価者訓練		

【職層研修】研修日程等の確認について

以下の研修は、**研修生が開催通知等で、日程等を確認**してください。

研修番号	研修名
1001	東京都立学校校長研修
1011	東京都公立学校校長職候補者研修
1012	東京都立学校副校長研修
1013	統括指導主事研修
1101	指導主事任用時研修
1111～1114	教育管理職候補者研修(A1年次～4年次)
1121・1122	教育管理職候補者研修(B研修Ⅱ・Ⅰ)
1131	教育管理職候補者C研修
1201	東京都公立学校主幹教諭任用時研修
1202	東京都公立学校主幹教諭スキルアップ研修
1211	東京都公立学校指導教諭任用時研修
1301	東京都公立学校主任教諭任用時研修
1302	東京都公立学校主任教諭任用前研修
1401・14042・1403	東京都公立学校主任研修(教務、生活指導、進路指導)小学校、中学校、高等学校、中等教育学校
1411・14142・1413	東京都公立学校主任研修(教務、生活指導、進路指導)特別支援学校
1501	教育行政研修
1502	教育管理職候補者B養成講座
1601	人事考課評価者訓練講師養成研修
1602	人事考課評価者訓練

★業務の都合等により指定日に受講できない場合など、研修日を変更する必要がある場合は、都立学校等は所属の管理職を通じて各研修の担当宛てにお願いします。

なお、区市町村立学校は所管の教育委員会を通じて各研修の担当宛てにお願いします。

研修番号			1001					
研修名			東京都立学校長研修					
申込方法等			指定					
ねらい			教育者として高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる力を身に付けます。					
対象校種			小・中は都立のみ 高・特					
対象教員			全都立学校長　２・３回は新任対象					
特色								
研修内容			・教職員の服務管理 ・学校経営の新たな視点 ・東京都における喫緊の教育課題 ・適切な会計処理 ・学校の経営改善の実際 ・学校経営計画の改善					
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	小・中・高・特	４月　１１　日 (火) ４月下旬～ 予定	別途通知	・教職員の服務管理 ・学校経営の新たな視点 ・東京都における喫緊の教育課題	長 G① 長 H③ 長 H④ 長 K①	集合 オンライン研修(オンデマンド)	教職員研修センター 所属校
	2	小・中・高・特	７月下旬 ～８月 予定	60 分	<新任> ・適切な会計処理	長 H①	オンライン研修(オンデマンド)	所属校
		小・中・高・特	８　月　３　日 (木)	10:30-12:30	<新任> ・学校の経営改善の実際	長 H① 長 H② 長 I① 長 J①	集合	教職員研修センター
	3	小・中・高・特	８　月　３　日 (木)	13:30-16:30	<新任> ・学校経営計画の改善	長 H① 長 H②	集合	教職員研修センター
	4	小・中・高・特	１月下旬～ 予定	別途通知	・学校経営の新たな視点	長 K①	オンライン研修(オンデマンド)	教職員研修センター

研修番号		1011						
研修名		東京都公立学校校長職候補者研修						
申込方法等		指定						
ねらい		教育者として高い見識をもち、昇任直後から校長としてリーダーシップを発揮して学校経営ができる力を身に付けます。						
対象校種		小・中・高・特						
対象教員		令和４年度東京都公立学校校長職候補者選考合格者						
特色								
研修内容		・オリエンテーション ・校長職候補者に期待すること ・感情のコントロール～体罰やハラスメントを起こさないために～ ・校長のリーダーシップ ・学校経営方針（計画）の実現と人材育成 ・学校事務職員の人事制度と業績評価 ・学校ガバナンスとコンプライアンス ・校長への期待 ・学校の危機管理～いじめの未然防止、早期発見、早期対応、重大事態への対処～ ・学校の危機管理～重大事故への対応～ ・学校経営とカリキュラム・マネジメント ・学校評価の基本的な在り方 ・学校評価と分析 ・学校経営方針（計画）の理解と作成 ・学校経営方針（計画）の作成と周知						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	小・中・高・特	6月中旬～7月中旬 予定	180分	・オリエンテーション ・校長職候補者に期待すること ・感情のコントロール～体罰やハラスメントを起こさないために～ ・校長のリーダーシップ	長 H① 長 H③ 長 J① 長 K① 長 G①	オンライン研修(オンデマンド)	所属校
	2	①小 ②中・高・特	① 7月 11日 (火) ② 7月 13日 (木)	13:30-16:30	・学校経営方針（計画）の実現と人材育成	長 J① 長 J②	集合	教職員研修センター
	3	小・中・高・特	7月下旬～8月 予定	180分	・学校事務職員の人事制度と業績評価	長 G① 長 H①	オンライン研修(オ	所属校

					・学校ガバナンスとコンプライアンス ・校長への期待	長 H③ 長 J① 長 K①	ンデマン ド)	
4	①小 ②中・高・特	① 8 月 22 日 (火) ② 8 月 24 日 (木)	9:30-12:30		・学校の危機管理 ～いじめの未然防止、早期発見、早期対応、重大事態への対応～	長 G① 長 H③ 長 H④	集合	教職員研修センター
5	①小 ②中・高・特	① 8 月 22 日 (火) ② 8 月 24 日 (木)	13:30-16:30		・学校の危機管理 ～重大事故への対応～	長 H③ 長 H④	集合	教職員研修センター
6	小・中・高・特	9 月上旬 ～9 月下旬 予定	180 分		・学校経営とカリキュラム・マネジメント ・学校評価の基本的な在り方	長 F② 長 H① 長 H② 長 I①	オンライン研修(オンデマンド)	教職員研修センター
7	①小 ②中・高・特	① 9 月 19 日 (火) ② 9 月 21 日 (木)	13:30-16:30		・学校評価と分析	長 F② 長 H②	集合	教職員研修センター
8	①小 ②中・高・特	①10 月 17 日 (火) ②10 月 19 日 (木)	9:30-12:30		・学校経営方針(計画)の理解と作成	長 H① 長 I①	集合	教職員研修センター
9	①小 ②中・高・特	①10 月 17 日 (火) ②10 月 19 日 (木)	13:30-16:30		・学校経営方針(計画)の作成と周知	長 H①	集合	教職員研修センター

研修番号		1012						
研修名		東京都立学校副校長研修						
申込方法等		指定						
ねらい		学校経営の視点で組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けます。						
対象校種		小・中は都立のみ 高・特						
対象教員		全都立学校副校長 2・3回は新任対象						
特色								
研修内容		・教職員の服務管理 ・学校経営の新たな視点 ・東京都における喫緊の教育課題 ・マスコミ対応と学校の危機管理の実際 ・適切な会計処理 ・学校問題に関する法的ポイント ・経営企画室との連携						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	小・中・高・特	4月下旬～予定	別途通知	・教職員の服務管理 ・学校経営の新たな視点 ・東京都における喫緊の教育課題	副G① 副H③ 副H④ 副K①	集合 オンライン研修(オンデマンド配信)	教職員研修センター 所属校
	2	小・中・高・特	7月下旬～8月予定	180分	<新任> ・マスコミ対応と学校の危機管理の実際 ・適切な会計処理 ・学校問題に関する法的ポイント	副H① 副H③ 副H④	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属校
	3	小・中・高・特	8月8日(火)	13:30-16:30	<新任> ・経営企画室との連携	副H① 副H② 副I① 副J①	集合	教職員研修センター
	4	小・中・高・特	1月下旬～予定	別途通知	・学校経営の新たな視点	副K①	オンライン研修(オンデマンド配信)	教職員研修センター

研修番号		1013							
研修名		統括指導主事研修							
申込方法等		指定							
ねらい		教育行政や教育課題等についての理解を深め、統括指導主事等としての資質・能力の向上を図ります。							
対象校種		小・中・高・特							
対象教員		新任統括指導主事及び新任統括学校経営支援主事							
特色									
研修内容		・統括指導主事等に期待すること ・指導主事・学校経営支援主事の育成と組織目標達成のための進行管理 ・日常の危機管理と組織的な対応の実際							
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場	
	1	小・中・高・特	5 月 9 日 (火)	13:30-16:30	・統括指導主事等に期待すること ・指導主事・学校経営支援主事の育成と組織目標達成のための進行管理 ・日常の危機管理と組織的な対応の実際	副 G① 副 H① 副 H③ 副 H④ 副 J① 副 J② 副 K①	集合	教職員研修センター	

研修番号		1101						
研修名		指導主事任用時研修						
申込方法等		指定						
ねらい		教育行政や学校訪問等に関する知識等の習得を通じて、指導主事としての資質・能力を向上させます。						
対象校種		小・中・高・特						
対象教員		令和4年度に新たに指導主事、学校経営支援主事、教育庁長期社会体験（派遣）研修生、（都民安全推進本部派遣研修生を含む）となった者						
特色								
研修内容		・指導主事の職務と教育行政における役割 ・人権教育の理解と推進 ・研修会等の企画・運営 ・一人1台の学習者用端末の効果的な活用に向けた指導・助言の在り方 ・指導と評価の一体化の推進 ・各種調査の意義の理解と進め方 ・授業力向上のための指導・助言の在り方 ・授業観察のポイントと指導・助言の実際						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	小・中・高・特	6月上旬～予定	180分	・指導主事の職務と教育行政における役割 ・人権教育の理解と推進 ・研修会等の企画・運営	管幹J① 管幹J② 管幹K①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属先
	2	小・中・高・特	7月中旬～予定	180分	・一人1台の学習者用端末の活用に向けた指導・助言の在り方 ・指導と評価の一体化の推進 ・各種調査の意義の理解と進め方	管幹F① 管幹F② 管幹K①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属先
	3	小・中・高・特	11月7日(火)	9:30-12:30	・授業力向上のための指導・助言の在り方	管幹K①	集合	教職員研修センター
	4	小・中・高・特	11月7日(火)	13:30-16:30	・授業観察のポイントと指導・助言の実際	管幹K①	集合	学校

研修番号		1111						
研修名		教育管理職候補者 A 1 年次研修（4 A）						
申込方法等		指定						
ねらい		教育施策や教育課程等に関する知識等の習得を通じて、教育管理職候補者及び指導主事として必要な資質・能力の向上を目指します。						
対象校種		小・中・高・特						
対象教員		令和4年度教育管理職A選考合格者 都教育委員会が特に指定した者						
特色								
研修内容		・アンガーマネジメント ・教育施策の理解 ・教育課程の編成・実施、管理 ・特別支援教育の理解と推進						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	小・中・高・特	5 月 24 日 (水)	14:20-16:30	・アンガーマネジメント	管幹 J① 管幹 J② 管幹 K①	集合	教職員研修センター
			6 月上旬 ～予定	50 分	・教育施策の理解	管幹 G① 管幹 K①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属先
	2	小・中・高・特	6 月 27 日 (火)	14:20-16:30	・第1回グループ研修	管幹 K①	集合	教職員研修センター
			7 月上旬 ～予定	50 分	・教育課程の編成・実施、管理	管幹 H① 管幹 J① 管幹 K①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属先
	3	小・中・高・特	10 月 6 日 (金)	14:20-16:30	・第2回グループ研修	管幹 K①	集合	教職員研修センター
			10 月中旬 ～予定	50 分	・特別支援教育の理解と推進	管幹 E①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属先

研修番号				1112					
研修名				教育管理職候補者 A 2 年次研修（3 A）					
申込方法等				指定					
ねらい				教育施策の立案や外部折衝等に関する知識等の習得を通じて、教育管理職候補者及び指導主事として必要な資質・能力の向上を目指します。					
対象校種				小・中・高・特					
対象教員				令和3年度教育管理職A選考合格者 都教育委員会が特に指定した者					
特色									
研修内容				・ 教育法規 I ・ 学校問題の未然防止と初期対応能力の向上 ・ 教職員の服務管理					
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場	
	1	小・中・高・特	5 月 17 日 (水)	13:30-16:30	・ 第 4 回グループ研修	管幹 K①	集合	教職員研修センター	
	2	小・中・高・特	6 月上旬 ～予定	180 分	・ 教育法規 I ・ 学校問題の未然防止と初期対応能力の向上 ・ 教職員の服務管理	管幹 H① 管幹 H③ 管幹 I①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属先	
	3	小・中・高・特	7 月 12 日 (水)	13:30-16:30	・ 第 5 回グループ研修	管幹 K①	集合	教職員研修センター	
	4	①小 ②中・高・特	①10 月 11 日 (水) ②10 月 13 日 (金)	13:30-16:30	・ グループ研修報告会	管幹 K①	集合	教職員研修センター	

研修番号		1113						
研修名		教育管理職候補者 A 3 年次研修（2 A）						
申込方法等		指定						
ねらい		副校長の職務や所属職員の管理等に関する知識等の習得を通じて、教育管理職として必要な資質・能力の向上を目指します。						
対象校種		小・中・高・特						
対象教員		令和 2 年度教育管理職 A 選考合格者 都教育委員会が特に指定した者						
特色								
研修内容		・教育法規Ⅱ ・教職員の労務管理 ・リスクマネジメント～学校における危機管理～ ・副校長に求められる学校経営 ・所属職員の管理 ・教育課題への対応 ・教職員のメンタルヘルス ・アンガーマネジメント						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	小・中・高・特	6 月 5 日 (月)	13:30-16:30	・副校長に求められる 学校経営力	管幹 H① 管幹 H② 管幹 H③	集合	教職員研修 センター
	2	小・中・高・特	6 月中旬 ～予定	180 分	・教育法規Ⅱ ・教職員の労務管理 ・リスクマネジメント～学 校における危機管理～	管幹 H① 管幹 H② 管幹 H③ 管幹 K①	オンライ ン研修(オ ンデマン ド配信)	所属先
	3	①小(区 部)・高 ②中・特 ③小(多摩 島しょ・教 育庁)	①9 月 8 日 (金) ②9 月 12 日 (火) ③9 月 15 日 (金)	13:30-16:30	・所属職員の管理	管幹 H① 管幹 J① 管幹 J②	集合	教職員研修 センター
	4	小・中・高・特	10 月 3 日 (火)	13:30-16:30	・教育法規演習解説 ・教育課題への対応 ・教職員のメンタルヘルス ・アンガーマネジメン ト	管幹 G① 管幹 H① 管幹 H② 管幹 H③ 管幹 I① 管幹 K①	オンラ イン研 修(ライ ブ配信 一方向)	所属先

研修番号		1114						
研修名		教育管理職候補者 A 4 年次研修（31 A）						
申込方法等		指定						
ねらい		人材育成や人事考課等に関する知識等の習得を通じて、教育管理職として必要な資質・能力の向上を目指します。						
対象校種		小・中・高・特						
対象教員		平成 31 年度教育管理職 A 選考合格者 都教育委員会が特に指定した者						
特色								
研修内容		・ 人材育成と O J T の推進 ・ 保護者・地域への対応 ・ 学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進 ・ 学校事務の理解 ・ 副校長への期待 ・ 人事考課評価者訓練						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	小・中・高・特	6 月 22 日 (木)	9:30-12:30	・人材育成と O J T の推進	管幹 H① 管幹 J① 管幹 J②	集合	教職員研修センター
	2	小・中・高・特	6 月 22 日 (木)	13:30-16:30	・保護者・地域への対応	管幹 H① 管幹 I①	集合	教職員研修センター
	3	小・中・高・特	8 月上旬 ～予定	180 分	・学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進 ・学校事務の理解 (学校事務) ・学校事務の理解 (講師任用制度) ・副校長への期待	管幹 H① 管幹 H② 管幹 H③ 管幹 K①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属先
	4	小・中・高・特	10 月 24 日 (火)	13:30-16:30	・人事考課評価者訓練	管幹 H① 管幹 J①	集合	教職員研修センター

研修番号		1121					
研修名		教育管理職候補者B研修Ⅱ（4B）					
申込方法等		指定					
ねらい		保護者等対応や危機管理等に関する知識等の習得を通じて、教育管理職として必要な資質・能力の向上を目指します。					
対象校種		小・中・高・特					
対象教員		令和4年度教育管理職B選考合格者					
特色							
研修内容		・求められる副校長の役割 ・学校における働き方改革の推進 ・特別支援教育の理解と推進 ・学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進 ・保護者・地域への対応 ・副校長に求められる学校経営力 ・所属職員の管理 ・アンガーマネジメント ・組織と意思決定 - 情報公開と個人情報の保護 ・教育法規演習解説 ・学校事務の理解（学校事務） ・学校事務の理解（時間講師制度） ・教職員のメンタルヘルス ・リスクマネジメント～学校における危機管理～ ・副校長への期待					
回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
1	小・中・高・特	6月上旬～予定	180分	・求められる副校長の役割 ・学校における働き方改革の推進 ・特別支援教育の理解と推進 ・学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進	管幹E① 管幹H① 管幹H② 管幹H③ 管幹K①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属先
2	①小（区部） ②中・特 ③小（多摩島しょ）・高	① 6月9日（金） ② 6月14日（水） ③ 6月16日（金）	13:30-16:30	・保護者・地域への対応	管幹H① 管幹I①	集合	教職員研修センター
3	①小（多摩	①9月8日	9:30-	・副校長に求められる学校経営	管幹H①	集合	教職員研修セン

教育管理職候補者研修

〔担当課:教育経営課 03-5802-0283〕

	島しょ）・ 高 ②中・特 ③小（区 部）	（金） ②9 月 12 日 （火） ③9 月 15 日 （金）	12:30	力	管幹 H② 管幹 H③		ター
4	①小(多摩 島しょ）・ 高 ②中・特 ③小（区 部）	①9 月 8 日 （金） ②9 月 12 日 （火） ③9 月 15 日 （金）	13:30- 16:30	・所属職員の管理	管幹 H① 管幹 J① 管幹 J②	集合	教職員研修セン ター
5	小・中・高・ 特	10 月下旬 ～予定	180 分	・アンガーマネジメン ト ・組織と意思決定 ・情報公開と個人情報の保護 ・教育法規演習解説 ・学校事務の理解 （学校事務） ・学校事務の理解 （時間講師制度）	管幹 H① 管幹 H② 管幹 H③ 管幹 K①	オンライ ン研修(オ ンデマン ド配信)	所属先
6	小・中・高・ 特	11 月 10 日(金)	13:30- 16:30	・教職員のメンタルヘルス ・リスクマネジメント～学校に おける危機管理～ ・副校長への期待	管幹 H① 管幹 H② 管幹 H③ 管幹 K①	集合	たましん RISURU ホール

研修番号		1122						
研修名		教育管理職候補者B研修Ⅰ（5B）						
申込方法等		指定						
ねらい		教育課程や人事考課制度、人材育成等に関する基礎的な知識等の習得を通じて、教育管理職として必要な資質・能力の向上を目指します。						
対象校種		小・中・高・特						
対象教員		令和5年度教育管理職B選考合格者						
特色								
研修内容		・教育法規Ⅰ・Ⅱ ・東京都の教育課題と副校長の役割 ・教職員の服務管理 ・人事考課評価者訓練 ・人材育成とOJTの推進 ・教育課程の編成・実施、管理 ・人権教育の理解と推進 ・教職員の労務管理 ・一人1台の学習者用端末の効果的な活用に向けた指導・助言の在り方						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	小・中・高・特	1月中旬～予定	180分	・リスクマネジメント～学校における危機管理～ ・組織と意思決定 - 情報公開と個人情報の保護 ・教職員のメンタルヘルス	管幹H① 管幹H② 管幹H③ 管幹K①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属校
	2	小・中・高・特	1月中旬～予定	180分	・教育法規Ⅰ ・東京都の教育課題と副校長の役割 ・教職員の服務管理	管幹G① 管幹H① 管幹H③ 管幹K①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属校
	3 4	小・中・高・特	1月下旬～予定	180分	・教育課程の編成・実施、管理 ・教育法規Ⅱ ・人権教育の理解と推進 ・教職員の労務管理 ・一人1台の学習者用端末の効果的な活用に向けた指導・助言の在り方	管幹F① 管幹F② 管幹H① 管幹H③ 管幹J① 管幹K①	集合	教職員研修センター
	5	①小（多摩島しょ・高） ②小（区部） ③中・特	①2月8日（木） ②2月13日（火） ③2月15日（木）	13:30-16:30	・人材育成とOJTの推進	管幹H① 管幹J① 管幹J②	集合	教職員研修センター

研修番号		1131						
研修名		教育管理職候補者 C 研修（5 C）						
申込方法等		指定						
ねらい		教育課程や人事考課制度、人材育成等に関する基礎的な知識等の習得を通じて、教育管理職として必要な資質・能力の向上を目指します。						
対象校種		小・中・高・特						
対象教員		令和5年度教育管理職C選考合格者						
特色								
研修内容		・教育法規Ⅰ・Ⅱ・演習解説 ・東京都の教育課題と副校長の役割 ・教職員の服務管理 ・人事考課評価者訓練 ・リスクマネジメント～学校における危機管理～ ・組織と意思決定 ・情報公開と個人情報の保護 ・学校事務の理解（学校事務） ・学校事務の理解（時間講師制度） ・教職員のメンタルヘルス ・アンガーマネジメント ・副校長に求められる学校経営力 ・学校における働き方改革の推進 ・人材育成とOJTの推進 ・学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進 ・特別支援教育の理解と推進 ・副校長への期待 ・教育課程の編成・実施、管理 ・人権教育の理解と推進 ・教職員の労務管理 ・一人1台の学習者用端末の効果的な活用に向けた指導・助言の在り方						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	①小 ②中・高・特	①1月11日 (木) ②1月12日 (金)	13:30- 16:30	・人事考課評価者訓練	管幹H① 管幹J①	集合	教職員研修センター

	2	小・中・高・特	1月中旬～予定	180分	・教育法規Ⅰ ・東京都の教育課題と副校長の役割 ・教職員の服務管理	管幹 G① 管幹 H① 管幹 H③ 管幹 K①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属校
	3	小・中・高・特	1月中旬～予定	180分	・リスクマネジメント～学校における危機管理～ ・組織と意思決定 ・情報公開と個人情報の保護 ・学校事務の理解(学校事務) ・学校事務の理解(時間講師制度)	管幹 H② 管幹 H③ 管幹 K①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属校
	4 5	小・中・高・特	1月下旬～予定	360分	・教育課程の編成・実施、管理 ・教育法規Ⅱ ・人権教育の理解と推進 ・教職員の労務管理 ・一人1台の学習者用端末の効果的な活用に向けた指導・助言の在り方	管幹 F① 管幹 F② 管幹 H① 管幹 H③ 管幹 J① 管幹 K①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属校
	6	小・中・高・特	1月23日(火)	13:30-16:30	・教職員のメンタルヘルス ・アンガーマネジメント ・教育法規演習解説 ・副校長に求められる組織マネジメント ・学校における働き方改革の推進	管幹 H① 管幹 H② 管幹 H③ 管幹 I① 管幹 K①	オンライン研修(ライブ配信双方向)	所属校
	7	小・中・高・特	2月2日(金)	13:30-16:30	・学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進 ・特別支援教育の理解と推進 ・教育法規演習解説 ・副校長への期待	管幹 E① 管幹 H① 管幹 H② 管幹 H③ 管幹 K①	オンライン研修(ライブ配信一方向)	所属校
	8	①小(多摩島しょ・	①2月8日(木)	13:30-16:30	・人材育成とOJTの推進	管幹 H① 管幹 J①	集合	教職員研修センター

	高)	②2月13日			管幹J②		
	②小(区	(火)					
	部)	③2月15日					
	③中・特	(木)					

研修番号		1201						
研修名		東京都公立学校主幹教諭任用時研修						
申込方法等		指定						
ねらい		主幹教諭の職責や職務内容を理解するとともに、ミドルリーダーとしての教育課題に関する対応力を高めます。						
対象校種		高・特 小・中は都立、島しょのみ						
対象教員		都立学校及び島しょ地域の小中学校の主幹教諭任用1年目の者 令和4年度までに本研修未修了の者						
特色								
研修内容		・主幹教諭の職責と職務内容について（働き方改革を含む） ・ミドルリーダーに求められる教育課題への対応						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	高・特	5月中旬 ～5月下旬 予定	60分	【講義】 ・主幹教諭の職責と職務内容について（働き方改革を含む）	幹D① 幹D② 幹G①	オンライン研修（オンデマンド配信）	所属校等
		小・中 （都立、島しょのみ）	6月8日 （木）	14:30-16:30	【協議・演習】 ・ミドルリーダーに求められる教育課題への対応		集合	教職員研修センター

研修番号		1202						
研修名		東京都公立学校主幹教諭スキルアップ研修						
申込方法等		指定						
ねらい		カリキュラム・マネジメントについて理解を深め、ミドルリーダーとしての能力を一層高めるとともに、学校教育目標の実現に向けて、経営参画への意識を高めます。						
対象校種		小・中・高・特						
対象教員		都立学校及び区市町村立学校の主幹教諭任用2年目の者 令和4年度までに本研修未修了の者						
特色								
研修内容		・ミドルリーダーに求められるカリキュラム・マネジメントの推進 ・組織的なカリキュラム・マネジメントの推進						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	特	9月中旬～11月中旬 予定	30分	【講義】 ・ミドルリーダーに求められるカリキュラム・マネジメントの推進	幹D① 幹D② 幹G①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属校等
			① 10月16日 (月)	14:00-16:30	【協議・演習】 ・組織的なカリキュラム・マネジメントの推進		集合	教職員研修センター
	2	中(都立)・高	9月中旬～11月中旬 予定	30分	【講義】 ・ミドルリーダーに求められるカリキュラム・マネジメントの推進	幹D① 幹D② 幹G①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属校等
			② 10月23日 (月)	14:00-16:30	【協議・演習】 ・組織的なカリキュラム・マネジメントの推進		集合	教職員研修センター
	3	小(区部)	9月中旬～11月中旬 予定	30分	【講義】 ・ミドルリーダーに求められるカリキュラム・マネジメントの推進	幹D① 幹D② 幹G①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属校等
			③ 10月30日 (月)	14:00-16:30	【協議・演習】 ・組織的なカリキュラム・マネジメントの推進		集合	教職員研修センター

主幹教諭研修

〔担当課:教育経営課 03-5802-0294〕

	4	小 (市町 村部・都 立)	9月中旬 ～11月中旬 予定	30分	【講義】 ・ミドルリーダーに求めら れるカリキュラム・マネ ジメントの推進	幹 D① 幹 D② 幹 G①	オンライ ン研修(オ ンデマン ド配信)	所属校等
			④ 11月13日 (月)	14:00-16:30	【協議・演習】 ・組織的なカリキュラム・ マネジメントの推進		集合	教職員研修 センター
	5	中	9月中旬 ～11月中旬 予定	30分	【講義】 ・ミドルリーダーに求めら れるカリキュラム・マネ ジメントの推進	幹 D① 幹 D② 幹 G①	オンライ ン研修(オ ンデマン ド配信)	所属校等
			⑤ 11月20日 (月)	14:00-16:30	【協議・演習】 ・組織的なカリキュラム・ マネジメントの推進		集合	教職員研修 センター

研修番号		1211						
研修名		東京都公立学校指導教諭任用時研修						
申込方法等		指定						
ねらい		指導教諭の職責や職務内容を理解するとともに、具体的な指導・助言についての資質・能力を高めます。						
対象校種		小・中・高・特						
対象教員		都立学校及び区市町村立学校の新任指導教諭 令和４年度までに本研修未修了の者						
特色								
研修内容		・指導教諭の職責と職務内容の理解 ・一人１台の学習者用端末の効果的な活用 ・校内研修、研究の充実 ・指導・助言能力の向上						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	小・中 高・特	4月中旬 ～5月上旬 予定	60分	【講義】 ・指導教諭の職責と職務内容の理解	指A① 指C① 指D① 指F①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属校等
			5月18日 (木)	14:30-16:30	【協議・演習】 ・一人１台の学習者用端末の効果的な活用 ・校内研修、研究の充実 ・指導・助言能力の向上			

研修番号		1301						
研修名		東京都公立学校主任教諭任用時研修						
申込方法等		指定						
ねらい		主任教諭として授業や分掌業務を行う上での助言・支援の方法を学ぶとともに主幹教諭の補佐、各分掌間での業務の調整など学校運営上の重要な役割を担う能力を育成します。						
対象校種		小・中は都立、島しょのみ 高・特						
対象教員		・都立学校新任主任教諭、新任主任養護教諭及び新任主任栄養教諭 ・島しょ地域の小・中学校に在籍する新任主任教諭、新任主任養護教諭及び新任主任栄養教諭						
特色								
研修内容		・問題解決力の向上（学校編） ・問題解決力の向上（基礎編） ・問題解決力の向上（実践編）						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	小・中 （都立、島 しょのみ） 高・特	①7月26日 （水） ②8月2日 （水） ③8月4日 （金）	13:30-16:30	・問題解決力の向上（学校編） ・問題解決力の向上（基礎編） ・問題解決力の向上（実践編）	任D① 任D② 任F② 任養D① 任養D③ 任養F② 任栄D① 任栄D② 任栄F②	集合	教職員研修センター

研修番号		1302						
研修名		東京都公立学校主任教諭任用前研修						
申込方法等		指定						
ねらい		主任教諭に求められる役割について理解を深めるとともに主任教諭に必要な基本的な知識を習得します。						
対象校種		小・中・高・特						
対象教員		令和５年度主任教諭選考合格者等						
特色								
研修内容		・主任教諭に期待すること ・服務事故の防止 ・主任教諭の職務の実際とこれからのキャリア						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	小・中 高・特	12月上旬 ～1月上旬 予定	180分	・主任教諭に期待されること ・服務事故の防止 ・主任教諭の職務の実際とこれからのキャリア	任 A② 任 B① 任 D① 任 D② 任 養 A① 任 養 B② 任 養 D① 任 養 D③ 任 栄 A① 任 栄 B① 任 栄 D① 任 栄 D②	オンライン研修(オンデマンド)	所属校

研修番号		1401						
研修名		東京都公立学校主任研修（教務）						
申込方法等		指定						
ねらい		教務の在り方について見識を高めるとともに、教務主任として、学校運営の中心的役割を担うための資質・能力の向上を目指します。						
対象校種		小・中は都立及び島しょ新任のみ 高						
対象教員		都立高等学校、都立中等教育学校、都立附属中学校、都立附属小学校の教務主任 島しょ地域の小・中学校に在籍する新任教務主任						
特色								
研修内容		・主任の法的位置付け、主任に期待すること ・教育課題への対応						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	小・中 （都立及び島しょ 新任のみ） 高	4月下旬 ～6月下旬 予定 5月25日 （木）	・＜新任＞40分 ・40分	・＜新任＞主任の法的位置 付け、主任に期待すること ・教育課題への対応	幹A② 幹D② 幹G①	オンライン研修（オン デマンド） 集合	所属校 教職員研修 センター

研修番号		1402						
研修名		東京都公立学校主任研修（生活指導）						
申込方法等		指定						
ねらい		生活指導の在り方について見識を高めるとともに、生活指導主任として、学校運営の中心的役割を担うための資質・能力の向上を目指します。						
対象校種		小・中は都立のみ 高						
対象教員		都立高等学校、都立中等教育学校、都立附属中学校、都立附属小学校の生活指導主任						
特色								
研修内容		・主任の法的位置付け、主任に期待すること ・教育課題への対応						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	小・中高	4月下旬～6月下旬 予定	・＜新任＞40分 ・40分	・＜新任＞主任の法的位置付け、主任に期待すること ・教育課題への対応	幹 B② 幹 D② 幹 G①	オンライン研修(オンデマンド)	所属校
			6月 15 日 (木)	14:10-16:30	・教育課題への対応	幹 B② 幹 D② 幹 G①	集合	教職員研修センター

研修番号		1403						
研修名		東京都公立学校主任研修（進路指導）						
申込方法等		指定						
ねらい		進路指導の在り方について見識を高めるとともに、進路指導主任として、学校運営の中心的役割を担うための資質・能力の向上を目指します。						
対象校種		小・中は都立のみ 高						
対象教員		都立高等学校、都立中等教育学校、都立附属中学校、都立附属小学校の進路指導主任						
特色								
研修内容		・主任の法的位置付け、主任に期待すること ・教育課題への対応						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	小・中高	4月下旬～6月下旬 予定	・＜新任＞40分 ・40分	・＜新任＞主任の法的位置付け、主任に期待すること ・教育課題への対応	幹 B① 幹 D② 幹 G①	オンライン研修(オンデマンド)	所属校
			6月6日 (火)	14:10-16:30	・教育課題への対応	幹 B① 幹 D② 幹 G①	集合	教職員研修センター

研修番号		1411						
研修名		東京都公立学校主任研修（教務）						
申込方法等		指定						
ねらい		教務の在り方について見識を高めるとともに、教務主任として、学校運営の中心的役割を担うための資質・能力の向上を目指します。						
対象校種		特						
対象教員		都立特別支援学校の教務主任						
特色								
研修内容		・主任の法的位置付け、主任に期待すること ・教育課題への対応						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	特	4月下旬 ～6月下旬 予定	・＜新任＞40分 ・40分	・＜新任＞主任の法的位置 付け、主任に期待すること ・教育課題への対応	幹 A② 幹 D② 幹 G①	オンライン 研修(オン デマンド)	所属校
			5月 16 日 (火)	14:10-16:30	・教育課題への対応	幹 A② 幹 D② 幹 G①	集合	教職員研修 センター

研修番号		1412						
研修名		東京都公立学校主任研修（生活指導）						
申込方法等		指定						
ねらい		生活指導の在り方について見識を高めるとともに、生活指導主任として、学校運営の中心的役割を担うための資質・能力の向上を目指します。						
対象校種		特						
対象教員		都立特別支援学校の生活指導主任						
特色								
研修内容		・主任の法的位置付け、主任に期待すること ・教育課題への対応						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	特	4月下旬 ～6月下旬 予定	・＜新任＞40分 ・40分	・＜新任＞主任の法的位置 付け、主任に期待すること ・教育課題への対応	幹 B② 幹 D② 幹 G①	オンライン 研修(オン デマンド)	所属校
			6月 20 日 (火)	14:10-16:30	・教育課題への対応	幹 B② 幹 D② 幹 G①	集合	教職員研修 センター

研修番号		1413						
研修名		東京都公立学校主任研修（進路指導）						
申込方法等		指定						
ねらい		進路指導の在り方について見識を高めるとともに、進路指導主任として、学校運営の中心的役割を担うための資質・能力の向上を目指します。						
対象校種		特						
対象教員		都立特別支援学校の進路指導主任						
特色								
研修内容		・主任の法的位置付け、主任に期待すること ・教育課題への対応						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	特	4月下旬 ～6月下旬 予定	・＜新任＞40分 ・40分	・＜新任＞主任の法的位置 付け、主任に期待すること ・教育課題への対応	幹 B① 幹 D② 幹 G①	オンライン 研修(オン デマンド)	所属校
			6月 29 日 (木)	14:10-16:30	・教育課題への対応	幹 B① 幹 D② 幹 G①	集合	教職員研修 センター

研修番号				1501				
研修名				教育行政研修				
申込方法等				指定				
ねらい				教育行政の仕組み及び指導主事の職務の重要性を理解し、指導主事の職務を担うための基礎的な資質・能力を育成します。				
対象校種				小・中・高・特				
対象教員				令和５年度教育管理職Ａ選考を推薦区分で出願する者				
特色								
研修内容				・指導主事の職務の実際Ⅰ・Ⅱ ・東京都の教育課題 ・課題発見及び改善の方策 ・指導主事の学校訪問に期待すること ・意思決定と文書 ・公文書の作成 ・論文概要の作成 ・指導主事に期待すること				
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	小・中・高・特	7月7日 (金)	13:30-16:30	・指導主事の職務の実際Ⅰ ・東京都の教育課題 ・課題発見及び改善の方策	管幹G① 管幹K①	オンライン(ライブ配信双方向)	所属先
	2	小・中・高・特	8月1日 (火)	13:30-16:30	・指導主事の学校訪問に期待すること ・意思決定と文書 ・論文概要の作成	管幹G① 管幹K①	集合	教職員研修センター
	3	小・中・高・特	8月21日 (月)	13:30-16:30	・指導主事の職務の実際Ⅱ ・公文書の作成 ・指導主事に期待すること	管幹K①	集合	教職員研修センター
	4	小・中・高・特	7月～8月	6回	・実地研修	管幹J① 管幹K①	実習	区市町村教育委員会又は学校経営支援センター等

研修番号		1502						
研修名		教育管理職候補者B養成講座						
申込方法等		指定						
ねらい		教育課題についての正しい認識に基づき、自校の問題点に気づき、解決するための方策を身に付けるとともに、副校長の職務の重要性を理解し、学校運営に必要とされる基礎的な資質・能力を育成します。						
対象校種		小・中・高・特						
対象教員		令和4年度教育管理職B選考を推薦区分で出願する者						
特色								
研修内容		・副校長の役割・職務の実際 ・課題発見及び改善の方策Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ						
日程等	1	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
		①小・中 ②小・中・高・特 ③小・中・高・特	7月上旬 ～予定	50分	・副校長の役割・職務の実際 ・課題発見及び改善の方策Ⅰ（論文の基礎）	管幹K①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属校
			①6月30日(金) ②7月4日(火) ③7月6日(木)	14:20-16:30	・課題発見及び改善の方策Ⅱ（事例演習）	管幹K①	集合	教職員研修センター
	2	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
		①小・中 ②小・中・高・特 ③小・中・高・特	7月下旬 ～予定	50分	・東京都の教育課題	管幹K①	オンライン研修(オンデマンド配信)	所属校
			①7月25日(火) ②7月27日(木) ③7月28日(金)	14:20-16:30	・課題発見及び改善の方策Ⅲ（事例演習）	管幹K①	集合	教職員研修センター

研修番号		1601						
研修名		人事考課評価者訓練講師養成研修						
申込方法等		別途通知						
ねらい		人事考課評価者訓練の講師を担当するために必要な事項について理解を深めます。						
対象校種								
対象教員		人事考課評価者訓練の講師を担当する区市町村教育委員会指導室（課）長、統括指導主事、校長等						
特色								
研修内容		・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例解説						
日程等	回	校種	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	人事考課評価者訓練の講師を担当する区市町村教育委員会指導室（課）長、統括指導主事、校長等	①4月20日（木） ②4月21日（金）	① 13:30- 16:30 ② 9:30- 12:30	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例解説	長 H① 長 J① 副 H① 副 J①	集合	教職員研修センター

研修番号		1602					
研修名		人事考課評価者訓練					
申込方法等		別途通知					
ねらい		学校における人事考課を適正に実施するための評価者・関与者としての資質・能力を高めます。					
対象校種							
対象教員		都立学校長・都立学校副校長					
特色							
研修内容		・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例研究 ・事例解説					
日程等	職層	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	都立学校 校長	①5月1日 (月) ②5月2日 (火) ③5月9日 (火) ④5月12日 (金)	13:30- 16:30	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例研究 ・事例解説	長 H① 長 J①	集合	①② 都立多摩図書館 ③④ 教職員研修センター
	都立学校 副校長	①5月19日 (金) ②5月23日 (火) ③5月30日 (火) ④6月1日 (木)	13:30- 16:30	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例研究 ・事例解説	副 H① 副 J①	集合	①③ 教職員研修センター ②④ 都立多摩図書館
	都立学校 校長・副校長 (代替)	①② 6月7日(水)	① 9:30- 12:30 ② 13:30- 16:30	・人事考課制度の理解 ・適正な業績評価の実施 ・事例研究 ・事例解説	長 H① 長 J① 副 H① 副 J①	集合	教職員研修センター

年 次 研 修

1 受講対象者

年次研修の受講対象者は、研修ごとに指定されています。

2 受講の確認又は申込みについて

受講の確認又は申込みについては、研修ごとに異なります。各研修ページや開催通知を確認してください。

3 各研修の詳細

各研修の詳細は、「実施の手引」を参照ください。

4 問合せ先

以下の年次研修に関する問合せは、所属の管理職を通じて担当課までお願いします。

研修	問合せ先	電話
1 年次(初任者)研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校) 2 年次研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校) 3 年次研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校) 1 年次(初任者)研修(都立特別支援学校) 2 年次研修(都立特別支援学校) 3 年次研修(都立特別支援学校) 1 年次(初任者)研修(小・中学校、義務教育学校の特別支援学級等) 1 年次(初任者)研修(島しょ都立高等学校、島しょ公立小・中学校) 1 年次(初任者)研修(島しょ都立特別支援学校、島しょ公立小・中学校(特別支援学級等)) 新規採用養護教諭研修(都立学校・島しょ) 新規採用養護教諭研修(公立小・中学校) 新規採用栄養教諭研修(都立学校・島しょ) 新規採用栄養教諭研修(公立小・中学校) 新規採用幼稚園教諭研修 新規採用実習助手・寄宿舎指導員研修 期限付任用教員(教諭)任用時研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校) 期限付任用教員(教諭)任用時研修(都立特別支援学校) 期限付任用教員(教諭)任用時研修(小・中学校、義務教育学校の特別支援学級等) 期限付任用教員(教諭)任用時研修(島しょ都立高等学校、島しょ公立小・中学校) 期限付任用教員(教諭)任用時研修(島しょ都立特別支援学校、島しょ公立小・中学校(特別支援学級等)) 期限付任用教員(養護教諭)任用時研修(都立学校・島しょ) 期限付任用教員(養護教諭)任用時研修(公立小・中学校)	授業力 向上課 (若手教員育成研修担当)	03-5802-2143
東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ 東京都公立学校中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ 東京都公立学校中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ 東京都公立幼稚園中堅教諭等資質向上研修Ⅰ 東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅱ	授業力 向上課 (中堅教諭等資質向上研修担当)	03-5802-2226

※実施主体が区市町村教育委員会の研修は、区市町村教育委員会に問合わせてください。

研修番号		2001					
研修名		東京都若手教員育成研修 1年次(初任者)研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校)					
申込方法等		研修受講申込受付システム		○	「別途通知」(推薦)		
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された基礎的・基本的な資質・能力の育成を図ります。					
対象校種		都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校					
対象教員		令和5年度に採用された教諭のうち、都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校に在籍する者(島しょ地区を除く)					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月3日 (月)	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育 (東京都こども基本条例、日本語指導が必要な児童生徒、ヤングケアラーの理解を含む)	教基 E① 教基 G①	集合	ニッショーホール
	2 3	4月4日 (火)	9:30-16:30	・接遇マナー(ビジネススキルの基本) ・体罰防止(アンガーマネジメント) ・メンタルヘルス ・サービス(サービス事故防止) ・勤務・人事考課制度等	教基 D①②③ 教基 C①② 教基 B②③	集合	ニッショーホール
	4	5月8日 (月) ～ 5月29日 (月)	勤務時間	・学習指導要領と教育課程 ・学習指導案の作成 (単元の構想)	教基 A ①②③ 教基 D①	オンデマンド 配信・ 演習	各勤務場所
	5	5月30日 (火) 又は 6月2日 (金)	13:30-16:30	・不登校・中途退学、自殺防止の取組 ・学習指導案の作成 (本時案の検討)	教基 G① 教基 A ①②③	集合	教職員研修センター
	6	7月7日 (金) 又は 7月11日 (火)	13:30-16:30	・研究協議の進め方	教基 A②④	集合	教職員研修センター
	7 8	8月9日 (水) 又は 8月23日 (水)	9:30-16:30	・模擬授業、協議等	教基 A ①②③④	集合	教職員研修センター
	9	9月8日 (金) 又は 9月19日 (火)	13:30-16:30	・保護者との望ましい関係の在り方 ・生活指導の充実(いじめ防止を含む)	教基 C①② 教基 B②③ 教基 G① 教基 D③	集合	教職員研修センター
	10	10月10日 (火) 又は 10月13日 (金)	13:30-16:30	・ICTの活用・情報モラル教育 ・主体的・対話的で深い学びの実現①	教基 A ①②③④ 教基 F①②	集合	教職員研修センター
	11	11月6日 (月) ～ 11月27日 (月)	勤務時間	・授業改善のPDCA ・特別支援教育 ・個に応じた指導の充実	教基 A①②③ 教基 E①	オンデマンド 配信・ 演習	各勤務場所
	12	12月1日 (金) 又は 12月5日 (火)	13:30-16:30	・入学者選抜等 ・学習評価の充実 ・1年次(初任者)研修のまとめ	教基 D①② 教基 B① 教基 A ①②③④	集合	教職員研修センター

研修番号		2002					
研修名		東京都若手教員育成研修 2年次研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校)					
申込方法等		研修受講申込受付システム		○	「別途通知」		
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力のうち「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」等の実践的な指導力の促進を図ります。					
対象校種		都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校					
対象教員		原則として、令和4年度に採用された教諭のうち、都立高等学校・中等教育学校・附属中学校に在籍し、1年次(初任者)研修を修了した者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	7月10日(月) 又は 8月1日(火)	13:30-16:30	・主体的・対話的で深い学びの実現② (学習評価の在り方と改善)	教基A ①②③④	集合	教職員研修センター
	2	10月2日(月) 又は 10月11日(水)	13:30-16:30	・体罰の根絶(コーチング) ・児童・生徒理解(いじめ防止を含む)	教基B②③ 教基G①	集合	教職員研修センター
	3	1月18日(木) ～ 2月8日(木)	勤務時間	・主権者教育 ・進路指導の在り方とキャリア教育の推進 ・2年次研修の振り返りと、3年次研修に向けて	教基B① 教基G①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所

東京都若手教員育成研修

【担当課：授業力向上課 03-5802-2143】

研修番号		2003					
研修名		東京都若手教員育成研修 3 年次研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校)					
申込方法等		研修受講申込受付システム		○	「別途通知」		
ねらい		東京都若手教員育成研修 2 年次研修(以下「2 年次研修」という。)を修了した教員に対して、東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力のうち、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」等の課題解決力の伸長を図ります。					
対象校種		都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校					
対象教員		原則として、令和 3 年度に採用された教諭のうち、都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校に在籍し、2 年次研修を修了した者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	5 月 29 日 (月) ～ 6 月 19 日 (月)	勤務時間	・ 学校運営への参画 ・ 関係機関との連携 ・ これからの教員としてのキャリア	教基 C② 教基 D①②	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所
	2	1 月 15 日 (月) 又は 2 月 9 日 (金)	13:30-16:30	・ 主体的・対話的で深い学びの実現③ (授業実践事例検討) ・ 若手教員育成研修のまとめ	教基 A ①②③④	集合	教職員研修センター

研修番号		2011					
研修名		東京都若手教員育成研修 1年次(初任者)研修(都立特別支援学校)					
申込方法等		研修受講申込受付システム		○	「別途通知」		
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された基礎的・基本的な資質・能力の育成を図ります。					
対象校種		都立特別支援学校					
対象教員		令和5年度に採用された教諭のうち、都立特別支援学校に在籍する者 (島しょ地区を除く)					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月3日 (月)	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育(東京都こども基本条例、日本語指導が必要な児童生徒、ヤングケアラーの理解を含む)	教基E① 教基G①	集合	教職員研修センター
	2 3	4月4日 (火)	9:30-16:30	・接遇マナー(ビジネススキルの基本) ・体罰防止(アンガーマネジメント) ・メンタルヘルス ・服務(服務事故防止) ・勤務・人事考課制度 等	教基D①②③ 教基C①② 教基B②③	集合	教職員研修センター
	4	5月16日 (火) ～ 6月6日 (火)	勤務時間	・特別支援教育の基礎・基本 ・学習指導要領の理解と学習指導案の作成	教基A①②③ 教基E①	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所
	5	6月20日 (火) 又は 6月23日 (金)	13:30-16:30	・個別指導計画を生かした学習指導の実践 ・学習指導案の作成及び検討	教基A①②③	集合	教職員研修センター
	6	7月18日 (火) 又は 7月21日 (金)	13:30-16:30	・不登校・中途退学、自殺防止の取組 ・主体的・対話的で深い学びの実現①(動画による指導教諭の指導)	教基G① 教基A①②③④	集合	教職員研修センター
	7 8	8月28日 (月) 又は 8月29日 (火)	9:30-16:30	・模擬授業、協議 等	教基A①②③④	集合	教職員研修センター
	9	9月22日 (金) 又は 9月26日 (火)	13:30-16:30	・保護者・地域・関係機関との連携 ・特別支援学校における生活指導(いじめ防止を含む)	教基C①② 教基B①② 教基G①	集合	教職員研修センター
	10	10月27日 (金) 又は 11月7日 (火)	13:30-16:30	・特別支援学校における情報モラル教育とICT活用 ・特別支援学校における危機管理・対応	教基F①② 教基D①②③ 教基E① 教基B①②	集合	教職員研修センター
	11	11月27日 (月) ～ 12月18日 (月)	勤務時間	・授業改善のPDCA ・障害のある児童・生徒の理解 ・個別の教育支援計画を活用した児童・生徒の支援の充実	教基A①② 教基E① 教基C①②	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所
	12	12月19日 (火) 又は 12月22日 (金)	13:30-16:30	・1年次研修のまとめ ・個別指導計画に基づく学習評価 ・特別支援教育の推進者として若手教員に期待する	教基A①②③④ 教基E①	集合	教職員研修センター

				こと			
--	--	--	--	----	--	--	--

研修番号		2012					
研修名		東京都若手教員育成研修 2年次研修(都立特別支援学校)					
申込方法等		研修受講申込受付システム		○	「別途通知」		
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力のうち「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」等の実践的な指導力の促進を図ります。					
対象校種		都立特別支援学校					
対象教員		原則として、令和4年度に採用された教諭のうち、都立特別支援学校に在籍し、1年次(初任者)研修を修了した者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	7月5日(水) 又は 7月31日(月)	13:30-16:30	・主体的・対話的で深い学びの実現② (学習評価の在り方と改善)	教基 A ①②③④	集合	教職員研修センター
	2	10月4日(水) 又は 10月16日(月)	13:30-16:30	・体罰の根絶(コーチング) ・児童・生徒理解(いじめ防止を含む)	教基 B②③ 教基 G①	集合	教職員研修センター
	3	1月18日(木) ～ 2月8日(木)	勤務時間	・主権者教育 ・進路指導の在り方とキャリア教育の推進 ・2年次研修の振り返りと、3年次研修に向けて	教基 B① 教基 E① 教基 G①	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所

研修番号		2013					
研修名		東京都若手教員育成研修 3 年次研修(都立特別支援学校)					
申込方法等		研修受講申込受付システム		○	「別途通知」		
ねらい		東京都若手教員育成研修 2 年次研修(以下「2 年次研修」という。)を修了した教員に対して、東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力のうち、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」等の課題解決力の伸長を図ります。					
対象校種		都立特別支援学校					
対象教員		原則として、令和 3 年度に採用された教諭のうち、都立特別支援学校に在籍し、2 年次研修を修了した者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	6 月 1 日 (木) ～ 6 月 22 日 (木)	勤務時間	・ 学校運営への参画 ・ 関係機関との連携 ・ これからの教員としての のキャリア	教基 C② 教基 D①②	オンデ マンド 配信・ 演習	各勤務場所
	2	1 月 22 日 (月) 又は 1 月 30 日 (火)	13:30-16:30	・ 主体的・対話的で深い 学びの実現③ (授業実践事例検討) ・ 若手教員育成研修のま とめ	教基 A ①②③④	集合	教職員研修セン ター

研修番号		2021					
研修名		東京都若手教員育成研修 1 年次(初任者)研修(小・中学校特別支援学級等)					
申込方法等		研修受講申込受付システム			「別途通知」(希望制)		○
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された基礎的・基本的な資質・能力の育成を図ります。					
対象校種		区市町村立学校の特別支援学級等					
対象教員		令和 5 年度に区市町村立学校の特別支援学級等に教諭として採用された者のうち、各区市町村教育委員会が定める者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	6 月 21 日 (水) ～ 7 月 12 日 (水)	勤務時間	・ 障害のある児童・生徒の医療と心理 (てんかん・吃音への対応を含む) ・ 障害のある児童・生徒に対する教育について	教基 E① 教基 A ①②③④	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所
	2	11 月 7 日 (火) ～ 11 月 28 日 (火)	勤務時間	・ 特別支援学級の教育課程 ・ 特別支援学級における授業づくり	教基 A ①②③④ 教基 E①	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所
	3	12 月 4 日 (月) ～ 12 月 25 日 (月)	勤務時間	・ 個別の教育支援計画を活用した児童・生徒の支援の充実 ・ 授業改善の PDCA～学習指導案の作成を通して～	教基 A ①②③④ 教基 E①	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所

研修番号		2022					
研修名		東京都若手教員育成研修 1年次（初任者）研修（島しょ都立高等学校、島しょ公立小・中学校）					
申込方法等		研修受講申込受付システム		都立	「別途通知」		小・中
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された基礎的・基本的な資質・能力の育成を図ります。					
対象校種		島しょ都立高等学校、島しょ小・中学校					
対象教員		令和5年度に採用された教諭のうち、島しょ地区の都立高等学校、公立小・中学校に在籍する者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月3日（月）	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育（東京都こども基本条例、日本語指導が必要な児童生徒、ヤングケアラーの理解を含む）	教基 E① 教基 G①	集合 ※小・中は集合又はオンデマンド配信等選択	ニッショーホール
	2 3	4月4日（火）	9：30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アングーマネジメント） ・メンタルヘルス ・サービス（サービス事故防止） ・勤務・人事考課制度 等	教基 D①②③ 教基 C①② 教基 B②③	集合 ※小・中は集合又はオンデマンド配信等選択	ニッショーホール
	4	5月8日（月） ～ 5月29日（月）	勤務時間	・学習指導要領と教育課程 ・学習指導案の作成（単元の構想）	教基 A①②③ 教基 D①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	5 6	8月7日（月）	9:30-16:30	・不登校・中途退学、自殺防止の取組 ・学習指導案の作成（本時案の検討） ・研究協議の進め方	教基 G① 教基 A①②③④	集合 ※小・中は集合又はオンデマンド配信等選択	教職員研修センター
	7 8	8月8日（火）	9:30-16:30	・保護者との望ましい関係の在り方 ・生活指導の充実（いじめ防止を含む） ・ICTの活用・情報モラル教育 ・主体的・対話的で深い学びの実現①	教基 C①② 教基 B①② 教基 A①②③④ 教基 F①② 教基 D①② 教基 G①	集合 ※小・中は集合又はオンデマンド配信等選択	教職員研修センター
	9 10	8月9日（水）	9:30-16:30	・模擬授業、協議等	教基 A①②③④	集合	教職員研修センター
	11	11月6日（月） ～ 11月27日（月）	勤務時間	・授業改善のPDCA ・特別支援教育 ・個に応じた指導の充実	教基 A①②③ 教基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	12	12月1日（金）	13:30-16:30	・入学者選抜 等 ・学習評価の充実 ・1年次（初任者）研修のまとめ 等	教基 D①② 教基 A①②③④	集合 ※小・中は集合又はオンデマンド配信等選択	教職員研修センター

研修番号		2023					
研修名		東京都若手教員育成研修 1年次（初任者）研修（島しょ都立特別支援学校、島しょ公立小・中学校（特別支援学級等））					
申込方法等		研修受講申込受付システム		都立	「別途通知」		小・中
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された基礎的・基本的な資質・能力の育成を図ります。					
対象校種		島しょ都立特別支援学校、島しょ小・中学校（特別支援学級等）					
対象教員		令和5年度に採用された教諭のうち、島しょ地区の都立特別支援学校、公立小・中学校（特別支援学級等）に在籍する者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月3日（月）	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育（東京都こども基本条例、日本語指導が必要な児童生徒、ヤングケアラーの理解を含む）	教基 E① 教基 G①	集合 ※小・中は 集合又はオンデマンド 配信等選択	教職員研修センター
	2 3	4月4日（火）	9:30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度等	教基 D①②③ 教基 C①② 教基 B②③	集合 ※小・中は 集合又はオンデマンド 配信等選択	教職員研修センター
	4	5月16日（火） ～ 6月6日（火）	勤務時間	・特別支援教育の基礎・基本 ・学習指導要領の理解と学習指導案の作成	教基 A①②③ 教基 E①	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所
	5 6	8月7日（月）	9:30-16:30	・不登校・中途退学、自殺防止の取組 ・学習指導案の作成（本時案の検討） ・研究協議の進め方	教基 G① 教基 A①②③④	集合 ※小・中は 集合又はオンデマンド 配信等選択	教職員研修センター
	7 8	8月8日（火）	9:30-16:30	・保護者との望ましい関係の在り方 ・生活指導の充実（いじめ防止を含む） ・ICTの活用・情報モラル教育 ・主体的・対話的で深い学びの実現①	教基 C①② 教基 B①② 教基 A①②③④ 教基 F①② 教基 D①② 教基 G①	集合 ※小・中は 集合又はオンデマンド 配信等選択	教職員研修センター
	9 10	8月28日（月）	9:30-16:30	・模擬授業、協議 等	教基 A①②③④	集合	教職員研修センター
	11	11月27日（月） ～ 12月18日（月）	勤務時間	・授業改善のPDCA ・障害のある児童・生徒の理解 ・個別の教育支援計画を活用した児童・生徒の支援の充実	教基 A①② 教基 E① 教基 C①②	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所
	12	12月22日（金）	13:30-16:30	・1年次研修のまとめ ・個別指導計画に基づく学習評価 ・特別支援教育の推進者として若手教員に期待すること	教基 A①②③④ 教基 E①	集合 ※小・中は 集合又はオンデマンド 配信等選択	教職員研修センター

研修番号		2131					
研修名		東京都公立学校 新規採用養護教諭研修（都立学校・島しょ）					
申込方法等		研修受講申込受付システム		都立	別途通知		島しょ
ねらい		東京都公立学校の新規採用養護教諭に対して、養護教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることができるようにする。					
対象校種		都立学校、島しょ都立、島しょ小・中学校					
対象教員		令和5年度に採用された養護教諭のうち、都立学校及び島しょ地区の都立学校、公立小・中学校に在籍する者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月3日 (月)	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育（東京都こども基本条例、日本語指導が必要な児童生徒、ヤングケアラーの理解を含む）	養基 E① 養基 G①	集合 島しょ・都立 又、教職員研修センター カデバ配膳	ニッショーホール 又、教職員研修センター
	2 3	4月4日 (火)	9:30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・サービス（サービス事故防止） ・勤務・人事考課制度 等	養基 B①② 養基 C② 養基 D①③	集合 島しょ・都立 又、教職員研修センター カデバ配膳	ニッショーホール 又、教職員研修センター
	4 5	5月18日 (木)	9:30-16:30	・研修ガイダンス ・新規採用養護教諭に求められること ・定期健康診断と学校保健事務 ・普通救命講習	養基 A② 養基 D① 養基 G①	集合	教職員研修センター
	6	6月19日 (月)	13:30-16:30	・救急処置の理論と実際 ・アレルギー疾患への対応	養基 A② 養基 B① 養基 C① 養基 G①	集合 島しょ・都立 又、教職員研修センター カデバ配膳	教職員研修センター
	7	6月30日(金) ～7月21日(金)	勤務時間	・保健室経営の充実・ ・保健教育の充実、学習指導要領の理解	養基 A①② 養基 D②	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所
	8 9	7月下旬～ 8月上旬 (別途通知)	9:30-16:30	・保健室経営の実際 ・健康上配慮を要する児童・生徒への関わり（不登校への対応含む） ・特別な支援を必要とする児童・生徒との関わり及び関係機関との連携	養基 A② 養基 B①② 養基 C①② 養基 D② 養基 E① 養基 G①	集合	学校会場 (別途通知)
	10	9月～ 11月 (別途通知)	13:30-16:30	・授業の実際 ・授業への参画、連携の図り方	養基 A① 養基 D③	集合 島しょ・都立 又、教職員研修センター カデバ配膳	学校会場 (別途通知)
	11	11月1日 (水)～ 11月22日 (水)	勤務時間	・保護者との望ましい関係の在り方 ・学習指導案の立案と授業の実際、ICTの活用・情報モラル教育 ・学校保健計画の作成と活用	養基 A① 養基 C①② 養基 D① 養基 F①②	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所
	12	12月8日 (金)	13:30-16:30	・健康相談の理論と実際（いじめ・虐待の予防及び対応を含む） ・新規採用養護教諭研修のまとめ	養基 B①② 養基 C①② 養基 G①	集合 島しょ・都立 又、教職員研修センター カデバ配膳	教職員研修センター

研修番号		2132					
研修名		東京都公立学校 新規採用養護教諭研修（小・中学校）					
申込方法等		研修受講申込受付システム				別途通知	○
ねらい		東京都公立学校の新規採用養護教諭に対して、養護教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることができるようにする。					
対象校種		東京都公立小・中学校					
対象教員		令和５年度に採用された養護教諭のうち、島しょ地区以外の東京都公立小・中学校に在籍する者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1 2	5月18日 (木)	9:30-16:30	・研修ガイダンス ・新規採用養護教諭に求められること ・定期健康診断と学校保健事務 ・普通救命講習	養基 A② 養基 D① 養基 G①	集合	教職員研修センター
	3	6月19日 (月)	13:30-16:30	・救急処置の理論と実際 ・アレルギー疾患への対応	養基 A② 養基 B① 養基 C① 養基 G①	集合	教職員研修センター
	4	6月30日 (金)～ 7月21日 (金)	勤務時間	・保健室経営の充実 ・保健教育の充実、学習指導要領の理解	養基 A①② 養基 D②	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所
	5 6	7月下旬～ 8月上旬 (別途通知)	9:30-16:30	・保健室経営の実際 ・健康上配慮を要する児童・生徒への関わり（不登校への対応含む） ・特別な支援を必要とする児童・生徒との関わり及び関係機関との連携	養基 A② 養基 B①② 養基 C①② 養基 D② 養基 E① 養基 G①	集合	学校会場 (別途通知)
	7	9月～ 11月 (別途通知)	13:30-16:30	・授業の実際 ・授業への参画、連携の図り方	養基 A① 養基 D③	集合	学校会場 (別途通知)
	8	11月1日 (水)～ 11月22日 (水)	勤務時間	・保護者との望ましい関係の在り方 ・学習指導案の立案と授業の実際、ICTの活用・情報モラル教育 ・学校保健計画の作成と活用	養基 A① 養基 C①② 養基 D① 養基 F①②	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所
	9	12月8日 (金)	13:30-16:30	・健康相談の理論と実際（いじめ・虐待の予防及び対応を含む） ・新規採用養護教諭研修のまとめ	養基 B①② 養基 C①② 養基 G①	集合	教職員研修センター

研修番号		2141					
研修名		東京都公立学校 新規採用栄養教諭研修（都立学校・島しょ）					
申込方法等		研修受講申込受付システム		都立	別途通知		島しょ
ねらい		栄養教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を身に付けます。					
対象校種		都立学校、島しょ都立、島しょ小・中学校					
対象教員		令和5年度に採用された栄養教諭					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月3日 (月)	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育（東京都こども基本条例、日本語指導が必要な児童生徒、ヤングケアラーの理解を含む）	栄基 E① 栄基 G①	集合 島しょ都立 小・中学校 栄養教諭 研修センター	ニッショール 教職員研修センター
	2 3	4月4日 (火)	9:30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度 等	栄基 B② 栄基 C② 栄基 D①③	集合 島しょ都立 小・中学校 栄養教諭 研修センター	ニッショール 教職員研修センター
	4	5月11日 (木)	13:30-16:30	・研修ガイダンス ・新規採用栄養教諭に求められること ・アレルギー疾患等配慮を要する児童・生徒への対応	栄基 A③ 栄基 B①② 栄基 C① 栄基 E① 栄基 G①	集合 島しょ都立 小・中学校 栄養教諭 研修センター	教職員研修センター
	5	5月29日 (月)～ 6月19日 (月)	勤務時間	・学習指導要領に基づいた計画の作成 ・学習指導案の立案と授業の実践、ICTの活用・情報モラル教育	栄基 A①② 栄基 D② 栄基 F①②	オンデマンド 配信・ 演習	各勤務場所
	6	6月～7月 (別途通知)	13:30-16:30	・授業研究 ・本時の授業について学習指導案から学ぶ食に関する指導の工夫	栄基 A② 栄基 G①	集合	学校会場 (別途通知)
	7	7月20日 (木)	13:30-16:30	・食に関する指導の実践	栄基 A①②③ 栄基 B① 栄基 C① 栄基 D②	集合 島しょ都立 小・中学校 栄養教諭 研修センター	教職員研修センター
	8 9	8月7日 (月)	9:30-16:30	・協議の進め方 ・模擬授業	栄基 A② 栄基 G①	集合	教職員研修センター
	10	9月14日 (木)	13:30-16:30	・教員に求められる4つの力と栄養教諭に期待すること ・研修のまとめ	栄基 B① 栄基 C①② 栄基 D①② 栄基 G①	集合 島しょ都立 小・中学校 栄養教諭 研修センター	教職員研修センター

研修番号		2142					
研修名		東京都公立学校 新規採用栄養教諭研修（小・中学校）					
申込方法等		研修受講申込受付システム			別途通知		○
ねらい		栄養教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を身に付けます。					
対象校種		東京都公立小・中学校に在籍する者					
対象教員		令和５年度に採用された栄養教諭					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	5 月 11 日 (木)	13:30-16:30	・研修ガイダンス ・新規採用栄養教諭に求められること ・アレルギー疾患等配慮を要する児童・生徒への対応	栄基 A③ 栄基 B①② 栄基 C① 栄基 E① 栄基 G①	集合	教職員研修センター
	2	5 月 29 日 (月)～ 6 月 19 日 (月)	勤務時間	・学習指導要領に基づいた計画の作成 ・学習指導案の立案と授業の実際、ICT の活用・情報モラル教育	栄基 A①② 栄基 D② 栄基 F①②	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所
	3	6 月～7 月 (別途通知)	13:30-16:30	・授業研究 ・本時の授業について学習指導案から学ぶ食に関する指導の工夫	栄基 A② 栄基 G①	集合	学校会場 (別途通知)
	4	7 月 20 日 (木)	13:30-16:30	・食に関する指導の実践	栄基 A①②③ 栄基 B① 栄基 C① 栄基 D②	集合	教職員研修センター
	5 6	8 月 7 日 (月)	9:30-16:30	・協議の進め方 ・模擬授業	栄基 A② 栄基 G①	集合	教職員研修センター
	7	9 月 14 日 (木)	13:30-16:30	・教員に求められる４つの力と栄養教諭に期待すること ・研修のまとめ	栄基 B① 栄基 C①② 栄基 D①② 栄基 G①	集合	教職員研修センター

研修番号		2151				
研修名		東京都公立幼稚園 新規採用幼稚園教諭研修				
申込方法等		研修受講申込受付システム			「別途通知」	○
ねらい		東京都公立幼稚園の新規採用幼稚園教諭に対して、教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることができるようになります。				
対象校種		公立幼稚園				
対象教員		令和５年度に採用された幼稚園教諭				
日程等	回	実施日	時間	内容	研修形態	会場
	1	4月 20 日 (木)	13:30-16:30	・ 研修ガイダンス ・ 幼稚園教諭としての心構え ・ 人権教育の推進（いじめ、体罰、児童虐待、ヤングケアラー、日本語指導、東京都こども基本条例等）	集合	東京都教職員 研修センター
	2	5月 19 日 (金)	13:30-16:30	・ 指導計画の作成と保育記録の方法 ・ 食物アレルギーへの対応	集合	東京都教職員 研修センター
	3 4	6月（別途 通知）	9:00-16:30	・ 保育観察Ⅰ 「教師の援助と環境の構成」 ー自己の課題解決に向けてー	集合	園会場
	5	7月 13 日 (木) ～ 7月 27 日 (木)	勤務時間	・ 教材研究の実際① ・ 保護者との連携 ・ 指導要録の作成	オンデ マンド 配信・ 演習	各勤務場所
	6	10月 5 日 (木)	13:30-16:30	・ 教材研究の実際② ・ 幼児理解に基づいた評価（観察研究、ビデオカンファレンス等）	集合	東京都教職員 研修センター
	7 8	11月（別途 通知）	9:00-16:30	・ 保育観察Ⅱ 「教師の援助と環境の構成」 ー保育のねらいと評価ー	集合	園会場
	9	12月 7 日 (木)	13:30-16:30	・ 配慮を要する幼児の理解と指導	集合	東京都教職員 研修センター
	10	1月 11 日 (木)	13:30-16:30	・ 就学前教育と小学校教育の円滑な接続について ・ これからの幼児教育について ・ 1年間の自己の成果と課題の明確化、課題解決に向けての方策	集合	東京都教職員 研修センター

研修番号		2161					
研修名		東京都立学校 新規採用実習助手・寄宿舎指導員研修					
申込方法等		研修受講申込受付システム		○		「別途通知」	
ねらい		東京都立学校の新規採用実習助手・寄宿舎指導員に対して実習助手・寄宿舎指導員の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得られるようにします。					
対象校種		都立高等学校等・都立特別支援学校					
対象教員		令和5年度に採用された実習助手・寄宿舎指導員のうち、都立学校に在籍する者					
日程等	回	実施日	時間	内容		研修形態	会場
	1	4月3日 (月)	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育 (東京都子ども基本条例、日本語指導が必要な児童生徒、ヤングケアラーの理解を含む)		集合	ニッショーホール (高等学校等) 教職員研修センター (特別支援学校)
	2 3	4月4日 (火)	9:30-16:30	・接遇マナー(ビジネススキルの基本) ・体罰防止(アンガーマネジメント) ・メンタルヘルス ・サービス(サービス事故防止) ・勤務・人事考課制度 等		集合	ニッショーホール (高等学校等) 教職員研修センター (特別支援学校)
	4	6月(別途通知)	13:30-16:30	【実習助手】 ・授業観察 ・授業準備の視点 (危機管理、機材管理、教場の整備、実習助手の役割)	【寄宿舎指導員】 ・施設見学・講義等 ・寄宿舎指導員の役割 (寄宿舎における生活指導等)	集合	学校
	5	7月(別途通知)	13:30-16:30	・実習助手の役割	・施設見学・講義等 ・寄宿舎指導員の役割 (舎監との連携等)	集合	学校
	6	9月(別途通知)	13:30-16:30	・授業観察 ・組織的な学校運営 ・新規採用実習助手研修のまとめ	・施設見学・講義等 ・寄宿舎指導員の役割 (円滑な寄宿舎運営等) ・新規採用寄宿舎指導員研修のまとめ	集合	学校

研修番号			2201					
研修名			東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ					
研修タイトル			教育法規と新たな教育課題					
申込方法等			研修受講申込受付システム		○	別途通知		
ねらい			・職務と関連する教育法規について一層の理解を深め、他の教員へ指導・助言ができる力を身に付けます。 ・東京都の喫緊の教育課題等についての理解を深めます。					
対象校種			都立高等学校・都立特別支援学校					
対象教員			教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する高・特の主任教諭及び教諭、主任養護教諭及び養護教諭、主任栄養教諭及び栄養教諭、在職期間が 10 年に達した実習助手及び寄宿舎指導員					
特色								
研修内容								
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場	
	1	7 月配信予定	勤務時間	・講義・演習 「教育法規」 ・講義・演習 「中堅教諭としてのファシリテーション能力について」 ・講義・演習 「文書事務」 ・講義 「入学者選抜業務について」	教伸 DG 任 DG 養伸 DG 任養 DG 栄伸 DG 任栄 DG	オンデマンド配信	各勤務場所	

研修番号		2211					
研修名		東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ					
研修タイトル		人権教育と新たな教育課題					
申込方法等		研修受講申込受付システム		○	別途通知		
ねらい		・人権教育や人権課題について理解を深め、人権感覚について他の教員へ指導・助言ができる力を身に付けます。 ・東京都の喫緊の教育課題等についての理解を深めます。					
対象校種		都立高等学校・都立特別支援学校					
対象教員		教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する高・特の主任教諭及び教諭、主任養護教諭及び養護教諭、主任栄養教諭及び栄養教諭、在職期間が 10 年に達した実習助手及び寄宿舎指導員					
特色							
研修内容							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	6 月配信予定	勤務時間	・講義・演習 「人権教育の効果的な促進」 ・講義・演習 「特別支援教育の推進と発達障害の理解」 ・講義・演習 「東京都における防災教育の取組」	教伸 EG 任 EG 養伸 EG 任養 EG 栄伸 EG 任栄 EG	オンデマンド配信	各勤務場所

研修番号		2221					
研修名		東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ					
研修タイトル		服務と新たな教育課題					
申込方法等		研修受講申込受付システム		○	別途通知		
ねらい		・教職員の服務に関する法令、服務の厳正、服務事故について理解を深め、他の教員へ適切な指導・助言ができる力を身に付けます。 ・東京都の喫緊の教育課題等についての理解を深めます。					
対象校種		都立高等学校・都立特別支援学校					
対象教員		教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する高・特の主任教諭及び教諭、主任養護教諭及び養護教諭、主任栄養教諭及び栄養教諭、在職期間が 10 年に達した実習助手及び寄宿舎指導員					
特色							
研修内容							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	6 月配信予定	勤務時間	・講義・演習 「服務事故の防止に向けて」 ・講義・演習 「環境教育の推進について」 ・講義・演習 「主権者教育について」 ・講義・演習 「校務における I C T の利活用について」	教伸 FG 任 FG 養伸 FG 任養 FG 栄伸 FG 任栄 FG	オンデマンド配信	各勤務場所

研修番号		2231					
研修名		東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ					
研修タイトル		授業研究 A					
申込方法等		研修受講申込受付システム		○	別途通知		
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された充実期（9年目～）に必要な学習指導力の伸長を図ります。					
対象校種		都立高等学校・都立特別支援学校					
対象教員		教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する高・特の主任教諭及び教諭 ※令和 4 年度より「2232 島しょ都立」を統合					
特色							
研修内容							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	オンデマンド： 6 月配信予定 同時双方向 ※： 6 月 15 日（木） 6 月 20 日（火） 6 月 22 日（木） 6 月 27 日（火） 6 月 29 日（木） ※指定された 1 日に受講する。	オンデマンド： 勤務時間 同時双方向： 14:00-16:30	オンデマンド配信 ・「授業研究オリエンテーション」 ・講義・演習 「学習指導要領の趣旨と教育課程」 「観点別学習状況の評価」 「指導と評価の一体化をめざした学習評価」 同時双方向型オンライン ・講義・演習 「校内の授業改善において中堅教諭に期待すること」 ・講義・演習 「OJT 推進を通じた授業改善の取組」	教伸 A ①②③ ④ 任 A ①②③	オンデマンド配信・ ライブ配信双方向	各勤務場所
	2	7 月配信予定	勤務時間	・協議・演習 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」 ・講義・演習 「授業研究、研究協議について」 ・「教科に応じた ICT の利活用について」※ ※自身の教科に応じた動画を選択して視聴する。	教伸 A ①②③ ④ 任 A ①②③	オンデマンド配信	各勤務場所
	3	7 月～	—	以下から選択	教伸 A	集合	各会場校

		11 月		・ 東京教師道場の「授業研究の公開」への参加 ・ 自身の授業の公開及び他校の教員との研究協議 ・ 他校への授業見学及び研究協議への参加	①②③ ④ 任 A ①②③		
	4	11 月 6 日 (月) 11 月 9 日 (木) 11 月 14 日 (火) 11 月 16 日 (木) 11 月 21 日 (火) 指定された 1 日に受講 する。	14:00-16:30	・ 演習・協議 「1年間の授業改善の振り返り」 「今後の取組みについて」	教伸 A ①②③ ④ 任 A ①②③	ライブ配 信双方向	各 勤 務 場 所

研修番号		2251					
研修名		東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ					
研修タイトル		教育相談等に関する研修 A					
申込方法等		研修受講申込受付システム		○	別途通知		
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された充実期（9年目～）に必要な生活指導・進路指導力の伸長を図ります。					
対象校種		都立高等学校・都立特別支援学校					
対象教員		教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する高・特の主任教諭及び教諭					
特色							
研修内容							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	9月配信予定	勤務時間	・講義・演習 「生徒指導提要の改訂について」 ・講義・演習 「学校における児童・生徒のいじめ防止、不登校・中途退学、自殺予防の取組について」 「少年非行の現状と課題」 ・講義・演習 「関係機関との連携協働について」	教伸 B①②③ 任 B①②③	オンデマンド配信	各勤務場所

研修番号		2261、2661					
研修名		東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修 I					
研修タイトル		授業研究 B					
申込方法等		研修受講申込受付システム		○	別途通知		○（具申）
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された伸長期（4 年目～）から充実期（9 年目～）にかけて必要な学習指導力を身に付けます。					
対象校種		小・中・高・特					
対象教員		教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する小・中・高・特の「学習指導」が i 段階の者					
特色							
研修内容							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	6 月 9 日 （金）	13:30- 16:30	・「オリエンテーション」、 ・講義・演習 「授業力の 6 要素と自己の課題」 「授業改善の PDCA」	教伸 A ①②③ ④	ライブ配信 双方向	各勤務場所
	2	7 月配信予定	勤務時間	・講義・演習 「学習指導要領の趣旨と教育課程」 「観点別学習状況の評価」 「指導と評価の一体化をめざした学習評価」 ・「教科に応じた I C T の利活用について」※ ※自身の教科に応じた動画を選択して視聴する。	教伸 A ①②③ ④	オンデマンド配信	各勤務場所
	3	別途通知	—	「授業見学・協議」	教伸 A ①②③ ④	集合	別途通知
	4	11 月 6 日 （月） 11 月 9 日 （木） 11 月 14 日 （火） 11 月 16 日 （木） 11 月 21 日 （火） 指定された 1 日に受講 する。	14:00- 16:30	・演習・協議 「1 年間の授業改善の振り返り」 「今後の取組みについて」	教伸 A ①②③ ④ 任 A ①②③	ライブ配信 双方向	各勤務場所

研修番号			2262、2662					
研修名			東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ					
研修タイトル			教育相談等に関する研修Ⅱ					
申込方法等			研修受講申込受付システム		○	別途通知		○（具申）
ねらい			東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された伸長期（４年目～）から充実期（９年目～）かけて必要な生活指導・進路指導力を身に付けます。					
対象校種			小・中・高・特					
対象教員			教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する小・中・高・特の「生活指導・進路指導」がⅰ段階の者					
特色								
研修内容								
日	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場	
	1	オンデマンド： 9月配信予定	オンデマンド： 勤務時間	オンデマンド配信 ・講義・演習 「生徒指導提要の改訂について」 ・講義・演習 「学校における児童・生徒のいじめ防止、不登校・中途退学、自殺予防の取組について」 「少年非行の現状と課題」 ・講義・演習 「関係機関との連携協働について」	教伸Ⅱ ①②③	オンデマンド配信、 ライブ配信 双方向	各勤務場所	
		同時双方向： 10月31日 (火)	同時双方向： 14:00- 16:30	同時双方向型オンライン ・講義・演習 「事例研究」				

研修番号		2671					
研修名		東京都公立幼稚園中堅教諭等資質向上研修 I					
研修タイトル		幼稚園運営					
申込方法等		研修受講申込受付システム				別途通知	○
ねらい		・園内研修の企画・運営及び保護者や他の専門機関との連携について学び、園運営の一翼を担う自覚と専門性を高めます。 ・個に応じた保育について理解を深め、組織的な対応について助言・提案ができる力を身に付けます。					
対象校種		公立幼稚園等					
対象教員		教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する公立幼稚園の主任教諭及び教諭					
特色							
研修内容							
日程等	回	実施日	時間	内容	研修形態	会場	
	1	9 月配信予定	勤務時間	・講義・演習 「幼稚園教育の現状と課題」	オンデマンド配信	各勤務場所	
	2	9 月配信予定	勤務時間	・講義・演習 「幼児教育の現状と園内研究」	オンデマンド配信	各勤務場所	

研修番号		2672				
研修名		東京都公立幼稚園中堅教諭等資質向上研修 I				
研修タイトル		保育内容				
申込方法等		研修受講申込受付システム			別途通知	○
ねらい		・保育に関する根拠資料や最新の知識を学び、他の教員へ適切な指導・助言ができる力を身に付けます。 ・研究保育、参観、協議等を通して自身の実践的指導力を高めるとともに、園のカリキュラム・マネジメントに資する力を身に付けます。				
対象校種		公立幼稚園等				
対象教員		教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する幼稚園の主任教諭及び教諭				
特色						
研修内容						
日程等	回	実施日	時間	内容	研修形態	会場
	1	7 月 3 日 (月)	13:30-16:30	・講義・演習 「教育課程に基づく指導改善」 ・講義・演習 「指導方法の改善」	集合	東京都教職員研修センター
	2	別途通知	別途通知	保育観察と協議会	集合	園会場

研修番号		2281、2681					
研修名		東京都公立学校中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ					
研修タイトル		保健室経営					
申込方法等		研修受講申込受付システム		○	別途通知		
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標（養護教諭）に示された充実期（9年目～）に必要な資質・能力の育成を図ります。					
対象校種		小・中・高・特					
対象教員		教職経験11・12・13年目のいずれかに該当する小・中・高・特の主任養護教諭及び養護教諭					
特色							
研修内容							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	7月配信予定	勤務時間	・講義・演習 「教育課題と現代的な健康課題」 ・講義・演習 「学校保健計画の策定」	養伸 ABCDG 任養 ABCDG	オンデマンド配信	各勤務場所
	2	7月28日（金）	13:30-16:30	・講義・演習 「学校保健計画（案）の作成」	養伸 ABCDG 任養 ABCDG	集合	東京都教職員センター

研修番号		2291、2691					
研修名		東京都公立学校中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ					
研修タイトル		食に関する指導等					
申込方法等		研修受講申込受付システム		○	別途通知		
ねらい		東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標（栄養教諭）に示された「５年目～」の成長段階に必要な資質・能力の育成を図ります。					
対象校種		小・中・高・特					
対象教員		教職経験 11・12・13 年目のいずれかに該当する小・中・高・特の主任栄養教諭及び栄養教諭					
特色							
研修内容							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	8月配信予定	勤務時間	・講義・演習 「地区及び学校における食に関する指導の充実」 ・講義・演習 「喫緊の教育課題と食に関する課題」	栄伸 ABCDG 主栄 ABCDG	オンデマンド配信	各勤務場所
	2	8月31日（木）	13:30-16:30	・講義・演習 「食に関する指導に係る全体計画の改善」 ・講義・演習 「地区及び学校における組織的な食育の推進」	栄伸 ABCDG 主栄 ABCDG	集合	東京都教職員研修センター

研修番号		2301 他					
研修名		東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅱ					
申込方法等		研修受講申込受付システム		○	別途通知		
ねらい		・新たな教育課題についての理解を深め、組織における中心的な役割を果たすことができる力を身に付けます。					
対象校種		小・中・高・特					
対象教員		教職経験 21・22・23 年目のいずれかに該当する小・中・高・特の主任教諭及び教諭、主任養護教諭及び養護教諭、主任栄養教諭及び栄養教諭					
特色							
研修内容							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	8 月配信予定	勤務時間	・ 講義・演習 「サービスの厳正」 ・ 講義・演習 「人権教育の推進」 ・ 講義・演習 「中堅教諭としてのファシリテーション能力について」 ・ 講義・演習 「一人 1 台学習者用端末の活用の推進」	教伸 FG 任 FG	オンデマンド配信	各勤務場所
	2	9 月 7 日（木） 9 月 12 日（火） 9 月 21 日（木） 9 月 26 日（火） 9 月 28 日（木） 10 月 2 日（月） 10 月 5 日（木） 10 月 12 日（木） 10 月 17 日（火） 10 月 20 日（金） 指定された 1 日を受講する。	15:00- 16:30	・ 講義・演習 「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」	教伸 EG 任 EG	ライブ配信双方向	各勤務場所

研修番号		2401					
研修名		東京都公立学校 期限付任用教員（教諭）任用時研修(都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校)					
申込方法等		研修受講申込受付システム		○	「別途通知」		
ねらい		東京都公立学校の期限付任用教員(教諭)の資質の向上を目指し、教諭としての使命感、幅広い知見、実践的指導力等を得られるようにします。					
対象校種		都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校					
対象教員		令和5年度に都立高等学校・中等教育学校・附属中学校・附属小学校に任用された期限付任用教員（教諭）のうち、これまでに本研修を受講していない者（島しょ地区を除く）					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月3日 (月)	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育 (東京都こども基本条例、日本語指導が必要な児童生徒、ヤングケアラーの理解を含む)	教基 E① 教基 G①	集合	ニッショーホール
	2 3	4月4日 (火)	9:30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・サービス（サービス事故防止） ・勤務・人事考課制度 等	教基 D①②③ 教基 C①② 教基 B②③	集合	ニッショーホール
	4	5月8日 (月) ～ 5月29日 (月)	勤務時間	・学習指導要領と教育課程 ・学習指導案の作成 (単元の構想)	教基 A ①②③ 教基 D①	オンデマンド 配信・ 演習	各勤務場所
	5	5月30日 (火) 又は 6月2日 (金)	13:30-16:30	・不登校・中途退学、自殺防止の取組 ・学習指導案の作成 (本時案の検討)	教基 G① 教基 A ①②③	集合	教職員研修センター
	6	7月7日 (金) 又は 7月11日 (火)	13:30-16:30	・研究協議の進め方	教基 A②④	集合	教職員研修センター
	7 8	8月9日 (水) 又は 8月23日 (水)	9:30-16:30	・模擬授業、協議 等	教基 A ①②③④	集合	教職員研修センター
	9	9月8日 (金) 又は 9月19日 (火)	13:30-16:30	・保護者との望ましい関係の在り方 ・生活指導の充実（いじめ防止を含む）	教基 C①② 教基 B②③ 教基 G① 教基 D③	集合	教職員研修センター
	10	10月10日 (火) 又は 10月13日 (金)	13:30-16:30	・ICTの活用・情報モラル教育 ・主体的・対話的で深い学びの実現①	教基 A ①②③④ 教基 F①②	集合	教職員研修センター
	11	11月6日 (月) ～ 11月27日 (月)	勤務時間	・授業改善のPDCA ・特別支援教育 ・個に応じた指導の充実	教基 A①② 教基 E① 教基 A③	オンデマンド 配信・ 演習	各勤務場所
	12	12月1日 (金) 又は 12月5日 (火)	13:30-16:30	・入学者選抜 等 ・学習評価の充実 ・1年次（初任者）研修のまとめ	教基 D①② 教基 B① 教基 A ①②③④	集合	教職員研修センター

研修番号		2411					
研修名		東京都公立学校 期限付任用教員（教諭）任用時研修(都立特別支援学校)					
申込方法等		研修受講申込受付システム		○	「別途通知」		
ねらい		東京都公立学校の期限付任用教員(教諭)の資質の向上を目指し、教諭としての使命感、幅広い知見、実践的指導力等を得られるようにします。					
対象校種		都立特別支援学校					
対象教員		令和5年度に都立特別支援学校に任用された期限付任用教員（教諭）のうち、これまでに本研修を受講していない者（島しょ地区を除く）					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月3日 (月)	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育	教基 E① 教基 G①	集合	教職員研修センター
	2 3	4月4日 (火)	9:30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・サービス（サービス事故防止） ・勤務・人事考課制度 等	教基 D①②③ 教基 C①② 教基 B②③	集合	教職員研修センター
	4	5月16日 (火) ～ 6月6日 (火)	勤務時間	・特別支援教育の基礎・基本 ・学習指導要領の理解と学習指導案の作成	教基 A①②③ 教基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	5	6月20日 (火) 又は 6月23日 (金)	13:30-16:30	・個別指導計画を生かした学習指導の実際 ・学習指導案の作成及び検討	教基 A①②③	集合	教職員研修センター
	6	7月18日 (火) 又は 7月21日 (金)	13:30-16:30	・不登校・中途退学、自殺防止の取組 ・主体的・対話的で深い学びの実現①（動画による指導教諭の指導）	教基 G① 教基 A①②③④	集合	教職員研修センター
	7 8	8月28日 (月) 又は 8月29日 (火)	9:30-16:30	・模擬授業、協議 等	教基 A①②③④	集合	教職員研修センター
	9	9月22日 (金) 又は 9月26日 (火)	13:30-16:30	・保護者・地域・関係機関との連携 ・特別支援学校における生活指導（いじめ防止を含む）	教基 C①② 教基 B①② 教基 G①	集合	教職員研修センター
	10	10月27日 (金) 又は 11月7日 (火)	13:30-16:30	・特別支援学校における情報モラル教育とICT活用 ・特別支援学校における危機管理・対応	教基 F①② 教基 D①②③ 教基 E① 教基 B①②	集合	教職員研修センター
	11	11月27日 (月) ～ 12月18日 (月)	勤務時間	・授業改善のPDCA ・障害のある児童・生徒の理解 ・個別的教育支援計画を活用した児童・生徒の支援の充実	教基 A①② 教基 E① 教基 C①②	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	12	12月19日 (火) 又は 12月22日 (金)	13:30-16:30	・1年次研修のまとめ ・個別指導計画に基づく学習評価 ・特別支援教育の推進者として若手教員に期待すること	教基 A①②③④ 教基 E①	集合	教職員研修センター

研修番号		2421					
研修名		東京都公立学校 期限付任用教員（教諭）任用時研修(小・中学校特別支援学級等)					
申込方法等		研修受講申込受付システム			「別途通知」（希望制）		○
ねらい		東京都公立学校の期限付任用教員(教諭)の資質の向上を目指し、教諭としての使命感、幅広い知見、実践的指導力等を得られるようにします。					
対象校種		区市町村立学校の特別支援学級等					
対象教員		令和５年度に区市町村立学校の特別支援学級等に期限付任用教員（教諭）として任用された者のうち、各区市町村教育委員会が定める者。また、これまでに本研修を受講していない者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	6 月 21 日 (水) ～ 7 月 12 日 (水)	勤務時間	・ 障害のある児童・生徒 の医療と心理（てんかん・吃音への対応を含む） ・ 障害のある児童・生徒 に対する教育について	教基 E① 教基 A ①②③④	オンデ マンド 配信・ 演習	各勤務場所
	2	11 月 7 日 (火) ～ 11 月 28 日 (火)	勤務時間	・ 特別支援学級の教育課 程 ・ 特別支援学級における 授業づくり	教基 A ①②③④ 教基 E①	オンデ マンド 配信・ 演習	各勤務場所
	3	12 月 4 日 (月) ～ 12 月 25 日 (月)	勤務時間	・ 個別の教育支援計画を 活用した児童・生徒の 支援の充実 ・ 授業改善の PDCA～学 習指導案の作成を通し て～	教基 A ①②③④ 教基 E①	オンデ マンド 配信・ 演習	各勤務場所

研修番号		2431					
研修名		東京都公立学校 期限付任用教員（教諭）任用時研修（島しょ都立高等学校、島しょ公立小・中学校）					
申込方法等		研修受講申込受付システム		都立	「別途通知」		小・中
ねらい		東京都公立学校の期限付任用教員（教諭）の資質の向上を目指し、教諭としての使命感、幅広い知見、実践的指導力等を得られるようにします。					
対象校種		島しょ都立高等学校、島しょ小・中学校					
対象教員		令和5年度に島しょ地区の都立高等学校、公立小・中学校に任用された期限付任用教員（教諭）のうち、これまでに本研修を受講していない者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月3日（月）	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育（東京都こども基本条例、日本語指導が必要な児童生徒、ヤングケアラーの理解を含む）	教基 E① 教基 G①	集合 ※小・中は集合又はオンデマンド配信等選択	ニッショーホール
	2 3	4月4日（火）	9：30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度 等	教基 D①②③ 教基 C①② 教基 B②③	集合 ※小・中は集合又はオンデマンド配信等選択	ニッショーホール
	4	5月8日（月） ～ 5月29日（月）	勤務時間	・学習指導要領と教育課程 ・学習指導案の作成（単元の構想）	教基 A①②③ 教基 D①	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所
	5 6	8月7日（月）	9:30-16:30	・不登校・中途退学、自殺防止の取組 ・学習指導案の作成（本時案の検討） ・研究協議の進め方	教基 G① 教基 A①②③④	集合 ※小・中は集合又はオンデマンド配信等選択	教職員研修センター
	7 8	8月8日（火）	9:30-16:30	・保護者との望ましい関係の在り方 ・生活指導の充実（いじめ防止を含む） ・ICTの活用・情報モラル教育 ・主体的・対話的で深い学びの実現①	教基 C①② 教基 B①② 教基 A①②③④ 教基 F①② 教基 D①② 教基 G①	集合 ※小・中は集合又はオンデマンド配信等選択	教職員研修センター
	9 10	8月9日（水）	9:30-16:30	・模擬授業、協議等	教基 A①②③④	集合	教職員研修センター
	11	11月6日（月） ～ 11月27日（月）	勤務時間	・授業改善のPDCA ・特別支援教育 ・個に応じた指導の充実	教基 A①② 教基 E① 教基 A③	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所
	12	12月1日（金）	13:30-16:30	・入学者選抜 等 ・学習評価の充実 ・1年次（初任者）研修のまとめ 等	教基 D①② 教基 A①②③④	集合 ※小・中は集合又はオンデマンド配信等選択	教職員研修センター

研修番号		2432					
研修名		東京都公立学校 期限付任用教員（教諭）任用時研修（島しょ都立特別支援学校、島しょ公立小・中学校（特別支援学級等））					
申込方法等		研修受講申込受付システム		都立	「別途通知」		小・中
ねらい		東京都公立学校の期限付任用教員（教諭）の資質の向上を目指し、教諭としての使命感、幅広い知見、実践的指導力等を得られるようにします。					
対象校種		島しょ都立特別支援学校、島しょ小・中学校（特別支援学級等）					
対象教員		令和5年度に島しょ地区の都立特別支援学校、公立小・中学校（特別支援学級等）に任用された期限付任用教員（教諭）のうち、これまでに本研修を受講していない者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月3日 (月)	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育（東京都こども基本条例、日本語指導が必要な児童生徒、ヤングケアラーの理解を含む）	教基 E① 教基 G①	集合 ※小・中は集合又はオンデマンド配信等選択	教職員研修センター
	2 3	4月4日 (火)	9:30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・サービス（サービス事故防止） ・勤務・人事考課制度等	教基 D①②③ 教基 C①② 教基 B②③	集合 ※小・中は集合又はオンデマンド配信等選択	教職員研修センター
	4	5月16日 (火) ～ 6月6日 (火)	勤務時間	・特別支援教育の基礎・基本 ・学習指導要領の理解と学習指導案の作成	教基 A①②③ 教基 E①	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	5 6	8月7日 (月)	9:30-16:30	・不登校・中途退学、自殺防止の取組 ・学習指導案の作成（本時案の検討） ・研究協議の進め方	教基 G① 教基 A①②③④	集合 ※小・中は集合又はオンデマンド配信等選択	教職員研修センター
	7 8	8月8日 (火)	9:30-16:30	・保護者との望ましい関係の在り方 ・生活指導の充実（いじめ防止を含む） ・ICTの活用・情報モラル教育 ・主体的・対話的で深い学びの実現①	教基 C①② 教基 B①② 教基 A①②③④ 教基 F①② 教基 D①② 教基 G①	集合 ※小・中は集合又はオンデマンド配信等選択	教職員研修センター
	9 10	8月28日 (月)	9:30-16:30	・模擬授業、協議 等	教基 A①②③④	集合	教職員研修センター
	11	11月27日 (月) ～ 12月18日 (月)	勤務時間	・授業改善のPDCA ・障害のある児童・生徒の理解 ・個別の教育支援計画を活用した児童・生徒の支援の充実	教基 A①② 教基 E① 教基 C①②	オンデマンド配信・演習	各勤務場所
	12	12月22日 (金)	13:30-16:30	・1年次研修のまとめ ・個別指導計画に基づく学習評価 ・特別支援教育の推進者として若手教員に期待すること	教基 A①② 教基 E① 教基 C①②	集合 ※小・中は集合又はオンデマンド配信等選択	教職員研修センター

研修番号		2441					
研修名		東京都公立学校 期限付任用教員（養護教諭）任用時研修（都立学校・島しょ）					
申込方法等		研修受講申込受付システム		都立	別途通知		島しょ
ねらい		東京都公立学校の期限付任用教員（養護教諭）に対して、養護教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることができるようにする。					
対象校種		都立学校、島しょ都立、島しょ小・中学校					
対象教員		令和5年度に都立学校及び島しょ地区の都立学校、公立小・中学校に任用された期限付任用教員（養護教諭）のうち、これまでに本研修を受講していない者					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月3日（月）	14:00-16:30	・東京都の教育施策 ・東京都の人権教育（東京都こども基本条例、日本語指導が必要な児童生徒、ヤングケアラーの理解を含む）	養基 E① 養基 G①	集合 島しょ・都立・公立小・中学校 又教職員研修センター	ニッショールホール 又教職員研修センター
	2 3	4月4日（火）	9:30-16:30	・接遇マナー（ビジネススキルの基本） ・体罰防止（アンガーマネジメント） ・メンタルヘルス ・服務（服務事故防止） ・勤務・人事考課制度 等	養基 B①② 養基 C② 養基 D①③	集合 島しょ・都立・公立小・中学校 又教職員研修センター	ニッショールホール 又教職員研修センター
	4 5	5月18日（木）	9:30-16:30	・研修ガイダンス ・新規採用養護教諭に求められること ・定期健康診断と学校保健事務 ・普通救命講習	養基 A② 養基 D① 養基 G①	集合	教職員研修センター
	6	6月19日（月）	13:30-16:30	・救急処置の理論と実際 ・アレルギー疾患への対応	養基 A② 養基 B① 養基 C① 養基 G①	集合 島しょ・都立・公立小・中学校 又教職員研修センター	教職員研修センター
	7	6月30日（金）～7月21日（金）	勤務時間	・保健室経営の充実 ・保健教育の充実、学習指導要領の理解	養基 A①② 養基 D②	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所
	8 9	7月下旬～8月上旬（別途通知）	9:30-16:30	・保健室経営の実際 ・健康上配慮を要する児童・生徒への関わり（不登校への対応含む） ・特別な支援を必要とする児童・生徒との関わり及び関係機関との連携	養基 A② 養基 B①② 養基 C①② 養基 D② 養基 E① 養基 G①	集合	学校会場（別途通知）
	10	9月～11月（別途通知）	13:30-16:30	・授業の実際 ・授業への参画、連携の図り方	養基 A① 養基 D③	集合 島しょ・都立・公立小・中学校 又教職員研修センター	学校会場（別途通知）
	11	11月1日（水）～11月22日（水）	勤務時間	・保護者との望ましい関係の在り方 ・学習指導案の立案と授業の実際、ICTの活用・情報モラル教育 ・学校保健計画の作成と活用	養基 A① 養基 C①② 養基 D① 養基 F①②	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所
	12	12月8日（金）	13:30-16:30	・健康相談の理論と実際（いじめ・虐待の予防及び対応を含む） ・新規採用養護教諭研修のまとめ	養基 B①② 養基 C①② 養基 G①	集合 島しょ・都立・公立小・中学校 又教職員研修センター	教職員研修センター

研修番号		2442						
研修名		東京都公立学校 期限付任用教員（養護教諭）任用時研修（小・中学校）						
申込方法等		研修受講申込受付システム				別途通知		○
ねらい		東京都公立学校の期限付任用教員（養護教諭）に対して、養護教諭の職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることができるようにする。						
対象校種		東京都公立小・中学校に在籍する者						
対象教員		令和５年度に島しょ地区以外の東京都公立小・中学校に任用された期限付任用教員（養護教諭）のうち、これまでに本研修を受講していない者						
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場	
	1 2	5月18日 （木）	9:30-16:30	・研修ガイダンス ・新規採用養護教諭に求められること ・定期健康診断と学校保健事務 ・普通救命講習	養基 A② 養基 D① 養基 G①	集合	教職員研修センター	
	3	6月19日 （月）	13:30-16:30	・救急処置の理論と実際 ・アレルギー疾患への対応	養基 A② 養基 B① 養基 C① 養基 G①	集合	教職員研修センター	
	4	6月30日 （金）～ 7月21日 （金）	勤務時間	・保健室経営の充実 ・保健教育の充実、学習指導要領の理解	養基 A①② 養基 D②	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所	
	5 6	7月下旬～ 8月上旬 （別途通知）	9:30-16:30	・保健室経営の実際 ・健康上配慮を要する児童・生徒への関わり（不登校への対応含む） ・特別な支援を必要とする児童・生徒との関わり及び関係機関との連携	養基 A② 養基 B①② 養基 C①② 養基 D② 養基 E① 養基 G①	集合	学校会場 （別途通知）	
	7	9月～ 11月 （別途通知）	13:30-16:30	・授業の実際 ・授業への参画、連携の図り方	養基 A① 養基 D③	集合	学校会場 （別途通知）	
	8	11月1日 （水）～ 11月22日 （水）	勤務時間	・保護者との望ましい関係の在り方 ・学習指導案の立案と授業の実際、ICTの活用・情報モラル教育 ・学校保健計画の作成と活用	養基 A① 養基 C①② 養基 D① 養基 F①②	オンデマンド 配信・演習	各勤務場所	
	9	12月8日 （金）	13:30-16:30	・健康相談の理論と実際（いじめ・虐待の予防及び対応を含む） ・新規採用養護教諭研修のまとめ	養基 B①② 養基 C①② 養基 G①	集合	教職員研修センター	

リーダー養成研修

1 受講対象者

各講座のねらいに沿って、本人の希望を受けた管理職の推薦により申込をします。

2 各講座

研修等名	担当課	電話番号	申込等
特別支援教育リーダー養成研修	専門教育向上課	03-5802-0296	専門性向上研修と同様
独立行政法人教職員支援機構等派遣研修	企画課	03-5802-0268	別途、 担当課から 所属長宛てに 通知
大学院派遣研修 (新教育大学大学院派遣研修、大学院設置 基準第14条適用大学院派遣研修) 教職大学院派遣研修	教育開発課 (大学院派遣研修担当)	03-5802-0307	
東京都教員研究生	教育開発課 (東京都教員研究生担当)	03-5802-0319	
東京教師道場	授業力向上課	03-5802-2236	

(1) リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3001	研修名	特別支援教育コーディネーターベーシック (特別支援教育コーディネーター基礎)				
研修タイトル	特別支援教育コーディネーターベーシック ー特別支援教育コーディネーター基礎ー						
ねらい	特別支援教育コーディネーターとして指名された教員が、特別支援教育に関する知識及び課題解決の手法を身に付け、ニーズに応じた具体的な支援策を実行できる能力を高めます。						
対象校種・定員	幼・小・中・高 100名						
対象教員	特別支援教育コーディネーターの経験が2年以下で基礎・基本を身に付けたい教員						
講師	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 佐藤 利正 主任研究員を予定						
特色	◇特別支援教育コーディネーターの役割について理解を深める研修 ◇特別支援教育コーディネーターに必要な基本的な内容を学ぶ研修						
研修関連動画	5-(16)						
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札 (所属校で使用しているもの)						
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	7月28日 (金)	13:30- 16:30	○特別支援教育コーディネーターの役割 ○校内支援会議の運営や教員との連携等 ○関係機関との連携について	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員 研修センター (水道橋)

(1) リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号		3002	研修名	特別支援教育コーディネーターベーシック (校内支援体制整備ガイドライン)			
研修タイトル		特別支援教育コーディネーターベーシック ー校内支援体制整備ガイドラインー					
ねらい		特別支援教育コーディネーターとして指名された教員が、特別支援教育に関する知識及び課題解決の手法を身に付け、ニーズに応じた具体的な支援策を実行できる能力を高めます。					
対象校種・定員		幼・小・中・高 400名					
対象教員		特別支援教育コーディネーターの経験が2年以下で基礎・基本を身に付けたい教員					
講師		東京学芸大学 奥住 秀之 教授を予定					
特色		◇特別支援教育コーディネーターの役割について理解を深める研修 ◇特別支援教育コーディネーターに必要な基本的な内容を学ぶ研修					
研修関連動画		5-(16)					
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	9月5日 (火)	13:30- 16:30	○校内支援体制整備ガイドラインについて	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	東村山市立 中央公民館 (東村山)

(1) リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3003	研修名	特別支援教育コーディネーターベーシック （発達障害の医学的理解）				
研修タイトル	特別支援教育コーディネーターベーシック －発達障害の医学的理解－						
ねらい	特別支援教育コーディネーターとして指名された教員が、特別支援教育に関する知識及び課題解決の手法を身に付け、ニーズに応じた具体的な支援策を実行できる能力を高めます。						
対象校種・定員	幼・小・中・高 400 名						
対象教員	特別支援教育コーディネーターの経験が2年以下で基礎・基本を身に付けたい教員						
講師	帝京大学大学院教職研究科 大学院教職研究科 藤井 靖史 教授を予定						
特色	◇特別支援教育コーディネーターに必要な基本的な内容を学ぶ研修						
研修関連動画	5－(16)						
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）						
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	8 月 9 日 （水）	13:30- 16:30	○障害への医学的理解 ○医療の理解と応用	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員 研修センター （水道橋）

(1) リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3004	研修名	特別支援教育コーディネーターアドバンス (発達性ディスレクシア・言語発達障害)				
研修タイトル	特別支援教育コーディネーターアドバンス ー発達性ディスレクシアー						
ねらい	特別支援教育コーディネーターの経験を積んだ教員のスキルアップを図り、関係機関と連携して地域や学校において児童・生徒を支援する技術の習得を図ります。						
対象校種・定員	小・中・高 400 名						
対象教員	特別支援教育コーディネーターの経験が 3 年以上の教員						
講師	目白大学 保健医療学部 言語聴覚学科 後藤 多可志 准教授を予定						
特色	◇関係機関等と連携した支援の技術の習得を図る研修						
研修関連動画	5-(7)、5-(16)						
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）						
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	8 月 8 日 (火)	13:30- 16:30	○発達性読み書き障害（発達性ディスレクシア）のアセスメント結果に基づく支援方法の検討 ○発達性ディスレクシアの指導・支援方法	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員 研修センター (水道橋)

(1) リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3005	研修名	特別支援教育コーディネーターアドバンス (センター的機能・指導技術の向上)				
研修タイトル	特別支援教育コーディネーターアドバンス ーセンター的機能・関係機関との連携ー						
ねらい	特別支援教育コーディネーターの経験を積んだ教員のスキルアップを図り、関係機関と連携して地域や学校において児童・生徒を支援する技術の習得を図ります。						
対象校種・定員	小・中・高 100 名						
対象教員	特別支援教育コーディネーターの経験が3年以上の教員						
講師	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 井上 秀和 総括研究員等を予定						
特色	◇関係機関等と連携した支援の技術の習得を図る研修						
研修関連動画	5-(7)、5-(16)						
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）						
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	7月13日 (木)	13:30- 16:30	○センター的機能について ○関係機関との連携について ○指導技術の向上について ○事例を用いた演習・協議	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員 研修センター (水道橋)

(1) リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号		3006	研修名	特別支援教育コーディネーターアドバンス (特別支援教育コーディネーター実践)			
研修タイトル		特別支援教育コーディネーターアドバンス ー特別支援教育コーディネーター実践ー					
ねらい		特別支援教育コーディネーターの経験を積んだ教員のスキルアップを図り、関係機関と連携して地域や学校において児童・生徒を支援する技術の習得を図ります。					
対象校種・定員		小・中・高 100 名					
対象教員		特別支援教育コーディネーターの経験が 3 年以上の教員					
講師		独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 佐藤 利正 主任研究員を予定					
特色		◇関係機関等と連携した支援の技術の習得を図る研修					
研修関連動画		5-(7)、5-(16)					
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	8 月 10 日 (木)	13:30- 16:30	○特別支援教育コーディネーターの実践 ○関係機関との連携方法について ○関係機関及び教員間の連携について ○演習	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員 研修センター (水道橋)

(1) リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3007	研修名	特別支援教育コーディネーター (センター的機能・指導技術の向上)				
研修タイトル	特別支援教育コーディネーター ーセンター的機能・指導技術の向上ー						
ねらい	特別支援教育コーディネーターとして指名された教員が、地域における特別支援教育のセンターとして、各学校等の要請に応じて、特別な支援を必要とする児童・生徒等への必要な助言又は援助を行うことができる技術の習得を図ります。						
対象校種・定員	特 100 名						
対象教員	特別支援学校の特別支援教育コーディネーターで、センター的機能の充実を図りたい教員						
講師	都立学校教諭等を予定						
特色	◇特別支援学校のセンター的機能について理解を深める研修						
研修関連動画	5 - (7)、5 -(16)						
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）						
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	9 月 8 日 (金)	13:30- 16:30	○特別支援学校のセンター的機能について ○実践事例を用いた演習・協議	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員 研修センター (水道橋)

(1) リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3008	研修名	特別支援教育コーディネーター (特別支援教育コーディネーター基礎)				
研修タイトル	特別支援教育コーディネーター ー特別支援教育コーディネーターの基礎ー						
ねらい	特別支援教育コーディネーターとして指名された教員が、地域における特別支援教育のセンターとして、各学校等の要請に応じて、特別な支援を必要とする児童・生徒等への必要な助言又は援助を行うことができる技術の習得を図ります。						
対象校種・定員	特 100 名						
対象教員	特別支援学校の特別支援教育コーディネーターで、コーディネーターの基礎を学びたい教員						
講師	都立学校教育部 統括指導主事等を予定						
特色	◇特別支援学校のセンター的機能について理解を深める研修						
研修関連動画	5-(7)、5-(16)						
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）						
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	9月22日 (金)	13:30- 16:30	○特別支援教育コーディネーターに期待すること ○校内支援委員会の運営について ○協議・演習	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員 研修センター (水道橋)

(1) リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3009	研修名	特別支援教育コーディネーター (障害の医学的理解)			
研修タイトル	特別支援教育コーディネーター ー障害の医学的理解ー					
ねらい	特別支援教育コーディネーターとして指名された教員が、地域における特別支援教育のセンターとして、各学校等の要請に応じて、特別な支援を必要とする児童・生徒等への必要な助言又は援助を行うことができる技術の習得を図ります。					
対象校種・定員	特 200 名					
対象教員	特別支援学校の特別支援教育コーディネーターで、障害の医学的理解を学びたい教員					
講師	国立精神・神経医療研究センター病院 中川 栄二 特命副院長を予定					
特色	◇特別支援学校のセンター的機能について理解を深める研修 ◇オンライン（オンデマンド配信）による研修 ※この研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件となります。					
研修関連動画	5-(7)、5-(16)					
持ち物・事前課題等	※配信期間が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態
	1	8 月 ～ 9 月 配信予定	約 180 分	○障害への医学的理解 ○医療の理解と応用 ○てんかんに関する理解と対応	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	オンライン (オンデマンド配信)

(1) リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3011	研修名	特別支援教室・高等学校通級指導担当教員研修				
研修タイトル	特別支援教室・高等学校通級における指導法　－基礎から実践へ－						
ねらい	特別支援教室及び高等学校通級指導の担当教員が、指導に生かせる基礎・基本及び課題解決の手法を身に付け、ニーズに応じた具体的な支援策を実行できる能力を高めます。						
対象校種・定員	小・中・高　　150名						
対象教員	特別支援教室及び高等学校通級での基礎・基本及び課題解決の手法を身に付けた教員						
講師	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所　北川　貴章　主任研究員等を予定						
特色	◇特別支援教室及び高等学校通級指導について学ぶ研修 ◇第1回は全体研修、第2回はキャリア別に演習・協議、第3回は校種別に演習・協議を行います。						
研修関連動画	5-(7)、5-(8)、5-(16)						
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）						
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	7月14日 (金)	13:30-16:30	○特別支援教室の教育課程の基礎 ○指導資料の活用 ○自立活動と個別指導計画の作成等	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員 研修センター (水道橋)
	2	8月23日 (水)	13:30-16:30	○キャリア別の課題等について実践事例を用いた演習・協議	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員 研修センター (水道橋)
	3	9月13日 (水)	13:30-16:30	○校種ごとの課題等について、実践事例を用いた演習・協議 ○実践発表等	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員 研修センター (水道橋)

(1) リーダー養成研修

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0296〕

研修番号	3012	研修名	特別支援学級担当教員研修				
研修タイトル	特別支援学級における指導法　－基礎から実践へ－						
ねらい	特別支援学級の担当教員が、指導に生かせる基礎・基本及び課題解決の手法を身に付け、ニーズに応じた具体的な支援策を実行できる能力を高めます。						
対象校種・定員	小・中　　100名						
対象教員	特別支援学級での基礎・基本及び課題解決の手法を身に付けたい教員						
講師	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所　真部　信吾　主任研究員等を予定						
特色	◇特別支援学級について学ぶ研修 ◇第1回は全体研修、第2回はキャリア別に演習・協議、第3回は障害種別・校種別に演習・協議を行います。						
研修関連動画	5-(8)、5-(16)						
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）						
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	6月29日 (木)	13:30- 16:30	○特別支援学級の教育課程の基礎 ○指導資料の活用 ○自立活動と個別指導計画の作成等	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員 研修センター (水道橋)
	2	8月22日 (火)	13:30- 16:30	○キャリア別の課題等について実践事例を用いた演習・協議	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員 研修センター (水道橋)
	3	9月15日 (金)	13:30- 16:30	○障害種ごとの課題等について、実践事例を用いた演習・協議 ○実践発表等	教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E①	集合	教職員 研修センター (水道橋)

研修番号		3101			
研修名		派遣研修（研究所等）			
研修タイトル		独立行政法人教職員支援機構 教職員等中央研修（校長研修）			
申込方法等		「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（推薦）	○
ねらい		校長等が、教育改革の最新動向や適切な学校運営、学校組織マネジメント等の重要課題に関する高度な知識等を習得し、今後の職務に生かすとともに、研修成果を東京都の学校教育に活用します。			
対象校種		小・中・高・特			
対象教員		校長			
特色		・文部科学省の講師から、直接、教育施策や法規などの最新の情報を手に入れることができます。 ・グループ演習などワークショップ型の演習を多く取り入れ、参加型の研修を行います。			
研修内容		・学校組織マネジメント ・カリキュラム・マネジメント ・スタッフ・マネジメント ・コミュニティ・マネジメント ・教育政策の諸動向（事前課題） ・リスク・マネジメント ・学校マネジメントプランの設計 ・タイム・マネジメント ・研修成果の活用等			
日程等	区分	実施予定日時	内容	指標	研修形態・会場
	小・中・高・特	【第1回】 ①6月26日（月）～6月30日（金） ②12月13日（水） 【第4回】 11月27日（月）～12月1日（金）	別途通知	長 HIJK	別途通知
	小・中	【第2回】 9月4日（月）～9月8日（金）			
	高・特	【第3回】 10月16日（月）～10月20日（金）			

研修番号		3101				
研修名		派遣研修（研究所等）				
研修タイトル		独立行政法人教職員支援機構 教職員等中央研修（副校長・教頭等研修）				
申込方法等		「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（推薦）	○	
ねらい		副校長等が、教育改革の最新動向や適切な学校運営、学校組織マネジメント等の重要課題に関する高度な知識等を習得し、今後の職務に生かすとともに、研修成果を東京都の学校教育に活用します。				
対象校種		幼・小・中・高・特				
対象教員		副校長・指導主事等				
特色		・文部科学省の講師から、直接、教育施策や法規などの最新の情報を手に入れることができます。 ・グループ演習などワークショップ型の演習を多く取り入れ、参加型の研修を行います。				
研修内容		・学校組織マネジメント ・カリキュラム・マネジメント ・学校ビジョンの構築 ・リスク・マネジメント ・研修成果の活用 等 ・スタッフ・マネジメント ・コミュニティ・マネジメント ・教育政策の諸動向（事前課題） ・タイム・マネジメント				
日程等	区分	実施予定日時		内容	指標	研修形態・会場
	小・中・特	【第1回】 ①7月3日（月）～7月7日（金） ②12月11日（月）		別途通知	副・管幹 HIJK	別途通知
	小・中・高・特	【第2回】 8月21日（月）～8月25日（金） 【第5回】 1月29日（月）～2月2日（金）				
	高・特	【第3回】 10月2日（月）～10月6日（金）				
	幼・小・中	【第4回】 11月13日（月）～11月17日（金）				

研修番号		3101			
研修名		派遣研修（研究所等）			
研修タイトル		独立行政法人教職員支援機構 教職員等中央研修（中堅教員研修）			
申込方法等		「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（推薦）	○
ねらい		中堅教諭等が、教育改革の最新動向や適切な学校運営、学校組織マネジメント等の重要課題に関する高度な知識等を習得し、今後の職務に生かすとともに、研修成果を東京都の学校教育に活用します。			
対象校種		小・中・高・特			
対象教員		主幹教諭・指導教諭・主任教諭・教諭(概ね10年～20年の者)			
特色		・文部科学省の講師から、直接、教育施策や法規などの最新の情報を手に入れることができます。 ・グループ演習などワークショップ型の演習を多く取り入れ、参加型の研修を行います。			
研修内容		・学校組織マネジメント ・カリキュラム・マネジメント ・コミュニティ・マネジメント ・学校ビジョンの構築 ・教育政策の諸動向（事前課題） ・リスク・マネジメント ・メンタルヘルス・マネジメント ・新しい学びの推進 ・生徒指導の推進 ・インクルーシブ教育の推進 ・研修成果の活用 等			
日程等	区分	実施予定日時	内容	指標	研修形態・会場
	小・中・高・特	【第1回】 ①6月5日(月)～6月9日(金) ②12月4日(月) 【第2回】 7月24日(月)～7月28日(金) 【第5回】 1月22日(月)～1月26日(金)	別途通知	教伸、任、指、幹、管 幹、養伸、任養、栄伸、任栄 ABCDEFGHIJK	別途通知
	高・特	【第3回】 9月11日(月)～9月15日(金)			
	小・中	【第4回】 10月23日(月)～10月27日(金)			

研修番号		3101			
研修名		派遣研修（研究所等）			
研修タイトル		独立行政法人教職員支援機構 教職員等中央研修（リーダー教員育成研修）			
申込方法等		「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（推薦）	○
ねらい		中堅教諭等が、教育改革の最新動向や適切な学校運営、学校組織マネジメント等の重要課題に関する高度な知識等を習得し、今後の職務に生かすとともに、研修成果を東京都の学校教育に活用します。			
対象校種		小・中・高・特			
対象教員		主幹教諭・指導教諭・主任教諭・教諭(概ね10年前後の者)			
特色		・文部科学省の講師から、直接、教育施策や法規などの最新の情報を手に入れることができます。 ・グループ演習などワークショップ型の演習を多く取り入れ、参加型の研修を行います。			
研修内容		・学校組織マネジメント ・カリキュラム・マネジメント ・コミュニティ・マネジメント ・学校ビジョンの構築 ・教育政策の諸動向（事前課題） ・リスク・マネジメント ・生徒指導の推進 ・新しい学びの推進 ・インクルーシブ教育の推進 ・研修成果の活用 等			
日程等	区分	実施予定日時	内容	指標	研修形態・会場
	小・中・高・特	【第1回】 ①6月12日(月)～6月16日(金) ②12月6日(水) 【第2回】 7月31日(月)～8月4日(金) 【第3回】 9月25日(月)～9月29日(金) 【第4回】 11月6日(月)～11月10日(金)	別途通知	教伸、任、指、幹、養伸、任養、栄伸、任栄 ABCDEFGHIJK	別途通知

研修番号	3102				
研修名	派遣研修（研究所等）				
研修タイトル	独立行政法人教職員支援機構 指導者養成研修等				
申込方法等	「研修受講申込受付システム」			「別途通知」（推薦）	○
ねらい	教員等が、学校組織マネジメント、カリキュラム・マネジメント、生徒指導、いじめ問題等の教育課題について、各学校や地域における研修のマネジメントを推進する力を習得し、研修成果を東京都の学校教育に活用します。				
対象校種	小・中・高・特				
対象教員	校長・副校長・主幹教諭・指導教諭・主任教諭・教諭				
特色	・研修テーマによって、受講者のニーズや地域の実態に応じたコース別の研修の設定があります。 ・各地域の課題を基にした講義・グループ協議など、参加型の研修を行います。				
研修内容	①学校組織マネジメント研修 ②カリキュラム・マネジメント開発研修 ③生徒指導基幹研修 ④教育相談基幹研修 ⑤いじめ問題理解基幹研修 ⑥幼児教育専門研修 ⑦道徳教育推進研修 ⑧人権教育推進研修 ⑨体力向上マネジメント指導者養成研修 ⑩健康教育指導者養成研修 ⑪食育指導者養成研修 ⑫学校安全指導者養成研修 ⑬外国人児童生徒等への日本語指導指導者養成 ⑭小学校における外国語教育指導者養成研修 ⑮学校教育の情報化指導者養成研修 ⑯キャリア教育指導者養成研修				
日程等	研修番号	実施予定日時	内容	指標	研修形態・会場
	①	6月12日(月)～6月14日(水) 8月1日(火)～8月31日(木)	別途通知	教伸、任、指、幹、管幹、管、養伸、任養、栄伸、任栄 ABCDEFGHIJK	別途通知
	②	8月1日(火)～8月31日(木) 12月6日(水)～12月8日(金)			
	③	8月1日(水)～8月31日(木)			
	④	5月24日(水)～5月26日(金)			
	⑤	7月12日(水)～7月14日(金)			
	⑥	9月11日(月)～9月13日(水)			
	⑦	11月8日(水)～11月10日(金)			
	⑧	6月21日(水)～6月23日(金)			

(1) リーダー養成研修

〔担当課：企画課 03-5802-0268〕

	⑨	11 月 20 日 (月) ～ 11 月 22 日 (水)			
	⑩	10 月 10 日 (火) ～ 10 月 12 日 (木)			
	⑪	10 月 4 日 (水) ～ 10 月 6 日 (金)			
	⑫	7 月 5 日 (水) ～ 7 月 7 日 (金)			
	⑬	10 月 16 日 (月) ～ 10 月 19 日 (木)			
	⑭	2 月 5 日 (月) ～ 2 月 7 日 (水)			
	⑮	9 月 20 日 (水) ～ 9 月 22 日 (金)			
	⑯	6 月 20 日 (火) ～ 6 月 23 日 (金) 8 月 22 日 (火) ～ 8 月 25 日 (金)			

研修番号		3111			
研修名		派遣研修（研究所等）			
研修タイトル		独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 特別支援教育専門研修			
申込方法等		「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（推薦）	○
ねらい		教員等が、一定期間勤務地を離れて特別支援教育の充実に資する最新の専門性の高い内容について宿泊を原則とする研修を行い、今後の職務に生かすとともに、東京都におけるリーダーとしての資質を高めます。			
対象校種		小・中・高・特			
対象教員		主幹教諭・指導教諭・主任教諭・教諭			
特色		・ 3つのコースから1つを選択し、約2か月間の宿泊研修を行います。			
研修内容※		・ 視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱教育コース等、障害種の教育 ・ 発達障害、情緒障害、言語障害教育コース等、障害種の教育 ・ 通級による指導における教育及び通常の学級における教育			
日程等	期	実施予定日時	内容	指標	研修形態・会場
	①視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース	5月8日（月）～ 7月7日（金）	別途通知	教伸、任、指、幹、管幹、管、養伸、任養、栄伸、任栄E	別途通知
	②発達障害・情緒障害・言語障害教育コース	9月6日（水）～ 11月10日（金）			
	③知的障害教育コース	1月10日（水）～ 3月14日（木）			

研修番号		3112			
研修名		派遣研修（研究所等）			
研修タイトル		独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会・セミナー			
申込方法等		「研修受講申込受付システム」		「別途通知」（推薦）	
ねらい		教員等が、短期間勤務地を離れて、特別支援教育の充実に資する最新の専門性の高い内容について研修し、東京都におけるリーダーとしての資質を高めます。			
対象校種		小・中・高・特			
対象教員		主幹教諭・指導教諭・主任教諭・教諭			
特色		・協議会では、インクルーシブ教育システムの理念の実現、充実に向け、専門的知識及び技能の向上を図ります。			
研修内容※		① 特別支援教育におけるICT 活用に関わる指導者研究協議 ② 高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議 ③ 交流及び共同学習推進指導者協議 ④ 発達障害教育実践セミナー			
日程等	区分	実施日時	内容	指標	研修形態・会場
	① 特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議	7月27日（木）～ 7月28日（金）	別途通知	教伸、任、指、幹、管幹、管、養伸、任養、栄伸、任栄 EF	別途通知
	② 高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会	8月31日（木）～ 9月1日（金）			
	③ 交流及び共同学習推進指導者研究協議会	11月22日（水）			
	④ 発達障害教育実践セミナー	1月25日（木）			

研修番号		3201					
研修名		派遣研修（大学院）					
申込方法等		研修受講申込受付システム			「別途通知」（推薦）		○
ねらい		現職教員を新教育大学大学院（２年）に派遣し、教科等及び教育課題における高い専門性や識見を養うことにより、優れた教育実践を展開できる力を身に付けた指導的役割を果たせる教員を育成することを通して、東京都の教育の充実を図ります。					
対象校種		幼・小・中・高・特					
対象教員		○原則として、主幹教諭、指導教諭、主任・養任教諭、主任・養任養護教諭である者 ○修士課程の就学にふさわしい教育実践、研究実績を有する者 ○教職大学院派遣研修を出願しない者 ※令和５年度 教育管理職選考との併願はできない					
特色		○派遣期間は２年間、修学期間は２年間 ○派遣先 兵庫教育大学大学院、上越教育大学大学院、鳴門教育大学大学院の修士課程又は専門職学位課程（教職大学院） ※派遣者が派遣先を志望する ○教科等及び教育課題における専門性や識見を養うことにより、優れた教育実践を展開できる力を身に付けることを目指して研究を行う。					
研修内容		○２年間にわたり所属校を離れ、研修を行う。 ○派遣先の大学院の定めたカリキュラム等に基づく。 ○修士又は教職修士（専門職）の学位取得を目指す。					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	5月中旬	応募締切	○大学院のリサーチ ○書類の準備・応募	任・養任 ・指・幹		
	2	5月～11月	選考 大学院受験 派遣予定者決定	○書類審査、面接審査 ○大学院受験	任・養任 ・指・幹	集合	教職員研修センター（水道橋） 各大学院
	3	3月上旬	大学院派遣研修報告会 大学院別説明会	派遣研修の準備	任・養任 ・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配信・オンデマンド配信）
	4	3月中旬	発令通知書交付式 事前研修会	大学院入学手続き ※学費等は自己負担	任・養任 ・指・幹	集合	教職員研修センター（水道橋）
	5	4月	研修開始（１年目）	研究・研修	任・養任 ・指・幹		各大学院
	6	9月	長期派遣研修合同研修会	研究テーマ及び研究内容の報告	任・養任 ・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配

(3) 大学院派遣研修

〔担当課：教育開発課 03-5802-0307〕

						ン	信)
7	4 月	研修開始 (2 年目)	研究・研修	任・養任 ・指・幹			各大学院
8	9 月	長期派遣研修 合同研修会	研究テーマ及び研究 内容の報告	任・養任 ・指・幹	オン ライ ン	オンライ ン	オンライン (ライブ配 信)
9	3 月上旬	大学院派遣研 修報告会	研究・研修報告	任・養任 ・指・幹	オン ライ ン	オンライ ン	オンライン (ライブ配 信・オンデマ ンド配信)
10	3 月末	研修終了		任・養任 ・指・幹			

研修番号		3202					
研修名		派遣研修（大学院）					
申込方法等		研修受講申込受付システム			「別途通知」（推薦）		○
ねらい		現職教員を大学院設置基準第 14 条を適用している大学院（２年）又は教職大学院（２年）に派遣し、教員の資質向上に資することのできる、教科等又は教育課題における高い専門性や識見を身に付けた指導的役割を果たせる教員を育成することを通して、東京都の教育の充実を図ります。					
対象校種		幼・小・中・高・特					
対象教員		○原則として、主幹教諭、指導教諭、主任教諭、主任養護教諭である者 ○修士課程の就学にふさわしい教育実践、研究実績を有する者 ○教職大学院派遣研修を出願しない者 ※令和５年度 教育管理職選考との併願はできない					
特色		○派遣期間は１年間、修学期間は２年間 ○派遣先 大学院設置基準第 14 条を適用している大学院の修士課程又は専門職学位課程（教職大学院） ※派遣者が派遣先を志望する ○教員の資質向上に資することのできる、教科等又は教育課題に関する高い専門性や識見を身に付けることを目指して研究を行う。					
研修内容		○１年目は所属校を離れ、２年目は所属校で勤務をしながら、夜間、週末、長期休業期間を利用して、研修を行う。 ○派遣先の大学院の定めたカリキュラム等に基づく。 ○修士又は教職修士（専門職）の学位取得を目指す。					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	5月中旬	応募締切	○大学院のリサーチ ○書類の準備・応募	任・養任 ・指・幹		
	2	5月～11月	選考 大学院受験 派遣予定者決定	○書類審査、面接審査 ○大学院受験	任・養任 ・指・幹	集合	教職員研修センター（水道橋） 各大学院
	3	3月上旬	大学院派遣研修報告会 大学院別説明会	派遣研修の準備	任・養任 ・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配信・オンデマンド配信）
	4	3月中旬	発令通知書交付式 事前研修会	大学院入学手続き ※学費等は自己負担	任・養任 ・指・幹	集合	教職員研修センター（水道橋）
	5	4月	研修開始（１年目）	研究・研修	任・養任 ・指・幹		各大学院
	6	9月	長期派遣研修合同研修会	研究テーマ及び研究内容の報告	任・養任 ・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配

(3) 大学院派遣研修

〔担当課：教育開発課 03－5802－0307〕

						ン	信)
7	4 月	研修開始 (2 年目)	研究・研修 ※夜間、週末、長期 休業期間に通学	任・養任 ・指・幹			所属校 各大学院
8	9 月	長期派遣研修 合同研修会	研究テーマ及び研究 内容の報告	任・養任 ・指・幹	オン ライ ン	オンライ ン	オンライ ン (ライブ配 信)
9	3 月上旬	大学院派遣研 修報告会	研究・研修報告	任・養任 ・指・幹	オン ライ ン	オンライ ン	オンライ ン (ライブ配 信・オンデマ ンド配信)
10	3 月末	研修終了		任・養任 ・指・幹			

研修番号		3203					
研修名		派遣研修（大学院）					
申込方法等		研修受講申込受付システム			「別途通知」（推薦）		○
ねらい		現職教員を教職大学院（１年）に派遣し、確かな指導理論と優れた実践力や応用力を身に付けた、各地域や学校における指導的役割を果たせる教員を育成することを通して、東京都の教育の充実を図ります。					
対象校種		幼・小・中・高・特					
対象教員		○主幹教諭、指導教諭、主任教諭、主任養護教諭、教諭及び養護教諭である者 ○昭和 56 年 4 月 2 日以降の出生の者 ○令和 6 年 3 月 31 日現在、教職経験を 7 年以上有し、そのうち東京都公立学校での教諭経験を 3 年以上有する者 ○新教育大学大学院及び大学院設置基準第 14 条適用大学院派遣研修を出願しない者 ※令和 5 年度 教育管理職選考との併願はできない					
特色		○派遣期間は 1 年間、修学期間は 1 年間 ○派遣先 創価大学教職大学院、玉川大学教職大学院、帝京大学教職大学院、東京学芸大学教職大学院、早稲田大学教職大学院 ※派遣者が派遣先を志望するが、第 1 希望にならない場合もある。 ○確かな指導理論と優れた実践力や応用力を身に付けることを目指して研究を行う。					
研修内容		○ 1 年間にわたり所属校を離れ、研修を行う。 ○派遣先の教職大学院の定めたカリキュラム等に基づく。 ○教職修士（専門職）の学位取得を目指す。 「教育課程の編成・実施」、「各教科の実践的な指導方法」、「生徒指導、教育相談」、「学級経営、学校経営」、「学校教育と教員の在り方」 ☆選択科目等で自分の興味・関心のある分野について学ぶことができる。 ○学校教育に関わる課題解決を図る研究を 1 年間かけて行う。					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	5 月下旬	応募締切	○大学院のリサーチ ○書類の準備・応募	教伸・養伸 ・任・養任 ・指・幹		
	2	6 月～ 3 月	選考 大学院受験 派遣予定者決定	○書類審査、論文審査、面接審査 ○大学院受験	教伸・養伸 ・任・養任 ・指・幹	集合	教職員研修センター（水道橋） 各大学院
	3	3 月上旬	大学院派遣研修報告会 大学院別説明会	派遣研修の準備	教伸・養伸 ・任・養任 ・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配信・オンデマンド配信）
	4	3 月中旬	発令通知書交付式	大学院入学手続き ※学費等は原則とし	教伸・養伸 ・任・養任・	集合	教職員研修センター（水道

(3) 大学院派遣研修

〔担当課：教育開発課 03－5802－0307〕

			事前研修会	て自己負担	指・幹		橋)
5	4 月	研修開始	研修開始	研究・研修	教伸・養伸 ・任・養任 ・指・幹		各大学院
6	7 月～9 月	実務実習	教育行政の実務、研修等の運営	教育行政の実務、研修等の運営	教伸・養伸 ・任・養任 ・指・幹	集合	教職員研修センター（水道橋）等
7	9 月	長期派遣研修合同研修会	研究テーマ及び研究内容の報告	研究テーマ及び研究内容の報告	教伸・養伸 ・任・養任 ・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配信）
8	3 月上旬	大学院派遣研修報告会	研究・研修報告	研究・研修報告	教伸・養伸 ・任・養任 ・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配信・オンデマンド配信）
9	3 月末	研修終了			教伸・養伸 ・任・養任 ・指・幹		

研修番号		3204					
研修名		派遣研修（東京都教員研究生）					
申込方法等		研修受講申込受付システム			「別途通知」（推薦）		○
ねらい		東京都公立学校の教員が、教職員研修センターにおいて研究・研修を行うことにより、学校経営や学習指導等について高い専門性を備え、指導的役割を担う学校教育のリーダーの育成を図ります。					
対象校種		幼・小・中・高・特					
対象教員		○主幹教諭、指導教諭、主任教諭、主任養護教諭、教諭及び養護教諭である者 ○令和6年3月31日現在、教職経験を6年以上有し、そのうち東京都公立学校での教職経験を3年以上有する者 ※令和5年度 教育管理職選考との併願はできない					
特色		学校を離れ、教職員研修センターで教員としての今までの実践を振り返り、研究と修養に努めることができる。					
研修内容		①教育課題研究 ②カリキュラム開発研究 ③実務研修 ④教員研究生全体研修					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	8月上旬	応募締切	書類の準備・応募	教伸・養伸 ・任・養任 ・指・幹		
	2	8月～10月	選考 東京都教員研究生決定	書類審査、論文審査、面接審査	教伸・養伸 ・任・養任 ・指・幹		教職員研修センター（水道橋）
	3	2月下旬	事前研修会 カリキュラム開発研究発表会	派遣研修に向けての事前説明 カリキュラム開発研究発表会の参観	教伸・養伸 ・任・養任 ・指・幹	集合	教職員研修センター（水道橋）
	4	4月	研修開始	カリキュラム開発研究 教育課題研究 教育行政に関わる実務研修 教員研究生全体研修	教伸・養伸 ・任・養任 ・指・幹	集合	教職員研修センター（水道橋）
	5	9月	長期派遣研修合同研修会	研究テーマ及び研究内容の報告	教伸・養伸 ・任・養任 ・指・幹	オンライン	オンライン（ライブ配信）
	6	10月	カリキュラム開発研究中間報告会	研究・研修報告	教伸・養伸 ・任・養任 ・指・幹	集合・オンライン	教職員研修センター（水道橋）・オンライン（ライブ配信・オンデマ

(4) 東京都教員研究生

〔担当課：教育開発課 03－5802－0319〕

							ンド配信)
7	3月上旬	カリキュラム 開発研究発表 会	研究・研修報告	教伸・養伸 ・任・養任 ・指・幹	集合・ オン ライ ン	教職員研修セ ンター（水道 橋）・オンライ ン（オンデマ ンド配信）	
8	3月末	研修終了		教伸・養伸 ・任・養任 ・指・幹			

研修番号		9001					
研修名		東京教師道場（１年次）					
申込方法等		研修受講申込受付システム			「別途通知」（推薦）		○
ねらい		東京都公立学校の児童・生徒の学力向上を図るため、２年間にわたる授業研究等を通して、教員の授業力を一層高めるとともに、他の教員の指導的役割を担うことができる資質・能力を磨きます。					
対象校種		小・中・高・特					
対象教員		東京教師道場の部員又はリーダーとして決定した小・中・高・特の教員 （令和５年度の受講者は既に決定済）					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月14日 （金）	13:30-16:30	研修ガイダンス及び協議	教伸 A 任充 A 指 A	協議	教職員研修センター
	2	5月	13:30-16:30	リーダーによる模範授業及び協議	教伸 A 任充 A 指 A	授業研究	リーダー所属校
	3	6月～7月	13:30-16:30	部員による授業及び協議	教伸 A 任充 A 指 A	授業研究	部員所属校等
	4	夏季休業日 2日間	9:30-16:30	模擬授業・協議、リーダーによる講座、ワークショップ、異校種間の情報交換等	教伸 A 任充 A 指 A	夏季集中協議	部員又はリーダー所属校等
	5	9月～3月	13:30-16:30	部員による授業及び協議	教伸 A 任充 A 指 A	授業研究	部員所属校等

研修番号		9002					
研修名		東京教師道場（２年次）					
申込方法等		研修受講申込受付システム			「別途通知」（推薦）		○
ねらい		東京都公立学校の児童・生徒の学力向上を図るため、２年間にわたる授業研究等を通して、教員の授業力を一層高めるとともに、他の教員の指導的役割を担うことができる資質・能力を磨きます。					
対象校種		小・中・高・特					
対象教員		東京教師道場の部員又はリーダーとして決定した小・中・高・特の教員（令和５年度の受講者は既に決定済）					
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場
	1	4月～5月	13:30-16:30	リーダーによる模範授業及び協議	教伸 A 任充 A 指 A	授業研究	リーダー所属校
	2	5月～7月	13:30-16:30	部員による授業研究及び協議	教伸 A 任充 A 指 A	授業研究	部員所属校等
	3	夏季休業日 2日間	9:30-16:30	模擬授業・協議、リーダー演習、部員による授業公開についての検討	教伸 A 任充 A 指 A	夏季集中協議	部員又はリーダー所属校等
	4	9月～2月	13:30-16:30	部員による授業及び協議	教伸 A 任充 A 指 A	授業研究	部員所属校等
	5	11月～2月	開催校ごとに設定	部員による授業公開	教伸 A 任充 A 指 A	授業公開・協議	部員所属校等
	6	3月	13:30-16:30	協議	教伸 A 任充 A 指 A	協議	各所属校

専門性向上研修 (教科等・教育課題)

1 受講対象者

「マイ・キャリア・ノート」の「専門性向上研修（教科等・教育課題）」のページ「研修受講に当たっての留意事項」を御参照ください。

2 受講申込方法

受講を希望する場合は管理職に相談するとともに、承認に基づいてお申込みください。受講申込みは、「研修受講申込受付システム」で行います。

※研修は、全ての回及び時間の受講が原則です。実施日時等を確認の上、お申込みください。

3 受講の可否

管理職及び受講申込み者本人が「研修受講申込受付システム」で受講の可否を御確認ください。

文書での通知はありません。

4 研修受講にあたっての留意事項

(1) 受講1か月前まで

◇ 手話通訳者の手配等、特別の措置が必要な場合は、管理職からお問い合わせください。申請方法をお伝えいたします。

(2) 受講前日まで

研修の開催については、「研修受講申込受付システム」に掲載します。

文書での通知はありません。

◇ 「研修受講申込受付システム」に掲載されている内容の確認等
・研修の日時・会場・内容・課題・持ち物等を御確認ください。

◇ 二次元コードの準備

受付は、二次元コードを用いて行います。「研修受講申し込み受付システム」から御自身の二次元コードを作成し、印刷又は研修日に持参する予定の携帯端末等に保存してください。

(3) 研修前日

研修前日の正午以降に、「研修受講申込受付システム」から受講する研修の欄で、日時・会場・持ち物等の変更等がないか御確認ください。（※個人の携帯端末等からも確認ができます。）

(4) 受講当日

◇ 研修時間は、原則として次のとおりです。

午後1時30分から午後4時30分まで

※ただし、一部の研修は上記の研修時間と異なることがあります。

◇ 研修の受付は、研修開始の30分前から行います。

◇ 受付で使用する二次元コードを持参してください。

◇ 研修中は、所属校で使用している名札を身に付けてください。

◇ 各会場における感染症対策に御協力ください。

◇ その他

・自動車、バイク、自転車等での研修会場への来場は、原則として禁止です。

- ・携帯電話等は電源を切るか、マナーモードに設定してください。
- ・別途許可がある場合を除き、写真撮影・録画・録音は禁止です。
- ・受講者アンケートは、Webで行います。研修終了後、速やかに御提出ください。Webでの回答が難しい場合には、各研修担当に御相談ください。
- ・ペットボトル、弁当等のゴミはお持ち帰りください。
- ・研修運営の担当者の指示に従ってください。

(5) 欠席・遅刻・早退する場合

- ◇ 管理職から研修実施前日までに担当課に電話連絡してください。
- ◇ 電話連絡の後、「マイ・キャリア・ノート」に掲載されている「研修（欠席・遅刻・早退）届（様式2）」をダウンロードして、必要事項を記入の上、管理職から専門教育向上課に電子メールにより提出ください。
- ◇ 大学、学校等、外部の研修会場へ直接電話をすることは絶対にしないでください。
- ◇ 公共交通機関の遅延等による場合は、公共交通機関の発行した遅延証明書を御提出ください。
- ◇ 育児短時間勤務等の教員は、管理職からその旨を事前に電話又はメールでお知らせください。

(6) 受講後

学んだ内容を所属校や研究会等で御活用ください。また、「研修記録（受講者用）」等を適宜活用するなどして、所属長に研修内容を報告するとともに、成果の還元を行ってください。

【研修段階について】

- ア 専門性向上研修【Ⅰ】は主に1～8年目の教諭等を対象に、学習指導、生活指導、学級経営等に関する基礎的・基本的な力を身に付ける。
- イ 専門性向上研修【Ⅱ】は主に9年目～の主任教諭及び教諭等を対象に、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて、専門的な知識・技能を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める。
- ウ 専門性向上研修【Ⅲ】は主に11年目～の指導教諭・主幹教諭等を対象に、学校教育を取り巻く環境の変化に合わせて実践的な指導力や課題解決力を一層高め、人材育成を推進する力を身に付ける。
- エ 専門性向上研修【Ⅳ】は主に校長・副校長・教育管理職候補者等を対象に、学校運営に必要なマネジメント能力を身に付け、管理職としての資質・能力を高める。

「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標（令和5年2月 東京都教育委員会）」より

5 外部関係機関と連携・業務提携して実施する研修

(1) 大学等との連携研修について

最新かつ高度な学術情報を提供できる指導者や優れた施設・設備等を活用した研修を行います。

(2) 各種研究団体との連携研修について

各種研究団体の優れた研究成果や実践事例等を活用した研修を行います。

(3) 英語力向上研修について

教員の英語力を高めるために、外部委託者所属の外国人講師等による研修を実施します。

詳細は、「研修受講申込受付システム」の「専門性向上研修（教科等・教育課題）」のページ（研修番号 5111～5178）を御参照ください。

なお、この研修の運営は、外部委託者が行います。

6 研修修了認定等

(1) 研修の修了認定について

専門性向上研修では、原則として全回数の出席をもって、修了を認定します。

ただし、課題の提出状況等によっては、出席をしても修了を認定しない場合があります。

研修1回あたり、遅刻及び早退の合計時間が1時間を超えた場合は、欠席扱いとします。（公共交通機

関が発行した遅延証明書提出の場合は除く）。

(2) 修了認定結果

2月下旬に「研修受講申込受付システム」に掲載します。管理職及び受講者本人が「研修受講申込受付システム」で御確認ください。文書での受講結果及び受講状況の通知は行いません。

7 問合せ先

専門性向上研修に関する問合せは、所属校の管理職を通じて以下の各担当までお願いします。

研 修	問合せ先	電 話
教科等研修	専門教育向上課	03-5802-0344
教育課題研修	専門教育向上課	03-5802-0296
一人1台学習者用端末の各教科等における効果的な活用のための研修	専門教育向上課	03-5802-0297

研修番号		4011		研修名	国語【Ⅰ】（小学校における授業づくり）					
研修タイトル		国語科授業づくり入門（小学校） －基本的な授業展開や指導法の理解－								
ねらい		国語科の指導事項のポイントや学習評価等について理解し、国語科の授業づくりの基礎・基本を身に付けます。								
対象校種・定員		小・特 100 名								
対象教員		1 年目から 8 年目までの教諭等で、小学校国語科の授業づくりに関する基礎・基本を身に付けたい教員								
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
	○	○								
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用		
		○								
講師		講師は、文部科学省の教科調査官等を予定								
特色		◇学習指導等に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修 ◇学習指導要領等について理解を深め、授業改善を図る研修								
研修関連動画		3-(5)、6-(1)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 国語編 ・使用している教科用図書								
日程等	回	実施日	時間	内 容		指標	研修形態	会 場		
	1	7 月 21 日 （金）	13:30- 16:30	○学習指導要領を踏まえた授業づくりの工夫 ○学習評価についての理解 ○指導計画作成を通した指導内容と指導法の理解		教基 A① 教伸 A①	集合	教職員 研修センター （水道橋）		

研修番号		4012		研修名	国語【Ⅰ】（中学校における授業づくり）					
研修タイトル		国語科授業づくり入門（中学校） －基本的な授業展開や指導法の理解－								
ねらい		国語科の指導事項のポイントや学習評価等について理解し、国語科の授業づくりの基礎・基本を身に付けます。								
対象校種・定員		中・特 100 名								
対象教員		1 年目から 8 年目までの教諭等で、中学校国語科の授業づくりに関する基礎・基本を身に付けたい教員								
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
	○	○								
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用		
		○								
講師		講師は、文部科学省の教科調査官等を予定								
特色		◇学習指導等に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修 ◇学習指導要領等について理解を深め、授業改善を図る研修								
研修関連動画		3-(5)、6-(1)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 国語編 ・使用している教科用図書								
日程等	回	実施日	時間	内 容		指標	研修形態	会 場		
	1	7 月 6 日 （木）	13:30- 16:30	○学習指導要領を踏まえた授業づくりの工夫 ○学習評価についての理解 ○指導計画作成を通した指導内容と指導法の理解		教基 A① 教伸 A①	集合	教職員 研修センター （水道橋）		

研修番号		4021・4022		研修名	国語【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)					
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した国語科の指導法								
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。								
対象校種・定員		4021 小・特 80名 4022 小・特 70名								
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭	主 幹 教 諭	管 候 補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
		○	○	○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力		特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用
		○								○
講師		都内公立小学校指導教諭等								
特色		◇事前動画（必視聴）を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立小学校指導教諭等の実践発表を通して、国語科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。 ※4021と4022は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。								
研修関連動画		5-(26)、5-(27)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	【4021】	13:30-16:30	○国語科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター （水道橋）		
		9月27日 （水）								
		【4022】	13:30-16:30	○国語科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	たましん RISURUホール （立川）		
8月7日 （月）										

研修番号		4031		研修名	国語【Ⅰ・Ⅱ】 （一人1台の学習者用端末の活用）				
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した国語科の指導法							
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。							
対象校種・定員		中・特 80名							
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸長期	充実期					
		○	○	○					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用	
○							○		
講師		都内公立中学校指導教諭等							
特色		◇事前動画（必視聴）を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立中学校指導教諭等の実践発表を通して、国語科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。							
研修関連動画		5-(26)、5-(27)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場		
	1	9月11日 （月）	13:30-16:30	○国語科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験	教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター （水道橋）		

研修番号		4041		研修名	国語【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)					
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した国語科の指導法								
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。								
対象校種・定員		高・特 80名								
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
		○	○	○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
		○								○
講師		都立高等学校指導教諭等								
特色		◇事前動画（必視聴）を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都立高等学校指導教諭等の実践発表を通して、国語科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。								
研修関連動画		5-(26)、5-(27)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 国語編 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	10月10日 (火)	13:30-16:30	○国語科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター (水道橋)		

研修番号		4051		研修名	国語（書写）・芸術（書道）【Ⅱ】					
研修タイトル		書写・書道の指導 －実技を通して学ぶ指導の基本－								
ねらい		学習指導要領のねらいや内容、指導事項等について、実技・指導法研修及び研究授業を通して学び、学習指導における基礎的・基本的な力を身に付けます。								
対象校種・定員		小・中・高・特 50名								
対象教員		9年目以上の教諭、主任教諭等								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸長期	充 実 期						
			○							
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用		
	○									
講師		東京学芸大学教職大学院 加藤 泰弘教授等を予定								
特色		◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修 ◇第1回は、水書用筆等の実技を通して書写の指導の基本について学ぶ研修 ◇第2回は、東京都小学校書写研究会所属の教員による授業研究 ◇東京都小学校書写研究会と連携した研修								
研修関連動画		1-(1)、2-(1)、3-(2)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編 ・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編 ・高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 国語編 ・第1回は、書写・書道道具一式（小筆・半紙含む）、新聞紙 ・第2回は、上履き、下足入れ ※研修の実施日が決定次第、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	7月25日（火）	13:30-16:30	○国語科書写、芸術書道のねらい及び関連について ○毛筆及び水書用筆の実技		任 A①	集合	教職員研修センター（水道橋）		
	2	10月～12月	13:30-16:30	○小学校における書写の指導の実際 ○学習指導要領等のポイントを踏まえた授業づくり		任 A①	集合	都内公立小学校（予定）		

研修番号		4061		研修名	高等学校進学対策研修・国語【Ⅱ】				
研修タイトル		発展的な内容に関する指導の充実 ー進学対策を含めた「発展的な内容」を取り扱う授業づくりー							
ねらい		進学対策を踏まえた「発展的な内容」を取り扱う指導の要点について理解を深め、生徒の資質・能力を向上させる実践力を身に付けます。							
対象校種・定員		高・特 30 名							
対象教員		高等学校の進学対策を含めた発展的な学習指導を身に付けたい教員							
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期					
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの活用	
		○			○				
講師		都立学校指導教諭等を予定							
特色		◇高等学校の発展的な学習指導について理解を深める研修 ◇授業実践について学ぶことができる研修 ◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修							
研修関連動画		3-(2)、4-(4)、4-(6)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 国語編 ※研修の実施日が決定次第、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。 ※御所属の進学指導について課題をまとめておいてください。提出はございません。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	9月28日 (木)	13:00- 16:00	○進学対策を含めた「発展的な内容」を取扱う指導の実際		任 A ①②③ 任 D ①②	集合	都立武蔵高等学校（武蔵境）	

研修番号		4071・4072		研修名	国語【Ⅱ・Ⅲ】（新科目対応）					
研修タイトル		「論理国語」・「文学国語」に対応した国語科の授業づくり ー実践的な指導方法の工夫、学習評価についてー								
ねらい		国語科の新科目についての指導のポイントを学び、新科目に対応した授業づくりの工夫について学びます。また、新学習指導要領に対応した学習評価についての理解を深めます。								
対象校種・定員		高・特 集合 50 名＋ライブ配信 50 名								
対象教員		高等学校国語科の新科目に関する指導内容や指導方法について学びを深めたい教員								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
			○		○	○				
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用	
○										
講師		文部科学省初等中等教育局 視学官を予定								
特色		◇新科目に対応した国語科の授業づくりについて学ぶ研修 ◇高等学校国語科の新科目についての指導のポイントや新科目の実践的な指導の工夫について考える研修 ◇新学習指導要領に対応した学習評価について学ぶ研修 ※4071 と 4072 は同一研修です。どちらか一方のみ申込みください。 4071・・・集合研修 4072・・・オンライン（ライブ配信）研修								
研修関連動画		3-(2)、4-(4)、4-(6)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 国語編 ※4072 の研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件になります。 ※研修の実施日が決定次第、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	【4071】 7 月 5 日 （水）	13:30- 16:30	○国語科の新科目についての指導のポイント ○新科目の実践的な指導の工夫について ○新学習指導要領に対応した学習評価について		任 A③ 指 A① 幹 A①	集合	教職員 研修センター （水道橋）		
1	【4072】 7 月 5 日 （水）	13:30- 16:30	○国語科の新科目についての指導のポイント ○新科目の実践的な指導の工夫について ○新学習指導要領に対応した学習評価について		任 A③ 指 A① 幹 A①	オンライン	ライブ配信			

研修番号		4111		研修名	社会【Ⅰ・Ⅱ】 （一人1台の学習者用端末の活用）				
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した社会科の指導法							
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。							
対象校種・定員		小・特 80名							
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸長期	充実期					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用
		○	○	○					○
講師		都内公立小学校指導教諭等							
特色		◇事前動画（必視聴）を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立小学校指導教諭等の実践発表を通して、社会科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。							
研修関連動画		5-(26)、5-(27)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場		
	1	10月19日 （木）	13:30- 16:30	○社会科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験	教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター （水道橋）		

研修番号		4121		研修名		社会【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)				
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した社会科の指導法								
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。								
対象校種・定員		中・特 80名								
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭	主 幹 教 諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
		○	○	○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用		
		○						○		
講師		都内公立中学校指導教諭等								
特色		◇事前動画(必視聴)を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立中学校指導教諭等の実践発表を通して、社会科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。								
研修関連動画		5-(26)、5-(27)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの) ・中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編 ・事前動画(必視聴)があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	9月20日 (水)	13:30-16:30	○社会科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター (水道橋)		

研修番号		4131・4132		研修名	地理歴史【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)				
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した地理歴史科の指導法							
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。							
対象校種・定員		4131 高・特 40名 4132 高・特 40名							
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教 諭		主 任 教 諭		指 導 教 諭		主 幹 教 諭	
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期			管 候 補	副 校 長	校 長
		○	○	○					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学 校 運 営 力 組 織 貢 献 力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用	
		○						○	
講師		都立高等学校指導教諭等							
特色		◇事前動画(必視聴)を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都立高等学校指導教諭等の実践発表を通して、地理歴史科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。							
研修関連動画		5-(26)、5-(27)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの) ・高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 地理歴史編 ・事前動画(必視聴)があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。 ※4131と4132は、同一内容の研修です。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	【4131】	8月22日 (火)	9:30-12:30	○地理歴史科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験	教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター (水道橋)	
		【4132】							
			8月22日 (火)	13:30-16:30	○地理歴史科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験	教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター (水道橋)	

研修番号		4141		研修名	公民【Ⅰ・Ⅱ】 （一人1台の学習者用端末の活用）				
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した公民科の指導法							
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。							
対象校種・定員		高・特 70名							
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸長期	充実期					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用
		○	○	○					○
講師		都立高等学校指導教諭等							
特色		◇事前動画（必視聴）を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都立高等学校指導教諭等の実践発表を通して、公民科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。							
研修関連動画		5-(26)、5-(27)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 公民編 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	8月28日 （月）	13:30- 16:30	○公民科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	都立多摩図書館 （西国分寺）	

研修番号		4151		研修名	社会【Ⅱ】（小・中・特）（授業づくりの工夫）					
研修タイトル		「深い学び」を生み出す社会科授業づくり ー「見方・考え方」を鍛える指導の充実ー								
ねらい		社会科における「深い学び」について理解を深め、具体的な指導方法や指導技術を校内で広める力を養い、校内・地域で社会科教育を推進する力を高めます。								
対象校種・定員		小・中・特 100名								
対象教員		9年目以上の教諭、主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
				○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
		○								
講師		大妻女子大学 教授を予定 東京都中学校社会科教育研究会推薦指導教諭等								
特色		◇社会科の指導力を高めるための研修 ◇東京都中学校社会科教育研究会との連携研修								
研修関連動画		1-(2)、4-(7)(13)(19)、5-(28)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・（校種に応じて）学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編 ※研修の実施日が決定次第、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	9月7日 （木）	13:30- 16:30	○「深い学び」を生み出す社会科授業づくり ○「見方・考え方」の捉え方の理解 ○児童生徒が学び探究し追究する社会科の授業構築		任A ①②	集合	教職員 研修センター （水道橋）		
2	10月31日 （火）	13:30- 16:30	○児童生徒が学び探究し追究する社会科授業の実際 ・地理、歴史、公民各分野での実践発表		集合		教職員 研修センター （水道橋）			

研修番号		4161・4162		研修名	高等学校進学対策研修・地理歴史・公民【Ⅱ】					
研修タイトル		発展的な内容に関する指導の充実 ー進学対策を含めた「発展的な内容」を取り扱う授業づくりー								
ねらい		進学対策を含めた「発展的な内容」を取り扱う指導の要点について理解を深め、生徒の資質・能力を向上させる実践力を身に付けます。								
対象校種・定員		高・特 4161・4162 各 30 名（計 60 名）								
対象教員		9 年目以上の教諭、主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭		主幹教諭		
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの活用	
		○				○				
講師		都立高等学校指導教諭等を予定								
特色		◇高等学校の発展的な学習指導について理解を深める研修 ◇授業実践について学ぶことができる研修 ◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修								
研修関連動画		3-(3)、3-(4)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 地理歴史編 ※4161（世界史）または 4162（地理）のいずれかを選択してください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	【4161】 世界史	13:30- 16:30	○進学対策を含めた「発展的な内容」を取扱う指導の実際（世界史）		任 A ①②③ 任 D ①②	集合	都立青山高等学校（外苑前）		
		6 月 29 日 （木）								
		【4162】 地理	13:30- 16:30	○進学対策を含めた「発展的な内容」を取扱う指導の実際（地理）			集合	都立三鷹中等教育学校（三鷹）		
7 月 11 日 （火）										

研修番号		4171		研修名	社会・地理歴史・公民【Ⅱ・Ⅲ】 (法教育・消費者教育・租税教育及び公共施設)					
研修タイトル		専門家や関係諸機関と連携した社会科授業 ー持続可能な社会の構築に向けた法教育・消費者教育・租税教育の充実、公共施設を生かした教材開発ー								
ねらい		持続可能な社会の構築に向けた法教育・消費者教育・租税教育の充実について学びます。さらに、外部の専門家や関係諸機関と連携し、教材開発や授業改善を行うことについて理解を深め、学校・地域に普及・還元する力を身に付けます。								
対象校種・定員		小・中・高・特 50 名								
対象教員		9 年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭		
		基礎形成期	伸長期	充 実 期		管候補		副校長	校 長	
				○		○		○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		
		○		○						
講師		法務省職員、厚生労働省職員、国税庁職員、国立公文書館職員等を予定								
特色		◇外部の専門家や関係機関と連携した研修 ※第 2 回は①または②のいずれかを選択（第 1 回時に希望調査を実施）								
研修関連動画		1－（2）、2－（2）、3－（3）（4）、4－（7）								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） （以下、校種に応じて持参） ・小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 社会編 ・中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 社会編 ・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 地理歴史編、公民編								
日程等	回	実施日	時間	内 容			指標	研修形態	会場	
	1	7 月 14 日 （金）	13:30- 16:30	○法教育、消費者教育等の充実 ○社会保障教育等の充実 ○租税教育の充実			任 A ①②③ 任 C ① 指 A ①② 指 C ① 幹 A ①② 幹 C ①	集合	教職員 研修センター （水道橋）	
	2 ①	11 月 2 日 （木）	13:30- 16:30	○模擬裁判の概要、出前授業の事例 ○模擬裁判の体験その前後でのグループ協議、演習				集合	教職員 研修センター （水道橋）	
	2 ②	11 月 8 日 （水）	13:30- 16:30	○施設概要説明及び講義 ○施設を活用したグループワーク、その前後でのグループ協議、演習				集合	国立公文書館 （竹橋）	

研修番号		4181		研修名	地理総合・歴史総合・公共【Ⅱ・Ⅲ】 （新科目対応）				
研修タイトル		高等学校社会科系新科目の定着に向けて ー持続可能な社会の構築に向けた授業づくり（地理総合を中心に）ー							
ねらい		新科目である地理総合・歴史総合・公共の授業づくりの力を高め、学校・地域に普及・還元する力を身に付けます。							
対象校種・定員		高・特 50名							
対象教員		9年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸長期	充実期					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの活用	
		○							
講師		文部科学省教科調査官 国土地理院職員 東京都地理教育研究会推薦の指導教諭等							
特色		◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修							
研修関連動画		3-(3) 3-(4)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 社会編							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	10月5日 （木）	13:30- 16:30	○地理総合・歴史総合・公共の授業づくり（新科目対応）に関する講義 ○地理情報システム（GIS）を用いた実践的な指導方法の工夫に関する実践発表 ○地理情報システム（GIS）を用いた実践的な指導方法の工夫に関する講義・演習		任 A ①②③ 指 A ①② 幹 A ①②	集合	教職員 研修センター （水道橋）	

研修番号		4211・4212		研修名	算数【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)					
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した算数科の指導法								
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。								
対象校種・定員		4211 小・特 80名 4212 小・特 70名								
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭		主 幹 教 諭		
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期			管 候 補	副校長	校 長	
		○	○	○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力		特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用
		○								○
講師		都内公立小学校指導教諭等								
特色		◇事前動画（必視聴）を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立小学校指導教諭等の実践発表を通して、算数科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。 ※4211と4212は、日程・会場が異なります。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。								
研修関連動画		5-(26)、5-(27)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 算数編 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	【4211】	13:30-16:30	○算数科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター （水道橋）		
		10月12日 （木）								
		【4212】	13:30-16:30	○算数科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	LINK FOREST （多摩センター）		
		10月3日 （火）								

研修番号		4221		研修名	数学【Ⅰ】（学習指導案作成演習）					
研修タイトル		数学科指導スキルアップ講座（中学校） －数学科 授業づくりの基礎・基本－								
ねらい		数学的活動について理解を深め、学習指導案の協議等を通して数学の授業づくりの基礎・基本を学びます。								
対象校種・定員		中・特 50 名								
対象教員		1 年目から 8 年目までの教諭								
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭		
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期				管候補		
		○	○							
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		
		○								
講師		講師は、都内公立学校の管理職等を予定								
特色		◇各自の学習指導案を用いたグループ協議実施後、助言者による個々の教員への指導・助言を実施する研修 ◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修 ◇東京都中学校数学教育研究会と連携した研修 ◇第1回はオンライン（オンデマンド配信）による研修								
研修関連動画		事前課題：2-(3) 3-(5)、4-(9)、4-(13)、4-(14)、4-(15)、4-(16)、4-(17)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・上履き・くつ袋・事前課題（後日、「研修受講申込受付サイト」に掲載）・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 数学編 ※第1回のオンラインの研修にて YouTube を視聴できることが申込の条件になります。 ※第1回のオンデマンド動画視聴後、事前課題として研修当日に持参する学習指導案の単元名等の回答をお願いします。								
日程等	回	実施日	時間	内 容		指標	研修形態	会 場		
	1	7 月 配 信 予 定 （視聴期限 7 月 21 日 （金）まで）	約 180 分	○授業づくりの基礎・基本 ・中学校学習指導要領に基づく指導改善 ・中学校における数学の授業づくり ・指導技術を高める方法について		教基 A ①② 教伸 A ①②	オンライン （オンデマンド配信）			
2	8 月 18 日 （金）	13:30- 16:30	集 合				北区立王子桜 中学校（王子）			

研修番号		4231		研修名		数学【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)					
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した数学科の指導法									
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。									
対象校種・定員		中・特 80名									
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭									
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】			
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭	主 幹 教 諭	管候補	副校長	校 長	
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期							
		○	○	○							
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの活用		
		○						○			
講師		都内公立中学校指導教諭等									
特色		◇事前動画（必視聴）を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立中学校指導教諭等の実践発表を通して、数学科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。									
研修関連動画		5-(26)、5-(27)									
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 数学編 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。									
日程等	回	実施日	時間	内容			指標	研修形態	会場		
	1	10月31日 (火)	13:30-16:30	○数学科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験			教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター (水道橋)		

研修番号		4241		研修名	数学【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)					
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した数学科の指導法								
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。								
対象校種・定員		高・特 80名								
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
		○	○	○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの活用		
	○						○			
講師		都立高等学校指導教諭等								
特色		◇事前動画（必視聴）を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都立高等学校指導教諭等の実践発表を通して、数学科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。								
研修関連動画		5-(26)、5-(27)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 数学編 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	10月6日 (金)	13:30-16:30	○数学科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター (水道橋)		

研修番号		4251・4252		研修名	数学【Ⅱ】（東京理科大学で学ぶ数学の世界）					
研修タイトル		数学体験館ってどんなところ？ －数学的に考える資質・能力を育成する指導の充実－								
ねらい		数学の専門的知識・理解を深め、数学的に考える資質・能力の育成に向けた指導力の向上を図ります。								
対象校種・定員		中・高・特 4251・4252 各 25 名								
対象教員		9 年目以上の教諭、主任教諭								
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
				○						
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応		デジタルや情報・教育 データの利活用
		○								
講師		東京理科大学の教授等を予定								
特色		◇「数学における基本的な概念や原理・法則のよさ」や「数学的な表現や処理のよさ」、数学が生活に役に立っていることや数学が科学技術を支え相互に関わって発展してきたこと等、社会における数学の有用性や実用性を認識させる事ができる授業づくりのための研修 ◇東京理科大学にある数学体験館での演習を通して、生徒に数学的に考える資質・能力を育成する指導の新たな視点を学ぶ研修 ◇習得した知識・技能、内容を発展させ、学校・地域に普及・還元する力を身に付ける研修 ◇東京理科大学と連携した研修								
研修関連動画		2-(3)、4-(9)、4-(13)、4-(14)、4-(15)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。 ※4251 と 4252 は同一研修です。どちらか一方のみお申込みください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	【4251】	8 月 24 日 （木） 13:30- 16:30	○数学教育が担うべき役割について ○数学と実社会との関わりについて		任A①②	集合	東京理科大学 神楽坂キャンパス （飯田橋）		
		8 月 24 日 （木）								
	1	【4252】	8 月 25 日 （金） 13:30- 16:30	○数学教育が担うべき役割について ○数学と実社会との関わりについて			集合	東京理科大学 神楽坂キャンパス （飯田橋）		
8 月 25 日 （金）										

研修番号		4261・4262		研修名	高等学校進学対策研修・数学【Ⅱ】						
研修タイトル		発展的な内容に関する指導の充実 ー進学対策を含めた「発展的な内容」を取り扱う授業づくりー									
ねらい		進学対策を含めた「発展的な内容」を取り扱う指導の要点について理解を深め、生徒の資質・能力を向上させる実践力を身に付けます。									
対象校種・定員		高・特 4261・4262 各 15 名									
対象教員		9 年目以上の教諭、主任教諭									
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研修段階【Ⅱ】		研 修 段 階 【Ⅲ】		研 修 段 階 【Ⅳ】			
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長	
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期							
				○							
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応		デジタルや情報・教育 データの利活用	
○					○						
講師		都立西高等学校 主任教諭等									
特色		◇高等学校の発展的な学習指導について理解を深める研修 ◇授業実践について学ぶことができる研修 ◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修									
研修関連動画		1-(3)、4-(8)、4-(13)、4-(14)、4-(15)									
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 数学編 ※4261 と 4262 は同一研修です。どちらか一方のみお申込みください。									
日程等	回	実施日	時間	内 容			指 標	研 修 形 態	会 場		
	1	【4261】 10 月 23 日（月）	13:30- 16:30	○進学対策を含めた「発展的な内容」を取り扱う指導の実際			任 A ①②③ 任 D ①②	集合	都立西高等学校 （久我山）		
	1	【4262】 10 月 26 日（木）	13:30- 16:30					集合	都立西高等学校 （久我山）		

研修番号		4271・4272		研修名	算数【Ⅱ・Ⅲ】（習熟度別指導の実際）					
研修タイトル		数学的に考える資質・能力を育成する授業づくり ー児童の習熟度に応じた指導の充実を通してー								
ねらい		習熟度別指導をより充実させ、児童が数学的な見方・考え方を働かせ、 数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の育成を目指した指導力の 向上を図ります。								
対象校種・定員		小・特 30名 ※4271：区立小学校対象 4272：市町村立小学校対象								
対象教員		9年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭								
指標との 関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭		
		基礎形成期	伸長期	充 実 期				管候補		
				○		○		○		
	人材育成 の基本的 な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応		
		○								
講師		会場校 指導教諭等 文部科学省の調査官等 を予定								
特色		◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する 力を高める研修 ◇算数科の主体的・対話的で深い学びの実現について、学習指導要領等 に基づいて理解を深め、自身や若手教員の授業改善に生かす研修								
研修関連動画		1-(3)、4-(8)、4-(13)、4-(14)、4-(15)								
持ち物・ 事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 算数編 ※4271と4272は同一研修です。どちらか一方のみお申込みください。 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付 システムで御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修 形態	会場		
	1	【4271】 9月19日 （火）	13:30- 16:30	○習熟度別指導を行う際の 留意点 ○数学的活動を通して、数 学的に考える資質・能力 を育成する指導の充実		任 A ①②③ 指 A ①② 幹 A ①②	集合	北区立王子 第五小学校 （十条）		
	1	【4272】 10月20日 （金）	13:30- 16:30	○習熟度別指導を行う際の 留意点 ○数学的活動を通して、数 学的に考える資質・能力 を育成する指導の充実			集合	武蔵村山市立 第八小学校 （西武立川）		

研修番号		4281・4282		研修名	数学【Ⅱ・Ⅲ】（新科目対応）				
研修タイトル		生徒が数学の有用性や実用性を認識する指導の工夫 ー数学の授業づくり・理数理科探究基礎（新科目）を学ぶー							
ねらい		新科目理数探究基礎の内容を概観し、学習指導要領の目標を踏まえ、多様な生徒の実態に対応した授業展開や指導の工夫について学び、指導力の向上を図ります。							
対象校種・定員		高・特（4281_第2回集合）30名（4282_第2回ライブ配信）200名							
対象教員		9年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸長期	充実期					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
		○							
講師		（第1回）国立教育政策研究所 教育課程調査官 小林 廉 （第2回）明治大学 教授 阿原 一志							
特色		◇ 学習指導要領のポイント等について理解を深め、生徒が中学校までの「数学的活動の楽しさ」、「数学のよさ」を実感し粘り強く考えてきたことを踏まえ、高等学校の学習内容における「数学のよさ」や「数学の有用性や実用性」を認識させるための指導法及び評価方法を学ぶ研修 ◇ 今後の数学教育の方向性や課題解決のヒントについて理解を深め、授業づくりのために、数学指導技術の専門性を高める研修 ◇ 専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修 ◇ 第1回はオンライン（オンデマンド配信）による研修							
研修関連動画		2-(3)、3-(5)、4-(9)、4-(13)、4-(14)、4-(15)、4-(16)、4-(17)、5-(5)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※ 第1回のオンラインの研修にて YouTube を視聴できることが申込の条件になります。 ※ 4281 と 4282 は同一研修です。第2回の希望の形態（集合 or オンライン）を選び、どちらか一方のみお申込みください。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	8月配信予定	約180分	○教科理数「理数探究基礎」授業づくりのポイント ○新学習指導要領改訂の要点と系統性を踏まえた指導		任A① 指A① 幹A①	オンライン（オンデマンド配信）		
	2	【4281】 9月28日（木）	13:30-16:30	○新学習指導要領で求められる数学の授業展開と指導の工夫 ○授業改善につなげる観点別評価の在り方と校内での活用・還元			集合	教職員研修センター（水道橋）	
		【4282】 9月28日（木）	13:30-16:30				オンライン（ライブ配信）		

研修番号		4311		研修名		理科【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)					
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した理科の指導法									
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。									
対象校種・定員		小・特 70名									
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭									
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】			
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭		主 幹 教 諭			
		基礎形成期		伸 長 期		充 実 期		管候補			
		○		○		○					
	人材育成の基本的な事項	学習指導		生活指導力 進路指導力		外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力		教育課題に関する対応力	
		○								特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	
講師		都内公立小学校指導教諭等									
特色		◇事前動画（必視聴）を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立小学校指導教諭等の実践発表を通して、理科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。									
研修関連動画		5-(26)、5-(27)									
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。									
日程等	回	実施日	時間	内容		指標		研修形態	会場		
	1	10月25日 (水)	13:30-16:30	○理科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①		集合	都立多摩図書館 (西国分寺)		

研修番号		4321		研修名	理科【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)					
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した理科の指導法								
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。								
対象校種・定員		中・特 80名								
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
		○	○	○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
	○								○	
講師		都内公立中学校指導教諭等								
特色		◇事前動画（必視聴）を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立中学校指導教諭等の実践発表を通して、理科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。								
研修関連動画		5-(26)、5-(27)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	9月29日（金）	13:30-16:30	○理科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター（水道橋）		

研修番号		4331		研修名	理科【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)					
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した理科の指導法								
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。								
対象校種・定員		高・特 80名								
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭	主 幹 教 諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
		○	○	○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの活用		
	○						○			
講師		都立高等学校指導教諭等								
特色		◇事前動画（必視聴）を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都立高等学校指導教諭等の実践発表を通して、理科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。								
研修関連動画		5-(26)、5-(27)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 理科編 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	8月30日 (水)	13:30-16:30	○理科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター (水道橋)		

研修番号		4341		研修名	理科【Ⅱ】（「粒子」に関する教材開発）					
研修タイトル		深い学びにつなげる理科及び理数探究基礎の教材開発 －深い学びに導く「粒子」に関する教材開発－								
ねらい		理科（粒子領域）に関する最新の研究成果を踏まえ、自然の事物・現象に対する関心や探究心を高めます。								
対象校種・定員		小・中・高・特 20 名								
対象教員		9 年目以上の教諭、主任教諭								
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研修段階【Ⅱ】		研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
				○						
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
		○								
講師		お茶の水女子大学 教授を予定								
特色		◇「粒子領域」に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究する力を育成するための指導法を学ぶ研修 ◇ 専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力を高める研修 ◇ お茶の水女子大学と連携した研修								
研修関連動画		2－（４）、3－（６）、4－（10）（11）								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・（校種に応じて）学習指導要領（平成 29・30 年告示）解説 理科編								
日程等	回	実施日	時間	内 容		指 標	研 修 形 態	会 場		
	1	8 月 9 日 （水）	13:30- 16:30	○粒子領域に関する研究の動向に関する講義・実験 ○粒子領域に関する教材の活用事例について		任 A ①②	集 合	お茶の水女子大学 （茗荷谷）		

研修番号		4351		研修名	高等学校進学対策研修・理科【Ⅱ】					
研修タイトル		発展的な内容に関する指導の充実 ー進学対策を含めた「発展的な内容」を取り扱う授業づくりー								
ねらい		進学対策を含めた「発展的な内容(生物分野)」を取り扱う指導の要点について理解を深め、生徒の資質・能力を向上させる実践力を身に付けます。								
対象校種・定員		高・特		30 名						
対象教員		9 年目以上の教諭、主任教諭								
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
				○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用		
		○			○					
講師		都立小石川中等教育学校指導教諭等を予定								
特色		◇高等学校の発展的な学習指導について理解を深める研修 ◇授業実践について学ぶことができる研修 ◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修								
研修関連動画		3－(6)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 理科編								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	7 月 10 日 (月)	13:30－ 16:30	○進学対策を含めた「発展的な内容」を取扱う指導の実際		任 A ①②③ 任 D ①②	集合	都立小石川中等教育学校 (千石)		

研修番号		4361		研修名	理科【Ⅱ・Ⅲ】（小学校授業構築）					
研修タイトル		問題解決の活動を通じた理科授業づくり ー「主体的に学習に取り組む態度」を中心としてー								
ねらい		児童が理科の見方・考え方を働かせ、理科を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するための基礎・基本を学び、学校・地域に普及・還元する力を身に付けます。								
対象校種・定員		小・特 30 名								
対象教員		9 年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭								
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
				○		○	○			
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応		デジタルや情報・教育 データの利活用
		○								
講師		文部科学省教科調査官等、都内公立小学校指導教諭等を予定								
特色		◇実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修								
研修関連動画		1 - （ 4 ）								
持ち物・ 事前課題等		・ 二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・ 小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 理科編								
日程等	回	実施日	時間	内 容		指 標	研 修 形 態	会 場		
	1	10 月 23 日 （ 月 ）	13:30- 16:30	○小学校理科教育について ・ 学習指導要領のポイント ○実践事例発表 ・ 授業動画等による発表 ○協議・演習 ○講師による講評		任 A① 指 A① 幹 A①	集合	教職員 研修センター （水道橋）		

研修番号		4371・4372		研修名	理科【Ⅱ・Ⅲ】（新科目対応）					
研修タイトル		Biology&Chemistry 神秘の世界を求めて －探究的な実習と探究活動の充実を図る講座－								
ねらい		生徒が理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うこと等を通して、生物または化学を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するための 基礎・基本を学び、学校・地域に普及・還元する力を身に付けます。								
対象校種・定員		高・特 4371・4372 各 30 名（計 60 名）								
対象教員		9 年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭								
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研修段階【Ⅱ】		研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
				○		○	○			
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
		○								
講師		4371 東邦大学 准教授を予定 東京都生物教育研究会推薦の指導教諭等 4372 東京工科大学 須磨岡 淳教授を予定 東京都理化教育研究会推薦の指導教諭等								
特色		◇最先端の研究成果を基にした、生物の内容理解及び生徒の関心を高めるための教材や指導方法についての実習 ◇東京都生物教育研究会、東京都理化教育研究会との連携研修								
研修関連動画		2－（4）、3－（6）、4－（10）（13）								
持ち物・ 事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 理科編 ※4371（生物）または 4372（化学）のいずれかを選択してください。								
日程等	回	実施日	時間	内 容		指 標	研 修 形 態	会 場		
	1	【4371】 生物	13:30- 16:30	○最新の生物学における研究の動向について ○生物に関する観察・実験 ※動物園にて行動観察を実施		任 A ①②③ 指 A ①② 幹 A ①②	集合	上野動物園 （上野） 都立上野高等学校（根津）		
		8 月 29 日 （火）								
	2	10 月 24 日 （火）	13:30- 16:30	○生徒が探究的な学びをする授業の工夫			集合	教職員 研修センター （水道橋）		
	1	【4372】 化学	13:30- 16:30	○最新の化学における研究の動向について ○化学に関する観察・実験			集合	東京工科大学 （八王子）		
		7 月 31 日 （月）								
2	9 月 21 日 （木）	13:30- 16:30	○生徒が探究的な学びをする授業の工夫		集合		都立多摩科学技術高等学校 （武蔵小金井）			

研修番号		4381・4382		研修名	理科【Ⅲ】（外部施設の活用）				
研修タイトル		外部機関を効果的に活用した授業づくり —日本科学未来館・JAXAの活用—							
ねらい		理科の学習指導の改善に必要な専門的な知識及び技能の習得を図るとともに、外部機関と連携して科学の面白さや有用性を教員や児童・生徒へ伝えたり、研修会の企画力を高めたりする等、校内・地域で理科教育を推進する力を高めます。							
対象校種・定員		小・中・高・特 4381・4382 各 50 名（計 100 名）							
対象教員		指導教諭及び主幹教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教 諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸長期	充 実 期				管候補	副校長
						○		○	
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用
		○		○					
講師		日本科学未来館職員 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA） 宇宙教育センター職員							
特色		◇習得した知識・技能、内容を発展させ、学校・地域に普及・還元する力を身に付ける研修 ◇日本科学未来館、JAXAと連携した研修							
研修関連動画		1－（4）、2－（4）、3－（6）、3－（12）、4－（10）							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・（校種に応じて）学習指導要領（平成29・30年告示）解説 理科編 ※4381（日本科学未来館）または 4382（JAXA）のいずれかを選択してください。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	【4381】	13:30-16:30	○理科教育推進のための校外研修等の取組について ・児童が主体的に学ぶための博物館等の利用のポイント		指 A ①② 指 C ①	集合	日本科学未来館 （テレコムセンター）	
		11月30日（木）							
	1	【4382】	13:30-16:30	○科学への関心を高める外部施設の活用の実際 ・JAXA（宇宙航空研究開発機構）宇宙科学研究所の概要 ・宇宙開発の手法を活用した理科教育の推進		幹 A ①② 幹 C ①	集合	JAXA相模原キャンパス （淵野辺）	
7月27日（木）									

研修番号		4411		研修名	生活・総合的な学習の時間【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)				
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した生活科・総合的な学習の時間の指導法							
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。							
対象校種・定員		小・特 70名							
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸長期	充実期			管候補	副校長	校長
		○	○	○					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用	
		○						○	
講師		都内公立小学校指導教諭等							
特色		◇事前動画(必視聴)を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立小学校指導教諭等の実践発表を通して、生活科・総合的な学習の時間における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。							
研修関連動画		5-(26)、5-(27)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの) ・小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 生活編 ・小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編 ・事前動画(必視聴)があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	10月2日 (月)	13:30- 16:30	○生活科・総合的な学習の時間における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	LINK FOREST (多摩センター)	

研修番号		4421・4422		研修名	総合的な学習の時間【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)					
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した総合的な学習の時間の指導法								
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。								
対象校種・定員		4121 中・特 40名 4122 中・特 40名								
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主 任 教 諭		指 導 教 諭	主 幹 教 諭	管 候 補	副 校 長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
	○		○		○					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学 校 運 営 力 組 織 貢 献 力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
○									○	
講師		都内公立中学校指導教諭等								
特色		◇事前動画(必視聴)を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立中学校指導教諭等の実践発表を通して、総合的な学習の時間における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。								
研修関連動画		5-(26)、5-(27)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの) ・中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編 ・事前動画(必視聴)があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。 ※4421と4422は、同一内容の研修です。どちらか一方を選択し、「研修受講申込受付システム」にてお申し込みください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	【4421】	8月23日 (水)	9:30-12:30	○総合的な学習の時間における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験	教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター (水道橋)		
		【4422】								
			8月23日 (水)	13:30-16:30	○総合的な学習の時間における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験	教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター (水道橋)		

研修番号		4431		研修名		総合的な探究の時間【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)					
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した総合的な探究の時間の指導法									
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。									
対象校種・定員		高・特 70名									
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭									
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】			
		教諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長	
		基礎形成期	伸長期	充実期							
		○	○	○							
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用	
		○								○	
講師		東京学芸大学 登本 洋子准教授を予定									
特色		◇事前動画（必視聴）を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇講義・演習を通して、総合的な探究の時間における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。									
研修関連動画		5-(26)、5-(27)									
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総合的な探究の時間編 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。									
日程等	回	実施日	時間	内容			指標	研修形態	会場		
	1	8月8日 (火)	13:30-16:30	○総合的な探究の時間における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験			教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	都立多摩図書館 (西国分寺)		

研修番号		4441・4442		研修名	生活・総合的な学習の時間【Ⅱ】 (総合的な学習の時間の考え方と工夫)					
研修タイトル		協働的な学びを深める小学校生活科・総合的な学習の時間 ー探究的な学びと学習のプロセスの充実ー								
ねらい		生活科・総合的な学習の時間の基礎・基本を学び、生活科及び総合的な学習の時間を通して、児童の資質・能力の向上や育成のための具体的な指導法について学びます。								
対象校種・定員		小・特 4441 集合 50 名 4442 オンライン 200 名								
対象教員		9 年目以上の教諭及び主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
				○						
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
	○					○				
講師		国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官等、 都内公立小学校指導教諭等を予定								
特色		◇生活科、総合的な学習の時間（小学校）の学びのプロセスについて、 実践事例から具体的に学ぶ研修 ◇講師と受講者と双方向に意見交換などしながら学びを深める研修 ※4441 と 4442 は同一研修です。どちらか一方のみ申込みください。 4441・・・集合研修：教職員研修センター（水道橋） 4442・・・オンライン（一方向ライブ配信）研修 ※4442 研修は、YouTube を視聴できることが申し込みの条件になります。 ※オンライン研修の URL は、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、1 週間前を目途に御確認ください。								
研修関連動画		1-(5)(13)、2-(12)、4-(13)(17)、5-(28)								
持ち物・ 事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修 形態	会場		
	1	【4441】	13:30- 16:30	○生活科・総合的な学習の 時間（小学校・特別支援 学校）の学習指導要領に おける基本的な考え方 ○探究的な学びの充実とそ の工夫について		任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員 研修センター （水道橋）		
		8 月 30 日 （水）								
	1	【4442】	13:30- 16:30	○生活科・総合的な学習の 時間（小学校・特別支援 学校）の学習指導要領に おける基本的な考え方 ○探究的な学びの充実とそ の工夫について		任 A① 任 A② 任 A③	オンライン （一方向ライブ配 信）			
8 月 30 日 （水）										

研修番号		4451・4452		研修名	総合的な学習の時間・ 総合的な探究の時間【Ⅱ】 (探究的な学習の考え方と工夫)					
研修タイトル		生徒の主体性を引き出す「探究の時間」 ー教科学習とつなげる、生かす探究的な学習の充実ー								
ねらい		総合的な学習の時間（中学校）、総合的な探究の時間（高等学校）の基礎・基本を学び、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間を通して、生徒の資質・能力の向上や育成のための具体的な指導法について学びます。								
対象校種・定員		中・高・特 (4451)集合 50名(4452)オンライン 200名								
対象教員		9年目以上の教諭または主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
				○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
		○					○			
講師		國學院大學 田村 学 教授を予定 都内公立中学校教諭、高等学校教諭等を予定								
特色		◇中学校及び高等学校の実践発表から具体的な指導方法や組織的な体制を学ぶ研修 ◇中学校から高等学校の学びのつながりを意識した研修 ◇講師と受講者と双方向に意見交換などしながら学びを深める研修 ※4451と4452は同一研修です。どちらか一方のみ申込みください。 4451・・・集合研修：教職員研修センター（水道橋） 4452・・・オンライン（一方向ライブ配信）研修 ※4452研修は、YouTubeを視聴できることが申し込みの条件になります。 ※オンライン研修のURLは、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、1週間前を目途に御確認ください。								
研修関連動画		2-(12)、3-(27)、4-(13)(17)、5-(28)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	【4451】	13:30-16:30	○総合的な学習の時間、総合的な探究の時間の授業展開の基礎 ○生徒主体の授業展開と授業の「質」の向上を図るための取り組み		任 A① 任 A② 任 A③	集合	教職員 研修センター （水道橋）		
		8月29日（火）								
	1	【4452】	13:30-16:30	○総合的な学習の時間、総合的な探究の時間の授業展開の基礎 ○生徒主体の授業展開と授業の「質」の向上を図るための取り組み			オンライン （一方向ライブ配信）			
8月29日（火）										

研修番号		4511		研修名		音楽【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)				
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した音楽科の指導法								
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。								
対象校種・定員		小・特 80名								
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭	主 幹 教 諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
		○	○	○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用		
		○						○		
講師		都内公立小学校指導教諭等								
特色		◇事前動画(必視聴)を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立小学校指導教諭等の実践発表を通して、音楽科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。								
研修関連動画		5-(26)、5-(27)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの) ・小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 音楽編 ・事前動画(必視聴)があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標		研修形態	会場	
	1	9月25日 (月)	13:30-16:30	○音楽における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①		集合	教職員 研修センター (水道橋)	

研修番号		4521		研修名	音楽【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)					
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した音楽科の指導法								
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。								
対象校種・定員		中・高・特 70名								
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
		○	○	○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
	○								○	
講師		都内公立中学校指導教諭等								
特色		◇事前動画（必視聴）を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立学校指導教諭等の実践発表を通して、音楽科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。								
研修関連動画		5-(26)、5-(27)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編 ・高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 芸術編 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	9月13日 (水)	13:30-16:30	○音楽における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	LINK FOREST (多摩センター)		

研修番号		4531・4532		研修名	音楽【Ⅱ】（和楽器の音楽についての指導）							
研修タイトル		児童・生徒に多様な音楽体験を ー和楽器についての指導の充実ー										
ねらい		和楽器の実習や実践事例を通して、児童・生徒が多様な音楽活動を幅広く学ぶ授業をつくる力を高めます。										
対象校種・定員		小・中・高・特 4531・4532 あわせて 50 名										
対象教員		9 年目以上の教諭、主任教諭										
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】				
		教 諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長		
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期								
				○								
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用			
		○										
講師		東京都小学校音楽教育研究会推薦の大学講師等 都内公立小・中学校指導教諭等										
特色		◇和楽器の実技を中心とした研修 ◇東京都小学校音楽教育研究会及び東京都中学校音楽教育研究会と連携した研修										
研修関連動画		2－（5）、5－(11)										
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・（校種に応じて）学習指導要領（平成 29 年告示）解説 音楽編、芸術編 ※4531（箏）または 4532（三味線）のいずれかを選択してください。										
日程等	回	実施日	時間	内 容		指標	研修形態	会 場				
	1	【4531】 箏	13:30- 16:30	○我が国の伝統的な音楽の特徴と背景 ○学習指導要領に基づく和楽器の実技指導のポイント ・和楽器（箏）の指導		任 A ①②	集 合	教職員 研修センター （水道橋）				
		8 月 21 日 （月）										
	1	【4532】 三味線	13:30- 16:30	○我が国の伝統的な音楽の特徴と背景 ○学習指導要領に基づく和楽器の実技指導のポイント ・和楽器（三味線）の指導						集 合	教職員 研修センター （水道橋）	
		8 月 21 日 （月）										
	2	【4531・4532】		○和楽器を用いた授業構築について ・指導案作成のポイント ・演習・協議			集 合	教職員 研修センター （水道橋）				
9 月 22 日 （金）		13:30- 16:30										

研修番号		4541 4542 4543 4544		研修名	音楽【Ⅲ】（小・中・高・特） （楽器を用いた授業づくり）				
研修タイトル		音や音楽、音楽文化と豊かに関わる力を育む音楽科の指導 ー学びの連続性や系統性をねらった授業づくりー							
ねらい		多様な角度から学習指導要領の趣旨を踏まえた音楽の授業づくりを推進する力を高め、学校・地域に普及・還元する力を身に付けます。							
対象校種・定員		小・中・高・特 4541・4542・4543・4544 あわせて 80 名							
対象教員		指導教諭及び主幹教諭							
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期					
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
		○							
講師		東京音楽大学 教授等							
特色		◇東京音楽大学と連携した研修							
研修関連動画		1－（6） 2－（5） 3－（8）							
持ち物・ 事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・（校種に応じて）学習指導要領（平成 29・30 年告示）解説 音楽編、芸術編 ・4541・4542・4543・4544 は同日開催、楽器別の研修です。希望する分科会（楽器等）を選び、いずれか一方のみお申込みください。 ※ この研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件になります。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修 形態	会場	
	1	8 月から 9 月	約 180 分	○学習指導要領に基づく授業づくりのポイント ○学習指導要領と第 2 回の演習との関連について		指 A ①② 幹 A ①②	オンライン （オンデマンド配信）		
	2	【4541】 ガムラン 9 月 5 日 （火）	13:30- 16:30	○実技を通した音楽文化や指導方法等の実践的理解			集合	東京音楽大学 （池袋）	
		【4542】 馬頭琴 9 月 5 日 （火）	13:30- 16:30	○実技を通した音楽文化や指導方法等の実践的理解					
		【4543】 二胡 9 月 5 日 （火）	13:30- 16:30	○実技を通した音楽文化や指導方法等の実践的理解					
		【4544】 コムズ 9 月 5 日 （火）	13:30- 16:30	○実技を通した音楽文化や指導方法等の実践的理解					

研修番号		4611		研修名	図画工作【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)				
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した図画工作科の指導法							
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。							
対象校種・定員		小・特 80名							
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸長期	充実期					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用
		○	○	○					○
講師		都内公立小学校指導教諭等							
特色		◇事前動画（必視聴）を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立小学校指導教諭等の実践発表を通して、図画工作科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。							
研修関連動画		5-(26)、5-(27)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 図画工作編 ・事前動画があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場		
	1	7月18日 (火)	13:30-16:30	○図画工作科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験	教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター (水道橋)		

研修番号		4621		研修名		美術【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)				
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した美術科の指導法								
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。								
対象校種・定員		中・高・特 70名								
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
		○	○	○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用		
		○						○		
講師		都内公立中学校指導教諭等								
特色		◇事前動画(必視聴)を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立学校指導教諭等の実践発表を通して、美術科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。								
研修関連動画		5-(26)、5-(27)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの) ・中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 美術編 ・高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 芸術編 ・事前動画(必視聴)があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	9月14日 (木)	13:30-16:30	○美術科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	LINK FOREST (多摩センター)		

研修番号		4631		研修名	図画工作・美術【Ⅱ】（美術館の活用）				
研修タイトル		造形的なよさや美しさに気付き、感じ取り、思考する児童・生徒の育成－表現と鑑賞を関わらせた図画工作・美術科の指導の工夫－							
ねらい		図画工作・美術科の指導の充実を図るために、表現と鑑賞の関連を図った授業、地域の美術館等と連携した授業の基礎・基本を学びます。							
対象校種・定員		小・中・高・特 50 名							
対象教員		9 年目以上の教諭、主任教諭							
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研修段階【Ⅱ】	研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】		
		教 諭		主 任 教 諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期					
			○						
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
○			○						
講師		武蔵野美術大学 教授等							
特色		◇武蔵野美術大学と連携した研修 ◇美術館でのフィールドワークを基にした研修							
研修関連動画		1－（7）、2－（6）、3－（8）							
持ち物・ 事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・（校種に応じて）学習指導要領（平成 29・30 年告示）解説 図画工作編、美術編、芸術編							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	11 月 9 日 （木）	13:30- 16:30	○美術館と学校が連携した 授業実践について ○美術館の活用についての 協議		任 A ①② 任 C ①	集合	武蔵野美術大学 （鷹の台）	

研修番号		4641		研修名	図画工作・美術【Ⅲ】（授業づくり）				
研修タイトル		造形的な見方・考え方を働かせた図画工作・美術科の学び ー創造性を育む授業づくりの工夫ー							
ねらい		創造的な技能、豊かな発想力を育む指導方法、授業展開等について学び、学校・地域に普及・還元する力を身に付けます。							
対象校種・定員		小・中・高・特 50 名							
対象教員		指導教諭及び主幹教諭							
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研修段階【Ⅱ】	研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】		
		教 諭		主 任 教 諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期					
					○	○			
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
		○							
講師		東京造形大学教授を予定							
特色		◇東京造形大学と連携した研修							
研修関連動画		1－（7）、2－（6）、3－（8）							
持ち物・ 事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・（校種に応じて）学習指導要領（平成 29・30 年告示）解説 図画工作編、美術編、芸術編							
日程等	回	実施日	時間	内 容		指 標	研 修 形 態	会 場	
	1	10 月 27 日 （金）	13:30- 16:30	○学習指導要領のポイント ・学習指導要領の理解 ・教科横断的な指導の工夫 ○表現と鑑賞を関連付けた 取組 ・実習を通した材料や用具 の取扱い ・事例を通した授業展開の 理解 ・学校・地域への普及・還 元のあり方		指 A ①② 幹 A ①②	集合	東京造形大学 （相原）	

研修番号		4711		研修名	体育【Ⅰ】（小学校指導の要点）				
研修タイトル		運動の楽しさと喜びを味わう －実技を通して学ぶ体育の授業づくり－							
ねらい		生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるための授業づくりについて学び、学習指導における基礎的・基本的な力を身に付けます。							
対象校種・定員		小・特(小学部知的障害部門が対象) 40名							
対象教員		1年目から8年目までの教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期					
		○	○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用	
		○							
講師		日本体育大学の白旗和也教授等を予定							
特色		◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修 ◇実技や協議、演習を通して、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ることのできる研修 ◇日本体育大学と連携した研修							
研修関連動画		1-(9) 4-(14)							
持ち物・事前課題等		・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。 ※4711・4712のどちらか一方のみお申込みください。両方とも受講することはできません。 ・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育編・運動ができる服装・体育館シューズ・飲料水・タオル等							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	8月22日 (火)	9:30-12:30	○学習指導要領等のポイント		教基 A ① 教伸 A ①	集合	日本体育大学 世田谷キャンパス (桜新町または等々力)	
	2	8月22日 (火)	13:30-16:30	○実技を通じた授業づくりの実践的な理解			集合	日本体育大学 世田谷キャンパス (桜新町または等々力)	

研修番号		4712		研修名	体育【Ⅰ】（小学校指導の要点）					
研修タイトル		運動の楽しさと喜びを味わう －実技を通して学ぶ体育の授業づくり－								
ねらい		生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるための授業づくりについて学び、学習指導における基礎的・基本的な力を身に付けます。								
対象校種・定員		小・特(小学部知的障害部門が対象) 40名まで								
対象教員		1年目から8年目までの教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】			
		教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長	
		基礎形成期	伸長期	充実期						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用		
		○	○			○				
講師		都内公立小学校 指導教諭等を予定								
特色		◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修 ◇実技を通して、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ることのできる研修 ◇東京都小学校体育研究会と連携した研修								
研修関連動画		1-(9) 4-(14)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・水着・スイムキャップ・ゴーグル・タオル・体育館シューズ・飲料水等 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。 ※4711・4712 のどちらか一方のみお申込みください。両方とも受講することはできません。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	6月20日 (火)	13:30-16:30	○プールの管理及び事故対策の留意点 ○クロール・平泳ぎの指導のポイント ○主体的・対話的で深い学びを実現する泳法指導の実際		教基 A ① 教伸 A ①	集合	千代田区立昌平小学校 屋内プール（秋葉原）		

研修番号		4721		研修名	体育【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)					
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した体育科の指導法								
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。								
対象校種・定員		小・特 80名								
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】			
		教諭		主任教諭	指導教諭		主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用	
		○							○	
講師		都内公立小学校指導教諭等								
特色		◇事前動画(必視聴)を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立小学校指導教諭等の実践発表を通して、体育科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。								
研修関連動画		5-(26)、5-(27)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの) ・小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 体育編 ・運動ができる服装、体育館シューズ、飲料水、タオル等 ・事前動画(必視聴)があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	10月17日 (火)	13:30-16:30	○体育科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター (参宮橋)		

研修番号		4731		研修名	保健体育【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)				
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した保健体育科の指導法							
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。							
対象校種・定員		中・特 80名							
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期					
		○	○	○					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
	○							○	
講師		都内公立中学校指導教諭等							
特色		◇事前動画(必視聴)を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立中学校指導教諭等の実践発表を通して、保健体育科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。							
研修関連動画		5-(26)、5-(27)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの) ・中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編 ・運動ができる服装、体育館シューズ、飲料水、タオル等 ・事前動画(必視聴)があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	10月16日 (月)	13:30-16:30	○保健体育科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター (参宮橋)	

研修番号		4741		研修名	保健体育【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)				
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した保健体育科の指導法							
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。							
対象校種・定員		高・特 80名							
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸長期	充実期			管候補	副校長	校長
		○	○	○					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
		○							○
講師		都立高等学校指導教諭等							
特色		◇事前動画(必視聴)を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都立高等学校指導教諭等の実践発表を通して、保健体育科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。							
研修関連動画		5-(26)、5-(27)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの) ・高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 保健体育編 ・運動ができる服装、体育館シューズ、飲料水、タオル等 ・事前動画(必視聴)があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	9月15日 (金)	13:30- 16:30	○保健体育科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	国立オリンピック記念青少年総合センター (参宮橋)	

研修番号		4751		研修名	体育・保健体育【Ⅱ・Ⅲ】 (コーディネーショントレーニングの実際)				
研修タイトル		コーディネーショントレーニングの基礎と実践 ー脳と体幹を刺激する指導法を学ぶー							
ねらい		児童・生徒一人一人の体力向上を図るための専門的な技能を習得し、実践的指導力を高めます。							
対象校種・定員		小・中・高・特 40名まで							
対象教員		9年目以上の教諭、主任教諭、主幹教諭、指導教諭等							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充 実 期					
				○	○	○			
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用	
		○							
講師		NPO 法人日本コーディネーショントレーニング協会の職員等を予定							
特色		◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修 ◇運動生理学や脳科学の研究から考案されたコーディネーショントレーニングについて学び、児童・生徒の体力向上を図る取組を計画・推進できるようにする研修							
研修関連動画		1-(9)、2-(7)、3-(7)、6-(1)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの)・運動ができる服装・体育館シューズ・飲料水・タオル等							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	10月17日(火)	13:30-16:30	○コーディネーショントレーニングとは ○コーディネーショントレーニングの実際		任 A① 指 A① 幹 A①	集合	都立向丘高等学校体育館(本駒込)	

研修番号		4761・4762		研修名	保健体育【Ⅱ・Ⅲ】 (水泳・表現・球技実技の要点)				
研修タイトル		運動の楽しさと喜びを味わう ー実技を通して学ぶ保健体育の授業づくりー							
ねらい		生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるための授業づくりについて学び、学習指導における発展的な力を身に付けます。							
対象校種・定員		中・高・特(知的障害部門が対象) 4761・4762 各 40 名							
対象教員		9 年目以上の教諭、主任教諭、主幹教諭、指導教諭等							
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研修段階【Ⅱ】	研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】		
		教 諭		主 任 教 諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期					
				○	○	○			
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
○									
講師		日本女子体育大学の教授等を予定							
特色		◇実技等を通して、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ることのできる研修 ◇日本女子体育大学と連携した研修							
研修関連動画		2-(7)、3-(7)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの)・運動ができる服装(4761 は水着・スイムキャップ・ゴーグル)・タオル・体育館シューズ・飲料水・タオル等 ・事前動画があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。 ※4761・4762 のどちらか一方のみお申込みください。両方とも受講することはできません。							
日程等	回	実施日	時間	内 容		指標	研修形態	会場	
	1	【4761】 8 月 28 日 (月)	13:30- 16:30	○主体的・対話的で深い学びを実現する水泳指導の要点		任 A① 指 A① 幹 A①	集 合	日本女子体育大学 世田谷キャンパス 屋内プール (千歳烏山)	
	1	【4762】 8 月 23 日 (水)	13:30- 16:30	○主体的・対話的で深い学びを実現する球技指導の要点 ○主体的・対話的で深い学びを実現するダンス指導の要点 (受講者は 2 グループに分かれ、前半・後半で入れ替え)			集 合	日本女子体育大学 世田谷キャンパス 体育館等 (千歳烏山)	

研修番号		4811		研修名	技術【Ⅰ】 (材料と加工及び生物育成の指導の実際)				
研修タイトル		もっと知りたい!「技術による問題解決」 ー材料加工及び生物育成分野における学習活動の工夫ー							
ねらい		技術によって問題を解決できる力や技術を工夫し創造しようとする態度を育成する技術・家庭科（技術分野）指導の基礎・基本を学びます。							
対象校種・定員		中・特 30名							
対象教員		1年目から8年目までの教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸長期	充 実 期					
		○	○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用	
		○							
講師		東京学芸大学教職大学院 大谷 忠教授を予定							
特色		◇内容A材料と加工の技術及びB生物育成の技術指導を例に、技術科指導の工夫について学ぶ研修 ◇学習指導に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修							
研修関連動画		2-(8)、5-(26)、5-(27)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術編 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。							
日程等	回	実施日	時間	内 容		指 標	研 修 形 態	会 場	
	1	7月7日 (金)	13:30-16:30	○技術・家庭科（技術分野）指導の充実のための基礎・基本 ・学習指導要領等のポイントと授業づくり ・「技術による問題解決」と思考力・判断力・表現力等の育成について (内容A材料と加工の技術及びB生物育成の技術指導を例に)		教基A① 教伸A①	集 合	教職員研修センター (水道橋)	

研修番号		4821		研修名	技術【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)				
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した技術・家庭科（技術分野）の指導法							
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。							
対象校種・定員		中・特 80名							
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教 諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期			管候補	副校長	校 長
		○	○	○					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
		○							○
講師		東京学芸大学大学院 大谷 忠教授を予定							
特色		◇事前動画（必視聴）を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇講義・演習を通して、技術・家庭科（技術分野）における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。							
研修関連動画		5-(26)、5-(27)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭編 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	9月26日 (火)	13:30- 16:30	○技術・家庭科（技術分野）における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター (水道橋)	

研修番号		4911		研修名	家庭【Ⅰ・Ⅱ】 （一人1台の学習者用端末の活用）					
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した家庭科の指導法								
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。								
対象校種・定員		小・中・高・特 70名								
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
	○	○	○							
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用		
○							○			
講師		都内公立小学校指導教諭等								
特色		◇事前動画（必視聴）を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立学校指導教諭等の実践発表を通して、家庭科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。								
研修関連動画		5-(26)、5-(27)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 家庭編 ・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭編 ・高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 家庭編 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	7月28日 （金）	13:30- 16:30	○家庭科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	都立多摩図書館 （西国分寺）		

研修番号		4921・4922		研修名	家庭【Ⅱ・Ⅲ】（消費生活）					
研修タイトル		消費生活の指導と工夫 -持続可能な社会に向けた消費者の育成-								
ねらい		家庭科、技術・家庭科（家庭分野）において、「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせる学習活動の充実を図ることができる指導の基礎・基本を学び、学校・地域に普及・還元する力を身に付けます。								
対象校種・定員		(4921)小・中・特 (4922)高・特 (4921)40名 (4922)40名								
対象教員		9年目の以上の教諭、主任教諭、主幹教諭又は指導教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
				○		○	○			
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用	
		○					○			
講師		財務省東京財務事務所理財第6課職員を予定								
特色		◇小・中・高の学びのつながりを意識した研修 ◇講師と受講者と双方向に意見交換などしながら学びを深める研修 4921（小・中・特）・・・集合研修：教職員研修センター（水道橋） 4922（高・特）・・・集合研修：教職員研修センター（水道橋）								
研修関連動画		1-(8)、2-(9)、3-(18)、4-(13)、5-(28)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容			指標	研修形態	会場	
	1	【4921】	13:30-16:30	○金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用・選択に関する知識・理解 ○教材体験・演習 各班ごとに校内での取り組みを共有 ○各校種から演習取組内容の発表			任 A① 任 A② 任 A③ 指 A① 指 A② 幹 A① 幹 A②	集合	教職員 研修センター （水道橋）	
		8月28日（月）								
	1	【4922】	13:30-16:30					集合	教職員 研修センター （水道橋）	
8月28日（月）										

研修番号		5011・5012		研修名	小学校英語【Ⅰ】（学習指導案の作成・演習）				
研修タイトル		小学校外国語活動・外国語科の授業づくり							
ねらい		外国語活動及び外国語科の授業実践に必要な英語力や指導技術を身に付けられるよう、研修を通じて、小学校外国語活動及び外国語科の授業づくりの基礎・基本を学びます。							
対象校種・定員		小・特（5011）集合 50 名（5012）オンライン 200 名							
対象教員		1 年目から 8 年目までの教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸長期	充実期					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用
		○	○						
講師		文部科学省 直山 木綿子 視学官 予定							
特色		◇教諭 1 年目から 8 年目を対象とした、学習指導要領の要旨を踏まえ、ねらいに迫るための指導計画の作成及び学習指導の力を高める研修 ◇小学校の外国語活動と外国語科の指導方法を学ぶ研修 ◇講師と受講者と双方向に意見交換などしながら学びを深める研修 ※5011 と 5012 は同一研修です。どちらか一方のみ申込みください。 5011・・・集合研修：教職員研修センター（水道橋） 5012・・・オンライン（一方向ライブ配信）研修 ※5012 研修は、YouTube を視聴できることが申込の条件になります。 ※オンライン研修の URL は、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、1 週間前を目途に御確認ください。							
研修関連動画		1-(10)、2-(10)、3-(3)、6-(13)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	全 2 回	【5011】	13:30-16:30	○外国語活動について講師による講義 ○講義を受け学習指導案を作成（演習・協議） ○講師による指導・助言		教基 A① 教伸 A①	集合	教職員 研修センター （水道橋）	
		9 月 6 日（水）							
	全 2 回	9 月 19 日（火）	13:30-16:30	○外国語科について講師による講義 ○講義を受け学習指導案を作成（演習・協議） ○講師による指導・助言			オンライン （一方向ライブ配信）		
		9 月 6 日（水）							
	全 2 回	9 月 19 日（火）	13:30-16:30	○外国語活動について講師による講義 ○講義を受け学習指導案を作成（演習・協議） ○講師による指導・助言					
9 月 6 日（水）									

研修番号		5021		研修名	英語【Ⅰ】（デジタル教科書の活用）					
研修タイトル		小学校外国語科・中学校英語科の授業づくり ーデジタル教科書を使った英語科の指導ー								
ねらい		デジタル教科書を使った英語科授業における指導の在り方について学び、デジタル教科書の活用方法に関する理解を深めます。								
対象校種・定員		小・中・特 30名								
対象教員		1年目から8年目までの教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭		
		基礎形成期		伸長期		充実期		管候補		
		副校長		校長						
	人材育成の基本的な事項	学習指導		生活指導力 進路指導力		外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力		
		教育課題に 関する対応力		特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応		デジタルや情報・教育 データの利活用				
講師		教職員研修センター指導主事 都内公立学校指導教諭等								
特色		◇教諭1年目から8年目を対象とした、小学校・中学校における学習者用 デジタル教科書等の指導計画の作成及び学習指導の力を高める研修 ◇デジタル教科書を効果的に活用することで一人一人に合った学びを深 める実践事例を学ぶ研修 ◇講師と受講者とが双方向に意見交換などしながら学びを深める研修 ※研修の実施日が決定次第、「研修受講申込受付システム」に記載します ので、確認ください。								
研修関連動画		5 - (11)								
持ち物・ 事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修 形態	会場		
	1	9月26日 （火）	13:30- 16:30	○デジタル教科書について の研究成果報告 ○デジタル教科書を使用し た取組の実践発表 小学校・中学校 ○協議		教基 A① 教基 A② 教基 A③ 教基 A④ 教伸 A① 教伸 A② 教伸 A③ 教伸 A④ 教基 F① 教基 F② 教伸 F① 教伸 F②	集合	教職員研修セ ンター （水道橋）		

研修番号		5031		研修名		英語【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)				
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した外国語科の指導法								
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。								
対象校種・定員		小・特 80名								
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
		○	○	○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用		
		○						○		
講師		都内公立小学校指導教諭等								
特色		◇事前動画(必視聴)を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立小学校指導教諭等の実践発表を通して、外国語科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。								
研修関連動画		5-(26)、5-(27)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの) ・小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編 ・事前動画(必視聴)があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	7月20日 (木)	13:30-16:30	○外国語科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター (水道橋)		

研修番号		5041		研修名		英語【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)				
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した外国語科の指導法								
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。								
対象校種・定員		中・特 70名								
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
		○	○	○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用		
		○						○		
講師		都内公立中学校指導教諭等								
特色		◇事前動画(必視聴)を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立中学校指導教諭等の実践発表を通して、外国語科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。								
研修関連動画		5-(26)、5-(27)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの) ・中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編 ・事前動画(必視聴)があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	8月29日 (火)	13:30-16:30	○外国語科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	都立多摩図書館 (西国分寺)		

研修番号		5051		研修名	英語【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)				
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した外国語科の指導法							
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。							
対象校種・定員		高・特 70名							
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期					
		○	○	○					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用	
		○						○	
講師		都立高等学校指導教諭等							
特色		◇事前動画(必視聴)を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都立高等学校指導教諭等の実践発表を通して、外国語科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。							
研修関連動画		5-(26)、5-(27)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの) ・高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 外国語編 ・事前動画(必視聴)があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	10月26日(木)	13:30-16:30	○外国語科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	都立多摩図書館(西国分寺)	

研修番号		5061・5062		研修名	高等学校進学対策研修・英語【Ⅱ】					
研修タイトル		発展的な内容に関する指導の充実 ー進学対策を含めた「発展的な内容」を取り扱う授業づくりー								
ねらい		進学対策を含めた「発展的な内容」を取り扱う指導の要点について理解を深め、生徒の資質・能力を向上させる実践力を身に付けます。								
対象校種・定員		高・特 5061・5062 各 15 名								
対象教員		9 年目以上の教諭、主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充 実 期						
				○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用	
		○			○					
講師		都立西高等学校 主任教諭等								
特色		◇高等学校の発展的な学習指導について理解を深める研修 ◇授業実践について学ぶことができる研修 ◇専門的な知識・技能、内容を習得し、実践的指導力や若手教員を育成する力を高める研修								
研修関連動画		3 - (9)、4 - (3)、4 - (13)、4 - (15)、4 - (16)、5 - (11)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 外国語編 ※5061 と 5062 は同一研修です。どちらか一方のみお申込みください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	【5061】 7 月 6 日 （木）	13:30- 16:30	○進学対策を含めた「発展的な内容」を取り扱う指導の実際		任 A ①②③ 任 D ①②	集合	都立西高等学校 （久我山）		
		1					【5062】 7 月 10 日 （月）	13:30- 16:30	集合	都立西高等学校 （久我山）

研修番号		5071		研修名	英語【Ⅱ・Ⅲ】（新科目対応）				
研修タイトル		高等学校新科目に対応した英語科の授業づくり ーディベート、ディスカッション等のポイントやALTとの協働的な指導の工夫ー							
ねらい		ディベート、ディスカッション等の指導方法を学び、「論理・表現」及び「英語コミュニケーション」の新科目に対応した授業づくりについて理解するとともに、ALTとの協働的な指導の工夫について理解を深め、学校・地域に普及・還元する力を身に付けます。							
対象校種・定員		高・特 50名							
対象教員		9年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期		伸長期		充実期		管候補	
				○		○		○	
	人材育成の基本的な事項	学習指導		生活指導力 進路指導力		外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	
		○							
講師		東京学芸大学 臼倉美里准教授を予定							
特色		◇学習指導要領について理解を深める研修 ◇ディベート、ディスカッション等の指導方法について理解を深める研修							
研修関連動画		3-(9)、3-(26)(27)、4-(3)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 外国語編							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	9月11日（月）	13:30-16:30	○高等学校新科目に対応した英語科の授業づくり		任 A① 指 A① 幹 A①	集合	教職員 研修センター（水道橋）	

研修番号		5081・5082		研修名	英語【Ⅲ】（グローバル化に対応した実用的な英語）					
研修タイトル		中学校・高等学校外国語科の授業づくり ーグローバル化に対応した実用的な英語力を身に付けさせる指導の工夫ー								
ねらい		生徒の4技能を養い、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する指導の工夫について学び、自身の授業改善を図るとともに学校・地域に普及・還元する力を身に付けます。								
対象校種・定員		中・高・特（5081）集合 50 名（5082）オンライン 200 名								
対象教員		11 年目以上の主幹教諭及び指導教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用	
○					○					
講師		一般財団法人実用英語推進機構 安河内 哲也 代表理事								
特色		◇外部講師による授業づくりの在り方に関する講義・演習 ※5081 と 5082 は同一研修です。どちらか一方のみお申込みください。 ※5082 のオンライン研修の申込は、YouTube ライブ配信を視聴できることが条件となります。 ◇演習を行う際には、オンライン配信受講者のために研修室での様子を一部映すことがございます。								
研修関連動画		2-(10)、3-(9)、4-(13)(17)、5-(28)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	【5081】	13:30-16:30	○グローバル化に対応した実用的な英語力を身に付けさせる指導の工夫 ○自校に還元するための協議		指 A① 幹 A①	集合	教職員 研修センター （水道橋）		
		9 月 14 日（木）								
	1	【5082】	13:30-16:30	○グローバル化に対応した実用的な英語力を身に付けさせる指導の工夫 ○自校に還元するための協議			指 A① 幹 A①	オンライン （一方向ライブ配信）		
9 月 14 日（木）										

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号		6111・6112		研修名	英語 ONE DAY (Basic) A					
研修タイトル		ONE DAY 小学校英語講座【Basic】A ー英会話にチャレンジ 正しい発音やクラスルームイングリッシュを身に付けようー								
ねらい		講師や受講者との英語によるコミュニケーションの体験を通して、英語を話す楽しさを体験するとともに、指導に役立つ英語表現を習得します。								
対象校種・定員		小・特 各研修 20 名								
対象教員		基礎形成期【Ⅰ】から発展期【Ⅲ】までの自身の英語力向上に意欲のある教員								
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭		主 幹 教 諭		
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの活用		
		○	○	○	○	○				
講師		外部委託業者が手配する講師等								
特色		◇Web 会議システムを利用したオンラインによる英会話研修 ◇少人数でのグループレッスン ◇英語を話すことにチャレンジしたい人向けの研修 ※6111・6112 は同一研修です。いずれか 1 研修を申込みください。								
研修関連動画		1-(10)、1-(12)								
持ち物・事前課題等		・Web 会議システムへの参加方法は、実施前日の正午以降に「研修受付申込受付システム」を確認し、当日 13:00～13:30 の間にアクセスして参加してください。 ・同一校で 2 名以上が受講する場合、別々にログインしてください。 ・音質の確保のため、マイク付きイヤホン等を用意してください。								
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場			
	1	【6111】	13:30- 16:30	○挨拶、自己紹介 ○正しい英語の発音、クラスルームイングリッシュの指導	教基 A① 教伸 A① 任 A① 指 A① 幹 A①	オンライン (Web 会議システム)				
		10 月 17 日 (火)								
		【6112】								
	12 月 14 日 (木)									

(1) 専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号		6121・6122		研修名	英語 ONE DAY (Basic) B				
研修タイトル		ONE DAY 小学校英語講座【Basic】B ー英会話にチャレンジ 外国語活動教材で扱う語彙や表現を使って、アクティビティや英会話を楽しもうー							
ねらい		講師や受講者との英語によるコミュニケーションの体験を通して、英語を話す楽しさを体験するとともに、指導に役立つ英語表現を習得します。							
対象校種・定員		小・特 各研修 20 名							
対象教員		基礎形成期【Ⅰ】から発展期【Ⅲ】までの自身の英語力向上に意欲のある教員							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭		主 幹 教 諭	
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期			管 候 補	副 校 長	校 長
		○	○	○	○		○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
		○							
講師		外部委託業者が手配する講師等							
特色		◇Web 会議システムを利用したオンラインによる英会話研修 ◇少人数でのグループレッスン ◇英語を話すことにチャレンジしたい人向けの研修 ※6121・6122 は同一研修です。いずれか 1 研修を申込みください。							
研修関連動画		1-(10)、1-(12)							
持ち物・事前課題等		・Web 会議システムへの参加方法は、実施前日の正午以降に「研修受付申込受付システム」を確認し、当日 13:00～13:30 の間にアクセスして参加してください。 ・同一校で 2 名以上が受講する場合、別々にログインしてください。 ・音質の確保のため、マイク付きイヤホン等を用意してください。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	【6121】	13:30-16:30	○挨拶、自己紹介 ○外国語活動教材で扱う語彙や表現を使ったアクティビティ ○外国語活動教材で扱う語彙や表現を使った英会話		教基 A① 教伸 A① 任 A① 指 A① 幹 A①	オンライン (Web 会議システム)		
		10 月 19 日 (木)							
		【6122】							
		12 月 15 日 (金)							

(1) 専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号		6131・6132		研修名	英語 ONE DAY (Basic) C				
研修タイトル		ONE DAY 小学校英語講座【Basic】C ー英会話にチャレンジ 教科書で扱う語彙や表現を使って、アクティビティや英会話を楽しもうー							
ねらい		講師や受講者との英語によるコミュニケーションの体験を通して、英語を話す楽しさを体験するとともに、指導に役立つ英語表現を習得します。							
対象校種・定員		小・特 各研修 20 名							
対象教員		基礎形成期【Ⅰ】から発展期【Ⅲ】までの自身の英語力向上に意欲のある教員							
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研修段階【Ⅱ】		研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】	
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭		主 幹 教 諭	
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期					
		○	○	○	○	○			
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用	
		○							
講師		外部委託業者が手配する講師等							
特色		◇Web 会議システムを利用したオンラインによる英会話研修 ◇少人数でのグループレッスン ◇英語を話すことにチャレンジしたい人向けの研修 ※6131・6132 は同一研修です。いずれか 1 研修をお申込みください。							
研修関連動画		1-(10)、1-(12)							
持ち物・事前課題等		・Web 会議システムへの参加方法は、実施前日の正午以降に「研修受付申込受付システム」を確認し、当日 13:00～13:30 の間にアクセスして参加してください。 ・同一校で 2 名以上が受講する場合、別々にログインしてください。 ・音質の確保のため、マイク付きイヤホン等を用意してください。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	【6131】	13:30- 16:30	○挨拶、自己紹介 ○外国語科の教科書で扱う語彙や表現を使ったアクティビティ ○外国語活動教材で扱う語彙や表現を使った英会話		教基 A① 教伸 A① 任 A① 指 A① 幹 A①	オンライン (Web 会議システム)		
		10 月 20 日 (金)							
		【6132】							
		12 月 12 日 (火)							

(1) 専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号		6141		研修名	英語 ONE DAY (Advanced) A					
研修タイトル		ONE DAY 英会話を楽しむための講座【Advanced】A								
ねらい		ネイティブ講師とのオールイングリッシュによるコミュニケーションを通して英語に対する自信を高めるとともに、指導に役立つ発展的な英語表現を習得します。								
対象校種・定員		中・高・特 20 名								
対象教員		基礎形成期【Ⅰ】から発展期【Ⅲ】までの自身の英語力向上に意欲のある教員								
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研修段階【Ⅱ】	研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】			
		教 諭		主 任 教 諭	指導教諭	主 幹 教 諭	管 候 補	副 校 長	校 長	
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
			○	○	○		○			
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学 習 指 導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応		デジタルや情報・教育 データの利活用
○										
講師		外部委託業者が手配する講師								
特色		◇Web 会議システムを利用したオンラインによる英会話研修 ◇少人数でのグループレッスン ◇ネイティブ講師によるオールイングリッシュの研修 ◇会話表現の幅を広げたい人や英語で自分の意見を伝えたり、より会話を楽しんだりしたい人向けの研修								
研修関連動画		1-(10)、1-(12)								
持ち物・ 事前課題等		・Web 会議システムへの参加方法は、実施前日の正午以降に「研修受付申込受付システム」を確認し、当日 13:00～13:30 の間にアクセスして参加してください。 ・同一校で2名以上が受講する場合、別々にログインしてください。 ・音質の確保のため、マイク付きイヤホン等を用意してください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	10 月 23 日 (月)	13:30- 16:30	○ティーチャートークの技能を高める演習		教基 A① 教伸 A① 任 A① 指 A① 幹 A①	オンライン (Web 会議システム)			

(1) 専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号		6142		研修名	英語 ONE DAY (Advanced) B					
研修タイトル		ONE DAY 英会話を楽しむための講座【Advanced】B								
ねらい		ネイティブ講師とのオールイングリッシュによるコミュニケーションを通して英語に対する自信を高めるとともに、指導に役立つ発展的な英語表現を習得します。								
対象校種・定員		中・高・特 20 名								
対象教員		基礎形成期【Ⅰ】から発展期【Ⅲ】までの自身の英語力向上に意欲のある教員								
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研修段階【Ⅱ】		研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭		主 幹 教 諭		
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期		管 候 補		副 校 長		
		○	○	○		○				
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		
		○								
講師		外部委託業者が手配する講師								
特色		◇Web 会議システムを利用したオンラインによる英会話研修 ◇少人数でのグループレッスン ◇ネイティブ講師によるオールイングリッシュの研修 ◇会話表現の幅を広げたい人や英語で自分の意見を伝えたり、より会話を楽しんだりしたい人向けの研修								
研修関連動画		1-(10)、1-(12)								
持ち物・事前課題等		・Web 会議システムへの参加方法は、実施前日の正午以降に「研修受付申込受付システム」を確認し、当日 13:00～13:30 の間にアクセスして参加してください。 ・同一校で2名以上が受講する場合、別々にログインしてください。 ・音質の確保のため、マイク付きイヤホン等を用意してください。								
日程等	回	実施日	時間	内 容		指 標	研修形態	会 場		
	1	10 月 24 日 (火)	13:30- 16:30	○ALT との授業や打合せ等を想定した会話		教基 A① 教伸 A① 任 A① 指 A① 幹 A①	オンライン (Web 会議システム)			

(1) 専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号		6143		研修名	英語 ONE DAY (Advanced) C					
研修タイトル		ONE DAY 英会話を楽しむための講座【Advanced】C								
ねらい		ネイティブ講師とのオールイングリッシュによるコミュニケーションを通して英語に対する自信を高めるとともに、指導に役立つ発展的な英語表現を習得します。								
対象校種・定員		中・高・特 20 名								
対象教員		基礎形成期【Ⅰ】から発展期【Ⅲ】までの自身の英語力向上に意欲のある教員								
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研修段階【Ⅱ】		研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭	主 幹 教 諭	管 候 補	副 校 長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
		○	○	○		○	○			
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応		デジタルや情報・教育 データの利活用
		○								
講師		外部委託業者が手配する講師								
特色		◇Web 会議システムを利用したオンラインによる英会話研修 ◇少人数でのグループレッスン ◇ネイティブ講師によるオールイングリッシュの研修 ◇会話表現の幅を広げたい人や英語で自分の意見を伝えたり、より会話を楽しんだりしたい人向けの研修								
研修関連動画		1-(10)、1-(12)								
持ち物・事前課題等		・Web 会議システムへの参加方法は、実施前日の正午以降に「研修受付申込受付システム」を確認し、当日 13:00～13:30 の間にアクセスして参加してください。 ・同一校で2名以上が受講する場合、別々にログインしてください。 ・音質の確保のため、マイク付きイヤホン等を用意してください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	10 月 26 日 (木)	13:30- 16:30	○様々なトピックを題材とした会話 ○授業や学校に関わる表現の学習 ○英語によるフリートーク		教基 A① 教伸 A① 任 A① 指 A① 幹 A①	オンライン (Web 会議システム)			

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号	6151	研修名	英語コミュニケーション（日本の伝統・文化紹介）						
研修タイトル	日本の伝統・文化を英語で紹介しよう								
ねらい	都内の名所を英語で紹介する等の実地研修を通して、自身の英語力を高める。								
対象校種・定員	中・高・特 20名								
対象教員	基礎形成期【Ⅰ】から発展期【Ⅲ】までの英語力向上を目指したい教員								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教 諭		主 任 教 諭		指 導 教 諭		主 幹 教 諭	
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期					
	人材育成の基本的な事項	○	○	○		○		○	
		学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力		教育課題に 関する対応力	
		○						特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	
講師	外部委託業者が手配する講師								
特色	◇都内名所や日本の伝統文化に英語で触れながら、日本の伝統文化を英語で外国人講師に紹介する 語彙や表現を学びながら、自身の英語力のスキルアップを図る ◇東京都の英語独自教材「Welcome To Tokyo」を活用した研修								
研修関連動画	2-(10)、3-(3)、6-(7)、6-(8)								
持ち物・事前課題等	・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※研修の会場が決定次第、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、1週間前を目途に御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	10月16日 (月)	13:30-16:30	○都内の名所を英語で紹介するフィールドワークに向けた事前研修 ○受講者でプレゼンテーションの表現方法や伝え方等の協議		教基 A① 教伸 A① 任 A① 任 A② 任 A③	集合	東京都教職員研修センター (水道橋)	
	2	10月27日 (金)	13:30-16:30	○浅草周辺を巡り、ネイティブ講師と英語を用いて日本の伝統・文化を紹介 ○適切な語彙や表現方法を学ぶ		指 A① 指 A② 幹 A① 幹 A②	集合	浅草周辺を予定	

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号		6161		研修名	英語力UP講座【英検準2級取得支援】集合					
研修タイトル		英語力UP講座　－問題演習や講師との模擬面接を通して－								
ねらい		講師との問題演習や模擬面接を通して、英語検定準2級の取得に必要な英語力を身に付けます。								
対象校種・定員		小・中・高・特　20名まで								
対象教員		基礎形成期【Ⅰ】から発展期【Ⅲ】までの英語力向上を目指したい教員								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭		
		基礎形成期	伸長期	充実期				管候補		
		○	○	○		○				
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		
		○								
講師		外部委託業者が手配する講師								
特色		◇英語検定準2級一次試験対策・二次試験スピーキング対策 ◇授業を行うために必要な英語力の育成 ※6161、6162は同一内容の研修です。一方のみ申し込みください。								
研修関連動画		1-(10)、1-(12)、2-(10)、3-(9)、3-(26)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容			指標	研修形態	会場	
	全3回	10月30日（月） 11月14日（火） 11月30日（木）	13:30-16:30	○語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ○面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）			教基A② 教伸A② 任A③ 指A② 幹A②	集合	東京都教職員研修センター（水道橋）	

(1) 専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号		6162		研修名	英語力UP講座【英検準2級取得支援】オンライン				
研修タイトル		英語力UP講座 ー問題演習や講師との模擬面接を通してー							
ねらい		講師との問題演習や模擬面接を通して、英語検定準2級の取得に必要な英語力を身に付けます。							
対象校種・定員		小・中・高・特 20名							
対象教員		基礎形成期【Ⅰ】から発展期【Ⅲ】までの英語力向上を目指したい教員							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期		伸長期		充実期		管候補	
		○		○		○		○	
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの活用
○									
講師		外部委託業者が手配する講師							
特色		◇英語検定準2級一次試験対策・二次試験スピーキング対策 ◇授業を行うために必要な英語力の育成 ※6161、6162は同一内容の研修です。いずれか1研修を申込みください。							
研修関連動画		1-(10)、1-(12)、2-(10)、3-(9)、3-(26)							
持ち物・事前課題等		・Web会議システムへの参加方法は、実施前日の正午以降に「研修受付申込受付システム」を確認し、当日13:00～13:30の間にアクセスして参加してください。 ・同一校で2名以上が受講する場合、別々にログインしてください。 ・音質の確保のため、マイク付きイヤホン等を用意してください。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	全3回	11月7日（火） 11月27日（月） 12月7日（木）	13:30-16:30	○語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ○面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）		教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	オンライン (Web会議システム)		

(1) 専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号		6163		研修名	英語力UP講座【英検2級取得支援】集合					
研修タイトル		英語力UP講座　－問題演習や講師との模擬面接を通して－								
ねらい		講師との問題演習や模擬面接を通して、英語検定2級の取得に必要な英語力を身に付けます。								
対象校種・定員		小・中・高・特　20名								
対象教員		基礎形成期【Ⅰ】から発展期【Ⅲ】までの英語力向上を目指したい教員								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭		
		基礎形成期	伸長期	充実期				管候補		
		○	○	○		○				
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		
		○								
講師		外部委託業者が手配する講師								
特色		◇英語検定2級一次試験対策・二次試験スピーキング対策 ◇授業を行うために必要な英語力の育成 ※6163、6164は同一内容の研修です。いずれか1研修を申込みください。								
研修関連動画		1-(10)、1-(12)、2-(10)、3-(9)、3-(26)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容			指標	研修形態	会場	
	全3回	10月31日（火） 11月16日（木） 12月1日（金）	13:30-16:30	○語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ○面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）			教基A② 教伸A② 任A③ 指A② 幹A②	集合	東京都教職員研修センター（水道橋）	

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号		6164		研修名	英語力UP講座【英検2級取得支援】オンライン						
研修タイトル		英語力UP講座　－問題演習や講師との模擬面接を通して－									
ねらい		講師との問題演習や模擬面接を通して、英語検定2級の取得に必要な英語力を身に付けます。									
対象校種・定員		小・中・高・特　20名									
対象教員		基礎形成期【Ⅰ】から発展期【Ⅲ】までの英語力向上を目指したい教員									
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】			
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭		管候補	
		基礎形成期	伸長期	充実期							
		○	○	○		○					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用	
		○									
講師		外部委託業者が手配する講師									
特色		◇英語検定2級一次試験対策・二次試験スピーキング対策 ◇授業を行うために必要な英語力の育成 ※6163、6164は同一内容の研修です。いずれか1研修を申込みください。									
研修関連動画		1-(10)、1-(12)、2-(10)、3-(9)、3-(26)									
持ち物・事前課題等		・Web会議システムへの参加方法は、実施前日の正午以降に「研修受付申込受付システム」を確認し、当日13:00～13:30の間にアクセスして参加してください。 ・同一校で2名以上が受講する場合、別々にログインしてください。 ・音質の確保のため、マイク付きイヤホン等を用意してください。									
日程等	回	実施日	時間	内容			指標	研修形態	会場		
	全3回	11月9日（木） 11月24日（金） 12月11日（月）	13:30-16:30	○語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験対策） ○面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）			教基A② 教伸A② 任A③ 指A② 幹A②	オンライン （Web会議システム）			

(1)専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号		6171		研修名	英語力UP講座 【英検準1級取得・TOEIC730点突破支援】 集合				
研修タイトル		英語力UP講座　－問題演習や講師との模擬面接を通して－							
ねらい		講師との問題演習や模擬面接を通して、英語検定準1級の取得に必要な・TOEIC730点突破な英語力を身に付けます。							
対象校種・定員		小・中・高・特　20名							
対象教員		基礎形成期【Ⅰ】から発展期【Ⅲ】までの英語力向上を目指したい教員							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸長期	充実期					
		○	○	○	○	○			
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの活用	
○									
講師		外部委託業者が手配する講師							
特色		◇英語検定準1級一次・TOEIC試験対策、二次試験スピーキング対策 ◇授業を行うために必要な英語力の育成 ※6171、6172は同一内容の研修です。いずれか1研修を申込みください。							
研修関連動画		1-(10)、1-(12)、2-(10)、3-(9)、3-(26)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	全3回	11月1日（水） 11月17日（金） 12月4日（月）	13:30-16:30	○語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験、TOEIC試験対策） ○面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）		教基A② 教伸A② 任A③ 指A② 幹A②	集合	東京都教職員研修センター（水道橋）	

(1) 専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号		6172		研修名	英語力UP講座 【英検準1級取得・TOEIC730点突破支援】 オンライン				
研修タイトル		英語力UP講座　－問題演習や講師との模擬面接を通して－							
ねらい		講師との問題演習や模擬面接を通して、英語検定準2級の取得に必要な英語力を身に付けます。							
対象校種・定員		小・中・高・特　20名							
対象教員		基礎形成期【Ⅰ】から発展期【Ⅲ】までの英語力向上を目指したい教員							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教　　諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸長期	充　　実　　期	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校　長
		○	○	○	○	○			
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの活用	
○									
講師		外部委託業者が手配する講師							
特色		◇英語検定2級一次試験対策・二次試験スピーキング対策 ◇授業を行うために必要な英語力の育成 ※6171、6172は同一内容の研修です。いずれか1研修を申込みください。							
研修関連動画		1-(10)、1-(12)、2-(10)、3-(9)、3-(26)							
持ち物・事前課題等		・Web会議システムへの参加方法は、実施前日の正午以降に「研修受付申込受付システム」を確認し、当日13:00～13:30の間にアクセスして参加してください。 ・同一校で2名以上が受講する場合、別々にログインしてください。 ・音質の確保のため、マイク付きイヤホン等を用意してください。							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場		
	全3回	11月10日（金） 11月20日（月） 12月5日（火）	13:30-16:30	○語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験、TOEIC試験対策） ○面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	オンライン （Web会議システム）			

(1) 専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号		6173		研修名	英語力UP講座 【英検1級取得・TOEIC860点突破支援】 集合					
研修タイトル		英語力UP講座　－問題演習や講師との模擬面接を通して－								
ねらい		講師との問題演習や模擬面接を通して、英語検定1級の取得 TOEIC860点突破に必要な英語力を身に付けます。								
対象校種・定員		小・中・高・特　20名								
対象教員		基礎形成期【Ⅰ】から発展期【Ⅲ】までの英語力向上を目指したい教員								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】			
		教諭		主任教諭	指導教諭		主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
		○	○	○	○					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの活用		
○										
講師		外部委託業者が手配する講師								
特色		◇英語検定1級一次・対策・二次試験スピーキング対策 ◇授業を行うために必要な英語力の育成 ※6173、6174は同一内容の研修です。いずれか1研修を申込みください。								
研修関連動画		1-(10)、1-(12)、2-(10)、3-(9)、3-(26)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場			
	全3回	11月2日（木） 11月13日（月） 11月28日（火）	13:30-16:30	○語彙、表現、文法事項等について（英検一次試験、TOEIC試験対策） ○面接形式のスピーキングテストについて（英検二次試験対策）	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	集合	東京都教職員研修センター（水道橋）			

(1) 専門性向上研修（教科等）

〔担当課：専門教育向上課 03-5802-0344〕

研修番号		6174		研修名	英語力UP講座 【英検1級取得・TOEIC860点突破支援】 オンライン					
研修タイトル		英語力UP講座 ー問題演習や講師との模擬面接を通してー								
ねらい		講師との問題演習や模擬面接を通して、英語検定1級の取得・TOEIC860点突破に必要な英語力を身に付けます。								
対象校種・定員		小・中・高・特 20名								
対象教員		基礎形成期【Ⅰ】から発展期【Ⅲ】までの英語力向上を目指したい教員								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】			
		教諭		主任教諭	指導教諭		主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
		○	○	○	○	○				
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの活用		
○										
講師		外部委託業者が手配する講師								
特色		◇英語検定1級一次・TOEIC試験対策・二次試験スピーキング対策 ◇授業を行うために必要な英語力の育成 ※6173、6174は同一内容の研修です。いずれか1研修を申込みください。								
研修関連動画		1-(10)、1-(12)、2-(10)、3-(9)、3-(26)								
持ち物・事前課題等		・Web会議システムへの参加方法は、実施前日の正午以降に「研修受付申込受付システム」を確認し、当日13:00～13:30の間にアクセスして参加してください。 ・同一校で2名以上が受講する場合、別々にログインしてください。 ・音質の確保のため、マイク付きイヤホン等を用意してください。								
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場			
	全3回	11月6日 (月) 11月21日 (火) 12月8日 (金)	13:30-16:30	○語彙、表現、文法事項等について(英検一次試験、TOEIC試験対策) ○面接形式のスピーキングテストについて(英検二次試験対策)	教基 A② 教伸 A② 任 A③ 指 A② 幹 A②	オンライン (Web会議システム)				

研修番号		5211・5212		研修名	道徳【Ⅰ】（道徳指導の理論と実際）					
研修タイトル		小学校・中学校、道徳科の授業で大切なこと －道徳科の基礎・基本－								
ねらい		学習指導要領を踏まえた小学校及び中学校道徳科の目標及び特質を理解するとともに、具体的な授業展開や指導法、評価の基礎・基本を学びます。								
対象校種・定員		小・中・特 (5211_小学校会場)30名 (5212_中学校会場)30名								
対象教員		1年目から8年目までの教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
		○	○							
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
		○					○			
講師		都内公立小学校・中学校指導教諭等を予定								
特色		◇学習指導要領を踏まえた授業づくりと評価の在り方について学ぶ研修 ◇道徳科指導等に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修								
研修関連動画		1-(11)、4-(1)、4-(15)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）・上履き・くつ袋・(5211のみ)小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科道徳編・(5212のみ)中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科道徳編 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。 ※5211（小学校会場）・5212（中学校会場）のどちらか一方のみお申込みください。両方とも受講することはできません。								
日程等	回	実施日	時間	内容			指標	研修形態	会場	
	1	【5211】 小学校会場	13:30- 16:30	○道徳科の特質を生かした授業づくり ・授業参観 ・演習・協議			教基A① 教伸A①	集合	台東区立 根岸小学校 （鶯谷）	
		9月21日 （木）								
	1	【5212】 中学校会場	13:30- 16:30	○道徳科の特質を生かした授業づくり ・授業参観 ・演習・協議			教基A① 教伸A①	集合	府中市立 府中第一中学校 （北府中）	
9月14日 （木）										

研修番号		5221		研修名	道徳【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)				
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した道徳科の指導法							
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。							
対象校種・定員		小・特 80名							
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期					
		○	○	○					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用	
	○						○		
講師		都内公立小学校指導教諭等							
特色		◇事前動画(必視聴)を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立小学校指導教諭等の実践発表を通して、道徳科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。							
研修関連動画		5-(26)、5-(27)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの) ・小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編 ・事前動画(必視聴)があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	10月5日 (木)	13:30-16:30	○道徳科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター (水道橋)	

研修番号		5231		研修名	道徳【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)				
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した道徳科の指導法							
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。							
対象校種・定員		中・特 70名							
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭	指導教諭	主 幹 教 諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期					
		○	○	○					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用	
	○							○	
講師		都内公立中学校指導教諭等							
特色		◇事前動画(必視聴)を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立中学校指導教諭等の実践発表を通して、道徳科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。							
研修関連動画		5-(26)、5-(27)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの) ・中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編 ・事前動画(必視聴)があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。							
日程等	回	実施日	時間	内 容		指 標	研 修 形 態	会 場	
	1	7月27日 (木)	13:30-16:30	○道徳科における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	都立多摩図書館 (西国分寺)	

研修番号		5311・5312		研修名	特別活動【Ⅰ】（特別活動の基礎・基本）							
研修タイトル		特別活動の基礎・基本 ー実践発表から学ぶ、三つの視点を踏まえた資質・能力の育み方ー										
ねらい		「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の三つの視点を踏まえた特別活動における学習過程の基礎・基本を学びます。										
対象校種・定員		5311・5312 とともに小・中・高・特 各 100 名（計 200 名）										
対象教員		1 年目から 8 年目までの教諭										
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】				
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭		主幹教諭		管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期								
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応		デジタルや情報・教育 データの利活用		
		○	○									
講師		大学教授等 東京都小学校特別活動研究会及び東京都高等学校特別教育研究会推薦の 指導教諭等										
特色		◇研究団体との連携による研修										
研修関連動画		1－（14）、2－（13）、3－（28）										
持ち物・ 事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・（校種に応じて）学習指導要領（平成 29・30 年告示）解説 特別活動編 ※5311・5312 のどちらかを 1 つ選択してください。										
日程等	回	実施日	時間	内 容			指標	研修 形態	会 場			
	1	【5311】	13:30- 16:30	○特別活動の指導の充実の ための基礎・基本 ・特別活動で育成すべき資 質・能力 ・キャリア・パスポートの 活用 ○実践発表（小学校）			教基 A ① 教伸 A ①	集合	教職員 研修センター （水道橋）			
		10 月 10 日 （火）										
		【5312】	13:30- 16:30	○特別活動の指導の充実の ための基礎・基本 ・特別活動で育成すべき資 質・能力 ・キャリア・パスポートの 活用 ○実践発表（高等学校）				集合	教職員 研修センター （水道橋）			
10 月 19 日 （木）												

研修番号		5321		研修名	特別活動【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)				
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した特別活動の指導法							
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。							
対象校種・定員		小・中・高・特 80名							
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸長期	充実期			管候補	副校長	校長
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
		○							○
講師		都内公立小学校指導教諭等							
特色		◇事前動画(必視聴)を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都内公立学校指導教諭等の実践発表を通して、特別活動における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。							
研修関連動画		5-(26)、5-(27)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの) ・小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編 ・中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編 ・高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 特別活動編 ・事前動画(必視聴)があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	9月22日 (金)	13:30-16:30	○特別活動における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	教職員 研修センター (水道橋)	

研修番号		5511		研修名	農業【Ⅰ】（大学連携による安全な食の理解）					
研修タイトル		作物や食品について学ぼう！－最新の農業と授業づくり－								
ねらい		作物の生産と経営に必要な基本的な内容を学ぶとともに食品について学び、安全な食についての理解を深めます。								
対象校種・定員		高・特 30 名								
対象教員		1 年目から 8 年目までの教諭								
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
	○	○								
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
		○								
講師		東京農業大学教授等を予定								
特色		◇最先端テクノロジーや情報を活用した農業について体験的に習得する研修 ◇東京農業大学と連携した研修								
研修関連動画		3－（14）、4－（13）								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 農業編								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	8 月 23 日 （水）	13:30－ 16:30	○農業教育における施策と課題 ○農業に関する具体的な指導の在り方や効果的な指導法の工夫		教 基 A ①② 教 伸 A ①②	集合	東京農業大学 世田谷キャンパス（経堂）		

研修番号		5611		研修名	工業【Ⅰ】（機械加工技術の習得）					
研修タイトル		機械加工技術を習得しよう！ ー各種大型機械と測定器の使い方ー								
ねらい		六尺旋盤の基本的な操作技術や安全作業及び３級及び２級技能検定・旋盤加工の実技課題と各種測定器具の使用方法について学びます。								
対象校種・定員		高・特 10名まで								
対象教員		1年目から８年目までの教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
		○	○							
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用	
		○								
講師		都立六郷工科高等学校 専修実習助手を予定								
特色		◇大型機械の操作に関する資格取得に必要な知識・技能の習得 ◇大型機械の安全な操作方法や正確な計測方法等について実習 ◇東京都機械工業教育研究会と連携した研修								
研修関連動画		3－(15)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・タオル・長袖作業服（つなぎ以外）・長ズボン・保護メガネ・安全帽・安全靴								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	8月24日（木）	9:30-12:30	【実習他】 ○大型機械の基本的な操作技術や安全な作業 ○大型機械の実技指導の課題と観点		教基 A ①② 教伸 A ①②	集合	都立六郷工科高等学校（雑色）		
	2		13:30-16:30	【実習他】 ○大型機械の基本的な操作技術や安全な作業 ○大型機械の実技指導の課題と観点			集合	都立六郷工科高等学校（雑色）		

研修番号		5621		研修名	工業【Ⅱ】 （大学連携による工業科の授業づくり）				
研修タイトル		実践的・体験的な学習活動から学ぶ工業教育 －分野別（情報、機械、建築、電気）の演習を通して－							
ねらい		工業の各分野に関する知識や技術・技能について学び、自らの授業改善を図るとともに、工業教育、ものづくり教育の推進につながる基礎・基本を学びます。							
対象校種・定員		高・特 50 名							
対象教員		9 年目以上の教諭、主任教諭							
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期					
				○					
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
		○							
講師		東海大学 教授等を予定							
特色		◇各分野（情報、機械、建築、電気）の最先端技術を知り、授業改善の視点を習得する研修 ◇工業科教員として必要な指導内容、指導方法、学習評価等についての理解を深める研修 ◇東海大学と連携した研修							
研修関連動画		3－（15）							
持ち物・事前課題等		・二次元コード ・筆記用具 ・名札（所属校で使用しているもの） ・高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 工業編							
日程等	回	実施日	時間	内 容		指標	研修形態	会 場	
	1	8 月 25 日 （金）	9：30- 12:30	○大学の最先端の研究内容の紹介 ○高等学校教育への期待 ○新しい時代に対応した工業科の授業づくりについて（協議）		任 A ①②	集合	東海大学 品川キャンパス （高輪ゲートウェイ）	

研修番号		5711		研修名	ビジネス・商業【Ⅰ】（大学連携による実践的なビジネス教育の理解）				
研修タイトル		実践的なビジネス教育の理解 ー大学と連携したビジネス教育の工夫ー							
ねらい		職業人としての課題を発見し、合理的かつ創造的に解決するための指導の在り方について学び、教員の実践力の向上を図ります。							
対象校種・定員		高・特 30 名							
対象教員		9 年目以上の教諭、主任教諭							
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長期	充 実 期					
	○	○							
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの活用	
○									
講師		拓殖大学 教授等を予定							
特色		◇拓殖大学との連携研修 ◇学習指導要領に関する基礎的・基本的な力を身に付ける研修							
研修関連動画		3－(16)、4－(13)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場		
	1	8 月 1 日 (火)	13:30- 16:30	○企業との連携による効果的な指導事例 ○企業との連携する際の課題と留意点 ○企業と連携した授業づくり(協議)	教基 A ①② 教伸 A ①②	集合	拓殖大学文京キャンパス (茗荷谷)		

研修番号		5811・5812		研修名		情報【Ⅰ・Ⅱ】 (生徒が主体的に学ぶための授業改善)									
研修タイトル		高等学校情報科の指導のポイントーこれからの情報科の授業づくりー													
ねらい		情報社会に積極的に参画する態度を育てるための具体的な指導法の工夫について学び、校内で情報教育を推進するための基礎・基本を学びます。													
対象校種・定員		高・特 80名(各回40名)													
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭、主任教諭													
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】							
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭							
		基礎形成期		伸長期		充実期		管候補							
		○		○		○									
	人材育成の基本的な事項	学習指導		生活指導力 進路指導力		外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力		教育課題に関する対応力		特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用	
		○										○			
講師		都立高等学校指導教諭等													
特色		◇情報活用能力を育む具体的な指導内容や指導方法の工夫を身に付ける研修(高等学校情報科「情報Ⅰ」教員研修用教材の内容を含む。) ◇東京都高等学校情報教育研究会と連携した研修													
研修関連動画		高等学校情報科に関する特設ページ 文部科学省 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1416746.htm													
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの)													
日程等	回	実施日	時間	内容				指標		研修形態	会場				
	1	【5811】	7月31日(月)	9:30-12:30	○高等学校情報科「情報Ⅰ」教員研修用教材 第1章～第4章の要点				教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①		集合	都立立川高等学校(立川)			
		【5812】													
		7月31日(月)	13:30-16:30	○高等学校情報科「情報Ⅰ」教員研修用教材 第1章～第4章の要点				教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①		集合	都立立川高等学校(立川)				

研修番号		7101		研修名	専門学科における「情報Ⅰ」代替科目担当教員向け情報教育【Ⅰ・Ⅱ】					
研修タイトル		専門学科における「情報Ⅰ」代替科目担当教員向け情報教育								
ねらい		「情報Ⅰ」の指導内容の要点について理解を深めるとともに、代替科目となる「工業情報数理」・「情報処理」・「農業と情報」・「海洋情報技術」・「生活産業情報」等の指導内容との関連について学び、代替科目担当教員としての資質・能力を高めます。								
対象校種・定員		工業・商業・農業・水産・家政 高等学校・特別支援学校における「情報Ⅰ」の専門教科代替科目を担当する教員 40名まで								
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭、主任教諭等								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
		○	○	○						
	人材育成的な基本事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用		
		○						○		
講師		都立学校指導教諭等を予定								
特色		◇「情報Ⅰ」の代替科目における指導の留意点を理解する研修 ◇「情報Ⅰ」の専門教科代替科目を担当する教員による実践発表を踏まえ、指導のポイントを理解し、授業改善を図る研修								
研修関連動画		高等学校情報科に関する特設ページ 文部科学省 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1416746.htm								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	7月28日（金）	13:30-16:30	○高等学校情報科「情報Ⅰ」 教員研修用教材 第1章～第4章の要点		教基 A① 教基 F① 教伸 A① 教伸 F① 任 A① 任 F①	集合	都立中野工科 高等学校 （野方）		

研修番号		7111・7112		研修名	国際理解教育【Ⅰ】（外国人児童・生徒等教育）							
研修タイトル		児童・生徒が主体的に考える国際理解教育 －社会に貢献できる力の涵養と指導の工夫－										
ねらい		各教科を通じて、児童・生徒が主体的に身近な問題や国際理解を図るための指導方法や具体的な指導方法を学びます。										
対象校種・定員		小・中・高・特 集合 400 名＋ライブ配信 200 名										
対象教員		国際理解教育に関する指導内容や指導方法について学びを深めたい教員										
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研修段階【Ⅱ】		研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】				
		教 諭		主 任 教 諭		指 導 教 諭		主 幹 教 諭		管 候 補	副 校 長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期								
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	○		○								
		学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力		教育課題に 関する対応力		特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応		デジタルや情報・教育 データの利活用
		○				○				○		
講師		中央大学 中川 康弘 教授 都内公立学校教職員等を予定										
特色		◇多文化理解を深め、外国籍の児童・生徒の環境改善や推進を図る ◇中央大学と連携した研修 ◇都内公立学校の国際理解教育の実践事例を学ぶ研修 ※7111 と 7112 は同一研修です。どちらか一方のみ申込みください。 7111・・・集合 教職員研修研修センター（水道橋） 7112・・・オンライン（一方向ライブ配信）研修 ※7112 研修は YouTube を視聴できることが申し込みの条件になります。 ※オンライン研修の URL は、「研修申込受付システム」に記載しますので、 1 週間前を目途に御確認ください										
研修関連動画		6－(14)										
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）										
日程等	回	実施日	時間	内 容			指 標	研 修 形 態	会 場			
	1	【7111】 8 月 10 日 （木）	13:30- 16:30	○グローバル時代における 国際理解教育の在り方 ○外国人児童生徒等教育に 関する環境整備について			教基 A① 教伸 A① 教基 C① 教伸 C① 教基 E① 教伸 E① 教基 G① 教伸 G①	集 合	教職員 研修センター （水道橋）			
	1	【7112】 8 月 10 日 （木）	13:30- 16:30	○グローバル時代における 国際理解教育の在り方 ○外国人児童生徒等教育に 関する環境整備について			教基 A① 教伸 A① 教基 C① 教伸 C① 教基 E① 教伸 E① 教基 G① 教伸 G①	オン ライ ン	ライブ配信			

研修番号		7211		研修名	日本の伝統・文化理解教育【Ⅱ】（能楽）					
研修タイトル		味わおう、受け継ごう、日本の伝統・文化 ー「能楽ことはじめ」古典芸能を未来につなげようー								
ねらい		日本の伝統・文化の楽しさや面白さ、奥深さを体感することを通して、日本の伝統・文化に対する理解を深め、校内において日本の伝統・文化理解教育を推進する力を高めます。								
対象校種・定員		小・中・高・特 400名								
対象教員		校内で日本の伝統・文化に関する教育を推進する意欲のある教員								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
				○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
							○			
講師		能楽師 能楽シテ方観世流 松山 隆之 先生								
特色		◇能楽の楽しさや面白さ、奥深さを体感することを通して、日本の伝統・文化について理解を深める研修								
研修関連動画		5-(1)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容			指標	研修形態	会場	
	1	8月18日 （金）	13:30- 16:30	○能楽の歴史や、舞台演出の意図、能面・能装束の紹介、音楽性の解説、能楽鑑賞のポイント等の解説 ○謡や所作の実演、演習（受講者の体験活動）			任 G①	集合	教職員 研修センター （水道橋）	

研修番号		7311		研修名	プログラミング教育【Ⅱ】 （各教科での実践事例）				
研修タイトル		プログラミング教育－小学校実践編－							
ねらい		小学校におけるプログラミング教育について、各教科で計画的に実施できる実践的な指導力を高めます。							
対象校種・定員		小・特 30 名							
対象教員		9 年目以上の教諭、主任教諭							
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研修段階【Ⅱ】		研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】	
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期		伸 長 期		充 実 期		管候補	
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学 習 指 導		生活指導力 進路指導力		外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	
		○						○	
講師		東京都小学校プログラミング教育研究会所属の主幹教諭等							
特色		◇最新の各教科におけるプログラミング教育の実践事例 ◇東京都小学校プログラミング教育研究会と連携した研修							
研修関連動画		5－（１）（10）（11）（26）（27）							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・上履き・くつ袋（第2回のみ） ※連絡事項等、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、引き続き、御確認ください。							
日程等	回	実施日	時間	内 容		指 標	研 修 形 態	会 場	
	1	8 月 22 日 （火）	13:30- 16:30	○実践事例発表 ○演習		任 A ①②	集 合	教職員 研修センター （水道橋）	
	2	9 月 15 日 （金）	13:30- 16:30	○授業公開、実践事例発表等 ○演習・協議		任 A ① ②	集 合	杉並区立沓掛 小学校（荻窪）	

研修番号		7411		研修名	校務におけるデジタル機器活用【Ⅱ】（高） （Microsoft Teams の基礎）				
研修タイトル		デジタル機器活用基礎講座 －高等学校 Microsoft Teams 活用編－							
ねらい		高等学校における学習支援クラウドを活用した校務の効率化及び効果的な学習支援について、計画的に実施できる実践的な力を高めます。							
対象校種・定員		高 40 名							
対象教員		9 年目以上の教諭、主任教諭							
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期					
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用
							○		○
講師		都立高等学校指導教諭等 教職員研修センター研修部専門教育向上課 統括指導主事等							
特色		◇Microsoft 社のアプリケーションの効果的な活用事例について理解を深める研修 ◇Microsoft 社のアプリケーションの操作方法に関する演習を行い、具体的な活用方法について知識を深める研修							
研修関連動画		5-(1)、5-(11)、5-(20)、5-(26)、5-(27)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	8 月 29 日 (火)	13:30- 16:30	○行政説明 ○演習 ・学習支援クラウド上での学習評価記録蓄積のためのツール操作 ・保護者向けの情報発信のためのツール操作 ・行事等オンデマンド動画配信のためのツール操作など ※受講者一人につき 1 台ずつ端末を貸与し、演習を実施します。 ※Microsoft Teams のツール演習を行います。		任 FG①	集合	教職員 研修センター (水道橋)	

研修番号		7412		研修名	校務におけるデジタル機器活用【Ⅱ】（特） （Microsoft Teams の基礎）					
研修タイトル		デジタル機器活用基礎講座 ー特別支援学校 Microsoft Teams 活用編ー								
ねらい		特別支援学校における学習支援クラウドを活用した校務の効率化及び効果的な学習支援について、計画的に実施できる実践的な力を高めます。								
対象校種・定員		特 40 名								
対象教員		9 年目以上の教諭、主任教諭								
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
				○						
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応		デジタルや情報・教育 データの利活用
							○			○
講師		都立特別支援学校指導教諭等 教職員研修センター研修部専門教育向上課 統括指導主事等								
特色		◇Microsoft 社のアプリケーションの効果的な活用事例について理解を深める研修 ◇Microsoft 社のアプリケーションの操作方法に関する演習を行い、具体的な活用方法について知識を深める研修								
研修関連動画		5-(1)、5-(11)、5-(20)、5-(26)、5-(27)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	8 月 30 日 （水）	13:30- 16:30	○行政説明 ○演習 ・学習支援クラウド上での 学習評価記録蓄積のため のツール操作 ・保護者向けの情報発信の ためのツール操作 ・行事等オンデマンド動画 配信のためのツール操作 など ※受講者一人につき1台ず つ端末を貸与し、演習を 実施します。 ※Microsoft Teams のツ ール演習を行います。		任 FG①	集合	教職員 研修センター （水道橋）		

研修番号		7511		研修名	情報モラル教育【Ⅲ】 (正しい知識と実践的指導力)				
研修タイトル		情報モラル教育 ー児童・生徒が適切にデジタル機器を活用するためにー							
ねらい		情報モラルに関する正しい知識と情報社会に参画する態度を育むための実践的な指導力を高め、学校・地域に普及・還元する力を身に付けます。							
対象校種・定員		小・中・高・特 100 名							
対象教員		指導教諭及び主幹教諭							
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期				管候補	副校長
						○		○	
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用
							○		
講師		教育庁総務部教育政策課統括指導主事 静岡大学 塩田 真吾 准教授							
特色		◇情報モラル教育に関して、SNS東京ノートの効果的な活用方法を学ぶ研修 ◇児童・生徒が情報社会で適切な活動を行うための基礎となる考え方や態度を身に付けるための指導方法を学ぶ研修							
研修関連動画		5－（１）（11）（20）（26）（27）							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）							
日程等	回	実施日	時間	内 容		指 標	研 修 形 態	会 場	
	1	7 月 4 日 (火)	13:30- 16:30	○行政説明 ○講義・演習 ・情報モラル教育関連施策の現状と今後の展望について ・全国の自治体等での取り組み ・SNS東京ノートの活用方法 ・学校・地域への普及・還元のあり方		指 G ①② 幹 G ①②	集 合	教職員 研修センター (水道橋)	

研修番号		7521・7522		研修名	キャリア教育【Ⅲ】（キャリア・パスポート）										
研修タイトル		これからのキャリア教育 ー子供の社会的・職業的自立を目指してー													
ねらい		キャリア教育の基本的な考え方や発達段階を踏まえたキャリア教育の取り組みを学び、校内におけるキャリア教育を推進するための実践的指導力を高めます。													
対象校種・定員		小・中・高・特 集合 400 名＋ライブ配信 200 名													
対象教員		キャリア教育の基本的な考え方や発達段階に応じた指導についての実践的な指導力を身に付けたい教員													
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研 修 段 階 【Ⅱ】		研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】							
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭		主 幹 教 諭		管 候 補		副 校 長		校 長	
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期											
						○		○							
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学 習 指 導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力		特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応		デジタルや情報・教育 データの利活用				
		○					○								
講師		筑波大学の藤田晃之教授を予定													
特色		◇「キャリア・パスポート」の活用について理解を深める研修 ◇キャリア教育の実践について理解を深める研修 ◇東京都小学校キャリア教育研究会、東京都中学校進路指導研究会と連携した研修 ※事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申し込みシステムで御確認ください。 ※7521 と 7522 は同一研修です。希望の研修形態を選び、どちらか一方のみお申込みください。 7521・・・集合研修 7522・・・オンライン（一方向ライブ配信）研修 ※7522 研修は YouTube を視聴できることが申し込みの条件になります。 ※オンライン研修の URL は、「研修申込受付システム」に記載しますので、1 週間前を目途に御確認ください													
研修関連動画		3-(27)、5-(13)													
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）													
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場							
	1	【7521】 7 月 14 日 （金）	13:30- 16:30	○学校におけるキャリア教育の充実について ・キャリア教育の意義やねらい ・「キャリア・パスポート」の活用について		指 G① 幹 G①	集合	教職員 研修センター （水道橋）							
	1	【7522】 7 月 14 日 （金）	13:30- 16:30	○学校におけるキャリア教育の充実について ・キャリア教育の意義やねらい ・「キャリア・パスポート」の活用について		指 G① 幹 G①	オンライン	ライブ配信							

研修番号		7531		研修名	人権教育【Ⅰ】（東京都の人権課題）				
研修タイトル		人権課題を理解しよう！ －フィールドワークから学ぶ指導法の工夫－							
ねらい		人権課題の理解を深めるためのフィールドワークを通して、人権教育推進の指導的役割を果たすための実践的指導力を高めます。							
対象校種・定員		小・中・高・特 40名							
対象教員		人権教育に関する指導内容や教材開発等について学びたい教員							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの活用	
						○			
講師		東京都人権プラザ 職員を予定							
特色		◇参加体験型の研修やフィールドワークを取り入れた研修 ◇東京都の人権課題について理解を深める研修							
研修関連動画		3-(27)、5-(13)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・人権教育プログラム（学校教育編） ※動画視聴のため、YouTubeを視聴できることが申込の条件になります。 ※事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申し込みシステムで御確認ください。							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場		
	1	10月26日 （木）	13:30- 16:30	○人権教育推進に関する基本的な考え方の理解と校内研修の運営	教基 G① 教伸 G①	集合	東京都 人権プラザ （芝公園）		

研修番号		7541・7542		研修名	安全教育【Ⅱ】（防災館体験）				
研修タイトル		体験・演習から学び、深め広げる安全教育							
ねらい		体験・演習を通じて、児童・生徒が主体的に安全や防災について知識を深め広げるための具体的な指導方法を学びます。							
対象校種・定員		小・中・高・特 90名（45名/各会場）							
対象教員		防災教育に関する指導内容や指導方法について理解を深め、学校の組織の一員として防災計画や防災教育の普及を目指す教員							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期					
				○					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
			○		○				
講師		教育庁指導部主任指導主事等を予定 各防災館職員等を予定							
特色		◇災害の模擬体験や地域の特性を踏まえた防災教育の推進 ◇「安全教育プログラム」や「東京マイ・タイムライン」等を用いた研修 ◇東京消防庁と連携した研修 ※7541と7542は同一研修です。どちらか一方のみお申込みください。 7541・・・本所防災館 7542・・・立川防災館							
研修関連動画		4-(9)(10)(11)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・「東京マイ・タイムライン」（東京都） ・「防災ノート～災害と安全～」（東京都教育委員会） ・フェイスタオル（模擬体験等において必要な場合があります） ※動きやすい服装で受講をお願いします。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	【7541】 7月25日 （火）	13:30- 16:30	○「安全教育プログラム」、 「東京マイ・タイムライン」を用いた実践的な指導の工夫 ○模擬体験を通じた災害等への対応の実践的な理解		任C① 任G①	集合	本所防災館 （錦糸町）	
	1	【7542】 8月1日 （火）	13:30- 16:30	○「安全教育プログラム」、 「東京マイ・タイムライン」を用いた実践的な指導の工夫 ○模擬体験を通じた災害等への対応の実践的な理解		任C① 任G①	集合	立川防災館 （立川）	

研修番号		7551		研修名	生活指導【Ⅰ】（いじめ）				
研修タイトル		問題行動等に対応していこう －未然防止と課題解決－							
ねらい		生活指導上の諸問題を解決するための校内組織の在り方や外部機関との連携の方法について理解し、生活指導の場面における実践的指導力の向上を図ります。							
対象校種・定員		小・中・高・特 400 名							
対象教員		生活指導に関する指導内容や学校全体での取り組み方等について学びたい教員							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期					
		○	○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用	
			○						
講師		教育庁指導部統括指導主事 教育相談センター（学校問題解決サポートセンター）弁護士等を予定							
特色		◇生活指導の実践事例 ◇いじめ総合対策【第2次・一部改訂】等を用いた研修 ◇教育庁指導部と連携した研修							
研修関連動画		5-(17)、5-(19)、5-(20)、5-(21)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場		
	1	8月9日 （水）	13:30- 16:30	○東京都の問題行動等の現状と課題 ○いじめの未然防止 ○学校問題における法的側面をおさえた対応	教基 B 教伸 B	集合	東村山市立 中央公民館 （東村山）		

研修番号		7561・7562		研修名	生活指導【Ⅱ・Ⅲ】（不登校）					
研修タイトル		不登校・不登校傾向にある児童・生徒への支援 -児童・生徒へのメンタルヘルスケアと外部機関等との適切な連携の在り方について-								
ねらい		不登校等に関連する生活指導に関わる施策の現状や児童・生徒・保護者への適切な支援や関係諸機関等との連携の在り方について理解を深め、生活指導の場面における実践的指導力の向上を図ります。								
対象校種・定員		小・中・高・特 集合 400 名＋ライブ配信 200 名								
対象教員		不登校等に関連する施策及びその現状や、児童・生徒・保護者への適切な対応や関係諸機関等との連携の在り方について理解を深めたい教員								
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研 修 段 階 【Ⅱ】		研 修 段 階 【Ⅲ】		研 修 段 階 【Ⅳ】		
		教 諭		主 任 教 諭		指 導 教 諭		主 幹 教 諭		
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期		管 候 補		副 校 長	校 長	
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学 習 指 導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力		特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用
			○				○			
講師		国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター総括研究官 墨田区スクールカウンセラー 林 千恵子 先生を予定								
特色		◇不登校対策における未然防止や初期対応に関する知識や具体的な方策について学ぶ研修 ※7561 と 7562 は同一研修です。どちらか一方のみ申込みください。 7561・・・集合研修 教職員研修センター（水道橋） 7562・・・オンライン（一方向ライブ配信）研修 ※7562 研修は YouTube を視聴できることが申し込みの条件になります。 ※オンライン研修の URL は、「研修申込受付システム」に記載しますので、 1 週間前を目途に御確認ください。								
研修関連動画		5－（1）、5－（17）								
持ち物・ 事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※YouTube を視聴できることが申込の条件になります。 ※事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申し込みシステムで御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内 容		指 標	研 修 形 態	会 場		
	1	【7561】 7 月 24 日 （月）	13:30- 16:30	○児童・生徒支援の在り方 ○校内組織の在り方 ○外部機関等との適切な連携に関する好事例		任 B③ 任 G① 指 B① 指 G① 幹 B① 幹 G①	集 合	教職員研修センター （水道橋）		
	1	【7562】 7 月 24 日 （月）	13:30- 16:30	○児童・生徒支援の在り方 ○校内組織の在り方 ○外部機関等との適切な連携に関する好事例		任 B③ 任 G① 指 B① 指 G① 幹 B① 幹 G①	オン ライ ン	ライブ配信		

研修番号		7571		研修名	生き物飼育【Ⅱ】				
研修タイトル		やってみよう生き物の飼育 －水辺の生き物編－							
ねらい		学校における生き物飼育の教育的な意義を理解し、管理運営の専門的知識を習得するとともに、校内で生き物飼育の取組を推進するための実践的指導力の向上を図ります。							
対象校種・定員		幼・小・特 30名							
対象教員		生き物飼育に関する指導内容や学校全体での取り組み方等について学びたい教員							
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研修段階【Ⅱ】		研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】	
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭		主 幹 教 諭	
		基礎形成期		伸 長 期		充 実 期		管候補	
				○					
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導		生活指導力 進路指導力		外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	
								○	
講師		井の頭自然文化園 職員を予定							
特色		◇生き物飼育の基礎・基本を学ぶ研修							
研修関連動画		1－(5)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※動きやすい服装で受講をお願いします。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	8月22日 (火)	13:30- 16:30	○学校動物飼育の基礎・基本		任G①	集合	井の頭自然文化園(吉祥寺)	

研修番号		7611・7612		研修名	健康教育・保健室経営【Ⅰ・Ⅱ】 (性教育・がん教育等喫緊の健康課題)				
研修タイトル		多様化する健康課題の解決策を学ぼう ―健康相談におけるチーム支援を学ぶ―							
ねらい		多様化する児童・生徒の健康課題に関する専門的な知識を習得し、校内での組織的な課題解決の取組を推進するための実践的指導力の向上を図ります。							
対象校種・定員		小・中・高・特 7611 集合 50 名 7612 オンライン 200 名							
対象教員		健康課題の解決に関する指導内容や学校全体での取り組み方等について学びたい教員							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸長期	充実期			管候補	副校長	校長
		○	○	○					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
						○			
講師		教育庁指導部主任指導等・杏林大学教授 亀崎 路子先生 予定							
特色		◇がん教育、てんかんなどの健康課題に関する内容 ◇「性教育の手引き」に関する内容 ◇保健室経営に関する内容 ※7611 と 7612 は同一研修です。どちらか一方のみ申込みください。 7611・・・集合研修：教職員研修センター（水道橋） 7612・・・オンライン（一方向ライブ配信）研修 ※7612 研修は、YouTube を視聴できることが申し込みの条件になります。 ※オンライン研修の URL は、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、1 週間前を目途に御確認ください。							
研修関連動画		5-(12)、5-(30)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	【7611】	13:30-16:30	○東京都の健康教育の課題 ○学校全体で取り組む健康教育（がん教育、てんかん及び性教育の手引き） ○養護教諭の職務と役割・保健室経営について ○健康教育課題の解決について		教基 G① 教伸 G① 任 G① 養基 G① 養伸 G① 任養 G①	集合	教職員研修センター（水道橋）	
		8 月 22 日（火）							
	1	【7612】	13:30-16:30	○東京都の健康教育の課題 ○学校全体で取り組む健康教育（がん教育、てんかん及び性教育の手引き） ○養護教諭の職務と役割・保健室経営について ○健康教育課題の解決について			オンライン（一方向ライブ配信）		
8 月 22 日（火）									

研修番号		7613		研修名	健康教育【Ⅱ・Ⅲ】 (ヘルスプロモーションの最新事情)					
研修タイトル		多様化する健康課題の解決策を学ぼうー健康相談におけるチーム支援を学ぼうー								
ねらい		児童・生徒の生涯にわたる健康づくりを促すための指導の専門性を高め、学校で健康教育を推進する力を高め、学校・地域に普及・還元する力を身に付けます。								
対象校種・定員		小・中・高・特 オンライン 200 名								
対象教員		児童・生徒の生涯にわたる健康づくりを促すための指導の専門性や健康教育を推進する力を高めたい教員								
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
			○		○	○				
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
							○			
講師		鳥山眼科医院院長 福下 公子先生（予定） 日本女子体育大学教授 助友 裕子先生（予定）								
特色		◇東京都学校保健研究会と連携した研修 ◇オンライン（オンデマンド配信）による研修 ◇現代の健康課題の一つである ICT 教育を推進する上で子どもの目をどのように守るのかについて学ぶ研修 ◇現代的な健康課題の解決とヘルスプロモーションについて学ぶ研修 ◇オンデマンド研修の URL は、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、1 週間前を目途に御確認ください。								
研修関連動画		5-(1)								
持ち物・事前課題等										
日程等	回	実施日	時間	内 容		指標	研修形態	会 場		
	1	8 月 上 旬 予定	180 分	○ICT 教育を推進する上で 子供の目を守るための支援・治療の具体例 ○学校や家庭で実践できる 予防教育について ○ウィズコロナにおける健康教育の具体例 ○学校や家庭で行えるメンタル面のサポート方法について		任 G①	集合	オンライン (オンデマンド配信)		

研修番号		7711		研修名	国際バカロレア【Ⅱ】				
研修タイトル		国際バカロレア教育の手法について学ぼう ー海外の大学進学に向けた指導法の工夫ー							
ねらい		国際バカロレアを理解するとともに、国際バカロレアの教育手法に基づいた授業の実践を通して、実践的指導力を高めます。							
対象校種・定員		中・高・特 30名							
対象教員		国際バカロレアについて理解し、国際バカロレアの教育手法を身に付けたい教員							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期					
				○					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用	
		○				○			
講師		教育庁都立学校教育部 教育改革推進担当課長 都立学校教員等を予定							
特色		◇国際バカロレアの手法について理解を深める研修 ◇授業実践について学ぶことができる研修 ※研修の実施日が決定次第、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。							
研修関連動画		5－(1)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・上履き・くつ袋							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	11月16日 (木)	13:30- 16:30	○東京都における国際バカロレア教育の推進について ○国際バカロレア教育の手法に基づく取組について		任A① 任G①	集合	都立国際高等学校（駒場東大前）	

研修番号		7712		研修名	読書活動【Ⅱ】				
研修タイトル		読む楽しさや喜びを育む指導方法を学ぼう －読書の楽しさを児童・生徒へ－							
ねらい		すすんで読書に取り組む態度を育む指導の工夫について学び、校内で読書活動を推進する実践的な指導力を高めます。							
対象校種・定員		小・中・高・特 70名							
対象教員		読書活動に関する指導内容や教材開発等について学びたい教員							
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期					
			○						
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
					○				
講師		都立多摩図書館の職員等を予定							
特色		◇都立多摩図書館と連携した研修 ◇令和4年度 子供の読書活動優秀実践校等の実践発表を予定							
研修関連動画		4-(4)、5-(1)							
持ち物・ 事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）							
日程等	回	実施日	時間	内 容		指 標	研 修 形 態	会 場	
	1	10月6日 (金)	13:30- 16:30	○学校図書館を活用した読書活動の推進と地域の図書館と連携した読書活動の実際 ・都立図書館の紹介と利用方法 ・多摩図書館における学校図書館教育の取組 ・選書の実際 ○学校図書館を活用した読書活動の推進 ・読書意欲を喚起し、すすんで読書に取り組む態度を育む指導の工夫		任 G①	集 合	都立多摩図書館 (西国分寺)	

研修番号		7713		研修名		島しょ・へき地等教育【Ⅱ】				
研修タイトル		島しょ・へき地等教育 －小規模校や地域の特性を生かした学習活動・指導法の工夫－								
ねらい		異年齢の友達や異世代の人々との関わり、少人数指導や特別な支援が必要な児童・生徒等、多様な実態に応じた指導や工夫について学びます。								
対象校種・定員		小・中・高・特 100 名								
対象教員		島しょ・へき地等に勤務している教員及び将来、島しょ・へき地等に勤務を希望する教員								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭		主 幹 教 諭		
		基礎形成期		伸 長 期		充 実 期		管候補		
				○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導		生活指導力 進路指導力		外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力		
								○		
講師		帝京大学 増淵 達夫 教授 都内公立学校 主幹教諭等を予定								
特色		◇島しょ・へき地等における教育課題に対応した効果的な実践について 理解を深める研修 ◇実践事例発表・講義・協議が一体となった研修								
研修関連動画		5－(1)、5－(14)、5－(31)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	8月3日 (木)	13:30- 16:30	○実践事例発表 ○島しょ・へき地等における教育課題と教育施策との関連 ○教育施策に位置付けた各種教育課題への効果的な取組事例 ○実践事例発表と講義に関連した諸課題に対する事例検討等		任 G①	集合	教職員 研修センター (水道橋)		

研修番号		7811		研修名	日本語指導【Ⅰ】（ベーシック）					
研修タイトル		日本語指導が必要な児童・生徒のための授業づくりーベーシックー								
ねらい		日本語指導に関する基礎・基本及び発展的な指導方法の要点を学びます。								
対象校種・定員		小・中・高・特 100 名								
対象教員		日本語指導の現状と課題に関する基礎的・基本的な知識等を身に付けたい教員								
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研修段階【Ⅱ】		研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
		○	○							
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
						○				
講師		大学教授等を予定								
特色		◇日本語指導担当教員の入門・初級レベルに対応した研修 ◇日本語指導に関する基礎的・基本的な知識の習得と指導力を高める研修 ◇第2回は、校種ごとの分科会形式で協議等を実施する予定								
研修関連動画		4-(15)、4-(16)、5-(1)								
持ち物・ 事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内 容		指 標	研 修 形 態	会 場		
	1	6 月 26 日 (月)	13:30- 16:30	○日本語の習得段階と各段階における指導内容について ○文字の指導について		教基 G① 教伸 G①	集 合	教職員 研修センター (水道橋)		
	2	8 月 7 日 (月)	13:30- 16:30	○サバイバル日本語の指導と留意点について ○日本語基礎(文字表記、語彙、文型等)の指導方法と留意点 ○中期・後期段階の日本語指導の方法と留意点		教基 G① 教伸 G①	集 合	教職員 研修センター (水道橋)		

研修番号		7812		研修名	日本語指導【Ⅱ】（アドバンス）					
研修タイトル		日本語指導が必要な児童・生徒のための授業づくりアドバンスー								
ねらい		日本語指導に関する発展的な指導方法や評価方法の要点を学びます。								
対象校種・定員		小・中・高・特 100 名								
対象教員		日本語指導の現状と課題に関する基礎的・基本的な知識等を身に付けた教員								
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸長期	充 実 期						
			○							
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用	
							○			
講師		大学教授等を予定								
特色		◇日本語指導担当教員の中級レベル以上に対応した研修 ◇日本語指導に関する基礎的・基本的な知識の習得とより発展的な指導力を高める研修 ◇第2回は、校種ごとの分科会形式で協議等を実施する予定								
研修関連動画		4-(15)、4-(16)、5-(1)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・第1回は、「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA」（文部科学省初等中等教育局国際教育課）を持参 ※文部科学省ホームページを御参照ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	7月14日（金）	13:30-16:30	○日本語能力測定法（DLA）に基づく指導計画及び評価方法		任 G①	集合	教職員研修センター（水道橋）		
	2	8月29日（火）	13:30-16:30	○サバイバル日本語の指導と留意点について ○日本語基礎（文字表記、語彙、文型等）の指導方法と留意点 ○中期・後期段階の日本語指導の方法と留意点		任 G①	集合	教職員研修センター（水道橋）		

研修番号		7813		研修名	日本語指導【Ⅱ】（日本語の文法指導）					
研修タイトル		日本語指導が必要な児童・生徒のための授業づくり ー「聞く」「話す」「読む」「書く」ための日本語指導についてー								
ねらい		日本語指導に関する基礎・基本及び発展的な指導方法の要点を学びます。								
対象校種・定員		小・中・高・特 150名								
対象教員		日本語指導の現状と課題に関する知識等を身に付けたい教員								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
				○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用	
							○			
講師		大学教授等を予定								
特色		◇日本語指導担当教員の中級レベル以上に対応した研修 ◇日本語指導に関する基礎的・基本的な知識の習得とより発展的な指導力を高める研修 ◇東京都中学校日本語教育研究会と連携した研修								
研修関連動画		4-(15)、4-(16)、5-(1)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	7月28日（金）	13:30-16:30	○日本語の指導と留意点について ○日本語の文型、語順等に関わる文法指導の方法と留意点について		任 G①	集合	東村山市立中央公民館（東村山）		

研修番号		7814		研修名	日本語指導【Ⅱ・Ⅲ】（JSLカリキュラム）					
研修タイトル		JSLカリキュラムを学ぼう ー教科と日本語指導を統合した授業実践ー								
ねらい		JSLカリキュラムに関する専門的な知識を習得し、教科と日本語指導を統合した授業を行う実践的な指導力を高めます。								
対象校種・定員		小・中・高・特 30名								
対象教員		JSLカリキュラムに関する専門的な知識を習得し、教科と日本語指導を統合した授業を行う実践的な指導力を高めたい教員								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭		
		基礎形成期	伸長期	充 実 期						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用	
							○			
講師		大学教授等を予定								
特色		◇JSLカリキュラムに関する専門的な知識を習得し、教科と日本語指導を統合した授業を行う実践的指導力を身に付ける研修 ◇第2回は、校種のグループに分かれた演習 ◇第3回は、授業研究と、教科と日本語指導を統合した授業に関する演習								
研修関連動画		4-(15)、4-(16)、5-(1)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容			指標	研修形態	会場	
	1	7月24日（月）	13:30-16:30	○JSLカリキュラムの概要 ○JSLカリキュラムの作成とそのポイント			任 G① 指 G① 幹 G①	集合	教職員研修センター（水道橋）	
	2	8月30日（水）	13:30-16:30	○教科と日本語指導を統合した授業の工夫 ○JSLを活用した授業で使用する指導計画、学習指導案、教材の作成			任 G① 指 G① 幹 G①	集合	教職員研修センター（水道橋）	
	3	9月～11月	13:30-16:30	○JSLカリキュラムを活用した授業づくり			任 G① 指 G① 幹 G①	集合	都内公立学校（予定）	

研修番号		7911		研修名	特別支援教育【Ⅰ】（情報活用能力の育成）				
研修タイトル		情報活用能力の育成							
ねらい		GIGAスクール構想に基づくICTの活用の在り方について理解を深め、幼児・児童・生徒の情報活用能力の育成に向けた授業改善の具体策を考えます。							
対象校種・定員		小・中・高・特 400名							
対象教員		校内でICTの活用に関する教育を推進する意欲のある教員							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸長期	充実期					
		○	○	○					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの活用	
○						○			
講師		大学准教授を予定							
特色		特別支援学校におけるICTを活用した指導の在り方について学ぶ研修							
研修関連動画		5-(26)、5-(27)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場		
	1	8月31日 (木)	13:30- 16:30	○特別支援学校における ICTを活用した指導の 在り方について ○ICT活用の実践事例	教基 A① 教伸 A① 任 A① 教基 E① 教伸 E① 任 E①	集合	教職員 研修センター (水道橋)		

研修番号		7912		研修名	特別支援教育【Ⅰ】（特別支援教室及び通級向け）					
研修タイトル		困難さを抱える幼児・児童・生徒への指導の充実 ー特別支援教室との適切な連携についてー								
ねらい		特別支援教室の対象となる児童・生徒の理解と自立活動の実践等、具体的な指導や支援の方法を学びます。								
対象校種・定員		幼・小・中・高・特 400 名								
対象教員		特別支援教室の対象となる児童・生徒の理解と自立活動の実践等、具体的な指導や支援の方法を学びたい教員								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭		
		基礎形成期	伸長期	充実期			管候補	副校長	校長	
		○	○	○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用	
				○		○	○			
講師		東京学芸大学 奥住 秀之 教授を予定								
特色		◇特別支援教室の制度について理解を深める研修 ◇実践事例から特別支援教室での指導について学ぶことができる研修								
研修関連動画		5-(16)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	9月28日 （木）	13:30- 16:30	○特別支援教室について ○特別支援教室における 具体的な指導・支援方法		教基 C① 教伸 C① 任 C① 教基 E① 教伸 E① 任 E① 教基 G①	集合	東村山市立 中央公民館 （東村山）		

研修番号		7913		研修名	特別支援教育【Ⅰ】（MIM）							
研修タイトル		読めた！わかった！できた！ ー読み書きアセスメントと多層指導モデルM I Mの活用・演習ー										
ねらい		学習障害のある児童・生徒の実態把握の重要性を理解し、根拠に基づいた授業づくりのための専門的知識を習得します。										
対象校種・定員		小・中・高・特 400 名										
対象教員		学習障害のある児童・生徒の読み書きの実践的指導力の基礎・基本を身に付けたい教員										
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研修段階【Ⅱ】		研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】				
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭		主 幹 教 諭		管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期								
		○	○	○								
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力		特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応		デジタルや情報・教育 データの利活用	
								○				
講師		明治学院大学 心理学部 教育発達学科 海津 亜希子 教授等を予定										
特色		◇東京都発達障害教育推進計画（平成 28 年 2 月 東京都教育委員会）に基づく、読み書きの実践的指導力の向上										
研修関連動画		5 - (16)										
持ち物・ 事前課題等		・ 二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）										
日程等	回	実施日	時間	内 容			指 標	研 修 形 態	会 場			
	1	8 月 17 日 （木）	13:30- 16:30	○多層指導モデルM I Mを 使った読みのつまずきの 把握と指導法 ○多層指導モデルM I Mの 活用の演習、実践報告			教基 E① 教伸 E① 任 E①	集 合	教職員 研修センター （水道橋）			

研修番号		7914		研修名	特別支援教育【Ⅰ】（手話の理解と聴覚障害児のコミュニケーション）					
研修タイトル		手話の効果的な活用法								
ねらい		「東京都手話言語条例」を踏まえた手話の普及啓発及び共生社会の実現に向けて、手話の効果的な活用法について学びます。								
対象校種・定員		幼・小・中・高・特 100名								
対象教員		手話の使い方を学び、聴覚障害のある児童・生徒の理解と具体的な指導や支援の方法を学びたい教員								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
		○	○	○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
						○	○			
講師		目白大学 保健医療学部 言語聴覚学科 森つくり 准教授等を予定								
特色		◇手話の使い方及び聴覚障害のある児童・生徒の理解と具体的な指導や支援の方法について学ぶ研修								
研修関連動画		5-(16)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容			指標	研修形態	会場	
	1	9月12日（火）	13:30-16:30	○手話の効果的な活用について ○聴覚障害のある児童・生徒への指導法 ○学校での実践発表			教基 E① 教伸 E① 任 E① 教基 G① 教伸 G① 任 G①	集合	教職員研修センター（水道橋）	

研修番号		7915		研修名	特別支援教育【Ⅰ・Ⅱ】 (一人1台の学習者用端末の活用)					
研修タイトル		一人1台の学習者用端末を活用した特別支援の指導法								
ねらい		コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動に関する具体的な指導法の工夫について学びます。 特に、授業中にデジタル機器を活用して効果的に指導する能力を高めます。								
対象校種・定員		特 80名								
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭								
指標との関連	職 層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭	主 幹 教 諭	管 候 補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
		○	○	○						
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応		デジタルや情報・教育 データの利活用
	○						○		○	
講師		都立特別支援学校指導教諭等								
特色		◇事前動画（必視聴）を踏まえた協議を通して、自己の課題把握・課題発見を図ります。 ◇都立特別支援学校指導教諭等の実践発表を通して、特別支援における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について理解します。 ◇実践発表で紹介した事例を、端末を活用した模擬授業を通して実機体験し、研修受講後の校内での活用を図ります。 ※研修センター所有の端末を使用します。								
研修関連動画		5-(26)、5-(27)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・特別支援学校学習指導要領（平成29年告示）解説 各教科等編（小学部・中学部）等の担当する障害種・学部の学習指導要領解説 ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	9月8日 (金)	13:30- 16:30	○特別支援における一人1台の学習者用端末の効果的な活用について ・自己の課題発見のための協議 ・実践発表を通じた指導法の理解 ・模擬授業を通じた実機体験		教基 A① 教基 E① 教基 F① 教伸 A① 教伸 E① 教伸 F① 任 A① 任 E① 任 F①	集合	教職員 研修センター (水道橋)		

研修番号		7916		研修名	特別支援教育【Ⅱ・Ⅲ】（発達検査）				
研修タイトル		発達検査に基づく指導・支援を学ぼう！ ーエビデンスに基づいた指導・支援の工夫ー							
ねらい		発達検査・知能検査の種類や、検査結果を生かした支援の工夫等に関する専門的な知識を習得します。							
対象校種・定員		幼・小・中・高・特 200 名							
対象教員		発達検査等による実態把握に基づく実践的指導力の基礎・基本を身に付けたい教員							
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研 修 段 階 【Ⅱ】		研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】	
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭		主 幹 教 諭	
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期			管候補	副校長	校 長
		○	○	○	○	○			
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学 校 運 営 力 組 織 貢 献 力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
				○		○	○		
講師		法政大学 小野 純平 教授を予定							
特色		◇発達検査等を生かした支援の工夫等に関する専門的な知識の習得 ◇オンライン（オンデマンド配信）による研修 ※オンラインの研修を申し込む際は、YouTube 配信を視聴することができますことが条件となります。							
研修関連動画		5-(16)							
持ち物・事前課題等		※配信日程が決まりましたら、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。							
日程等	回	実施日	時間	内 容		指 標		研 修 形 態	
	1	8 月～ 9 月 配 信 予 定	約 180 分	○発達検査、知能検査の基本的な理解と検査結果の解釈 ○検査結果を生かした支援の工夫		教基 C① 教伸 C① 任 C① 指 C① 幹 C① 教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E① 幹 E① 教基 G① 教伸 G① 任 G① 指 G① 幹 G①		オンライン （オンデマンド配信）	

研修番号		7917		研修名	特別支援教育【Ⅲ】（社会参加と自立）					
研修タイトル		社会参加と自立に向けたキャリア教育の在り方								
ねらい		特別支援教育に関する専門性向上により、一人一人の児童・生徒の実態に応じた指導を推進する。								
対象校種・定員		小・中・高・特 400 名								
対象教員		特別支援教室の対象となる児童・生徒の理解と自立活動の実践等、具体的な指導や支援の方法を学びたい教員								
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研修段階【Ⅱ】		研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭	主 幹 教 諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学 習 指 導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学 校 運 営 力 組 織 貢 献 力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
				○				○		
		講 師		大学教授等を予定						
特色		◇特別支援教育に関わる一人一人の児童・生徒の実態について学ぶ研修 ◇東京都特別支援教育研究会と連携した研修								
研修関連動画		5-(16)								
持ち物・ 事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内 容		指 標	研 修 形 態	会 場		
	1	9 月 7 日 （木）	13:30- 16:30	○障害のある児童・生徒の 実態に応じた専門的教育 の推進 ○自閉症スペクトラム当事 者からみた特別支援教育 ○特別支援教育の理解啓発		教基 C① 教伸 C① 任 C① 指 C① 幹 C① 教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E①② 幹 E①②	集合	教職員 研修センター （水道橋）		

研修番号		7918		研修名	特別支援教育【Ⅲ】（就業の促進）					
研修タイトル		知的障害のある子供の就労を考えよう！ ー進路指導の基礎・基本ー								
ねらい		中学校、高等学校、特別支援学校などにおいて、主に企業就労を目指す生徒の進路指導に関わる教員の育成と資質の向上を図ります。								
対象校種・定員		小・中・高・特 400 名								
対象教員		生徒の進路希望を実現するための基礎的・基本的な力を身に付けたい教員								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
		○	○	○		○	○			
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
				○				○		
講師		大学教授等を予定								
特色		◇大学教授や現場責任者からの講義等により、定着の支援について理解を深める研修 ◇東京都知的障害特別支援学校就業促進研究協議会と連携した研修								
研修関連動画		5-(16)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	8月29日 （火）	13:30-16:30	○知的障害者のキャリア発達・教育について ○知的障害者の進路指導、社会参加について ○企業就労について		教基 C① 教伸 C① 任 C① 指 C① 幹 C① 教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E①② 幹 E①②	集合	教職員 研修センター （水道橋）		
	2	8月30日 （水）	13:30-16:30	○知的障害者のキャリア発達・教育、自立について ○知的障害者の社会参加、企業就労について ○パネルディスカッション		教基 C① 教伸 C① 任 C① 指 C① 幹 C① 教基 E① 教伸 E① 任 E① 指 E①② 幹 E①②	集合	教職員 研修センター （水道橋）		

研修番号		8011		研修名	学校教育相談【Ⅱ】（事例検討）							
研修タイトル		校内支援会議の充実と関係機関との連携 ーヤングケアラーへの対応と生徒指導提要の理解ー										
ねらい		児童・生徒の問題行動等に適切に対応するため、教育相談に関する基礎・基本を学ぶとともに、校内組織の強化や関係機関との連携に関する専門的な知識を習得します。また、生徒指導提要（令和4年12月）のポイントについても学びます。										
対象校種・定員		小・中・高・特 50名										
対象教員		教育相談や事例検討の活用に関する基礎的・基本的な力を身に付けたい教員及び生活指導主任や教育相談主任教諭、特別支援教育担当等で、実践的指導力を高めたい教員										
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】				
		教 諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭		管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸長期	充 実 期								
		○	○	○		○		○				
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力		特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用	
		○	○									
講師		葛飾区役所子ども家庭支援課子ども家庭係 係長を予定										
特色		◇「生徒指導提要（令和4年12月）のポイント」について ◇事例検討の意義や進め方について理解を深める。 ◇校内支援体制の構築について理解を深める。 ◇グループ演習を通して関係機関と連携した児童・生徒支援について理解を深める。										
研修関連動画		5-(16)										
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・第1回で配布される事前課題を第2回に持参する。										
日程等	回	実施日	時間	内容			指標	研修形態	会場			
	1	8月18日（金）	13:30-16:30	○生徒指導提要のポイントについて ○校内における事例検討の進め方 ○事例から学ぶ問題行動への対応			教基BC① 教伸BC① 任BC① 指BC① 幹BC①	集合	教職員研修センター（水道橋）			
	2	9月21日（木）	13:30-16:30	○ヤングケアラーについて ○関係機関との連携 ○事前課題を基に自校の事例検討			教基BC① 教伸BC① 任BC① 指BC① 幹BC①	集合	教職員研修センター（水道橋）			

研修番号		8110・8111		研修名	現代教育課題【Ⅰ】(SDGs)				
研修タイトル		SDGs で子供が変わる ー持続可能な社会を実現する授業づくりー							
ねらい		持続可能な社会を実現するための教育の役割を理解し、校内で SDGs に関する教育を推進する力を高めます。							
対象校種・定員		小・中・高・特 集合 100 名＋ライブ配信 200 名							
対象教員		校内で SDGs に関する教育を推進する意欲のある教員							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭	指導教諭	主 幹 教 諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸長期	充 実 期					
		○	○	○	○	○			
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
			○	○	○				
講師		東京大学大学院教育学研究科 北村 友人 教授を予定							
特色		◇国連で採択された持続可能な開発目標 (SDGs) と学習指導要領のポイントについて学ぶ研修 ◇児童・生徒が持続可能な社会の担い手として活躍する授業づくりと実践的指導力を身に付ける研修発達検査等を生かした支援の工夫等に関する専門的な知識の習得 ※【8110】と【8111】は同一研修です。【8110】が集合研修、【8111】がオンライン (ライブ配信) 研修です。希望の研修を選び、どちらか一方のみお申込みください。 ※【8111】のオンラインの研修を申し込む際は、YouTube ライブ配信を視聴することができる事が条件となります。							
研修関連動画		5-(1)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札 (所属校で使用しているもの)							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場		
	1	【8110】	13:30-16:30 (月)	○「持続可能な社会を実現するための教育の役割」	教基 CDE① 教伸 CDE① 任 CDE① 指 CDE① 幹 CDE①	集合	教職員 研修センター (水道橋)		
		8月28日							
	2	【8111】	13:30-16:30 (月)	○「持続可能な社会を実現するための教育の役割」	教基 CDE① 教伸 CDE① 任 CDE① 指 CDE① 幹 CDE①	オンライン (ライブ配信)			
8月28日									

研修番号		8112		研修名	現代教育課題【Ⅱ・Ⅲ】（教員の意識改革）				
研修タイトル		「未来の東京」に輝く学校の創造に向けた教員の意識改革							
ねらい		社会の急速な進展の中では、知識・技能の絶えざる刷新が必要です。探究力やクリエイティブな発想を持ち、既存のやり方にとらわれることなく試行錯誤を繰り返しながら多様化する社会に対応し、業務改善等を成し遂げ、学校改革に貢献していく人材を育てます。							
対象校種・定員		小・中・高・特 100名							
対象教員		9年目以上の教諭、主任教諭、指導教諭及び主幹教諭等							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸長期	充 実 期					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応		デジタルや情報・教育 データの利活用
				○	○	○			
講師		都内公立学校の校長経験者を予定							
特色		◇変化する社会に対応した教育改革の推進に貢献できる力を身に付ける研修 ◇最新の教育動向に精通し教育現場での実践経験のある講師を招いた研修							
研修関連動画		5-(1)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	7月25日 （火）	13:30-16:30	○講義・演習「世界に羽ばたくグローバル人材の育成」 ○パネルトーク		任 CDEFG① 指 CDEFG① 幹 CDEFG①	集合	教職員研修センター（水道橋）	
	2	7月31日 （月）	13:30-16:30	○講義・演習「チルドレンファーストによる学校づくり」 ○パネルトーク		任 CDEFG① 指 CDEFG① 幹 CDEFG①	集合	教職員研修センター（水道橋）	
	3	8月7日 （月）	13:30-16:30	○講義・演習「インクルーシブな学びの実現」 ○パネルトーク		任 CDEFG① 指 CDEFG① 幹 CDEFG①	集合	立川市女性総合センター（立川）	
	4	8月23日 （水）	13:30-16:30	○講義・演習「デジタルで学校を変える」 ○パネルトーク		任 CDEFG① 指 CDEFG① 幹 CDEFG①	集合	パルテノン多摩（多摩センター）	

研修番号		8113・8114		研修名	現代教育課題【Ⅲ】（特異な才能を有する児童・生徒への対応）				
研修タイトル		特異な才能を有する児童・生徒に対する環境づくり ー学校における指導や関わり方の工夫ー							
ねらい		特定分野に特異な才能のある児童・生徒に対する指導や支援の在り方等について学びます。							
対象校種・定員		小・中・高・特 集合 400 名＋ライブ配信 200 名							
対象教員		特異な才能を有する児童・生徒への指導内容や指導方法について学びを深めたい教員							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期					
					○	○			
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学 校 運 営 力 組 織 貢 献 力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用	
			○				○		
講師		筑波大学の藤田晃之教授等を予定							
特色		◇特性理解やその支援等に取り組むことの必要性を学び、具体例等を学ぶ研修 ◇校内において、特定分野に特異な才能のある児童・生徒の環境改善や推進を図る研修 ※8113 と 8114 は同一研修です。どちらか一方のみ申込みください。 8113・・・集合研修 8114・・・オンライン（一方向ライブ配信）研修 ※8114 研修は YouTube を視聴できることが申し込みの条件になります。 ※オンライン研修の URL は、「研修申込受付システム」に記載しますので、1 週間前を目途に御確認ください							
研修関連動画		5-(16)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	【8113】 9 月 29 日 (金)	13:30- 16:30	○特異な才能のある児童・生徒への環境づくりについて ・特性理解やその支援等に取り組むことの必要性 ・効果的な支援の在り方等について ・教室や学校などの教育環境のあるべき姿		指 B① 幹 B① 指 E① 幹 E①	集合	教職員 研修センター (水道橋)	
	1	【8114】 9 月 29 日 (金)	13:30- 16:30	○特異な才能のある児童・生徒への環境づくりについて ・特性理解やその支援等に取り組むことの必要性 ・効果的な支援の在り方等について ・教室や学校などの教育環境のあるべき姿		指 B① 幹 B① 指 E① 幹 E①	オンライン	ライブ配信	

研修番号		8115 8116 8117 8118		研修名	学校における ICT 機器の効果的な活用【Ⅱ】					
研修タイトル		一人1台端末を効果的に活用しよう －授業・学校・家庭での日常的な活用に向けて－								
ねらい		一人1台端末時代における教育の情報化の現状やデジタル機器の具体的な活用事例を理解し、高度に情報化した社会で活躍できる人材育成を計画的に実施できる実践的指導力の向上を図ります。								
対象校種・定員		8115_小 8116_中 8117_高 8118_特 各40名								
対象教員		9年目以上の教諭、主任教諭								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭		
		基礎形成期	伸長期	充 実 期						
			○							
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタル情報・教育データの利活用	
						○		○		
講師		株式会社 EdLog 代表取締役社長 中川 哲氏								
特色		◇GIGA スクール構想推進の背景や現状、今後の展望について理解を深めるための研修 ◇Microsoft 社のアプリケーションの操作方法に関する演習を行い、具体的な活用方法について知識を深める研修								
研修関連動画		5－(1)、5－(11)、5－(20)、5－(26)、5－(27)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ※研修の実施日が決定次第、「研修受講申込受付システム」に記載しますので、御確認ください。								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	7月配信予定	約180分	○東京都の施策等について ○GIGA スクール構想の現状と今後の動向について ○学習者用端末の日常的な活用に向けた教師の在り方について		任 FG①	オンライン (オンデマンド視聴)			
	2	【8115】	13:30－16:30	※Microsoft Teams のツール演習を行います。 ※演習では、受講者一人ずつに端末を貸与します。			集合	教職員 研修センター (水道橋)		
		7月24日(月)								
		【8116】		○GIGA 端末導入3年目における各校の成果と課題						
		8月7日(月)								
		【8117】		○教師から子供主体の学びに転換するために必要な取組とその課題解決に向けて						
		8月24日(木)								
【8118】										
8月28日(月)										

研修番号		8119		研修名	学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進【Ⅱ・Ⅲ】					
研修タイトル		学力調査の結果を活用した組織的な授業改善の推進								
ねらい		「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果等を活用して、組織的な授業改善に取り組む方法を理解し、校内での推進を図ります。								
対象校種・定員		小・中・高・特 100 名								
対象教員		校内で中心的な役割を担っている主任教諭、指導教諭及び主幹教諭								
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研修段階【Ⅱ】		研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭	主 幹 教 諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
				○	○	○				
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの利活用		
		○			○	○				
講師		教育庁指導部義務教育指導課 主任指導主事（予定）								
特色		◇学力調査の結果を活用する方法を学ぶ研修 ◇組織的な授業改善に向けた課題解決の方法を学ぶ研修								
研修関連動画		5-(1)、5-(6)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	8 月 29 日 (火)	13:30- 16:30	○「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果活用について ○「全国学力・学習状況調査」の結果分析 ○学力調査の結果を関連付けた分析及び手だてについて ○個人票の活用について		任 A 指 A 幹 A 任 D 指 D 幹 D 任 G 指 G 幹 G	集合	東村山市立 中央公民館 (東村山)		

研修番号		8120		研修名	小中高一貫教育理解推進【Ⅰ・Ⅱ】					
研修タイトル		12年後の生徒像から考える -教科等の指導上の工夫や特色ある教育課程の考え方-								
ねらい		小中高一貫教育について、施策に基づいた現状と今後の動向に対する理解を深め、特色ある教育課程における指導上の工夫等について学びます。								
対象校種・定員		小・中・高・特 30名								
対象教員		小中高一貫教育について、施策に基づいた現状と今後の動向に対する理解を深め、特色ある教育課程における指導上の工夫等について学びたい教員								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期						
		○	○	○						
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
							○			
講師		都立立川国際中等教育学校附属小学校 主幹教諭等								
特色		◇都立立川国際中等教育学校附属小学校で実施する研修 ◇小中高一貫教育について、施策に基づいた現状と今後の動向に対する理解を深めるとともに、12年後の生徒像を見通し、特色ある教育課程について指導上の工夫等について学ぶ研修								
研修関連動画		5-(1)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・上履き・くつ袋								
日程等	回	実施日	時間	内容			指標	研修形態	会場	
	1	6月26日 (月)	13:30- 16:30	○東京都の施策について ○第1学年の授業参観 ○学校紹介及び実践事例紹介等 ○協議			教基G① 教伸G① 任G①	集合	都立立川国際中等教育学校 附属小学校 (立川)	

研修番号		8211		研修名	学級・ホームルーム経営【Ⅰ】				
研修タイトル		学級・ホームルーム経営のいろはを知ろう ー児童・生徒への指導の基礎・基本ー							
ねらい		児童・生徒理解や指導技術の改善等、学級・ホームルーム経営の基礎・基本を学びます。							
対象校種・定員		小・中・高・特 100 名							
対象教員		学級・ホームルーム経営において自ら課題を感じ、児童理解や指導技術の改善等、学習指導等につながる学級経営の基礎・基本を学びたい教員							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教 諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸長期	充 実 期					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用
		○	○			○			
講師		都内公立学校主任教諭等を予定							
特色		◇校種ごとの少人数グループ協議を通して、具体的なノート指導や板書、発問の方法等、学級・ホームルーム経営の基礎・基本について理解を深める研修							
研修関連動画		4-(12)、4-(13)、4-(14)、5-(18)、5-(21)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	6月22日 （木）	13:30- 16:30	○学習指導や生活指導等につながる学級経営		教基 A① 教基 B① 教基 G① 教伸 A① 教伸 B① 教伸 G①	集合	教職員 研修センター （水道橋）	

研修番号		8311		研修名	オリンピック・パラリンピック教育【Ⅱ】 （レガシーの継承）					
研修タイトル		東京 2020 大会の輝きを未来へつなごうー「学校 2020 レガシー」で開く、共生社会への扉ー								
ねらい		「学校 2020 レガシー」の継承と発展のための取組を充実させる。								
対象校種・定員		小・中・高・特 100 名								
対象教員		校内においてオリンピック・パラリンピック教育を推進する役割のある教員及び「学校 2020 レガシー」の取組について興味のある教員								
指標との関連	職 層	研 修 段 階 【 Ⅰ 】		研修段階【Ⅱ】		研 修 段 階 【 Ⅲ 】		研 修 段 階 【 Ⅳ 】		
		教 諭		主 任 教 諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
			○							
	人 材 育 成 の 基 本 的 な 事 項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
							○			
講師		筑波大学 真田 久 特命教授等を予定								
特色		◇共生社会の実現の取組について理解を深める研修 ◇「学校 2020 レガシー」について理解を深める研修								
研修関連動画		5-(1)、5-(9)								
持ち物・ 事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修 形態	会 場		
	1	10 月 23 日（月）	13:30- 16:30	○「学校 2020 レガシー」の 取組について		任 G①	集合	教職員 研修センター （水道橋）		

研修番号		8312		研修名	スタートカリキュラム【Ⅱ】				
研修タイトル		幼児の育ちを小学校教育に生かそう ー日常生活・各教科等のスタートカリキュラムー							
ねらい		スタートカリキュラムについて理解を深め、幼児期の発達や学びの連続性を考慮し、小学校入門期の指導の充実を図ります。							
対象校種・定員		幼・小・特 100名							
対象教員		スタートカリキュラムについて理解を深め、小学校入門期の指導の充実について学びたい教員							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸長期	充 実 期					
				○					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
		○	○	○	○				
講師		教育庁指導部義務教育指導課の統括指導主事 聖徳大学大学院講師篠原孝子先生を予定							
特色		◇保・幼・小連携について理解を深める研修							
研修関連動画		5-(29)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）							
日程等	回	実施日	時間	内容	指標	研修形態	会場		
	1	8月17日 （木）	13:30- 16:30	○スタートカリキュラムの概要 ○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を手掛かりにした幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続の推進について	任 A① 任 B① 任 C① 任 G①	集合	教職員 研修センター （水道橋）		

研修番号		8321		研修名	食に関する指導【Ⅰ・Ⅱ】 (食習慣を形成する指導)				
研修タイトル		食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣を形成する指導							
ねらい		食育リーダーや栄養教諭等を中心として、食育の観点を踏まえた望ましい食習慣の形成の指導を展開する際の基礎的・基本的な力を身に付けます。							
対象校種・定員		小・中・高・特（栄養教諭・食育リーダー対象） 100名							
対象教員		1年目から8年目までの教諭、9年目以上の教諭又は主任教諭							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】	
		教諭		主任教諭		指導教諭		主幹教諭	
		基礎形成期	伸長期	充実期					
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	デジタルや情報・教育データの活用	
		○				○			
講師		女子栄養大学の教授等を予定							
特色		◇栄養教諭・食育リーダーを対象とした新規の研修 ◇習得した知識・技能、内容を発展させ、学校・地域に普及・還元する力を身に付ける研修 ◇女子栄養大学と連携した研修							
研修関連動画		1－(14)、2－(13)、3－(28)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの） ・事前動画（必視聴）があります。視聴方法・期間等は研修受講申込受付システムで御確認ください。							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	9月25日 (月)	13:30-16:30	○大学が実践する栄養教諭養成カリキュラムの実際 ○現在求められる「食に関する指導」の要点		栄基AG① 栄伸AG① 任栄AG① 基AG① 伸AG① 任AG①	集合	教職員 研修センター (水道橋)	

研修番号		8411		研修名	管理職の学び場 A【Ⅳ】 (トリプルシンキングの実践)				
研修タイトル		トリプルシンキングの実践－課題解決と新たな発想のために－							
ねらい		ロジカルシンキング、クリティカルシンキング、ラテラルシンキングの3つ思考法の基本を学ぶことができます。 課題解決や新規企画等の場面に応じた効果的な思考方法を学ぶことができます。							
対象校種・定員		幼・小・中・高・特(園長及び東京都公立学校校長、副校長、管理職候補者) 100名まで							
対象教員		トリプルシンキングを学校経営に取り入れ、学びたい校長、副校長、管理職候補者							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期					
							○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
				○	○	○			○
講師		企業管理職等を予定							
特色		◇課題解決や新規企画等の場面に応じた効果的な思考方法を学ぶ研修							
研修関連動画		5-(24)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札(所属校で使用しているもの)							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	8月8日 (火)	13:30-16:30	○ロジカルシンキング・クリティカルシンキング・ラテラルシンキングについて ○トリプルシンキングの相乗効果を体得できる、少人数グループによる事例演習		管幹F① 管幹G① 管幹H① 管幹I① 管幹J① 管F① 管G① 管H① 管I① 管J①	集合	教職員研修センター (水道橋)	

研修番号		8421		研修名	管理職の学び場B【Ⅳ】（戦略的思考法入門）				
研修タイトル		戦略的思考法を用いた学校経営の考え方							
ねらい		戦略的思考のフレームワークと具体的な活用方法を学び、環境分析と戦略立案について段階的な演習を通して理解を深めます。							
対象校種・定員		東京都公立学校副園・校長及び管理職候補者 100 名							
対象教員		戦略的思考を取り入れた組織運営について学びたい副校長・管理職候補者							
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教諭		主任教諭	指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期					
							○	○	○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
					○	○			
講師		明治大学 中西 晶 教授							
特色		◇目標を達成する戦略的な思考法について理解を深める研修 ◇戦略的思考のフレームワークについて演習を行う研修							
研修関連動画		5-(16)							
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）							
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場	
	1	8 月 1 日 （火）	13:30- 16:30	○目標を達成する戦略的な思考法について ○管理職がすべき行動や工夫について ○フレームワークを活用した環境分析と戦略立案		管幹 G① 長 G① 副 G① 管幹 H① 長 H① 副 H①	集合	教職員 研修センター （水道橋）	

研修番号		8431・8432		研修名	管理職の学び場C【Ⅳ】 （課題解決に資する思考法を活用した学校経営）					
研修タイトル		課題解決に資する思考法を活用した学校経営								
ねらい		戦略的思考に基づいた中・長期的な学校経営計画、人材育成等に取り入れる様々な具体的な手法を学びます								
対象校種・定員		幼・小・中・高（園長及び東京都公立学校校長） 集合 400 名＋ライブ配信 200 名								
対象教員		民間企業のマネジメント手法や組織運営、人材育成の理論や実践について学びたい校長								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸 長 期	充 実 期						
										○
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用
						○	○			
講師		企業管理職等を予定								
特色		◇民間企業のマネジメント手法や組織運営、人材育成の理論や実践について学ぶ研修 ※【8431】と【8432】は同一研修です。【8431】が集合研修、【8432】がオンライン（ライブ配信）研修です。希望の研修を選び、どちらか一方のみお申込みください。 ※【8432】のオンラインの研修を申し込む際は、YouTube ライブ配信を視聴することができる条件となります。								
研修関連動画		5-(16)								
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	【8431】	13:30-16:30	○民間企業のマネジメント手法や組織運営、人材育成の理論や実践 ○意見交換（演習）		長 H① 長 K① 長 G①	集合	教職員研修センター（水道橋）		
		8 月 3 日（木）								
	2	【8432】	13:30-16:30	○民間企業のマネジメント手法や組織運営、人材育成の理論や実践 ○意見交換（演習）		長 H① 長 K① 長 G①	オンライン（ライブ配信）			
8 月 3 日（木）										

研修番号		8511		研修名	就学前教育理解推進【Ⅰ・Ⅱ】（教諭等）					
研修タイトル		幼稚園の学びを小学校につなげる指導方法を学ぶ ー 幼児・児童の発達の特性に応じた指導の工夫ー								
ねらい		幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、小学校学習指導要領のねらいや内容等を理解し、幼児・児童の発達の特性に応じた保育や指導に関する基礎・基本を学びます。								
対象校種・定員		国公立私立幼稚園教諭、保育教諭、保育士 100 名								
対象教員		・ 幼稚園教育要領等と小学校学習指導要領のねらいや内容等を理解し、保育者と小学校教員との連携を推進する力を身に付けたい教員 ・ 幼児・児童の発達の特性に応じた保育や指導の工夫を学びたい教員								
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】		研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】		
		教 諭		主任教諭		指導教諭	主幹教諭	管候補	副校長	校 長
		基礎形成期	伸長期	充 実 期						
	○	○	○							
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外 部 と の 連 携 ・ 折 衝 力		学校運営力 組織貢献力	教育課題に 関する対応力	特別な配慮や支援を必要 とする子供への対応	デジタルや情報・教育 データの利活用	
						○				
講師		聖徳大学大学院 講師 篠原孝子先生を予定								
特色		◇「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について理解を深める研修								
研修関連動画		5-(29)								
持ち物・事前課題等		・ 二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）								
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場		
	1	8 月 24 日 （木）	13:30- 16:30	○幼稚園教育要領等と小学校学習指導要領の理解に基づく実践の推進 ○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を手掛かりにした幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続の推進について		教基 E① 教伸 E① 任 E①	集合	教職員 研修センター （水道橋）		

研修番号		8512		研修名	就学前教育理解推進【Ⅲ・Ⅳ】（園長等）						
研修タイトル		学校教育のはじまりとしての幼稚園教育の発信 ー幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続を図るためにー									
ねらい		幼小の接続期カリキュラムについて、習得した知識を発展させるとともに、保育者と小学校教員の連携や幼稚園・保育所・認定こども園の教育的機能の活用を図る園経営や学校経営を推進する力を高めます。									
対象校種・定員		国公立私立幼稚園長、保育所長、認定こども園長 100名									
対象教員		・幼小の円滑な接続を推進したい幼稚園長、保育所長、認定こども園長等（共に国私立学校、保育所等を含む）。 ・カリキュラム・マネジメントを計画的かつ組織的に実施したい幼稚園長、保育所長、認定こども園長等									
指標との関連	職層	研修段階【Ⅰ】		研修段階【Ⅱ】	研修段階【Ⅲ】		研修段階【Ⅳ】				
		教諭		主任教諭	指導教諭		主幹教諭		管候補	副校長	校長
		基礎形成期	伸長期	充実期							
					○	○	○	○	○		
	人材育成の基本的な事項	学習指導	生活指導力 進路指導力	外部との 連携・折衝力	学校運営力 組織貢献力	教育課題に関する対応力	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		デジタルや情報・教育データの利活用		
					○						
講師		共立女子大学の田代幸代教授を予定									
特色		◇保・幼・小連携について理解を深める研修									
研修関連動画		5-(29)									
持ち物・事前課題等		・二次元コード・筆記用具・名札（所属校で使用しているもの）									
日程等	回	実施日	時間	内容		指標	研修形態	会場			
	1	8月18日 （金）	13:30- 16:30	○保・幼・小連携と園経営の組織マネジメントの在り方 ○保・幼・小連携による人材育成について ○保・幼・小の円滑な接続のための協働について		指D① 幹D① 管幹H① 長H① 副H①	集合	教職員 研修センター （水道橋）			